MC361dn/MC561dn

ユーザーズマニュアル

応用編

このマニュアルは、以下の製品に対応しています。

MC361dn
MC561dn

目次

■ このマニュアルについて

本書のマーク

本書では、以下のマークを使用しています。

! 注

- 操作に関する重要な情報を示します。必ずお読みください。

メモ

- 操作に関する追加情報を示します。お読みになることをおすすめします。

参照

- 参照ページを示します。詳しい情報や関連する情報を知りたいときにお読みください。

⚠警告

- この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性があることを示しています。

⚠注意

- この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性があることを示しています。

本書の記号

本書では、以下の記号を使用しています。

記号	説明
［　］	●表示画面のメニュー名を示します。 ●コンピュータのメニュー、ウィンドウ、およびダイアログ名を示します。
「　」	●表示画面のメッセージおよび入力テキストを示します。 ●コンピュータ上でのファイル名を示します。 ●参照先のタイトルを示します。
＜　＞キー	操作パネルのキーまたはコンピュータのキーボードのキーを示します。
＞	本機またはコンピュータのメニュー階層を示します。

本書の表記

本書では、以下の表記をしている場合があります。

- PostScript3 エミュレーション → PSE、POSTSCRIPT3 エミュレーション、POSTSCRIPT3 EMULATION
- Microsoft® Windows® 7 64-bit Edition operating system 日本語版 → Windows 7（64bit 版）
- Microsoft® Windows Vista® 64-bit Edition operating system 日本語版 → Windows Vista（64bit 版）※
- Microsoft® Windows Server® 2008 R2 64-bit Edition operating system 日本語版 → Windows Server 2008 R2 ※
- Microsoft® Windows Server® 2008 64-bit Edition operating system 日本語版 → Windows Server 2008（64bit 版）※
- Microsoft® Windows® XP x64 Edition operating system 日本語版 → Windows XP（x64 版）※
- Microsoft® Windows Server® 2003 x64 Edition operating system 日本語版 → Windows Server 2003（x64 版）※
- Microsoft® Windows® 7 operating system 日本語版 → Windows 7 ※
- Microsoft® Windows Vista® operating system 日本語版 → Windows Vista ※
- Microsoft® Windows Server® 2008 operating system 日本語版 → Windows Server 2008 ※
- Microsoft® Windows® XP operating system 日本語版 → Windows XP ※
- Microsoft® Windows Server® 2003 operating system 日本語版 → Windows Server 2003 ※
- Microsoft® Windows® 2000 operating system 日本語版 → Windows 2000
- Windows 7、Windows Vista、Windows Server 2008、Windows XP、Windows Server 2003、Windows 2000 の総称 → Windows

※ 特に記載がない場合は、Windows 7、Windows Vista、Windows Server 2008、Windows XP、Windows Server 2003 には 64bit 版も含みます。（Windows Server 2008 には、64bit 版、および Windows Server 2008 R2 も含みます。）

本書では、特に記載のない限り、Windows の場合は Windows 7、Mac OS X の場合は Mac OS X 10.6、本機は MC561dn を例にしています。

お使いの OS やモデルによって、本書の記載と異なることがあります。

1. コピー

この章では、いろいろなコピー機能について説明します。

■ 便利な機能

この節では、コピーのときに便利な機能を説明します。以下で説明する機能は、コピースタート画面の［**設定変更**］メニューから設定します。

メモ

- 以下の説明は、［**継続読取**］が無効の場合の手順です。［**継続読取**］が有効になっている場合の基本手順については、「ユーザーズマニュアル 基本編」を参照してください。

出力を並べ替える（ソート）

ソート機能を有効にすると、ページ順に 1 部ずつ出力されます。手作業でページをそろえる必要はありません。工場出荷時の設定では、ソート機能は有効になっています。

1 <**コピー**> キーを押します。

2 原稿を自動原稿送り装置または、原稿ガラスにセットします。

3 ▶を押して［**設定変更**］メニューに入ります。

4 ▼を押して［**ソート**］を選択し、OKを押します。

5 ▼を押して［**オン**］を選択し、OKを押します。

6 スタート画面が表示されるまで、◀を押します。

7 部数を入力します。

8 モノクロ または カラー を押します。

参照

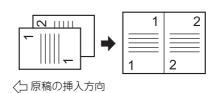
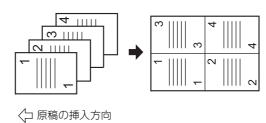
- 継続読取モードを使用すると、複数の原稿をまとめてコピーできます。また、自動原稿送り装置と原稿ガラスの両方を使用して、1 つのジョブとしてコピーすることもできます。詳しくは、「ユーザーズマニュアル　基本編」を参照してください。

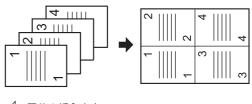
1 枚の用紙に複数のページをコピーする（集約）

集約機能を使用すると、複数ページの原稿を 1 枚の用紙の片面に縮小コピーできます。片面に、2 ページまたは 4 ページ印刷できます。

- 2 枚

原稿の挿入方向

- 4 枚→ 縦並び

原稿の挿入方向

- 4 枚→ 横並び

原稿の挿入方向

注

- 原稿上部が最初にスキャンされるようにセットしてください。
- 希望どおりの出力結果が得られるように、［**原稿の画像向き**］に、原稿の向きを正しく指定してください。
- ［**集約**］を有効にしているときは、［**拡大 / 縮小**］は、自動的に［**自動**］に設定されます。希望の倍率を指定するには、［**集約**］を設定してから、［**拡大 / 縮小**］を設定してください。
- 用紙、原稿、倍率によっては、原稿の一部がコピーされないことがあります。
- ［**集約**］を有効にしているときは、用紙トレイは自動的に選択されます。

参照

- 原稿のセット方法については、「ユーザーズマニュアル　基本編」を参照してください。

1 ＜**コピー**＞キーを押します。

2 原稿を自動原稿送り装置または、原稿ガラスにセットします。

3 ▶を押して［**設定変更**］メニューに入ります。

4 ▼を押して［**集約**］を選択し、OKを押します。

5 ▼を押して集約方法を選択し、OKを押します。

6 スタート画面が表示されるまで、◀を押します。

7 部数を入力します。

8 モノクロまたはカラーを押します。

メモ

- 原稿ガラスを使用するときは、継続読取モードが自動的に有効になります。表示画面に表示される指示に従ってください。

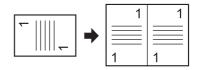
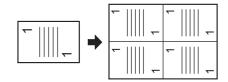
参照

- 継続読取モードを使用すると、複数の原稿をまとめてコピーできます。また、自動原稿送り装置と原稿ガラスの両方を使用して、1 つのジョブとしてコピーすることもできます。詳しくは、「ユーザーズマニュアル　基本編」を参照してください。

1 枚の用紙に繰り返しコピーする（リピート）

同じ原稿を 1 枚の用紙の片面に繰り返しコピーできます。画像は、2 回または 4 回繰り返すことができます。

- 2 回

- 4 回

注

- ［**リピート**］を有効にしているときは、［**拡大 / 縮小**］は、自動的に［**自動**］に設定されます。希望の倍率を指定するには、［**リピート**］を設定してから、［**拡大 / 縮小**］を設定してください。
- 希望どおりの出力結果が得られるように、［**原稿の画像向き**］に、原稿の向きを正しく指定してください。
- 用紙、原稿、倍率によっては、原稿の一部がコピーされないことがあります。
- リピート機能を有効にしているときは、用紙トレイは自動的に設定されます。

1 ＜**コピー**＞キーを押します。

2 原稿を自動原稿送り装置または、原稿ガラスにセットします。

3 ▶を押して［**設定変更**］メニューに入ります。

4 ▼を押して［**リピート**］を選択し、OKを押します。

5 ▼を押してリピート方法を選択し、OKを押します。

6 スタート画面が表示されるまで、◀を押します。

7 部数を入力します。

8 モノクロまたはカラーを押します。

参照

- 継続読取モードを使用すると、複数の原稿をまとめてコピーできます。また、自動原稿送り装置と原稿ガラスの両方を使用して、1 つのジョブとしてコピーすることもできます。詳しくは、「ユーザーズマニュアル　基本編」を参照してください。

ID カードをコピーする（ID カードコピー）

ID カードコピー機能を使用すると、ID カード（免許証など）の両面を 1 枚の用紙の片面にコピーできます。

注

- ID カードコピー機能では、自動原稿送り装置は使用できません。
- 原稿ガラスの端から 2mm は読み取り余白となります。
- 指定した用紙サイズの半分の領域をスキャンします。原稿が用紙サイズの半分より大きいと、はみ出している部分はスキャンされません。

1 <コピー>キーを押します。

2 ▶を押して［**設定変更**］メニューに入ります。

3 ▼を押して［**ID カードコピー**］を選択し、OKを押します。

4 ▼を押して［**オン**］を選択し、OKを押します。

5 スタート画面が表示されるまで、◀を押します。

6 カードを裏返して原稿ガラスにセットします。

7 部数を入力します。

8 モノクロまたはカラーを押します。

9 ［**うら面をセットしてください。**］と表示されたら、カードの裏面を原稿ガラスに向けてセットします。

10 ［**読み取り開始**］が選択されていることを確認し、OKを押します。

周囲の影を消す（枠消去）

原稿ガラスカバーを開けたままでコピーしたり、書籍をコピーすると、周囲に黒い影が印刷されることがあります。

枠消去機能を使用すると、周囲にできる黒い影を消すことができます。

参照

- ［**枠消去**］を初期設定として有効にすると、コピーするたびに以下の操作を行う必要はなくなります。詳しくは、「管理者設定」（P. 80）を参照してください。工場出荷時の設定では、枠消去機能は幅 2 mm 設定で有効になっています。

1 <コピー>キーを押します。

2 原稿を自動原稿送り装置または、原稿ガラスにセットします。

3 ▶を押して［**設定変更**］メニューに入ります。

4 ▼を押して［**枠消去**］を選択し、OKを押します。

5 ▼を押して［**オン**］を選択し、OKを押します。

6 テンキーで幅の値を入力し、OKを押します。

7 スタート画面が表示されるまで、◀を押します。

8 部数を入力します。

9 モノクロまたはカラーを押します。

とじしろを設定する（とじしろ）

とじしろ機能を使用すると、とじしろを設定できます。出力紙をホチキスでとじたり、穴を開けたりするときに便利です。［**上幅**］および［**左幅**］値を指定して、上側、下側、左側、右側のとじしろを設定できます。

注

- 原稿の一部がコピーされないことがあります。
- 倍率を変更しても、指定したとじしろは変わりません。
- 希望どおりの出力結果が得られるように、［**原稿の画像向き**］で、原稿の向きを正しく指定してください。

参照

- ［**とじしろ**］を初期設定として有効にすると、コピーするたびに以下の操作を行う必要はなくなります。詳しくは、「管理者設定」（P. 80）を参照してください。

■ 片面にコピーする

1 <コピー>キーを押します。

2 原稿を自動原稿送り装置または、原稿ガラスにセットします。

3 ▶を押して［**設定変更**］メニューに入ります。

4 ▼を押して［**とじしろ**］を選択し、OKを押します。

5 ▼を押して［**オン**］を選択し、OKを押します。

6 ▼または▲を押して［**おもて面とじしろ**］の［**上幅**］にとじしろを指定し、▶を押します。
- 出力の上側にとじしろを作るには、正の値を指定します。
- 出力の下側にとじしろを作るには、負の値を指定します。

7 ▼または▲を押して［**おもて面とじしろ**］の［**左幅**］にとじしろを指定し、OKを押します。

- 出力の左側にとじしろを作るには、正の値を指定します。
- 出力の右側にとじしろを作るには、負の値を指定します。

メモ

- 片面にコピーする場合は、［**うら面とじしろ**］のとじしろを指定する必要はありません。

8 スタート画面が表示されるまで、◀を押します。

9 部数を入力します。

10 モノクロ または カラー を押します。

メモ

- すべての値を［0］に設定すると、［**とじしろ**］は無効になります。

■ 両面にコピーする

［**とじしろ**］を有効にして両面にコピーするときは、［**うら面とじしろ**］のとじしろを指定する必要があります。

1 <**コピー**>キーを押します。

2 原稿を自動原稿送り装置または、原稿ガラスにセットします。

3 ［**両面**］を設定します。

参照

- 両面コピーの設定については、「ユーザーズマニュアル　基本編」を参照してください。

4 ▶を押して［**設定変更**］メニューに入ります。

5 ▼を押して［**とじしろ**］を選択し、OKを押します。

6 ▼を押して［**オン**］を選択し、OKを押します。

7 ▼または▲を押して［**おもて面とじしろ**］の［**上幅**］にとじしろを指定し、▶を押します。

- 出力の上側にとじしろを作るには、正の値を指定します。
- 出力の下側にとじしろを作るには、負の値を指定します。

8 ▼または▲を押して［**おもて面とじしろ**］の［**左幅**］にとじしろを指定し、▶を押します。

- 出力の左側にとじしろを作るには、正の値を指定します。
- 出力の右側にとじしろを作るには、負の値を指定します。

9 ▼または▲を押して［**うら面とじしろ**］の［**上幅**］にとじしろを指定し、▶を押します。

- 出力の上側にとじしろを作るには、正の値を指定します。
- 出力の下側にとじしろを作るには、負の値を指定します。

メモ

- ［**おもて面とじしろ**］と［**うら面とじしろ**］の両方の［**上幅**］に、同じ値を指定します。

10 ▼または▲を押して［**うら面とじしろ**］の［**左幅**］にとじしろを指定し、OKを押します。

- 出力の左側にとじしろを作るには、正の値を指定します。
- 出力の右側にとじしろを作るには、負の値を指定します。

メモ

- ［**おもて面とじしろ**］と［**うら面とじしろ**］の両方の［**左幅**］に、同じ値を指定します。

11 スタート画面が表示されるまで、◀を押します。

12 部数を入力します。

13 モノクロ または カラー を押します。

メモ

- とじしろの位置は、［**原稿の画像向き**］に従います。
［**原稿の画像向き**］が［**縦**］の場合は、短辺が上下端、長辺が左右端、［**原稿の画像向き**］が［**横**］の場合は、長辺が上下端、短辺が左右端になります。
- 原稿ガラスを使用するときは、継続読取モードが自動的に有効になります。表示画面に表示される指示に従ってください。
- すべての値を［0］に設定すると、［**とじしろ**］は無効になります。

サイズが異なる原稿をコピーする（ミックス原稿）

同じ幅で長さが異なる複数の原稿を自動原稿送り装置にセットして、それぞれのサイズの用紙にそれぞれコピーできます。

注

- ミックス原稿機能は、原稿サイズの組み合わせがレターとリーガル 14、レターとリーガル 13.5 のときのみ使用できます。
- ［**ミックス原稿**］を有効にすると、［**給紙トレイ**］は選択できません。原稿に合った用紙トレイが自動で選択され、給紙されます。
- ［**ミックス原稿**］は、［**拡大 / 縮小**］が［**Fit to page(98%)**］または［**100%**］に設定されているときだけ使用できます。
- ［**枠消去**］と［**ミックス原稿**］は同時に設定できません。
- ミックス原稿機能を使用するには、<**設定**>キーを押し、［**用紙**］>［**印刷トレイ指定**］>［**コピー**］を選択して、複数の用紙トレイを有効にしてください。
- MP トレイを使用するときは、MP トレイに用紙をセットしてから、［**ミックス原稿**］メニューに入ります。

メモ

- ミックス原稿機能では、普通紙のみ使用できます。
- ここでは、トレイ 1 と MP トレイを使い、トレイ 1 にリーガル 14、MP トレイにレター用紙をセットした場合を例にしています。

1. トレイ 1 にリーガル 14 用紙を、MP トレイにレター用紙をセットします。
2. <**設定**>キーを押します。
3. ▼を押して［**用紙**］を選択し、OKを押します。
4. トレイ 1 の［**用紙サイズ**］を［**リーガル 14**］に、MP トレイの［**用紙サイズ**］を［**レター**］に設定します。
5. トップ画面が表示されるまで、◀を押します。
6. <**コピー**>キーを押します。
7. レターサイズとリーガル 14 サイズのミックスした原稿を自動原稿送り装置にセットします。
8. ▶を押して［**設定変更**］メニューに入ります。
9. ▼を押して［**ミックス原稿**］を選択し、OKを押します。
10. ▼を押して［**オン**］を選択し、OKを押します。
11. スタート画面が表示されるまで、◀を押します。
12. スタート画面に以下の設定が表示されていることを確認します。

    ［**ミックス原稿**］：　オン
    ［**給紙トレイ**］：　自動
    ［**拡大 / 縮小**］：　100%
    ［**読取サイズ**］：　リーガル 14

13. 部数を入力します。
14. モノクロ または カラー を押します。

複数の機能を使用するときの注意

機能を設定できないとき

組み合わせによっては、機能を使用できない場合があります。その場合は、メッセージが表示されます。

たとえば、［**とじしろ**］を指定しているときは、［**集約**］と［**リピート**］は設定できません。

とじしろ選択時は集約/リピートの
設定はできません。

メッセージに表示された機能のうち、不要な機能の設定を取り消して、再度、使いたい機能を設定してください。

メモ

- 機能によっては、ほかの機能と併用できないものがあります。

機能の設定を取り消す

いずれかの機能の設定を取り消すには、設定を初期設定に戻します。

1. <**コピー**>キーを押します。
2. ▶を押して［**設定変更**］メニューに入ります。
3. ▼を押して取り消したい機能を選択し、OKを押します。
4. ▼を押して初期設定値を選択し、OKを押します。
5. スタート画面が表示されるまで、◀を押します。

メモ

- 工場出荷時の設定から初期値を変更している場合は、変更後の初期値を選択してください。

参照

- 各機能の工場出荷時の設定については、「管理者設定」（P. 80）を参照してください。

2. ファクス

この章では、ファクスのときに便利な機能と操作について説明します。

■ 送信時に便利な機能

この節では、ファクス送信時に便利な機能について説明します。

メモ

- ［**管理者設定**］メニューに入るには、管理者パスワードが必要です。工場出荷時のパスワードは「aaaaaa」です。

参照

- 宛先の指定方法については、「ユーザーズマニュアル　基本編」を参照してください。
- 自動原稿送り装置または原稿ガラスに原稿をセットする方法については、「ユーザーズマニュアル　基本編」を参照してください。

両面原稿を送信する（両面読取）

自動原稿送り装置を使って、両面原稿を送信することができます。

注

- 原稿ガラスは、この操作には使用できません。

1. 原稿を自動原稿送り装置にセットします。
2. ＜**ファクス**＞キーを押します。
3. ［**ファクス**］が選択されていることを確認し、OKを押してスタート画面を開きます。
4. ▼を押して［**応用設定**］を選択し、OKを押します。
5. ▼を押して［**両面読取**］を選択し、OKを押します。
6. ▼を押して両面読取方法を選択し、OKを押します。
   ［**長辺とじ**］または［**短辺とじ**］を指定できます。
7. スタート画面が表示されるまで、◀を押します。
8. 宛先を指定します。
9. モノクロを押して、送信を始めます。

原稿のセット場所を変更してファクスを送信する

ファクス送信原稿の読み取りには、自動原稿送り装置と原稿ガラスの両方を使用できます。たとえば原稿と本の一部を１つのファクスとして送信できます。

1. ＜**ファクス**＞キーを押します。
2. ［**ファクス**］が選択されていることを確認し、OKを押してスタート画面を開きます。
3. ▼を押して［**応用設定**］を選択し、OKを押します。
4. ▼を押して［**継続読取**］を選択し、OKを押します。
5. ▼を押して［**オン**］を選択し、OKを押します。
6. スタート画面が表示されるまで、◀を押します。
7. 原稿を自動原稿送り装置または、原稿ガラスにセットします。
8. 宛先を指定します。
9. モノクロを押します。
10. ［**次の原稿をセットしてください。**］と表示されたら、次の原稿を自動原稿送り装置または、原稿ガラスにセットします。
11. ［**読み取り開始**］が選択されていることを確認し、OKを押します。
12. 必要に応じて、ファクス送信する原稿ごとに手順 10 ～ 11 を繰り返します。

13 すべての原稿の読み取りが終了したら、▼を押して［**読み取り完了**］を選択し、OKを押します。

参照

- 読み取りを中止したり送信を取り消したりする方法については、「ユーザーズマニュアル　基本編」を参照してください。

発信元名を変更する

送信するファクスに印刷される発信元名を変更できます。あらかじめ、発信元名を登録しておく必要があります。

参照

- 以下の機能を使用する前に、［**発信元名**］が有効にされていることを確認します。詳しくは、「ユーザーズマニュアル　基本編」を参照してください。

■ 発信元名を登録する

最大 3 つの発信元名を登録できます。

メモ

- 「ユーザーズマニュアル　基本編」に記載されている、ファクス送信のための基本設定で、［**送信者情報**］を設定すると、その名前が自動的に［**発信元名 1**］に登録されます。

1 ＜**設定**＞キーを押します。

2 ▼を押して［**管理者設定**］を選択し、OKを押します。

3 管理者パスワードを入力します。

4 ［**決定**］を選択し、OKを押します。

5 ▼を押して［**運用初期設定**］を選択し、OKを押します。

6 ▼を押して［**発信元名登録 / 変更**］を選択し、OKを押します。

7 ▼を押して発信元番号を選択し、OKを押します。

8 名前を入力します。

最大半角 22 文字まで入力できます。

9 ［**決定**］を選択し、OKを押します。

10 トップ画面が表示されるまで、◀を押します。

注

- ［**送信者情報**］は、半角英数字・半角カナのみをご使用ください。Web ページや Configration tool を使用して入力すると全角文字（漢字・平仮名）を入力可能な場合がありますが、全角文字で［**送信者情報**］を登録した場合、送信するファクスの送信者情報欄（送信元名欄）は印刷されません。

■ ファクスに印刷される発信元名を変更する

工場出荷時の設定では、［**発信元名**］を有効にしていると、標準発信元名がファクスに印刷されます。標準発信元名以外の発信元名を使用するには、以下の操作を行います。

1 ＜**ファクス**＞キーを押します。

2 ［**ファクス**］が選択されていることを確認し、OKを押してスタート画面を開きます。

3 ▼を押して［**応用設定**］を選択し、OKを押します。

4 ▼を押して［**発信元選択**］を選択し、OKを押します。

5 ▼を押して使用したい発信元名を選択し、OKを押します。

6 スタート画面が表示されるまで、◀を押します。

■ 標準発信元名を変更する

頻繁に使用する発信元名がある場合、その名前を標準発信元名に指定することをおすすめします。

メモ

- 「ユーザーズマニュアル　基本編」に記載されている、ファクス送信のための基本設定で、［**送信者情報**］を設定します。工場出荷時の設定では、この名前が標準発信元名として使用されます。

1 ＜**設定**＞キーを押します。

2 ▼を押して［**管理者設定**］を選択し、OKを押します。

3 管理者パスワードを入力します。

4 ［**決定**］を選択し、OKを押します。

5 ▼を押して［**運用初期設定**］を選択し、OKを押します。

6 ▼を押して［**標準発信元名**］を選択し、OKを押します。

7 ▼を押して使用したい発信元名を選択し、OKを押します。

8 トップ画面が表示されるまで、◀を押します。

局番を設定する（プレフィクス）

宛先番号に局番を追加できます。また、短縮ダイヤルに番号を登録するときにも局番を追加できます。

局番を登録する

あらかじめ、局番を［**プレフィクス**］に登録しておく必要があります。最大 40 桁まで登録できます。

1 ＜**設定**＞キーを押します。
2 ▼を押して［**管理者設定**］を選択し、OKを押します。
3 管理者パスワードを入力します。
4 ［**決定**］を選択し、OKを押します。
5 ▼を押して［**ファクス機能**］を選択し、OKを押します。
6 ▼を押して［**その他の設定**］を選択し、OKを押します。
7 ▼を押して［**プレフィクス**］を選択し、OKを押します。
8 局番を入力します。
9 ［**決定**］を選択し、OKを押します。
10 トップ画面が表示されるまで、◀を押します。

参照

- # や * などの記号を使用できます。詳しくは、「ユーザーズマニュアル　基本編」を参照してください。

ファクス送信時に局番を使用する

宛先番号をテンキーで入力するときのみ、局番を追加できます。宛先をテンキーで指定するときに、以下の操作を行います。

1 宛先入力画面で、▲と◀を押して［**プレフィクス :N**］を選択し、OKを押します。
局番は「N」で表示されます。
2 宛先番号を入力します。
3 ［**決定**］を選択し、OKを押します。

メモ

- 局番を入力し、その次に短縮ダイヤルを使用することはできません。

短縮ダイヤル番号の登録時に局番を使用する

短縮ダイヤル番号に局番を追加できます。短縮ダイヤルに番号を登録するときに、以下の操作を行います。

参照

- 短縮ダイヤルに番号を登録する方法については、「ユーザーズマニュアル　基本編」を参照してください。

1 短縮ダイヤル登録のファクス番号入力画面で、▲と◀を押して［**プレフィクス :N**］を選択し、OKを押します。
局番は「N」で表示されます。
2 ファクス番号を入力します。
3 ［**決定**］を選択し、OKを押します。

■ 各種の送信機能

この節では、各種のファクス送信機能について説明します。

メモ

- ［**管理者設定**］メニューに入るには、管理者パスワードが必要です。工場出荷時のパスワードは「aaaaaa」です。

参照

- 宛先の指定方法については、「ユーザーズマニュアル　基本編」を参照してください。

リダイヤル

自動リダイヤル

初回のファクス送信に失敗した場合、本機が自動的にリダイヤルを行います。また、相手先の機械が話し中のとき、応答しないとき、あるいは通信エラーが発生したときにも、自動的にリダイヤルを行います。

リダイヤルの回数と間隔を設定するには、以下の操作を行います。

メモ

- 指定した回数のリダイヤルを行っても送信されなかった場合、メモリに蓄積した原稿が消去され、エラーメッセージが印刷されます。

1. ＜**設定**＞キーを押します。
2. ▼を押して［**管理者設定**］を選択し、OKを押します。
3. 管理者パスワードを入力します。
4. ［**決定**］を選択し、OKを押します。
5. ▼を押して［**ファクス機能**］を選択し、OKを押します。
6. ▼を押して［**その他の設定**］を選択し、OKを押します。
7. ［**リダイヤル回数**］が選択されていることを確認し、OKを押します。
8. テンキーでリダイヤル回数を指定し、OKを押します。
9. ▼を押して［**リダイヤル間隔**］を選択し、OKを押します。
10. テンキーでリダイヤル間隔を指定し、OKを押します。
11. トップ画面が表示されるまで、◀を押します。

手動リダイヤル

手動でリダイヤルするには、送信履歴から宛先を指定します。

参照

- 送信履歴については、「ユーザーズマニュアル　基本編」を参照してください。

リアルタイム送信

自動送信には、原稿を読み込んだあとに送信を開始するメモリ送信と、原稿を読み取りながら送信するリアルタイム送信とがあります。

- リアルタイム送信

リアルタイム送信とは、原稿をメモリに読み込まずに相手へ直接送信する方法です。送信操作後、すぐに送信を開始するので、相手に送られていることを確認できます。

- メモリ送信

メモリ送信とは、原稿をメモリに読み込んでから送信する方法です。送信終了を待たずに原稿を持ち帰ることができ、時間のロスが少なくなります。

工場出荷時は、メモリ送信に設定されています。

リアルタイム送信を有効にするには、以下の操作を行います。

! 注

- リアルタイム送信で原稿ガラスを使用する場合、1 ページのみ読み取ることができます。
- リアルタイム送信でファクスを送信している間、自動原稿送り装置や原稿ガラスを使用する操作は行えません。

1. ＜**ファクス**＞キーを押します。
2. ［**ファクス**］が選択されていることを確認し、OKを押してスタート画面を開きます。
3. ▼を押して［**応用設定**］を選択し、OKを押します。
4. ▼を押して［**メモリ送信**］を選択し、OKを押します。
5. ▼を押して［**オフ**］を選択し、OKを押します。

6 原稿を自動原稿送り装置または、原稿ガラスにセットします。

7 宛先を指定します。

8 [モノクロ]を押します。

手動送信

相手が手動受信モードの場合や、電話での会話のあとでファクスを送信したい場合は、ファクスを手動で送信します。

注

- 手動送信で原稿ガラスを使用する場合、1 ページのみ読み取ることができます。
- ファクスを手動で送信するには、電話機を本機に接続する必要があります。
- 手動送信では、以下の機能は使用できません。
  - 同報送信
  - 時刻指定送信
  - F コード送信
  - ID チェック送信
  - 同報宛先確認
  - ダイヤル 2 度押し

メモ

- メモリ送信を無効にする必要はありません。
- 本機がファクス機能以外のスタート画面を表示していても、受話器を持ち上げることで手動送信することができます。

1 受話器を上げます。

2 番号をダイヤルします。

3 原稿を自動原稿送り装置または、原稿ガラスにセットします。

4 必要に応じて、ファクス機能を設定します。

5 「ピープルプル」という音が聞こえたら、[モノクロ]を押して送信を開始します。

受話器を下ろすことができます。

メモ

- 受話器を下ろした場合、送信が完了すると、本機の表示画面は手動送信開始前に表示されていた画面へ戻ります。
受話器を上げたままの場合、送信完了後、そのまま通話することができます。

複数の宛先への送信（同報送信）

ファクスを複数の宛先に同時に送信できます。テンキー、短縮ダイヤル、および宛先グループリストを使用して、最大 100 件の宛先を指定できます。

1 原稿を自動原稿送り装置または、原稿ガラスにセットします。

2 ＜**ファクス**＞キーを押します。

3 ［**ファクス**］が選択されていることを確認し、OKを押してスタート画面を開きます。

4 ［**宛先選択**］が選択されていることを確認し、OKを押します。

5 宛先を指定します。

6 手順 4 ～ 5 を繰り返して、すべての宛先を入力します。

7 宛先をすべて指定したら、[モノクロ]を押します。

メモ

- 操作を中止するには、＜**リセット / ログアウト**＞キーを押します。

参照

- ［**同報宛先確認**］が有効である場合、送信の前に宛先番号が表示されます。詳しくは、「同報宛先確認」（P. 29）を参照してください。
- 送信を取り消す方法については、「ユーザーズマニュアル　基本編」を参照してください。

■ 宛先グループリストを使用する

宛先グループリストは同報送信に便利です。ファクス送信前に、あらかじめ宛先グループリストを登録しておいてください。

参照

- 宛先グループリストを使用した送信については、「ユーザーズマニュアル　基本編」を参照してください。

時刻指定送信（時刻指定）

指定の時刻にファクスを送信できます。時刻指定送信を設定すると、ファクスデータはメモリに保存され、指定時刻に自動的に送信されます。

20 件までのファクス送信を最長 1 か月先まで設定できます。

1. 原稿を自動原稿送り装置または、原稿ガラスにセットします。
2. ＜**ファクス**＞キーを押します。
3. ［**ファクス**］が選択されていることを確認し、OKを押してスタート画面を開きます。
4. ▼を押して［**応用設定**］を選択し、OKを押します。
5. ▼を押して［**時刻指定**］を選択し、OKを押します。
6. ▼を押して［**オン**］を選択し、OKを押します。
7. ▲または▼を押して送信する日付と時刻を選択し、OKを押します。
   - 次のボックスに移動するには、▶を押します。
   - 日付は、「**日にち / 月**」で表示されます。
8. スタート画面が表示されるまで、◀を押します。
9. ▲を押して［**宛先選択**］を選択し、OKを押します。
10. 宛先を指定します。
11. モノクロ を押します。

メモ

- 指定した予約時刻を変更したい場合は、いったん予約を取り消してから、あらためて時刻指定を行ってください。
- 本機が送信中でもほかのファクス送信の予約をすることができます。

参照

- ファクス送信の取り消し方法については、「ユーザーズマニュアル　基本編」を参照してください。

F コード通信

F コード通信は、ITU-T の規格に従って、通信にサブアドレスを使用します。F コードボックスを作成して登録することにより、親展通信および掲示板通信を実行できます。

F コードボックスは 20 個まで登録できます。

F コードボックスを登録するときは、必ずサブアドレスを登録してください。サブアドレスは F コードボックスを識別するために使用されます。

■ F コード親展通信

相手先の機械に F コード親展ボックスが設定されている場合は、その親展ボックスのサブアドレスを指定することにより、親展送信を行うことができます。

受信原稿を印刷するには、指定された暗証番号の入力が必要です。この機能はセキュリティ保護を必要とする原稿のやりとりに便利です。

参照

- F コード親展通信を使用してファクスを送信するには、「サブアドレスを使用した送信（F コード送信）」（P. 26）を参照してください。
- F コード親展通信を使用して受信したファクスを印刷するには、「蓄積された原稿を印刷する」（P. 27）を参照してください。

■ F コード掲示板通信

相手先の機械に F コード掲示板ボックスが設定されている場合、その掲示板ボックスのサブアドレスを指定して、掲示板ボックスへ原稿を送信したり取り出したりできます。

参照

- 相手先の機械の掲示板ボックスにファクスを送信するには、「サブアドレスを使用した送信（F コード送信）」（P. 26）を参照してください。
- 相手先の機械の掲示板ボックスに蓄積されたファクスを受信するには、「サブアドレスを使用した受信（F ポーリング）」（P. 27）を参照してください。
- 本機の掲示板ボックスに原稿を蓄積するには、「掲示板ボックスに原稿を蓄積する」（P. 27）を参照してください。

F コードボックスを登録する

F コード通信を行うには、F コードボックスを登録します。それぞれの F コードボックスのサブアドレスおよび暗証番号（F コード親展ボックスのみ）を必ず登録してください。

メモ

- 最大文字数は次のとおりです。
  - ボックス名 : 最大半角 16 文字
  - サブアドレス :# や * を含めて最大 20 桁
  - 暗証番号 : 4 桁

参照

- 文字を入力する方法については、「ユーザーズマニュアル　基本編」を参照してください。

■ F コード親展通信の場合

1 ＜**設定**＞キーを押します。

2 ▼を押して［**管理者設定**］を選択し、OKを押します。

3 管理者パスワードを入力します。

4 ［**決定**］を選択し、OKを押します。

5 ▼を押して［**ファクス機能**］を選択し、OKを押します。

6 ▼を押して［**F コードボックス**］を選択し、OKを押します。

7 ▼を押してボックス番号を選択し、OKを押します。

8 ［**登録**］が選択されていることを確認し、OKを押します。

登録済みの F コード親展ボックスを編集する場合は、暗証番号を入力し、［**編集**］を選択します。

9 ［**親展ボックス**］が選択されていることを確認し、OKを押します。

10 ［**ボックス名**］が選択されていることを確認し、▶を押します。

11 ボックス名を入力します。

12 ［**決定**］を選択し、OKを押します。

13 ▼を押して［**サブアドレス**］を選択し、▶を押します。

14 サブアドレスを入力します。

15 ［**決定**］を選択し、OKを押します。

16 ▼を押して［**暗証番号**］を選択し、▶を押します。

17 暗証番号を入力し、OKを押します。

! 注

● 入力した暗証番号は表示されません。暗証番号を必ず書き留めて、安全に保管しておいてください。

18 必要に応じて、［**保存期間**］を指定して、原稿の保存期間を設定します。

a) ▼を押して［**保存期間**］を選択し、▶を押します。

b) 0 ～ 31 の値（日）を入力し、OKを押します。

メモ

● ［0］（日）を設定すると、原稿は無期限に保持されます。

19 OKを押します。

■ F コード掲示板通信の場合

1 ＜**設定**＞キーを押します。

2 ▼を押して［**管理者設定**］を選択し、OKを押します。

3 管理者パスワードを入力します。

4 ［**決定**］を選択し、OKを押します。

5 ▼を押して［**ファクス機能**］を選択し、OKを押します。

6 ▼を押して［**F コードボックス**］を選択し、OKを押します。

7 ▼を押してボックス番号を選択し、OKを押します。

8 ［**登録**］が選択されていることを確認し、OKを押します。

登録済みの F コード掲示板ボックスを編集する場合は、［**編集**］を選択します。

9 ▼を押して［**掲示板ボックス**］を選択し、OKを押します。

10 ［**ボックス名**］が選択されていることを確認し、▶を押します。

11 ボックス名を入力します。

12 ［**決定**］を選択し、OKを押します。

13 ▼を押して［**サブアドレス**］を選択し、▶を押します。

14 サブアドレスを入力します。

15 ［**決定**］を選択し、OKを押します。

16 OKを押します。

サブアドレスを使用した送信（F コード送信）

サブアドレスを入力して、F コード親展送信および F コード掲示板送信を行うことができます。

メモ

● 送信前に、宛先のサブアドレスを確認してください。

1 原稿を自動原稿送り装置または、原稿ガラスにセットします。

2 ＜**ファクス**＞キーを押します。

3 ［ファクス］が選択されていることを確認し、OKを押して、スタート画面を開きます。

4 ▼を押して［**応用設定**］を選択し、OKを押します。

5 ▼を押して［**F コード送信**］を選択し、OKを押します。

6 ▼を押して［**オン**］を選択し、OKを押します。

7 相手先の機械に登録されているボックスのサブアドレスを入力します。

8 ［**決定**］を選択し、OKを押します。

9 スタート画面が表示されるまで、◀を押します。

10 ▲を押して［**宛先選択**］を選択し、OKを押します。

11 宛先を指定します。

12 モノクロを押します。

サブアドレスを使用した受信（F ポーリング）

相手機に登録された掲示板ボックスのサブアドレスを入力して、F コードポーリングを行うことができます。この機能を使用すると、本機の指示に応答して相手機がファクスを送信します。

注

- 相手機が掲示板ボックスにパスワードを設定している場合は、原稿を受信できません。

1 ＜**ファクス**＞キーを押します。

2 ［**ファクス**］が選択されていることを確認し、OKを押してスタート画面を開きます。

3 ▼を押して［**応用設定**］を選択し、OKを押します。

4 ▼を押して［**F ポーリング**］を選択し、OKを押します。

5 ▼を押して［**オン**］を選択し、OKを押します。

6 相手機に登録されている掲示板ボックスのサブアドレスを入力します。

7 ［**決定**］を選択し、OKを押します。

8 スタート画面が表示されるまで、◀を押します。

9 ▲を押して［**宛先選択**］を選択し、OKを押します。

10 相手機を指定します。

11 モノクロを押します。

メモ

- 受信した原稿は自動的に印刷されます。

掲示板ボックスに原稿を蓄積する

1 件の原稿のみ、本機の掲示板ボックスに蓄積できます。

参照

- あらかじめ、掲示板ボックスを登録しておく必要があります。掲示板ボックスの登録方法については、「F コードボックスを登録する」（P. 25）を参照してください。

1 原稿を自動原稿送り装置または、原稿ガラスにセットします。

2 ＜**設定**＞キーを押します。

3 ▼を押して［**原稿蓄積設定**］を選択し、OKを押します。

4 ［**蓄積**］が選択されていることを確認し、OKを押します。

5 ［**F コード掲示板**］が選択されていることを確認し、OKを押します。

6 ▼を押してボックス番号を選択し、OKを押します。

7 ［**上書き**］が選択されていることを確認し、OKを押します。
ボックスの原稿を置き換えます。

8 確認画面で◀または▶を押して［**はい**］を選択し、OKを押します。

メモ

- F コード掲示板ボックスに蓄積した原稿は、相手側が取得しても削除されません。

蓄積された原稿を印刷する

親展受信原稿を印刷できます。

F コードボックスに原稿を受信すると、F コード受信通知が出力されます。F コードボックス番号を確認して、蓄積された原稿を印刷します。

1 ＜**設定**＞キーを押します。

2 ▼を押して［**原稿蓄積設定**］を選択し、OKを押します。

3 ▼を押して［**印刷**］を選択し、OKを押します。

4 ［**F コードボックス**］が選択されていることを確認し、OKを押します。

5 ▼を押してボックス番号を選択し、OKを押します。

6 必要に応じて、暗証番号を入力し、OKを押します。

7 ▼を押して印刷するファイル番号を選択し、OKを押します。

8 確認画面で◀または▶を押して［**はい**］を選択し、OKを押します。

メモ

- 親展受信原稿は、印刷したあと、自動的に削除されます。

掲示板ボックスに蓄積された原稿を削除する

掲示板ボックスに蓄積された原稿を削除できます。

メモ

- F コード親展ボックスに蓄積された原稿は、印刷すると、ボックスから自動的に削除されます。
- F コード掲示板ボックスに蓄積された原稿は、その原稿を相手側が取得しても、ボックスからは削除されません。

1 ＜**設定**＞キーを押します。

2 ▼を押して［**原稿蓄積設定**］を選択し、OKを押します。

3 ▼を押して［**削除**］を選択し、OKを押します。

4 ［**F コード掲示板**］が選択されていることを確認し、OKを押します。

5 ▼を押して削除する原稿の入ったボックス番号を選択し、OKを押します。

6 確認画面で◀または▶を押して［**はい**］を選択し、OKを押します。

F コードボックスを削除する

不要な F コード親展ボックスや F コード掲示板ボックスは削除できます。

1 ＜**設定**＞キーを押します。

2 ▼を押して［**管理者設定**］を選択し、OKを押します。

3 管理者パスワードを入力します。

4 ［**決定**］を選択し、OKを押します。

5 ▼を押して［**ファクス機能**］を選択し、OKを押します。

6 ▼を押して［**F コードボックス**］を選択し、OKを押します。

7 ▼を押して削除するボックス番号を選択し、OKを押します。

8 必要に応じて、暗証番号を入力し、OKを押します。

F コード掲示板ボックスを削除する場合は、暗証番号は不要です。

9 ▼を押して［**削除**］を選択し、OKを押します。

10 確認画面で◀または▶を押して［**はい**］を選択し、OKを押します。

セキュリティ機能

この節では、ファクス送信時のセキュリティ機能について説明します。

メモ

- ［**管理者設定**］メニューに入るには、管理者パスワードが必要です。工場出荷時のパスワードは「aaaaaa」です。

参照

- 宛先の指定方法については、「ユーザーズマニュアル　基本編」を参照してください。

送信時のセキュリティ機能

本機のファクス送信時のセキュリティ機能には以下の3種類があります。

- ID チェック送信
- 同報宛先確認
- ダイヤル 2 度押し

上記の機能は、間違った宛先にファクスが送信されることを防止するのに役立ちます。

ID チェック送信

入力した宛先番号の下 4 桁を確認して、宛先の機械に登録されている 4 桁と照合します。ID チェック送信機能が有効になっている場合は、4 桁が一致するときのみ送信が行われます。

メモ

- 宛先の機械にファクス番号が登録されていない場合、ファクス送信は行われません。
- ID チェック送信機能は手動送信では使用できません。

■ 設定

1. ＜**設定**＞キーを押します。
2. ▼を押して［**管理者設定**］を選択し、OKを押します。
3. 管理者パスワードを入力します。
4. ［**決定**］を選択し、OKを押します。
5. ▼を押して［**ファクス機能**］を選択し、OKを押します。
6. ▼を押して［**セキュリティ機能**］を選択し、OKを押します。
7. ［**ID チェック送信**］が選択されていることを確認し、OKを押します。
8. ▼を押して［**オン**］を選択し、OKを押します。
9. トップ画面が表示されるまで、◀を押します。

■ 操作

1. 原稿を自動原稿送り装置または、原稿ガラスにセットします。
2. ＜**ファクス**＞キーを押します。
3. ［**ファクス**］が選択されていることを確認し、OKを押してスタート画面を開きます。
4. ［**宛先選択**］が選択されていることを確認し、OKを押します。
5. 宛先を指定します。
6. モノクロを押します。

同報宛先確認

同報宛先確認機能が有効されている場合は、送信の開始前に、ファクス番号確認画面が表示されます。工場出荷時の設定では、この機能は有効になっています。

メモ

- 同報宛先確認機能は、複数の宛先を指定したときのみ使用できます。
- ［**ダイヤル 2 度押し**］も有効にされている場合は、ダイヤル 2 度押し機能が最初に実行されます。
- 同報宛先確認機能は手動送信では使用できません。

■ 設定

1. ＜**設定**＞キーを押します。
2. ▼を押して［**管理者設定**］を選択し、OKを押します。
3. 管理者パスワードを入力します。
4. ［**決定**］を選択し、OKを押します。
5. ▼を押して［**ファクス機能**］を選択し、OKを押します。
6. ▼を押して［**セキュリティ機能**］を選択し、OKを押します。

7 ▼を押して［**同報宛先確認**］を選択し、OKを押します。

8 ▼を押して［**オン**］を選択し、OKを押します。

9 トップ画面が表示されるまで、◀を押します。

■ 操作

1 原稿を自動原稿送り装置または、原稿ガラスにセットします。

2 ＜**ファクス**＞キーを押します。

3 ［**ファクス**］が選択されていることを確認し、OKを押してスタート画面を開きます。

4 ［**宛先選択**］が選択されていることを確認し、OKを押します。

5 すべての宛先を指定します。

6 モノクロを押します。
ファクス番号確認画面が表示されます。

宛先を削除したい場合は、OKを押して削除したい宛先にチェックをつけ、▶を押します。［**宛先から削除**］を選択し、OKを押します。

7 モノクロを押して、送信を始めます。

メモ

- テンキーで入力した宛先番号が間違っていた場合は、その番号を削除して正しい番号を再度指定します。
- 多数の宛先を指定するときは、すべてを一度に確認できない可能性があります。すべての宛先を確認するには、▼を押して画面をスクロールしてください。

ダイヤル 2 度押し

ダイヤル 2 度押し機能が有効にされている場合は、宛先番号をテンキーで入力するときに、宛先番号を再入力するように指示されます。2 つの番号が一致した場合のみ、ファクスが送信されます。

メモ

- ダイヤル 2 度押し機能は、短縮ダイヤルで宛先を指定するときは使用できません。
- 宛先番号に記号を含めている場合は、記号も再入力してください。
- ［**同報宛先確認**］も有効にされている場合は、ダイヤル 2 度押し機能が最初に実行されます。
- ダイヤル 2 度押し機能は手動送信では使用できません。

■ 設定

1 ＜**設定**＞キーを押します。

2 ▼を押して［**管理者設定**］を選択し、OKを押します。

3 管理者パスワードを入力します。

4 ［**決定**］を選択し、OKを押します。

5 ▼を押して［**ファクス機能**］を選択し、OKを押します。

6 ▼を押して［**セキュリティ機能**］を選択し、OKを押します。

7 ▼を押して［**ダイヤル 2 度押し**］を選択し、OKを押します。

8 ▼を押して［**オン**］を選択し、OKを押します。

9 トップ画面が表示されるまで、◀を押します。

■ 操作

1 原稿を自動原稿送り装置または、原稿ガラスにセットします。

2 ＜**ファクス**＞キーを押します。

3 テンキーで宛先番号を入力します。

4 ［**決定**］を選択し、OKを押します。
宛先番号の再入力を指示する画面が表示されます。

5 テンキーで宛先番号を再入力します。

6 ［**決定**］を選択し、OKを押します。
スタート画面が表示されます。

7 モノクロを押して、送信を始めます。

各種のファクス受信設定

この節では、各種のファクス受信設定について説明します。

メモ
- ［**管理者設定**］メニューに入るには、管理者パスワードが必要です。工場出荷時のパスワードは「aaaaaa」です。

受信した画像が用紙サイズより大きいとき

指定した用紙からはみ出している画像部分は、縮小または破棄されるか、次の用紙に印刷されます。たとえば、A4 サイズの用紙を指定しているときに A4 サイズよりも長いファクスを受信すると、画像のはみ出した部分は次の用紙に印刷されます。

縮小率や縮小範囲を指定して、この状況を回避することができます。

縮小率を指定する

縮小率は、受信した画像を指定の用紙サイズに合わせて自動的に縮小するかどうかを決定します。［**自動**］は画像を自動的に縮小し、［**100%**］は画像を縮小せずに印刷します。工場出荷時の設定では、［**受信縮小率**］は［**自動**］に設定されています。

1. ＜**設定**＞キーを押します。
2. ▼を押して［**管理者設定**］を選択し、OKを押します。
3. 管理者パスワードを入力します。
4. ［**決定**］を選択し、OKを押します。
5. ▼を押して［**ファクス機能**］を選択し、OKを押します。
6. ▼を押して［**その他の設定**］を選択し、OKを押します。
7. ▼を押して［**受信縮小率**］を選択し、OKを押します。
8. ▼を押して［**自動**］または［**100%**］を選択し、OKを押します。
9. トップ画面が表示されるまで、◀を押します。

しきい値を指定する

しきい値は、受信した画像の一部を次のページに印刷するかどうかを決定します。

1. ＜**設定**＞キーを押します。
2. ▼を押して［**管理者設定**］を選択し、OKを押します。
3. 管理者パスワードを入力します。
4. ［**決定**］を選択し、OKを押します。
5. ▼を押して［**ファクス機能**］を選択し、OKを押します。
6. ▼を押して［**その他の設定**］を選択し、OKを押します。
7. ▼を押して［**しきい値**］を選択し、OKを押します。
8. 0 ～ 100 の値（ミリ）を入力し、OKを押します。
9. トップ画面が表示されるまで、◀を押します。

メモ
- 用紙サイズからはみ出している部分が指定したしきい値より大きい場合、その部分は次のページに印刷されます。
- 用紙サイズからはみ出している部分が指定したしきい値より小さい場合、受信した画像は縮小されて 1 ページに印刷されます。
- ［**受信縮小率**］を［**100%**］に設定し、用紙サイズからはみ出している部分が指定したしきい値より小さいとき、その部分は破棄されます。

呼び出し音量を変更する

ファクス受信時や通話着信時に鳴る本機の呼び出し音量を変更できます。

1. ＜**設定**＞キーを押します。
2. ▼を押して［**管理者設定**］を選択し、OKを押します。
3. 管理者パスワードを入力します。
4. ［**決定**］を選択し、OKを押します。

5 ▼を押して［**ファクス機能**］を選択し、Ⓞを押します。

6 ▼を押して［**ファクス基本設定**］を選択し、Ⓞを押します。

7 ▼を押して［**呼び出し音ボリューム**］を選択し、Ⓞを押します。

8 ▼を押してボリュームを選択し、Ⓞを押します。

9 トップ画面が表示されるまで、◀を押します。

メモ

- 呼び出し音ボリュームの設定は、［**ファクス受信モード**］が［**電話 / ファクス待機**］に設定されている場合のみ有効です。

受信したファクスをファクス原稿として転送する

［**ファクス転送設定**］を有効にしている場合、受信したファクスをファクス原稿として指定の宛先に自動的に転送することができます。

メモ

- ［**ファクス転送設定**］を有効にした場合、受信したファクスは本機では印刷されません。
- ［**ファクス受信モード**］が［**電話待機**］に設定されている場合は、転送機能は無効です。

転送先を登録する

1 < **設定** > キーを押します。

2 ▼を押して［**管理者設定**］を選択し、Ⓞを押します。

3 管理者パスワードを入力します。

4 ［**決定**］を選択し、Ⓞを押します。

5 ▼を押して［**ファクス機能**］を選択し、Ⓞを押します。

6 ▼を押して［**ファクス基本設定**］を選択し、Ⓞを押します。

7 ▼を押して［**ファクス転送設定**］を選択し、Ⓞを押します。

8 ▼を押して［**オン**］を選択し、Ⓞを押します。

9 転送番号を入力します。

10 ［**決定**］を選択し、Ⓞを押します。

11 トップ画面が表示されるまで、◀を押します。

応答待ち時間を設定する

本機に着信があってからファクスの受信を開始するまでの待ち時間を設定します。

1 < **設定** > キーを押します。

2 ▼を押して［**管理者設定**］を選択し、Ⓞを押します。

3 管理者パスワードを入力します。

4 ［**決定**］を選択し、Ⓞを押します。

5 ▼を押して［**ファクス機能**］を選択し、Ⓞを押します。

6 ▼を押して［**その他の設定**］を選択し、Ⓞを押します。

7 ▼を押して［**応答待ち時間**］を選択し、Ⓞを押します。

8 ▼を押して時間を選択し、Ⓞを押します。

9 トップ画面が表示されるまで、◀を押します。

メモ

- 本機をナンバーディスプレイ契約をしている回線に接続し、ナンバーディスプレイ対応電話機を本機に接続する場合は、［**応答待ち時間**］を［**10 秒**］、［**15 秒**］、［**20 秒**］のいずれかに設定してください。

コンピュータからファクス送信する

この節では、コンピュータからファクスを送信する方法と電話帳のデータを編集する方法について説明します。ファクスドライバを使用すると、原稿を印刷せずに、本機を介してコンピュータから宛先にファクスを直接送信できます。

この機能は以下の Windows OS でのみ使用できます。

- Windows 7/Windows Vista/Windows Server 2008 R2/Windows Server 2008/Windows XP/Windows Server 2003/Windows 2000

以下の操作を行う前に、MC361dn または MC561dn 用のファクスドライバをインストールしてください。

参照

- ファクスドライバのインストール方法については、「ユーザーズマニュアル　基本編」を参照してください。

メモ

- ここでは、メモ帳を例に説明します。お使いのアプリケーションによって、記載と異なることがあります。

コンピュータからファクスを送信する

1. ファクス送信するファイルを開きます。
2. ［**ファイル**］メニューから［**印刷**］を選択します。
3. ［**プリンターの選択**］から［**OKI MC561(FAX)**］を選択し、［**印刷**］をクリックします。
4. ［**送信先選択**］の［**番号指定**］タブで、［**名前**］に宛先名を入力します。
5. ［**FAX 番号**］に宛先ファクス番号を入力します。
6. ［**追加 <-**］をクリックします。
7. 必要に応じて、電話帳から宛先を追加します。
   a)［**電話帳**］タブを選択します。
   b) 宛先を選択し、［**追加 <-**］をクリックします。
8. 手順 4 ～ 7 を繰り返して、すべての宛先を指定します。
9. ［OK］をクリックして、送信を始めます。

注

- コンピュータからファクスを本機へ送信しているときは、本機の電源を切らないでください。

電話帳にファクス番号を追加する

注

- 同一の名前を登録することはできません。名前が異なる場合は、同じファクス番号を登録できます。

メモ

- 最大 1000 件の宛先を登録できます。

1. ［**スタート**］をクリックし、［**デバイスとプリンター**］を選択します。
2. OKI MC561 アイコンを右クリックし、［**印刷設定**］>［**OKI MC561(FAX)**］を選択します。
3. ［**設定**］タブで、［**電話帳**］をクリックします。
4. ［**FAX 番号**］メニューから［**新規作成 (FAX 番号)**］を選択します。
5. ［**新規作成 (FAX 番号)**］ダイアログで、［**名前**］に宛先名を入力します。
6. ［**FAX 番号**］に宛先ファクス番号を入力します。
7. 必要に応じて、［**説明**］にコメントを入力します。
8. ［OK］をクリックします。
9. ［**FAX 番号**］メニューから［**保存**］を選択します。
10. 確認ウィンドウで［OK］をクリックします。
11. ［**FAX 番号**］メニューから［**終了**］を選択します。

メモ

- この手順で入力した名前とファクス番号は送付状に印刷されます。

グループリストを登録する

登録済みの宛先をグループ化すると、ファクスを複数の宛先に同時に送信できます。

1 ［**スタート**］をクリックし、［**デバイスとプリンター**］を選択します。

2 OKI MC561 アイコンを右クリックし、［**印刷設定**］＞［**OKI MC561(FAX)**］を選択します。

3 ［**設定**］タブで、［**電話帳**］をクリックします。

4 ［**FAX 番号**］メニューから［**新規作成 (グループ)**］を選択します。

5 ［**新規作成 (グループ)**］ダイアログで、［**グループ名**］にグループ名を入力します。

6 必要に応じて、［**説明**］にコメントを入力します。

7 グループに登録する宛先を選択し、［**追加 ->**］をクリックします。

8 必要に応じて、ファクス番号を直接登録します。

a)［**新規作成 (FAX 番号)**］をクリックします。

b)「電話帳にファクス番号を追加する」(P. 33)の手順 5 ～ 8 を実行します。

c) 新規に登録したファクス番号を選択し、［**追加 ->**］をクリックします。

9 ［OK］をクリックします。

［**電話帳**］ダイアログの左の欄に、新しいグループが追加されます。グループを選択すると、グループに登録されているファクス番号がダイアログの右の欄に表示されます。

10 ［**FAX 番号**］メニューから［**保存**］を選択します。

11 確認ウィンドウで［OK］をクリックします。

12 ［**FAX 番号**］メニューから［**終了**］を選択します。

ファクスをグループに送信する

グループを使用すると、複数の宛先を 1 回の操作で指定できます。

1 ファクス送信するファイルを開きます。

2 ［**ファイル**］メニューから［**印刷**］を選択します。

3 ［**プリンターの選択**］から［**OKI MC561(FAX)**］を選択し、［**印刷**］をクリックします。

4 ［**送信先選択**］で、［**電話帳**］タブを選択します。

5 右の欄からグループを選択し、［**追加 <-**］をクリックします。

6 ［OK］をクリックして、送信を始めます。

送付状を添付する

1 ファクス送信するファイルを開きます。

2 ［**ファイル**］メニューから［**印刷**］を選択します。

3 ［**プリンターの選択**］から［**OKI MC561(FAX)**］を選択します。

4 ［**詳細設定**］をクリックします。

5 ［**送付状**］タブを選択します。

6 ［**全員に同一シートを付加**］か［**送信先毎に別シートを付加**］を選択します。

7 フォーマットリストから、使用する形式を選択します。

- ［**拡大表示**］をクリックすると、各フォーマットの拡大画像を表示できます。
- ［**送信先の FAX 番号を印刷**］にチェックをつけると、相手先のファクス番号が送付状に印刷されます。
- ［**説明を印刷**］にチェックをつけると、電話帳に登録されている説明が送付状に印刷されます。
- ［**カスタム送付状**］をクリックすると、カスタムの送付状デザインを追加できます。

8 必要に応じて、送付状に印刷する発信元名、ファクス番号、コメントを［**発信元**］タブで入力します。

9 ［OK］をクリックします。

10 「コンピュータからファクスを送信する」(P. 33)の手順 3 ～ 9 を実行します。

注

- ［**全員に同一シートを付加**］を選択して複数箇所に同時送信（同報送信）すると、全送信先名と送信先ファクス番号（設定されている場合のみ）および、電話帳の説明（設定されている場合のみ）が、同じ送付状に記載され、すべての送付先へ送られます。外部へ同時送信されるときにはご注意ください。

コンピュータからファクス送信を取り消す

データが本機に送信されている間は、コンピュータからファクス送信を取り消すことができます。

1 ツールバーのプリンタアイコンをダブルクリックします。

2 印刷キューで、取り消すジョブを選択します。

3 ［**ドキュメント**］メニューから［**キャンセル**］を選択します。

参照

- データが本機に保存されたあとでは、コンピュータからファクス送信を取り消すことはできません。本機のメモリに保存されているファクス送信を取り消す方法については、「ユーザーズマニュアル　基本編」を参照してください。

電話帳のデータをインポート / エクスポートする

インポート / エクスポート機能を使用すると、別のコンピュータで作成された電話帳内のファクス番号を管理できます。以下の手順では、お使いのコンピュータから電話帳のデータをエクスポートし、そのデータを別のコンピュータの電話帳にインポートする方法を説明します。

注

- グループをエクスポートすることはできませんが、グループ内の各エントリはエクスポートできます。
- すでに登録されているエントリはインポートされません。

1 ［**スタート**］をクリックし、［**デバイスとプリンター**］を選択します。

2 OKI MC561 アイコンを右クリックし、［**印刷設定**］＞［**OKI MC561(FAX)**］を選択します。

3 ［**設定**］タブで、［**電話帳**］をクリックします。

4 ［**ツール**］メニューから［**エクスポート**］を選択します。

5 ［**ファイルのエクスポート**］ダイアログで、ファイルの保存先を選択します。

6 ファイルの名前を［**ファイル名**］に入力し、［**保存**］をクリックします。

電話帳のデータが CSV ファイルとしてエクスポートされます。CSV ファイルでは、エントリは表示順に、カンマで区切って配置されます。名前、ファクス番号、説明の順番に保存されます。

7 電話帳を閉じます。

8 作成されたファイルを別のコンピュータにコピーします。

9 コピー先のコンピュータで手順 1 ～ 3 を繰り返し、電話帳を起動します。

10 ［**ツール**］メニューから［**インポート**］を選択します。

11 ［**電話帳 インポート**］ダイアログで、［**CSV ファイルの選択**］にコピーしたファイルを指定します。

12 ［**次へ**］をクリックします。

13 ［**FAX 番号**］メニューから［**保存**］を選択します。

14 確認ウィンドウで［**OK**］をクリックします。

15 ［**FAX 番号**］メニューから［**終了**］を選択します。

新しい定義を電話帳の形式に関連付ける

電話帳の形式とは異なる形式の CSV ファイルをインポートしたい場合は、CSV 定義ファイルを選択し、定義を電話帳の形式に関連付けます。

1 「電話帳のデータをインポート / エクスポートする」の手順 1 ～ 3 を行い、電話帳を起動します。

2 ［**ツール**］メニューから［**インポート**］を選択します。

3 ［**電話帳 インポート**］ダイアログで、［**CSV ファイルの選択**］にインポートする CSV ファイルを指定します。

4 ［**インポートするフィールドの関連付けを行う**］にチェックをつけます。必要に応じて、［**定義ファイルの選択**］に CSV 定義ファイルを指定します。

［**フィールドの区切り文字**］では［**カンマ (,)**］を選択します。

メモ

- 定義ファイルを指定しないままでも操作できます。定義ファイルを指定しない場合は、手順 6 の後に表示されるダイアログで、定義ファイルを新規に保存するかどうか選択してください。

5 ［**次へ**］をクリックします。

6 インポートしている定義を電話帳の形式に関連付けて、［**OK**］をクリックします。

7 ［**FAX 番号**］メニューから［**保存**］を選択します。

8 確認ウィンドウで［**OK**］をクリックします。

9 ［**FAX 番号**］メニューから［**終了**］を選択します。

3. スキャン

この章では、スキャンのときに便利な機能を説明します。

■ スキャン To メールの高度な操作

この節では、スキャン To メールの便利な機能を説明します。

メモ

- 以下の説明は、［**継続読取**］が無効の場合の手順です。［**継続読取**］が有効になっている場合の基本手順については、「ユーザーズマニュアル基本編」を参照してください。
- ［**管理者設定**］メニューに入るには、パスワードが必要です。工場出荷時のパスワードは「aaaaaa」です。

送信元と返信先のアドレスを設定する（送信者 / 返信先）

送信元の E メールアドレスと、返信先の E メールアドレスを設定できます。

1. ＜**設定**＞キーを押します。
2. ▼を押して［**管理者設定**］を選択し、OKを押します。
3. 管理者パスワードを入力します。
4. ［**決定**］を選択し、OKを押します。
5. ▼を押して［**スキャナ機能**］を選択し、OKを押します。
6. ▼を押して［**メール設定**］を選択し、OKを押します。
7. ▼を押して［**送信者 / 返信先**］を選択し、OKを押します。
8. ▼を押して［**送信者**］または［**返信先**］を選択し、OKを押します。
9. E メールアドレスを入力します。
   手順 8 で［**返信先**］を選択した場合は、宛先を入力する方法を選択し、宛先を指定します。手順 11 に進みます。
10. ［**決定**］を選択し、OKを押します。
11. トップ画面が表示されるまで、◀を押します。

メモ

- E メールアドレスは、アドレスブックから選択できます。

テンプレートを作成する

さまざまなタイプの件名と本文を持つテンプレートを最大 5 つ登録できます。

件名を登録する

1. ＜**設定**＞キーを押します。
2. ▼を押して［**管理者設定**］を選択し、OKを押します。
3. 管理者パスワードを入力します。
4. ［**決定**］を選択し、OKを押します。
5. ▼を押して［**スキャナ機能**］を選択し、OKを押します。
6. ▼を押して［**メール設定**］を選択し、OKを押します。
7. ▼を押して［**メール編集定型文**］を選択し、OKを押します。
8. ［**件名編集**］を選択し、OKを押します。
9. ▼を押して番号を選択し、OKを押します。
10. 件名を入力します。
    最大半角 80 文字まで入力できます。
11. ［**決定**］を選択し、OKを押します。
12. トップ画面が表示されるまで、◀を押します。

本文を登録する

1 「件名を登録する」（P. 36）の手順 1 ～ 7 を実行します。

2 ▼を押して［**本文編集**］を選択し、OKを押します。

3 ▼を押して番号を選択し、OKを押します。

4 本文を入力します。
最大半角 256 文字まで入力できます。

5 ［**決定**］を選択し、OKを押します。

6 トップ画面が表示されるまで、◀を押します。

テンプレートを使用する

「テンプレートを作成する」（P. 36）で登録したテンプレートを標準メールとして使用できます。

1 原稿を自動原稿送り装置または、原稿ガラスにセットします。

2 < **スキャン** > キーを押します。

3 ［**メール**］が選択されていることを確認し、OKを押します。

4 ▼を押して［**読込設定**］を選択し、OKを押します。

5 ▼を押して［**メール編集**］を選択し、OKを押します。

6 ▼を押して［**件名**］または［**本文**］を選択し、OKを押します。

7 ［**件名選択**］または［**本文選択**］が選択されていることを確認し、OKを押します。

8 ▼を押して件名または本文を選択し、OKを押します。

9 ◀を押して［**宛先選択**］まで戻り、OKを押します。

10 ▼を押して入力方法を選択し、OKを押します。

11 宛先を指定し、OKを押します。

12 モノクロ または カラー を押します。

3 スキャン

スキャンとインターネットファクスの高度な操作

この節では、スキャンとインターネットファクスの便利な機能を説明します。スキャン機能と、インターネットファクス機能は、必要に応じて最適な画質になるように設定できます。スキャン To ローカル PC と、スキャン To リモート PC では、以下の機能は使用できません。

この節では、スキャンメニューを例にしています。インターネットファクス機能を使用するときは、［**インターネットファクス**］画面の［**読込設定**］メニューから各設定を行えます。

メモ

- ［**管理者設定**］メニューに入るには、管理者パスワードが必要です。工場出荷時のパスワードは「aaaaaa」です。

参照

- 読み取りを始める方法については、「ユーザーズマニュアル　基本編」を参照してください。

ファイル名を指定する

スキャンしたデータのファイル名を指定できます。

1. ［**スキャナメニュー**］画面で、読み取りモードを選択し、OKを押します。
   ［USB メモリ］を選択した場合は、手順 3 に進みます。
2. ▼を押して［**読込設定**］を選択し、OKを押します。
3. ▼を押して［**ファイル名**］を選択し、OKを押します。
4. ファイル名を入力します。
   最大半角 64 文字まで入力できます。
5. ［**決定**］を選択し、OKを押します。

メモ

- ファイル名を指定しないときは、工場出荷時の設定の名前が使用されます。

読み取りサイズを変更する（読取サイズ）

原稿の適切な読み取りサイズを指定できます。

1. ［**スキャナメニュー**］画面で、読み取りモードを選択し、OKを押します。
   ［USB メモリ］を選択した場合は、手順 3 に進みます。
2. ［**読込設定**］を選択し、OKを押します。
3. ［**読取サイズ**］が選択されていることを確認し、OKを押します。
4. ▼を押してサイズを選択し、OKを押します。

解像度を変更する（ドキュメントタイプ）

原稿を読み取るときの解像度を、最適な画質になるように適切な値へ変更できます。

1. ［**スキャナメニュー**］画面で、読み取りモードを選択し、OKを押します。
   ［USB メモリ］を選択した場合は、手順 3 に進みます。
2. ▼を押して［**読込設定**］を選択し、OKを押します。
3. ▼を押して［**画質**］を選択し、OKを押します。
   インターネットファクスの場合は、［**解像度**］を選択し、OKを押したあと、手順 5 に進みます。
4. ▼を押して［**ドキュメントタイプ**］を選択し、OKを押します。
5. ▼を押して種類を選択し、OKを押します。

   メモ

   - ［**写真**］モードでは、読み取り時間が長くなります。

濃度を調整する（濃度）

濃度を 7 段階に調整できます。

1. ［**スキャナメニュー**］画面で、読み取りモードを選択し、OKを押します。
   ［USB メモリ］を選択した場合は、手順 3 に進みます。
2. ▼を押して［**読込設定**］を選択し、OKを押します。
3. ▼を押して［**画質**］を選択し、OKを押します。
   インターネットファクスの場合は、［**濃度**］を選択し、OKを押したあと、手順 5 に進みます。
4. ［**濃度**］が選択されていることを確認し、OKを押します。

5 ▲または▼を押して濃度の値を選択し、OKを押します。

メモ
- ［0］は標準値です。原稿の濃度を濃くするには、［+1］、［+2］、［+3］（最濃）を選択します。逆に、原稿の濃度を薄くするには、［-1］、［-2］、［-3］（最薄）を選択します。

ファイル形式を指定する

読み取った原稿のファイル形式を指定できます。指定できる形式は、PDF、TIFF、JPEG、XPS です。

注
- この機能はスキャンで使用できます。インターネットファクスでは使用できません。

1 ［**スキャナメニュー**］画面で、読み取りモードを選択し、OKを押します。
［**USB メモリ**］を選択した場合は、手順 3 に進みます。

2 ▼を押して［**読込設定**］を選択し、OKを押します。

3 ▼を押して［**ファイル形式**］を選択し、OKを押します。

4 ▼を押して［**カラー**］、［**モノクロ (グレースケール)**］、［**モノクロ (2 値)**］から色の種類を選択し、OKを押します。

5 ▼を押してファイル形式を選択し、OKを押します。

メモ
- 手順 4 で［**モノクロ (2 値)**］を選択すると、［**JPEG**］は選択できません。

PDF を暗号化する

読み取った原稿を暗号化できます。暗号化レベル、文書を開くパスワード、権限パスワード、作成した PDF ファイルの使用権限を設定できます。

文書を開くパスワードは、暗号化された PDF を開くためのパスワードです。権限パスワードと同じものは使用できません。最大半角 32 文字です。

権限パスワードは、暗号化された PDF の印刷 / 抽出 / 編集などの操作を制御するためのパスワードです。文書を開くパスワードと同じものは使用できません。最大半角 32 文字です。

注
- この機能はスキャンで使用できます。インターネットファクスでは使用できません。
- ［**暗号化 PDF**］は、［**ファイル形式**］の［**カラー**］、［**モノクロ (グレースケール)**］、［**モノクロ (2 値)**］のいずれかで［**PDF**］が設定されている場合にのみ表示されます。
- PDF を暗号化するには、文書を開くパスワードまたは権限パスワードのどちらかを設定する必要があります。

文書を開くパスワード・権限パスワードを設定する

メモ
- ここでは、文書を開くパスワード、および権限パスワードの両方を設定する場合を例にしています。

1 ［**スキャナメニュー**］画面で、読み取りモードを選択し、OKを押します。

2 ▼を押して［**読込設定**］を選択し、OKを押します。

3 ▼を押して［**暗号化 PDF**］を選択し、OKを押します。

4 ▼を押して［**暗号化しない**］、［**暗号化する**］から［**暗号化する**］を選択し、OKを押します。

5 ▼を押して［**低**］、［**中**］、［**高**］から暗号化レベルを選択し、OKを押します。

6 ▼を押して［**設定しない**］、［**設定する**］、［**初期パスワードを使用する**］から［**設定する**］を選択し、OKを押します。
文書を開くパスワードを設定します。

7 ▶を押してパスワードを入力します。

8 ［**決定**］を選択し、OKを押します。

9 パスワードを再入力します。

10 ［**決定**］を選択し、OKを押します。

11 ▼を押して［**設定しない**］、［**設定する**］、［**初期パスワードを使用する**］から［**設定する**］を選択し、OKを押します。
権限パスワードを設定します。

12 ▶を押してパスワードを入力します。

13 ［**決定**］を選択し、OKを押します。

14 パスワードを再入力します。

15 ［**決定**］を選択し、OKを押します。

16 文書を印刷する権限を選択し、OKを押します。
- 手順 5 で暗号化レベルを［**低**］に設定した場合は、［**許可しない**］、または［**高解像度**］を選択できます。
- 手順 5 で暗号化レベルを［**中**］/［**高**］に設定した場合は、［**許可しない**］、［**低解像度 (150dpi)**］、または［**高解像度**］を選択できます。

17 テキストとグラフィックスを抽出する権限を選択し、OKを押します。

18 文書を変更する権限を選択し、OKを押します。

- 手順 5 で暗号化レベルを［低］に設定した場合は、［**許可しない**］、［**注釈の作成を許可**］、［**ページレイアウトを許可**］、または［**ページの抽出を除く全ての操作を許可**］を選択できます。
- 手順 5 で暗号化レベルを［**中**］/［**高**］に設定した場合は、［**許可しない**］、［**注釈の作成を許可**］、［**ページの挿入、削除、回転を許可**］、または［**ページの抽出を除く全ての操作を許可**］を選択できます。

19 セキュリティ設定を確認し、OKを押します。

注

- 手順 16 ～ 18 の各権限の設定は、［**権限パスワード**］で［**設定する**］または［**初期パスワードを使用する**］を選択した場合にのみ表示されます。

初期パスワードを使用する

「文書を開くパスワード・権限パスワードを設定する」（P. 39）の手順 6 および 11 で［**初期パスワードを使用する**］を選択すると、あらかじめ登録しておいた初期パスワードを使用することができます。

以下の手順で初期パスワードを登録します。

1 ＜**設定**＞キーを押します。

2 ▼を押して［**管理者設定**］を選択し、OKを押します。

3 管理者パスワードを入力します。

4 ［**決定**］を選択し、OKを押します。

5 ▼を押して［**スキャナ機能**］を選択し、OKを押します。

6 ▼を押して［**スキャン初期値**］を選択し、OKを押します。

7 ▼を押して［**暗号化 PDF 設定**］を選択し、OKを押します。

8 ▼を押して［**文書を開くパスワード**］/［**権限パスワード**］を選択し、OKを押します。

9 パスワードを入力します。

最大半角 32 文字まで入力できます。

10 ［**決定**］を選択し、OKを押します。

11 トップ画面が表示されるまで、◀を押します。

圧縮レベルを設定する

圧縮レベルを選択できます。

1 ［**スキャナメニュー**］画面で、読み取りモードを選択し、OKを押します。

［USB メモリ］を選択した場合は、手順 3 に進みます。

2 ▼を押して［**読込設定**］を選択し、OKを押します。

3 ▼を押して［**圧縮レベル**］を選択し、OKを押します。

インターネットファクス機能を使用する場合は、手順 5 に進みます。

4 ▼を押して色の種類（カラー、モノクロなど）を選択し、OKを押します。

5 ▼を押して［**高**］、［**中**］、［**低**］から圧縮レベルを選択し、OKを押します。

メモ

- ［**モノクロ (2 値)**］を選択すると、［**高**］、［**中**］、［**Raw 形式**］から圧縮レベルを選択できます。

グレースケールを設定する

グレイスケールを有効にすると、モノクロ でスキャンしたデータが、白黒 (2 値) ではなく白黒 (255 階調) になります。

注

- この機能はスキャンで使用できます。インターネットファクスでは使用できません。

1 ［**スキャナメニュー**］画面で、読み取りモードを選択し、OKを押します。

［USB メモリ］を選択した場合は、手順 3 に進みます。

2 ▼を押して［**読込設定**］を選択し、OKを押します。

3 ▼を押して［**グレースケール**］を選択し、OKを押します。

4 ▼を押して［**オン**］を選択し、OKを押します。

■ ドライバとユーティリティを使用する

この節では、スキャナドライバとユーティリティを使用する方法について説明します。原稿の読み取りや、コンピュータの設定の変更が簡単にできます。

TWAIN ドライバを使う

メモ

- ここでは、Windows では PaperPort、Mac OS X では Adobe Photoshop CS3 を例にしています。お使いのアプリケーションによって、記載と異なることがあります。
- この項では、USB 接続でスキャン To リモート PC を使用した手順を記載します。ネットワーク接続や、スキャン To ローカル PC で読み取りを始める方法については、「ユーザーズマニュアル 基本編」を参照してください。

注

- この機能を使用するには、TWAIN 対応アプリケーション（PaperPort や Adobe Photoshop CS3 など）が PC にインストールされている必要があります。

参照

- 読み取りを始める方法については、「ユーザーズマニュアル 基本編」を参照してください。
- PaperPort のインストール方法については、「ユーティリティをインストールする」（P. 98）を参照してください。

読み取りを始める（Windows の場合）

1 原稿を自動原稿送り装置または、原稿ガラスにセットします。

2 ＜**スキャン**＞キーを押します。

3 ▼を押して［**リモート PC**］を選択し、(OK)を押します。

4 コンピュータ上で PaperPort を起動します。

5 ［**選択**］をクリックし、本機のスキャナドライバを選択します。
ウィンドウが表示されます。

6 ［**スキャン**］をクリックします。

7 スキャンボタンをクリックします。
読み取りが始まります。

8 ［**終了**］をクリックします。

9 継続するページや、裏面をスキャンしない場合は［**終了**］をクリックします。

メモ

- 5 つのボタン（［**写真（高画質）モード**］、［**写真（普通）モード**］、［**OCR モード**］、［**Web モード**］、［**カスタムモード**］）が、初期設定で登録されています。

設定を変更する

ドライバの設定を変更することで、原稿の読み取り方法を調整できます。

各設定項目を説明します。

■ 簡易モード

登録されている 5 つのボタンの設定を変更できます。

1 「読み取りを始める（Windows の場合）」の手順 1 ～ 6 まで行います。

2 ［**モード**］から［**簡易モード**］を選択します。

3 スキャン

3 ［**設定**］をクリックします。

ウィンドウが表示されます。

4 スキャンボタンをクリックして設定を変更します。

5 ［OK］をクリックします。

6 読み取りを始めるときは、スキャンボタンをクリックします。

設定を終了したいときは、［**終了**］をクリックします。

■ 詳細モード

原稿の読み取り方法を細かく調整できます。

1 「読み取りを始める（Windows の場合）」（P. 41）の手順 1 ～ 6 まで行います。

2 ［**モード**］から［**詳細モード**］を選択します。

3 必要に応じて、設定を変更します。

4 ［**スキャン**］をクリックして読み取りを始めます。

設定を終了したいときは、［**終了**］をクリックします。

参照

- 各設定の変更方法については、オンラインヘルプを参照してください。

読み取りを始める（Mac OS X の場合）

1 操作パネルの <**スキャン**> キーを押します。

2 原稿を自動原稿送り装置または、原稿ガラスにセットします。

3 ▼を押して［**リモート PC**］を選択し、OKを押します。

4 コンピュータ上で Adobe Photoshop CS3 を起動します。

5 ［**ファイル**］から［**読み込み**］を選択し、［**OKI MC361_561 Twain**］または［**OKI MC361_561 Twain Network**］を選択します。

- ［OKI MC361_561 Twain］を選択した場合は、手順 9 に進みます。
- ［OKI MC361_561 Twain Network］を選択し、ネットワークスキャンを行うのが 2 回目以降の場合は、手順 9 に進みます。

6 初めてネットワークスキャンを行うときは、接続先選択用のツールが起動することを知らせるダイアログが表示されるので［OK］をクリックします。

7 ［**スキャン設定**］ダイアログで、接続先を選択し、必要に応じてホスト情報を登録し［OK］をクリックします。

8 Adobe Photoshop CS3 の［**ファイル**］から［**読み込み**］を選択して［**OKI MC361_561 Twain Network**］を選択します。

ウィンドウが表示されます。

9 スキャンボタンをクリックします。

読み取りが始まります。

10 ［**Photoshop**］から［**Photoshop を終了**］を選択します。

設定を変更する（Mac OS X の場合）

ドライバの設定を変更することで、原稿の読み取り方法を調整できます。

各設定項目を説明します。

■ 簡易モード

登録されている 5 つのボタンの設定を変更できます。

1 「読み取りを始める（Mac OS X の場合）」の手順 1 ～ 8 まで行います。

2 ［**モード**］から［**簡易モード**］を選択します。

3 ［**設定**］をクリックします。

ウィンドウが表示されます。

4 スキャンボタンをクリックして、設定を変更します。

5 ［OK］をクリックします。

6 読み取りを始めるときは、スキャンボタンをクリックします。

設定を終了したいときは、［**終了**］をクリックします。

■ **詳細モード**

原稿の読み取りかたを細かく調整できます。

1 「読み取りを始める（Mac OS X の場合）」（P. 42）の手順 1 ～ 8 まで行います。

2 ［モード］から［**詳細モード**］を選択します。

3 必要に応じて、設定を変更します。

4 ［**スキャン**］をクリックして、読み取りを始めます。

設定を終了したいときは、［**終了**］をクリックします。

WIA ドライバを使う

WIA ドライバはネットワークスキャン機能に対応していません。本機とコンピュータを USB で接続してください。

WIA ドライバは、Mac OS X には対応していません。

WIA 2.0 ドライバは Windows 7/Windows Server 2008 R2 をサポートしています。

WIA 1.0 ドライバは Windows Vista/Windows Server 2008/Windows XP/Windows Server 2003 をサポートしています。

読み取りを始める

メモ

- 次の手順では、PaperPort を例にしています。お使いのアプリケーションによって、記載と異なることがあります。

1 原稿を自動原稿送り装置または、原稿ガラスにセットします。

2 ＜**スキャン**＞キーを押します。

3 ▼を押して［**リモート PC**］を選択し、OKを押します。

4 コンピュータ上で PaperPort を起動します。

5 ［**選択**］をクリックし、［**WIA: MC361/561**］を選択します。

6 ［**スキャン**］をクリックします。

7 給紙方法を選択します。

8 画像の種類を選択します。

9 読み取り領域を指定します。

10 ［**スキャン**］をクリックします。

11 読み取りを終了するときは、［**キャンセル**］をクリックします。

12 継続するページや、裏面をスキャンしない場合は［**終了**］をクリックします。

読み取った画像が、PaperPort に表示されます。

Windows FAX とスキャンを使う

「Windows FAX とスキャン」は Windows 7 で使用できる機能です。

1 原稿を自動原稿送り装置または、原稿ガラスにセットします。

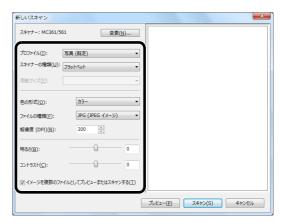
2 ＜**スキャン**＞キーを押します。

3 ▼を押して［**リモート PC**］を選択し、OKを押します。

4 コンピュータ上で［**スタート**］をクリックし、［**すべてのプログラム**］＞［**Windows FAX とスキャン**］を選択します。

5 ［**新しいスキャン**］をクリックします。

6 ［**MC361/561**］を選択し、［**OK**］をクリックします。

7 必要に応じて、設定をします。

8 ［**スキャン**］をクリックします。

9 ［**Windows FAX とスキャン**］を終了します。

ActKey を使う

ActKey を使用すると、ボタンをクリックするだけで、指定した設定どおりに読み取りを始めることができます。

メモ

- ActKey は、Mac OS X には対応していません。
- ActKey をインストールすると、Network Configuration も同時にインストールされます。Network Configuration については、「Network Configuration を使用する」(P. 45) を参照してください。

参照

- 読み取りを始める方法については、「ユーザーズマニュアル　基本編」を参照してください。

ソフトウェアをインストールする

1. 「ソフトウェア CD-ROM」をコンピュータに挿入します。
   ウィンドウが開きます。
2. ［**便利な機能**］から［**ActKey**］を選択します。
3. 指示に従って、ソフトウェアをインストールします。
4. ［**完了**］をクリックします。

ソフトウェアを起動する

1. ［**スタート**］をクリックし、［**すべてのプログラム**］>［**沖データ**］>［**ActKey**］>［**ActKey**］を選択します。

スキャン To ローカル PC の使用時に ActKey を起動する

本機で［**ローカル PC**］を選択したら ActKey が起動するように設定できます。

1. ［**スタート**］をクリックし、［**コントロールパネル**］を選択します。
2. ［**コントロールパネルの検索**］で［**スキャナとカメラの表示**］と入力します。
3. ［**デバイスとプリンター**］の下の［**スキャナとカメラの表示**］をクリックします。
4. ［**MC361/561**］を選択し、［**プロパティ**］をクリックします。
   ［**ユーザー アカウント制御**］ダイアログが表示されたら、［**はい**］をクリックします。
5. ［**イベント**］タブをクリックします。
6. ［**イベントを選択してください**］からイベントを選択します。
7. ［**指定したプログラムを起動する**］にチェックをつけ、［**ActKey**］を選択します。
8. 手順 6 ～ 7 を繰り返して、すべてのイベントに［**ActKey**］を設定します。
9. ［**OK**］をクリックします。

読み取った原稿のファクス送信

Windows コンポーネントの FAX サービスを使用して、読み取った原稿を送信できます。

注

- 原稿を読み取ったあと、アプリケーション上で画像の向きを変えることはできません。
- この機能では、Windows コンポーネントの FAX サービスを使用します。

メモ

- PC-Fax 送信機能の場合、解像度は 200dpi に、カラーモードは白黒に固定されてます。

1. コンピュータ上で ActKey を起動します。
2. 本機の操作パネルの<**スキャン**>キーを押します。
3. ▼を押して［**リモート PC**］を選択し、OK を押します。
4. 原稿を自動原稿送り装置または、原稿ガラスにセットします。
5. コンピュータ上で［**PC-Fax 送信**］をクリックします。
   ［**FAX のセットアップ**］が起動します。
6. 画面の指示に従って、ファクスを送信します。

スキャンボタンを設定する

4 つのスキャンボタンの各設定を変更できます。

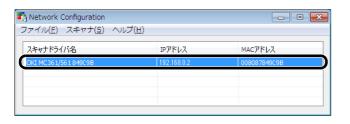
1. ActKey を起動します。
2. ［**オプション**］メニューから［**スキャンボタン設定**］を選択します。
3. 設定したいボタンをクリックします。
4. 必要に応じて、設定を変更します。
5. ［**OK**］をクリックします。

Network Configuration を使用する

Network Configuration は、スキャン To ローカル PC を実行する際に、あらかじめ設定するためのツールです。また、ネットワークスキャンを行う際に、装置、または、コンピュータの IP アドレス等の情報が変更になった場合は、本ツールで設定値を変更できます。

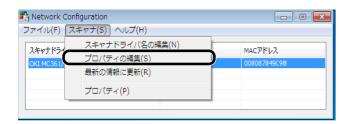
Actkey をインストールすると Network Configuration も同時にインストールされます。

Network Configuration は、コンピュータ起動時に自動的にタスクバーに格納されます。

Network Configuration を起動すると、コンピュータにインストールされたスキャナドライバが表示されます。

■ スキャナドライバ名を変更する方法

スキャナのドライバ名を変更した場合は、［ **スキャナ** ］メニューから［ **スキャナドライバ名の編集** ］を選択して、スキャナドライバ名を変更します。

■ 装置の設定情報を変える方法

装置の IP アドレス、装置のポート番号を変更した場合は、Network Configuration を起動し、［ **スキャナ** ］メニューから［ **プロパティの編集** ］を選択します。

現在コンピュータ側に設定されている設定値が表示されるので、装置側の IP アドレス、ポート番号に変更します。

■ スキャン To ローカル PC の設定方法

スキャン To ローカル PC を行うためには、装置側にコンピュータのコンピュータ名、IP アドレス、ポート番号を登録する必要があります。

スキャナドライバをインストールした後に、Network Configuration を起動して、使用するドライバを選択します。その後、［ **スキャナ** ］メニューから［ **プロパティ** ］を選択し、［ **登録** ］タブを選択します。コンピュータ情報として、コンピュータ名、IP アドレス、ポート番号が表示されます。コンピュータ名は、コンピュータのホスト名を自動取得するので設定する必要はありません。

IP アドレスもコンピュータの設定値が自動的に表示されますが、コンピュータに複数のネットワークカードが搭載されている場合は、複数の IP アドレスが表示されます。現在お使いのネットワークカードの IP アドレスを選択します。また、ポート番号も現在の設定が表示されていますので、変更が必要な場合は設定変更をします。

すべての設定が完了したら、［ **登録** ］ボタンをクリックし、装置側に設定値を登録します。

装置側の電源等が切れていて接続できないときは、登録時にエラーになりますので注意ください。また、登録後に、コンピュータ側のコンピュータ名、IP アドレス、ポート番号を変更した場合は、上記の手順で再度登録をする必要があります。

3
スキャン

■ インターネットファクスとスキャン To メールの便利な機能

この節では、インターネットファクスとスキャン To メールの便利な機能を説明します。

MDN は、受信者の文書到着後のステータスを、送信者に対して通知するメッセージです。

DSN は、送信した文書が受信者に届いたかどうか、送信者に対して配信ステータスを通知するメッセージです。

本機が DSN 要求を受けた場合は、応答を送信しません。

メモ

- ［**管理者設定**］メニューに入るには、パスワードが必要です。工場出荷時のパスワードは「aaaaaa」です。

注

- MDN/DSN の応答を受信するためには、MDN/DSN 要求を有効に設定するほかに、あらかじめ E メールの受信設定をしておく必要があります。

参照

- E メールの受信設定については、「メールに添付されたファイルを印刷するようにサーバ設定をする」（P. 166）を参照してください。

MDN/DSN 要求を有効にする

インターネットファクスとメールの送信時に、MDN と DSN を要求するには、次の操作を行います。

1. ＜**設定**＞キーを押します。
2. ▼を押して［**管理者設定**］を選択し、OK を押します。
3. 管理者パスワードを入力します。
4. ［**決定**］を選択し、OK を押します。
5. ▼を押して［**スキャナ機能**］を選択し、OK を押します。
6. ▼を押して［**メール設定**］を選択し、OK を押します。
7. ▼を押し、［**MCF レポート印刷設定**］または［**チェックメッセージ印刷**］のどちらかを選択し、OK を押します。
8. ▼を押して［**オン**］を選択し、OK を押します。
9. トップ画面が表示されるまで、◀を押します。

MDN 応答を有効にする

本機が MDN 要求を受けた場合に、MDN 応答を送信するためには、次の操作を行います。

1. ＜**設定**＞キーを押します。
2. ▼を押して［**管理者設定**］を選択し、OK を押します。
3. 管理者パスワードを入力します。
4. ［**決定**］を選択し、OK を押します。
5. ▼を押して［**スキャナ機能**］を選択し、OK を押します。
6. ▼を押して［**メール設定**］を選択し、OK を押します。
7. ▼を押して［**MDN 応答送信の有無**］を選択し、OK を押します。
8. ▼を押して［**オン**］を選択し、OK を押します。
9. トップ画面が表示されるまで、◀を押します。

スキャン To ローカル PC とスキャン To リモート PC の便利な機能

この節では、スキャン To ローカル PC とスキャン To リモート PC の便利な機能を説明します。

メモ
- ［**管理者設定**］メニューに入るには、パスワードが必要です。工場出荷時のパスワードは「aaaaaa」です。

PCScan 動作モードを設定する

スキャン To リモート PC 機能では、シンプルスキャンモードまたはセキュアスキャンモードのいずれかを選択できます。

1. ＜**設定**＞キーを押します。
2. ▼を押して［**管理者設定**］を選択し、OKを押します。
3. 管理者パスワードを入力します。
4. ［**決定**］を選択し、OKを押します。
5. ▼を押して［**スキャナ機能**］を選択し、OKを押します。
6. ▼を押して［**TWAIN 機能設定**］を選択し、OKを押します。
7. ▼を押して［**PC スキャン動作モード**］を選択し、OKを押します。
8. ▼を押してモードを選択し、OKを押します。
9. トップ画面が表示されるまで、◀を押します。

Network TWAIN 機能設定を有効にする

ネットワークに接続して、スキャン To ローカル PC 機能とスキャン To リモート PC 機能を使用するには、次の操作を行います。

注
- この機能を［**オフ**］に設定すると、ネットワーク経由で、スキャン To ローカル PC 機能とスキャン To リモート PC を使用できません。

1. ＜**設定**＞キーを押します。
2. ▼を押して［**管理者設定**］を選択し、OKを押します。
3. 管理者パスワードを入力します。
4. ［**決定**］を選択し、OKを押します。
5. ▼を押して［**スキャナ機能**］を選択し、OKを押します。
6. ▼を押して［**TWAIN 機能設定**］を選択し、OKを押します。
7. ［**Network TWAIN 機能**］が選択されていることを確認し、OKを押します。
8. ▼を押して［**オン**］を選択し、OKを押します。
9. トップ画面が表示されるまで、◀を押します。

4. 印刷

この章では、いろいろな印刷機能について説明します。

■ コンピュータから印刷するときの便利な機能

この節では、コンピュータから印刷するときの便利な機能を説明します。

メモ

- ここでは、Windows ではメモ帳、Mac OS X ではテキストエディットを例に説明します。お使いのアプリケーションやプリンタドライバのバージョンによって、記載と異なることがあります。

参照

- プリンタドライバの各設定項目の詳しい説明は、ドライバのオンラインヘルプを参照してください。

手差し印刷をする

MP トレイに用紙をセットして 1 枚ずつ印刷できます。

1 ページ印刷するごとに、操作パネルの表示画面にマルチパーパストレイに用紙をセットしてくださいとメッセージが表示されます。印刷を続けるときは、［**印刷再開**］を選択します。

1 MP トレイに用紙をセットし、セットボタンを押します。

2 コンピュータで、印刷するファイルを開きます。

3 プリンタドライバで手差し印刷の設定を行い、印刷します。

Windows PCL/PCL XPS プリンタドライバの場合

1 ［**ファイル**］メニューから［**印刷**］を選択します。

2 ［**詳細設定**］をクリックします。

3 ［**設定**］タブの［**給紙方法**］から［**マルチパーパストレイ**］を選択します。

4 ［**オプション**］をクリックします。

5 ［**手差しとして扱う**］にチェックをつけ、［**OK**］をクリックします。

6 必要に応じてほかの設定を行い、印刷します。

7 操作パネルの表示画面に、MP トレイに用紙をセットするように指示するメッセージが表示されたら、◀または▶を押して［**印刷再開**］を選択し、OKを押します。

複数ページの原稿を印刷するときは、1 ページ印刷するたびに、同じメッセージが表示されます。

Windows PS プリンタドライバの場合

1 ［**ファイル**］メニューから［**印刷**］を選択します。

2 ［**詳細設定**］をクリックします。

3 ［**用紙 / 品質**］タブを選択します。

4 ［**給紙方法**］から［**マルチパーパストレイ**］を選択します。

5 ［**詳細設定**］をクリックします。

6 ［**マルチパーパストレイを手差しとして扱う**］をクリックし、ドロップダウンリストから［**はい**］を選択します。

7 ［**OK**］をクリックします。

8 必要に応じてほかの設定を行い、印刷します。

9 操作パネルの表示画面に、MP トレイに用紙をセットするように指示するメッセージが表示されたら、◀または▶を押して［**印刷再開**］を選択し、OKを押します。

複数ページの原稿を印刷するときは、1 ページ印刷するたびに、同じメッセージが表示されます。

Mac OS X PS プリンタドライバの場合

1 ［**ファイル**］メニューから［**プリント**］を選択します。

2 パネルメニューから［**給紙**］を選択します。

3 ［**全体**］を選択し、［**マルチパーパストレイ**］を選択します。

4 パネルメニューから［**プリンタの機能**］を選択します。

5 ［**機能セット**］から［**給紙オプション**］を選択します。

6 ［**マルチパーパストレイを手差しとして扱う**］にチェックをつけます。

7 必要に応じてほかの設定を行い、印刷します。

8 操作パネルの表示画面に、MP トレイに用紙をセットするように指示するメッセージが表示されたら、◀または▶を押して［**印刷再開**］を選択し、OKを押します。

複数ページの原稿を印刷するときは、1 ページ印刷するたびに、同じメッセージが表示されます。

メモ

- Mac OS X 10.5 ～ 10.6 で、プリントダイアログにメニューが 2 つだけ表示され、印刷オプションが表示されないときには、［**プリンタ**］メニューの横にある開閉用三角ボタンをクリックします。

はがき、往復はがき、封筒に印刷する

はがき、往復はがき、封筒に印刷するときは、用紙サイズの設定を変更し、MP トレイとフェイスアップスタッカを使用します。

まず、操作パネルで MP トレイの用紙サイズを設定します。そのあとで、プリンタドライバで用紙サイズ、用紙トレイなどの印刷設定を行います。

注

- 印刷後は反りやシワが発生することがあります。必ず試し印刷をして支障がないことを確認してください。
- はがき、往復はがきは印刷する面を上に、封筒は宛名面を上にし、それぞれ次の向きにセットします。
  - はがきは、上端から給紙口に入っていくようにセットします。
  - 往復はがきは、右端から給紙口に入っていくようにセットします。
  - 長形封筒（長形 3 号、長形 4 号、A4）は、フラップ（ふたののりしろ部分）を開いた状態で、フラップが手前にくるようにセットします。
  - 封筒 3（洋形 4 号）は、フラップ（ふたののりしろ部分）を折った状態で、フラップ部分が給紙方向に対して右側にくるようにセットします。
  - 洋形封筒（Monarch、Com-9、Com-10、DL、C5）は、フラップ（ふたののりしろ部分）を折った状態で、フラップ部分が給紙方向に対して左側にくるようにセットします。

メモ

- はがき、往復はがき、封筒は、両面印刷できません。

参照

- 使用できるはがき・封筒の種類については、「ユーザーズマニュアル　基本編」を参照してください。
- はがき、往復はがき、封筒は手差し印刷することもできます。手差し印刷については、「手差し印刷をする」（P. 48）を参照してください。

1 MP トレイに用紙をセットし、セットボタンを押します。

2 背面のフェイスアップスタッカを開きます。

3 操作パネルの < **設定** > キーを押します。

4 ▼を押して［**用紙**］を選択し、OKを押します。

5 ▼を押して［**MP トレイ**］を選択し、OKを押します。

6 ［**用紙サイズ**］が選択されていることを確認し、OKを押します。

7 ▼を押して［**はがき**］、［**往復はがき**］、または［**封筒 ***］を選択し、OKを押します。

* 封筒の種類を選択します。

8 トップ画面が表示されるまで、◀を押します。

9 コンピュータで、印刷するファイルを開きます。

10 プリンタドライバで、用紙サイズ、用紙トレイ、印刷の向きを指定し、印刷します。

Windows PCL/PCL XPS プリンタドライバの場合

1 ［**ファイル**］メニューから［**印刷**］を選択します。

2 ［**詳細設定**］をクリックします。

3 ［**設定**］タブの［**サイズ**］から［**はがき**］、［**往復はがき**］、または［**封筒 ***］を選択します。

* 封筒の種類を選択します。

4 ［**給紙方法**］から［**マルチパーパストレイ**］を選択します。

5 ［**印刷オプション**］タブを選択します。

6 ［**印刷の向き**］で印刷の向きを選択します。

- 長形封筒の場合は［**縦**］を選択します。
- 洋形封筒の場合は［**横**］を選択します。

7 必要に応じてほかの設定を行い、印刷します。

Windows PS プリンタドライバの場合

1 ［**ファイル**］メニューから［**印刷**］を選択します。

2 ［**詳細設定**］をクリックします。

3 ［**レイアウト**］タブの［**印刷の向き**］から印刷の向きを選択します。

- 長形封筒の場合は［**横**］を選択します。
- 洋形封筒の場合は［**縦**］を選択します。［**詳細設定**］をクリックし、詳細オプション画面の［**180°**］で［**回転あり**］を選択します。

4 ［**用紙 / 品質**］タブを選択します。

5 ［**給紙方法**］から［**マルチパーパストレイ**］を選択します。

6 ［**詳細設定**］をクリックします。

7 ［**用紙サイズ**］をクリックし、ドロップダウンリストから［**はがき**］、［**往復はがき**］、または［**封筒 ***］を選択します。
 * 封筒の種類を選択します。

8 ［OK］をクリックします。

9 必要に応じてほかの設定を行い、印刷します。

Mac OS X PS プリンタドライバの場合

1 ［**ファイル**］メニューから［**ページ設定**］を選択します。

2 ［**用紙サイズ**］から［**はがき**］、［**往復はがき**］、または［**封筒 ***］を選択します。
 * 封筒の種類を選択します。

3 ［**方向**］で印刷の向きを選択し、［OK］をクリックします。
 - 長形封筒の場合は縦方向を選択し、［**プリンタの機能**］パネルの［**ジョブオプション**］機能セットで［**180°**］にチェックをつけます。
 - 洋形封筒の場合は横方向を選択します。

4 ［**ファイル**］メニューから［**プリント**］を選択します。

5 パネルメニューから［**給紙**］を選択します。

6 ［**全体**］を選択し、［**マルチパーパストレイ**］を選択します。

7 必要に応じてほかの設定を行い、印刷します。

メモ
- Mac OS X 10.5 ～ 10.6 で、プリントダイアログにメニューが 2 つだけ表示され、印刷オプションが表示されないときには、［**プリンタ**］メニューの横にある開閉用三角ボタンをクリックします。

ラベル紙に印刷する

ラベル紙に印刷するときは、用紙の種類の設定を変更し、MP トレイとフェイスアップスタッカを使用します。

まず、操作パネルで MP トレイの用紙サイズと用紙種類を設定します。そのあとで、プリンタドライバで用紙サイズ、用紙トレイなどの印刷設定を行います。

メモ
- ラベル紙は両面印刷できません。

参照
- 使用できるラベル紙については、「ユーザーズマニュアル 基本編」を参照してください。
- ラベル紙は、手差し印刷することもできます。手差し印刷については、「手差し印刷をする」（P. 48）を参照してください。

1 MP トレイに用紙をセットし、セットボタンを押します。

2 背面のフェイスアップスタッカを開きます。

3 操作パネルの ＜**設定**＞ キーを押します。

4 ▼を押して［**用紙**］を選択し、OKを押します。

5 ▼を押して［**MP トレイ**］を選択し、OKを押します。

6 ［**用紙サイズ**］が選択されていることを確認し、OKを押します。

7 ▼を押して［**A4**］または［**レター**］を選択し、OKを押します。

8 ▼を押して［**用紙種類**］を選択し、OKを押します。

9 ▼を押して［**ラベル紙**］を選択し、OKを押します。

10 トップ画面が表示されるまで、◀を押します。

11 コンピュータで、印刷するファイルを開きます。

12 プリンタドライバで、用紙サイズと用紙トレイを指定します。

Windows PCL/PCL XPS プリンタドライバの場合

1 ［**ファイル**］メニューから［**印刷**］を選択します。

2 ［**詳細設定**］をクリックします。

3 ［**設定**］タブの［**サイズ**］から［**A4**］または［**レター**］を選択します。

4 ［**給紙方法**］から［**マルチパーパストレイ**］を選択します。

5 必要に応じてほかの設定を行い、印刷します。

Windows PS プリンタドライバの場合

1 ［**ファイル**］メニューから［**印刷**］を選択します。

2 ［**詳細設定**］をクリックします。

3 ［**用紙 / 品質**］タブを選択します。

4 ［**給紙方法**］から［**マルチパーパストレイ**］を選択します。

5 ［**詳細設定**］をクリックします。

6 ［**用紙サイズ**］をクリックし、ドロップダウンリストから［**A4**］または［**レター**］を選択します。

7 ［**OK**］をクリックします。

8 必要に応じてほかの設定を行い、印刷します。

Mac OS X PS プリンタドライバの場合

1 ［**ファイル**］メニューから、［**ページ設定**］を選択します。

2 ［**用紙サイズ**］から［**A4**］または［**レター**］を選択し、［**OK**］をクリックします。

3 ［**ファイル**］メニューから［**プリント**］を選択します。

4 パネルメニューから［**給紙**］を選択します。

5 ［**全体**］を選択し、［**マルチパーパストレイ**］を選択します。

6 必要に応じてほかの設定を行い、印刷します。

メモ

- Mac OS X 10.5 ～ 10.6 で、プリントダイアログにメニューが 2 つだけ表示され、印刷オプションが表示されないときには、［**プリンタ**］メニューの横にある開閉用三角ボタンをクリックします。

任意の用紙サイズに印刷する

任意の用紙サイズ（カスタムサイズ）をプリンタドライバに登録して、長尺用紙など、さまざまなサイズの用紙に印刷できます。

- 設定できるカスタムサイズの範囲

  幅：64 ～ 215.9 mm

  長さ：127 ～ 1320.8 mm

  給紙できる用紙サイズはトレイにより異なります。

注

- 用紙は縦向きに登録し、縦向きにトレイにセットします。
- 長さが 356 mm を超えるときは、フェイスアップスタッカを使用します。
- アプリケーションによっては、この機能が使用できないことがあります。
- 長さが 356 mm を超える用紙の印刷品位は保証できません。
- 用紙が長すぎて、MP トレイの用紙サポータからはみ出るときは、用紙を手で支えてください。
- トレイ 1 またはトレイ 2 を使用するときは、操作パネルの <**設定**> キー >［**用紙**］>［**トレイ 1**］または［**トレイ 2**］>［**用紙サイズ**］>［**カスタムサイズ**］を選択してから、以下の操作を行ってください。
- PS プリンタドライバで大きなサイズの用紙に正しく印刷されないときは、［**印刷品位**］で［**ふつう (600x600dpi)**］を選択すると正しく印刷されることがあります。
- 幅が 100 mm 未満の用紙は、紙づまりの原因になることがありますので、ご使用をおすすめしません。

参照

- それぞれのトレイに給紙できる用紙サイズや両面印刷ができる用紙サイズについては、「ユーザーズマニュアル　基本編」を参照してください。
- 工場出荷時の設定では、トレイの自動切り替えは有効になっています。印刷中に用紙がなくなると、自動的に別のトレイから給紙を始めます。特定のトレイからだけカスタムサイズの用紙を給紙する場合には、トレイの自動切り替えを無効にしてください。トレイの自動切り替えについては、「トレイを自動的に切り替える」（P. 59）を参照してください。

Windows PCL プリンタドライバの場合

1 ［**スタート**］をクリックし、［**デバイスとプリンター**］を選択します。

2 OKI MC561 アイコンを右クリックし、［**印刷設定**］>［**OKI MC561(PCL)**］を選択します。

3 ［**設定**］タブの［**オプション**］をクリックします。

4 ［**用紙サイズの追加**］をクリックします。

5 名前と寸法を入力します。

   a)［**名称**］に新しいサイズの名前を入力します。

   b)［**幅**］および［**長さ**］に値を入力します。

4 印刷

6 ［**追加**］をクリックして任意の用紙サイズをリストに保存し、［**OK**］をクリックします。
最大 32 個まで保存できます。

7 ［**印刷設定**］ダイアログが閉じるまで［**OK**］を押します。

8 アプリケーションから印刷するファイルを開きます。

9 プリンタドライバで、登録した用紙サイズを指定し、印刷します。

参照

- プリンタドライバで用紙を指定する方法については、「ユーザーズマニュアル　基本編」を参照してください。

Windows PS プリンタドライバの場合

1 ［**スタート**］をクリックし、［**デバイスとプリンター**］を選択します。

2 OKI MC561 アイコンを右クリックし、［**印刷設定**］＞［**OKI MC561(PS)**］を選択します。

3 ［**レイアウト**］タブの［**詳細設定**］をクリックします。

4 ［**用紙サイズ**］をクリックし、ドロップダウンリストから［**PostScript カスタム ページ サイズ**］を選択します。

5 ［**幅**］および［**高さ**］ボックスに値を入力し、［**OK**］を押します。

! 注

- ［**用紙フィーダーの大きさに対するオフセット**］の設定はできません。

6 ［**印刷設定**］ダイアログが閉じるまで［**OK**］を押します。

7 アプリケーションから印刷するファイルを開きます。

8 プリンタドライバで、用紙サイズに［**PostScript カスタム ページ サイズ**］を選択し、印刷します。

参照

- プリンタドライバで用紙を指定する方法については、「ユーザーズマニュアル　基本編」を参照してください。

Windows PCL XPS プリンタドライバの場合

1 ［**スタート**］をクリックし、［**デバイスとプリンター**］を選択します。

2 ［**プリンターと FAX**］で任意のプリンタアイコンをクリックし、ウィンドウ上部のバーの［**プリント サーバー プロパティ**］をクリックします。

3 ［**用紙**］タブを選択します。

4 ［**新しい用紙を作成する**］にチェックをつけます。

5 ［**用紙名**］、［**用紙サイズ**］、［**余白**］に値を入力します。

6 ［**用紙の保存**］をクリックします。

7 ［**閉じる**］をクリックします。

8 アプリケーションから印刷するファイルを開きます。

9 プリンタドライバで、登録した用紙サイズを指定し、印刷します。

参照

- プリンタドライバで用紙を指定する方法については、「ユーザーズマニュアル　基本編」を参照してください。

Mac OS X PS プリンタドライバの場合

! 注

- Mac OS X PS プリンタドライバでは、使用できる範囲外の用紙サイズを設定できますが、その場合、正しく印刷できません。範囲内の用紙サイズを設定してください。

1 印刷するファイルを開きます。

2 ［**ファイル**］メニューから［**ページ設定**］を選択します。

3 ［**用紙サイズ**］から［**カスタムサイズを管理**］を選択します。

4 ［**+**］をクリックし、任意の用紙サイズのリストに項目を追加します。

5 ［**名称未設定**］をダブルクリックし、任意の用紙サイズの名前を入力します。

6 ［**幅**］および［**高さ**］に値を入力します。

7 ［**OK**］をクリックします。

8 ［**OK**］をクリックします。

9 ［**ファイル**］メニューから［**プリント**］を選択します。

10 必要に応じてほかの設定を行い、印刷します。

メモ

- Mac OS X 10.5 ～ 10.6 で、プリントダイアログにメニューが 2 つだけ表示され、印刷オプションが表示されないときには、［**プリンタ**］メニューの横にある開閉用三角ボタンをクリックします。

1 枚の用紙に複数のページを印刷する

複数のページを 1 枚の用紙に印刷できます。

注

- この機能では、原稿のページサイズを縮小して印刷します。印刷画像の中央が、用紙の中央と一致しないことがあります。
- アプリケーションによっては、この機能が使用できないことがあります。

Windows PCL/PCL XPS プリンタドライバの場合

1. 印刷するファイルを開きます。
2. ［**ファイル**］メニューから［**印刷**］を選択します。
3. ［**詳細設定**］をクリックします。
4. ［**設定**］タブの［**レイアウトタイプ**］で、1 枚の用紙に印刷するページ数を選択します。
5. ［**詳細設定**］をクリックします。
6. ［**枠線**］、［**マルチページ**］、［**とじ代**］で各設定を行い、［**OK**］をクリックします。
7. 必要に応じてほかの設定を行い、印刷します。

Windows PS プリンタドライバの場合

1. 印刷するファイルを開きます。
2. ［**ファイル**］メニューから［**印刷**］を選択します。
3. ［**詳細設定**］をクリックします。
4. ［**レイアウト**］タブの［**シートごとのページ数**］から 1 枚の用紙に印刷するページ数を選択します。
5. 境界線とレイアウトの設定を行います。
   - ［**境界線を引く**］
     ページの枠線を印刷できます。
   - ［**詳細設定**］>［**シートごとのページ レイアウト**］
     ページのレイアウトを設定できます。

   注

   - Windows XP/Windows Server 2003/Windows 2000 では、［**境界線を引く**］と［**シートごとのページ レイアウト**］は使用できません。
6. 必要に応じてほかの設定を行い、印刷します。

Mac OS X PS プリンタドライバの場合

1. 印刷するファイルを開きます。
2. ［**ファイル**］メニューから［**プリント**］を選択します。
3. パネルメニューから［**レイアウト**］を選択します。
4. ［**ページ数 / 枚**］から 1 枚の用紙に印刷するページ数を選択します。
5. ［**境界線**］と［**レイアウト方向**］で、各設定を行います。
6. 必要に応じてほかの設定を行い、印刷します。

メモ

- Mac OS X 10.5 ～ 10.6 で、プリントダイアログにメニューが 2 つだけ表示され、印刷オプションが表示されないときには、［**プリンタ**］メニューの横にある開閉用三角ボタンをクリックします。

両面印刷する

用紙の両面に印刷できます。

- 両面印刷できる用紙サイズ

  A4、A5、B5、レター、リーガル (13 インチ)、リーガル (13.5 インチ)、リーガル (14 インチ)、エグゼクティブ、16K（197 x 273 mm、195 x 270 mm、184 x 260 mm)、カスタムサイズ

  A6 は両面印刷できません。

- 両面印刷できる用紙の厚さ

  64 ～ 176g/m^2

  上記以外の厚さの用紙を使用すると紙づまりの原因となりますので使用できません。

注

- フェイスアップスタッカが開いたままで両面印刷を行うと、操作パネルの表示画面に、フェイスアップスタッカを閉めるように指示するメッセージが表示されます。このとき、フェイスアップスタッカを閉じると、印刷を再開できます。
  また、印刷中にフェイスアップスタッカを開けると紙づまりとなります。印刷中はフェイスアップスタッカを開けないでください。
- アプリケーションによっては、この機能が使用できないことがあります。

メモ

- 両面印刷できるカスタムサイズの幅と長さの範囲は下記のとおりです。
  - 幅：148 ～ 216 mm（5.8 ～ 8.5 インチ）
  - 長さ：210 ～ 356 mm（8.3 ～ 14.0 インチ）

1. 本機背面のフェイスアップスタッカが閉じていることを確認します。
2. コンピュータのプリンタドライバで両面印刷の設定を行い、印刷します。

Windows PCL/PCL XPS プリンタドライバの場合

1. 印刷するファイルを開きます。
2. ［**ファイル**］メニューから［**印刷**］を選択します。
3. ［**詳細設定**］をクリックします。
4. ［**設定**］タブの［**両面印刷**］から［**長辺とじ**］または［**短辺とじ**］を選択します。
5. 必要に応じてほかの設定を行い、印刷します。

Windows PS プリンタドライバの場合

1. 印刷するファイルを開きます。
2. ［**ファイル**］メニューから［**印刷**］を選択します。
3. ［**詳細設定**］をクリックします。
4. ［**レイアウト**］タブの［**両面印刷**］から［**長辺を綴じる**］または［**短辺を綴じる**］を選択します。
5. 必要に応じてほかの設定を行い、印刷します。

Mac OS X PS プリンタドライバの場合

1. 印刷するファイルを開きます。
2. ［**ファイル**］メニューから［**プリント**］を選択します。
3. パネルメニューから［**レイアウト**］を選択します。
4. ［**両面**］から［**長辺とじ**］または［**短辺とじ**］を選択します。
5. 必要に応じてほかの設定を行い、印刷します。

メモ

- Mac OS X 10.5 ～ 10.6 で、プリントダイアログにメニューが 2 つだけ表示され、印刷オプションが表示されないときには、［**プリンタ**］メニューの横にある開閉用三角ボタンをクリックします。

ページを拡大 / 縮小する

印刷データを変更せずに、別の用紙サイズに印刷できます。

注

- アプリケーションによっては、この機能が使用できないことがあります。
- この機能は、Windows PS プリンタドライバでは使用できません。

Windows PCL/PCL XPS プリンタドライバの場合

1. 印刷するファイルを開きます。
2. ［**ファイル**］メニューから［**印刷**］を選択します。
3. ［**詳細設定**］をクリックします。
4. ［**設定**］タブで［**オプション**］をクリックします。
5. ［**用紙サイズ変換**］の［**用紙サイズを変換する**］にチェックをつけます。
6. ［**変換**］から拡大 / 縮小率を選択し、［**OK**］をクリックします。
7. 必要に応じてほかの設定を行い、印刷します。

Mac OS X PS プリンタドライバの場合

1. 印刷するファイルを開きます。
2. ［**ファイル**］メニューから［**プリント**］を選択します。
3. パネルメニューから［**用紙処理**］を選択します。
4. ［**用紙サイズに合わせる**］にチェックをつけます。
5. ［**出力用紙サイズ**］で使用したい用紙サイズを選択します。
6. 必要に応じてほかの設定を行い、印刷します。

メモ

- Mac OS X 10.5 ～ 10.6 で、プリントダイアログにメニューが 2 つだけ表示され、印刷オプションが表示されないときには、［**プリンタ**］メニューの横にある開閉用三角ボタンをクリックします。

部単位で印刷する

複数ページの原稿を部単位で印刷できます。

注
- アプリケーションによっては、この機能が使用できないことがあります。
- この機能を Windows PS プリンタドライバで使用するときは、アプリケーションの部単位印刷機能をオフにしてください。

Windows プリンタドライバの場合

1. 印刷するファイルを開きます。
2. ［**ファイル**］メニューから［**印刷**］を選択します。
3. ［**詳細設定**］をクリックします。
4. ［**印刷オプション**］タブを選択します。
5. ［**部数**］から印刷部数を選択し、［**部単位で印刷**］にチェックをつけます。
6. 必要に応じてほかの設定を行い、印刷します。

Mac OS X PS プリンタドライバの場合

1. 印刷するファイルを開きます。
2. ［**ファイル**］メニューから［**プリント**］を選択します。
3. ［**丁合い**］のチェックを外し、［**部数**］に印刷部数を入力します。
   Mac OS X 10.3.9 ～ 10.4.11 の場合、［**印刷部数と印刷ページ**］パネルの［**丁合い**］のチェックを外し、［**部数**］に印刷部数を入力します。
4. パネルメニューから［**プリンタの機能**］を選択します。
5. ［**機能セット**］から［**ジョブオプション**］を選択します。
6. ［**部単位で印刷**］にチェックをつけます。
7. 必要に応じてほかの設定を行い、印刷します。

メモ
- Mac OS X 10.5 ～ 10.6 で、プリントダイアログにメニューが 2 つだけ表示され、印刷オプションが表示されないときには、［**プリンタ**］メニューの横にある開閉用三角ボタンをクリックします。
- ［**丁合い**］にチェックをつけると、プリンタのメモリを利用しないで印刷します。

ページの順序を設定する

必要に応じてページを順序どおりに印刷したり、逆順で印刷したりできます。

フェイスダウンスタッカを使用する場合は、順序どおりに印刷するように設定すると、用紙はページ順に積み重ねられます。

フェイスアップスタッカを使用する場合は、逆順で印刷するように設定すると、用紙はページ順に積み重ねられます。

注
- 逆順での印刷は、Windows PCL/PCL XPS プリンタドライバでは使用できません。
- フェイスアップスタッカが開いていないときは、フェイスダウンスタッカに排紙されます。

Windows PS プリンタドライバの場合

1. 印刷するファイルを開きます。
2. ［**ファイル**］メニューから［**印刷**］を選択します。
3. ［**詳細設定**］をクリックします。
4. ［**レイアウト**］タブの［**ページの順序**］から［**順**］または［**逆**］を選択します。
5. 必要に応じてほかの設定を行い、印刷します。

メモ
- ［**ページの順序**］が表示されないときは、［**スタート**］>［**デバイスとプリンター**］を選択し、OKI MC561 アイコンを右クリックして、［**プリンターのプロパティ**］>［**OKI MC561(PS)**］>［**詳細設定**］タブ >［**詳細な印刷機能を有効にする**］にチェックをつけます。

Mac OS X PS プリンタドライバの場合

1. 印刷するファイルを開きます。
2. ［**ファイル**］メニューから［**プリント**］を選択します。
3. パネルメニューから［**用紙処理**］を選択します。
4. ［**ページの順序**］から［**通常**］または［**逆送り**］を選択します。
5. 必要に応じてほかの設定を行い、印刷します。

メモ
- Mac OS X 10.5 ～ 10.6 で、プリントダイアログにメニューが 2 つだけ表示され、印刷オプションが表示されないときには、［**プリンタ**］メニューの横にある開閉用三角ボタンをクリックします。

小冊子用にページを並べ替えて印刷する

最終的な印刷出力が小冊子になるように、複数ページの原稿をページ順に並べ替えて印刷できます。

注

- アプリケーションによっては、この機能が使用できないことがあります。
- この機能は、Mac OS X PS プリンタドライバでは使用できません。
- この機能では、ウォーターマークは正しく印刷されないことがあります。
- この機能は、本機をプリントサーバでネットワーク共有しているクライアントコンピュータから暗号化認証印刷をするときには無効です。

Windows PCL/PCL XPS プリンタドライバの場合

1. 印刷するファイルを開きます。
2. ［**ファイル**］メニューから［**印刷**］を選択します。
3. ［**詳細設定**］をクリックします。
4. ［**設定**］タブの［**レイアウトタイプ**］から［**製本印刷**］を選択します。
5. ［**詳細設定**］をクリックし、必要に応じて製本印刷のオプションを設定します。
   - ［**折丁**］: 製本するページ単位を指定します。
   - ［**右開き**］: 小冊子が右開きになるよう印刷します。
6. ［**OK**］をクリックします。
7. 必要に応じてほかの設定を行い、印刷します。

メモ

- A4 サイズの用紙を使用して A5 サイズの小冊子を作るときは、［**設定**］タブの［**サイズ**］から［**A4**］を選択します。
- Windows PCL プリンタドライバで、この機能を使用できないときは、［**スタート**］>［**デバイスとプリンター**］を選択し、OKI MC561 アイコンを右クリックして、［**プリンターのプロパティ**］>［**OKI MC561(PCL)**］>［**詳細設定**］タブ >［**プリント プロセッサ**］>［**MLLAPP3**］>［**OK**］を選択します。

Windows PS プリンタドライバの場合

1. 印刷するファイルを開きます。
2. ［**ファイル**］メニューから［**印刷**］を選択します。
3. ［**詳細設定**］をクリックします。
4. ［**レイアウト**］タブの［**ページ形式**］から［**小冊子**］を選択します。
   境界線を印刷したいときは、［**境界線を引く**］にチェックをつけます。
5. 必要に応じてほかの設定を行い、印刷します。

メモ

- A4 サイズの用紙を使用して A5 サイズの小冊子を作るときは、［**詳細設定**］の［**用紙サイズ**］から［**A4**］を選択します。
- 右折の小冊子（1 ページ目を表にしたとき、右側がとじ位置になる冊子）を作る場合、［**レイアウト**］タブで［**詳細設定**］をクリックし、［**小冊子綴じ**］で［**右の端**］を選択します。
  ［**小冊子綴じ**］は、Windows XP/Windows Server 2003/Windows 2000 では利用できません。
- この機能を使用できないときは、［**スタート**］>［**デバイスとプリンター**］を選択し、OKI MC561 アイコンを右クリックして、［**プリンターのプロパティ**］>［**OKI MC561(PS)**］>［**詳細設定**］タブ >［**詳細な印刷機能を有効にする**］にチェックをつけます。

表紙を印刷する

1 ページ目を給紙するトレイと、残りのページを給紙するトレイを分けることができます。この機能は、表紙と本文に別の種類の用紙を使用したいときに便利です。

注

- この機能は、Windows PS プリンタドライバでは使用できません。

Windows PCL/PCL XPS プリンタドライバの場合

1. 印刷するファイルを開きます。
2. ［**ファイル**］メニューから［**印刷**］を選択します。
3. ［**詳細設定**］をクリックします。
4. ［**設定**］タブの［**オプション**］をクリックします。
5. ［**1 ページ目の給紙方法を指定する**］にチェックをつけます。
6. ［**給紙方法**］から用紙トレイを選択し、［**OK**］をクリックします。
   必要に応じて［**用紙厚**］から用紙厚を選択します。
7. 必要に応じてほかの設定を行い、印刷します。

Mac OS X PS プリンタドライバの場合

1. 印刷するファイルを開きます。
2. ［**ファイル**］メニューから［**プリント**］を選択します。

3 パネルメニューから［**給紙**］を選択します。

4 ［**先頭ページのみ**］を選択し、1 ページ目を給紙するトレイと、残りのページを給紙するトレイを選択します。

5 必要に応じてほかの設定を行い、印刷します。

メモ

- Mac OS X 10.5～10.6 で、プリントダイアログにメニューが 2 つだけ表示され、印刷オプションが表示されないときには、［**プリンタ**］メニューの横にある開閉用三角ボタンをクリックします。

ポスターを印刷する

1 枚の原稿をいくつかのパーツに分割して、複数の用紙に印刷できます。各パーツは拡大されて各用紙に印刷され、最後に各用紙を組み合わせると 1 枚のポスターを作ることができます。

注

- この機能は、Windows PS プリンタドライバと、Mac OS X PS プリンタドライバでは使用できません。
- この機能は、NetBEUI または IPP ネットワークを使用しているときは使用できません。
- この機能は、本機をプリントサーバでネットワーク共有しているクライアントコンピュータから暗号化認証印刷をするときには無効です。

Windows PCL/PCL XPS プリンタドライバの場合

1 印刷するファイルを開きます。

2 ［**ファイル**］メニューから［**印刷**］を選択します。

3 ［**詳細設定**］をクリックします。

4 ［**設定**］タブの［**レイアウトタイプ**］から［**ポスター印刷**］を選択します。

5 ［**詳細設定**］をクリックします。

6 必要に応じて［**拡大**］、［**トンボ**］、［**オーバーラップ**］の値を設定し、［**OK**］を押します。

7 必要に応じてほかの設定を行い、印刷します。

メモ

- A4 の用紙を 2 枚使用して A3 サイズのポスターを作るときは、用紙サイズに［**A4**］を選択し、［**拡大**］で［**2**］を選択します。
- Windows PCL プリンタドライバで、この機能を使用できないときは、［**スタート**］>［**デバイスとプリンター**］を選択し、OKI MC561 アイコンを右クリックして、［**プリンターのプロパティ**］>［**OKI MC561(PCL)**］>［**詳細設定**］タブ >［**プリント プロセッサ**］>［**MLLAPP3**］>［**OK**］を選択します。

印刷品位を変更する

必要に応じて印刷品位を変更できます。

メモ

- Windows PS プリンタドライバや Mac OS X PS プリンタドライバで、大きなサイズの用紙に印刷するときは、［**ふつう (600x600dpi)**］を使用すると印刷品位が向上することがあります。

Windows プリンタドライバの場合

1 印刷するファイルを開きます。

2 ［**ファイル**］メニューから［**印刷**］を選択します。

3 ［**詳細設定**］をクリックします。

4 ［**印刷オプション**］タブを選択します。

5 ［**印刷品位**］で印刷品位を選択します。

6 必要に応じてほかの設定を行い、印刷します。

Mac OS X PS プリンタドライバの場合

1 印刷するファイルを開きます。

2 ［**ファイル**］メニューから［**プリント**］を選択します。

3 パネルメニューから［**プリンタの機能**］を選択します。

4 ［**機能セット**］から［**ジョブオプション**］を選択します。

5 ［**印刷品位**］から印刷品位を選択します。

6 必要に応じてほかの設定を行い、印刷します。

メモ

- Mac OS X 10.5～10.6 で、プリントダイアログにメニューが 2 つだけ表示され、印刷オプションが表示されないときには、［**プリンタ**］メニューの横にある開閉用三角ボタンをクリックします。

写真を鮮明に印刷する

写真をより鮮明に印刷できます。

注

- この機能は、Windows PS プリンタドライバと、Mac OS X PS プリンタドライバでは使用できません。
- この機能は、Windows PCL プリンタドライバで、[**ファイル**] > [**印刷**] > [**OKI MC561(PCL)**] > [**詳細設定**] > [**カラー**] タブ > [**オフィスドキュメント**] にチェックがついているときは使用できません。

Windows PCL/PCL XPS プリンタドライバの場合

1 印刷するファイルを開きます。

2 [**ファイル**] メニューから [**印刷**] を選択します。

3 [**詳細設定**] をクリックします。

4 [**印刷オプション**] タブを選択します。

5 [**フォトモード**] にチェックをつけます。

6 必要に応じてほかの設定を行い、印刷します。

Mac OS X PS プリンタドライバの場合

1 印刷するファイルを開きます。

2 [**ファイル**] メニューから [**プリント**] を選択します。

3 パネルメニューから [**プリンタの機能**] を選択します。

4 [**機能セット**] から [**イメージオプション**] を選択します。

5 [**極細線を補正する**] にチェックをつけます。

6 必要に応じてほかの設定を行い、印刷します。

メモ

- Mac OS X 10.5 ～ 10.6 で、プリントダイアログにメニューが 2 つだけ表示され、印刷オプションが表示されないときには、[**プリンタ**] メニューの横にある開閉用三角ボタンをクリックします。

細線を強調する

細線や小さな文字のかすれを補正します。

メモ

- この機能は、工場出荷時の設定でオンになっています。
- アプリケーションによっては、バーコードなどの間隔が狭くなることがあります。その場合は、この機能をオフにしてください。

Windows プリンタドライバの場合

1 印刷するファイルを開きます。

2 [**ファイル**] メニューから [**印刷**] を選択します。

3 [**詳細設定**] をクリックします。

4 [**印刷オプション**] タブを選択します。

5 [**その他**] をクリックします。

6 [**極細線を補正する**] にチェックをつけ、[**OK**] をクリックします。

7 必要に応じてほかの設定を行い、印刷します。

トレイを自動的に選択する

プリンタドライバで指定した用紙サイズと一致する用紙がセットされているトレイを自動的に選択することができます。

まず、操作パネルで MP トレイが自動トレイ選択の対象となるように設定します。そのあと、プリンタドライバでトレイの自動選択を設定します。

注

- 必ず、操作パネルで、トレイ 1、トレイ 2（オプション）、マルチパーパストレイの用紙サイズを設定してください。使用できる用紙サイズは、各トレイで異なります。詳しくは「ユーザーズマニュアル　基本編」を参照してください。

メモ

- 工場出荷時の設定では、[**MP トレイ使い方**] は [**使用しない**] になっています。この場合、MP トレイは自動トレイ選択の対象になりません。
- [**管理者設定**] メニューに入るには、管理者パスワードが必要です。工場出荷時のパスワードは「aaaaaa」です。

1 操作パネルの < **設定** > キーを押します。

2 ▼を押して [**管理者設定**] を選択し、OK を押します。

3 管理者パスワードを入力します。

4 [**決定**] を選択し、OK を押します。

5 ▼を押して [**プリンタ機能**] を選択し、OK を押します。

6 [**印刷メニュー**] が選択されていることを確認し、OK を押します。

7 [**トレイ構成**] が選択されていることを確認し、OK を押します。

8 ▼を押して［**MP トレイ使い方**］を選択し、OKを押します。

9 ▼を押して［**用紙違いのとき**］を選択し、OKを押します。

10 トップ画面が表示されるまで、◀を押します。

11 プリンタドライバで用紙トレイを指定し、印刷します。

Windows PCL/PCL XPS プリンタドライバの場合

1 印刷するファイルを開きます。

2 ［**ファイル**］メニューから［**印刷**］を選択します。

3 ［**詳細設定**］をクリックします。

4 ［**設定**］タブの［**給紙方法**］から［**自動選択**］を選択します。

5 必要に応じてほかの設定を行い、印刷します。

Windows PS プリンタドライバの場合

1 印刷するファイルを開きます。

2 ［**ファイル**］メニューから［**印刷**］を選択します。

3 ［**詳細設定**］をクリックします。

4 ［**用紙 / 品質**］タブを選択します。

5 ［**給紙方法**］から［**自動選択**］を選択します。

6 必要に応じてほかの設定を行い、印刷します。

Mac OS X PS プリンタドライバの場合

1 印刷するファイルを開きます。

2 ［**ファイル**］メニューから［**プリント**］を選択します。

3 パネルメニューから［**給紙**］を選択します。

4 ［**全体**］を選択し、［**自動選択**］を選択します。

5 必要に応じてほかの設定を行い、印刷します。

メモ

- Mac OS X 10.5 ～ 10.6 で、プリントダイアログにメニューが 2 つだけ表示され、印刷オプションが表示されないときには、［**プリンタ**］メニューの横にある開閉用三角ボタンをクリックします。

トレイを自動的に切り替える

用紙トレイを自動的に切り替えることができます。

印刷中に用紙切れになると、同じ用紙サイズがセットされているほかのトレイから給紙し、印刷を継続します。

この機能は、同じサイズの用紙に大量に印刷する場合に便利です。

まず、操作パネルで MP トレイが自動トレイ切り替えの対象となるように設定します。そのあと、プリンタドライバでトレイの自動切り替えを設定します。

! 注

- 必ず、操作パネルで、自動トレイ切り替えに使用する各トレイの用紙設定（用紙サイズ、用紙種類、用紙厚）を同じにしてください。使用できる用紙サイズは、各トレイで異なります。詳しくは「ユーザーズマニュアル　基本編」を参照してください。

メモ

- 工場出荷時の設定では、［**MP トレイ使い方**］は［**使用しない**］になっています。この場合、マルチパーパストレイは自動トレイ切り替えの対象にはなりません。
- ［**管理者設定**］メニューに入るには管理者パスワードが必要です。工場出荷時のパスワードは「aaaaaa」です。

1 操作パネルの<**設定**>キーを押します。

2 ▼を押して［**管理者設定**］を選択し、OKを押します。

3 管理者パスワードを入力します。

4 ［**決定**］を選択し、OKを押します。

5 ▼を押して［**プリンタ機能**］を選択し、OKを押します。

6 ［**印刷メニュー**］が選択されていることを確認し、OKを押します。

7 ［**トレイ構成**］が選択されていることを確認し、OKを押します。

8 ▼を押して［**MP トレイ使い方**］を選択し、OKを押します。

9 ▼を押して［**用紙違いのとき**］を選択し、OKを押します。

10 トップ画面が表示されるまで、◀を押します。

11 プリンタドライバで自動トレイ切り替えの設定を行います。

Windows PCL/PCL XPS プリンタドライバの場合

1 印刷するファイルを開きます。
2 ［ファイル］メニューから［**印刷**］を選択します。
3 ［**詳細設定**］をクリックします。
4 ［**設定**］タブの［**オプション**］をクリックします。
5 ［**自動トレイ切り替え**］にチェックをつけ、［OK］をクリックします。
6 必要に応じてほかの設定を行い、印刷します。

Windows PS プリンタドライバの場合

1 印刷するファイルを開きます。
2 ［ファイル］メニューから［**印刷**］を選択します。
3 ［**詳細設定**］をクリックします。
4 ［**レイアウト**］タブの［**詳細設定**］をクリックします。
5 ［**プリンターの機能**］の下の［**自動トレイ切り替え**］をクリックし、ドロップダウンリストから［**あり**］を選択します。
6 ［OK］をクリックします。
7 必要に応じてほかの設定を行い、印刷します。

Mac OS X PS プリンタドライバの場合

■ Mac OS X 10.5 ～ 10.6 の場合

1 印刷するファイルを開きます。
2 ［ファイル］メニューから［**プリント**］を選択します。
3 パネルメニューから［**プリンタの機能**］を選択します。
4 ［**機能セット**］から［**給紙オプション**］を選択します。
5 ［**自動トレイ切り替え**］にチェックをつけます。
6 必要に応じてほかの設定を行い、印刷します。

■ Mac OS X 10.3.9 ～ 10.4.11 の場合

1 印刷するファイルを開きます
2 ［ファイル］メニューから［**プリント**］を選択します。
3 パネルメニューから［**エラー処理**］を選択します。
4 ［**同じ用紙サイズの別のカセットに切り替える**］を選択します。
5 必要に応じてほかの設定を行い、印刷します。

トナーを節約する

トナーを節約して印刷できます。

この機能は、100% 黒の領域を除く、ページの画像全体を明るくすることで、トナーの消費量を節約します。

! 注

- この機能は、100% 黒の領域には無効です。
- この機能は、グレースケールモードを使用するときには無効です。
- この機能は、次の場合には無効です。
  - PostScript で CMYK 印刷を設定している
  - PostScript でグレースケール印刷を設定している
  - CIE カラースペースで印刷データを作成するアプリケーションまたは OS を使用している

メモ

- この機能を使用して印刷する画像の濃度は、印刷する原稿によって異なります。

Windows PCL/PS プリンタドライバの場合

1 印刷するファイルを開きます。
2 ［ファイル］メニューから［**印刷**］を選択します。
3 ［**詳細設定**］をクリックします。
4 ［**カラー**］タブを選択します。
5 ［**トナーセーブ**］にチェックをつけます。
6 必要に応じてほかの設定を行い、印刷します。

Windows PCL XPS プリンタドライバの場合

1 印刷するファイルを開きます。
2 ［ファイル］メニューから［**印刷**］を選択します。
3 ［**詳細設定**］をクリックします。
4 ［**印刷オプション**］タブを選択します。

5 ［**トナーセーブ**］にチェックをつけます。

6 必要に応じてほかの設定を行い、印刷します。

メモ

- Windows PCL プリンタドライバと Windows PCL XPS プリンタドライバでは、［**カラー**］タブの［**オフィスドキュメント**］を選択して、トナーの消費量を制限することもできます。トナーセーブモードとオフィスドキュメントモードの両方を使用すると、出力画像の濃度はより薄くなります。

Mac OS X PS プリンタドライバの場合

1 印刷するファイルを開きます。

2 ［**ファイル**］メニューから［**プリント**］を選択します。

3 パネルメニューから［**カラー**］を選択します。

4 ［**トナーセーブ**］にチェックをつけます。

5 必要に応じてほかの設定を行い、印刷します。

メモ

- Mac OS X 10.5 ～ 10.6 で、プリントダイアログにメニューが 2 つだけ表示され、印刷オプションが表示されないときには、［**プリンタ**］メニューの横にある開閉用三角ボタンをクリックします。

認証印刷する（MC561dn のみ）

印刷ジョブにパスワードを割り当てて、操作パネルからパスワードが入力されたときだけ印刷できます。

この機能を使用するには、本機に SD メモリーカードが取り付けられている必要があります。

! 注

- SD メモリーカードの容量不足でスプールしたデータを格納できないときは、ファイルシステムがいっぱいであることを示すメッセージが表示され、印刷ジョブは開始されません。
- この機能は、Windows PCL XPS プリンタドライバと、Mac OS X PS プリンタドライバでは使用できません。

Windows PCL/PS プリンタドライバの場合

1 印刷するファイルを開きます。

2 ［**ファイル**］メニューから［**印刷**］を選択します。

3 ［**詳細設定**］をクリックします。

4 ［**印刷オプション**］タブを選択します。

5 ［**印刷形式**］から［**認証印刷**］を選択します。

6 ［**ジョブ名**］にジョブ名を入力し、［**ジョブパスワード**］にパスワードを入力します。

［**印刷時にジョブ名を入力する**］にチェックをつけると、本機に印刷ジョブを送信するときに、ジョブ名をたずねるプロンプトが表示されます。

7 ［OK］をクリックします。

8 必要に応じてほかの設定を行い、印刷します。

本機に印刷ジョブが送信されるだけで、まだ印刷されません。

9 操作パネルの < **プリント** > キーを押します。

10 ▼を押して［**ジョブ印刷**］を選択し、OK を押します。

11 ［**保存ジョブ**］が選択されていることを確認し、OK を押します。

12 ［**パスワード**］に手順 6 で設定したパスワードを入力して OK を押し、ジョブの検索を開始します。

- 入力を間違えたときは、< **クリア** > キーを押します。
- ジョブの検索を停止したいときは、< **ストップ** > キーを押します。

13 ［**印刷**］が選択されていることを確認し、OK を押します。

［**削除**］を選択すると、ジョブを削除できます。

14 印刷部数を入力し、OK を押します。

! 注

- ジョブに設定したパスワードを忘れるなどして、ジョブを本機に送信したまま印刷しないでいると、ジョブは SD メモリーカードに残ったままになります。
SD メモリーカード内に保存されたジョブを削除する方法については、「SD メモリーカードから不要なジョブを削除する」（P. 110）を参照してください。

暗号化認証印刷を行う（MC561dn のみ）

印刷ジョブをコンピュータから本機に送信する前に暗号化し、機密情報への不正なアクセスを防止できます。

印刷ジョブは、登録しているパスワードを操作パネルから入力するまで印刷されず、本機の SD メモリーカードに暗号化された形式で保存されます。

SD メモリーカードに保存されている印刷ジョブは、印刷が終了するか、ある一定期間を過ぎても印刷されないと、自動的に削除されます。データの送信時にエラーが発生したり、認証されていないユーザがジョブにアクセスを試みていることが検出されたりしても、ジョブは自動的に削除されます。

注

- SD メモリーカードの容量不足で、スプールしたデータを格納できないときは、ファイルシステムがいっぱいであること示すメッセージが表示され、印刷ジョブは開始されません。
- この機能は、64bit 版の Windows 7/Windows Vista/Windows Server 2008 R2/Windows Server 2008/Windows XP/Windows Server 2003 では使用できません。
- この機能は、Windows PCL XPS プリンタドライバと、Mac OS X PS プリンタドライバでは使用できません。
- 本機をプリントサーバでネットワーク共有している場合、Windows PCL プリンタドライバでは、ポスター印刷または小冊子印刷とこの機能を併用することはできません。
- この機能を使用するときは、［**ホストの開放を優先する**］のチェックを外してください。詳しくは、「プリンタバッファを使用する（MC561dn のみ）」（P. 66）を参照してください。
- Windows 7/Windows Server 2008 R2 では、［**スタート**］＞［**デバイスとプリンター**］＞ OKI MC561 アイコン＞［**プリンターのプロパティ**］＞［**OKI MC561(PS)**］＞［**デバイスの設定**］＞［**暗号化認証印刷ジョブのみ印刷する**］を有効にできません。
- Windows Vista/Windows Server 2008 では［**スタート**］＞［**コントロールパネル**］＞［**プリンタ**］＞ OKI MC561 アイコン＞［**プロパティ**］＞［**OKI MC561(PS)**］＞［**デバイスの設定**］＞［**暗号化認証印刷ジョブのみ印刷する**］を有効にできません。

Windows PCL/PS プリンタドライバの場合

1. 印刷するファイルを開きます。
2. ［**ファイル**］メニューから［**印刷**］を選択します。
3. ［**詳細設定**］をクリックします。
4. ［**印刷オプション**］タブを選択します。
5. ［**暗号化認証印刷**］を選択します。
6. ［**パスワード**］にパスワードを入力し、必要に応じてほかのオプションを設定します。

   参照

   - オプションについては、ドライバ画面の説明を参照してください。
7. ［OK］をクリックします。
8. 必要に応じてほかの設定を行い、印刷します。

   本機に印刷ジョブが送信されるだけで、まだ印刷されません。
9. 操作パネルの<**プリント**>キーを押します。
10. ▼を押して［**ジョブ印刷**］を選択し、OK を押します。
11. ▼を押して［**暗号ジョブ**］を選択し、OK を押します。
12. 手順 6 で設定したパスワードを［**パスワード**］に入力して OK を押し、ジョブの検索を開始します。
    - 入力を間違えたときは、<**クリア**>キーを押します。
    - ジョブの検索を停止したいときは、<**ストップ**>キーを押します。
13. ［**印刷**］が選択されていることを確認し、OK を押します。

    ［**削除**］を選択すると、印刷ジョブを削除できます。
    同じパスワードで暗号化されているジョブがすべて削除されます。

ウォーターマークを印刷する

印刷するファイルの本文とは別に、文字を重ねて印刷できます。

注

- この機能は、Mac OS X PS プリンタドライバでは使用できません。
- 小冊子の印刷では、ウォーターマークは適切に印刷されません。

Windows プリンタドライバの場合

1. 印刷するファイルを開きます。
2. ［**ファイル**］メニューから［**印刷**］を選択します。
3. ［**詳細設定**］をクリックします。
4. ［**印刷オプション**］タブを選択します。
5. ［**ウォーターマーク**］をクリックします。
6. ［**新規**］をクリックします。
7. 文字、サイズ、回転角度を指定し、［OK］をクリックします。
8. ［OK］をクリックします。
9. 必要に応じてほかの設定を行い、印刷します。

注

- Windows PS プリンタドライバの工場出荷時の設定では、ウォーターマークは、原稿の文字や画像の上に重ねて印刷されます。原稿の背景に印刷するには、［**ウォーターマーク**］画面で［**バックグラウンド**］にチェックをつけます。
  ［**ウォーターマーク**］画面の［**バックグラウンド**］にチェックをつけると、アプリケーションによってはウォーターマークが印刷されない場合があります。この場合は、［**バックグラウンド**］のチェックを外してください。

オーバーレイ印刷をする（MC561dn のみ）

原稿にオーバーレイ（ロゴ、フォームなど）を印刷できます。

この機能を使用するには、本機に SD メモリーカードが取り付けられている必要があります。

注

- この機能は、Windows PCL XPS プリンタドライバと、Mac OS X PS プリンタドライバでは使用できません。
- Windows PS プリンタドライバで、この機能を使用するには、コンピュータに管理者としてログインする必要があります。

参照

- ストレージデバイスマネージャとそのインストール方法については、「ストレージデバイスマネージャ」（P. 108）を参照してください。

1 ストレージデバイスマネージャでオーバーレイを作成して、本機に登録します。

参照

- 「フォームを登録する（フォームオーバーレイ）」（P. 109）

2 プリンタドライバでオーバーレイを定義し、印刷します。

Windows PCL プリンタドライバの場合

メモ

- オーバーレイは、フォームのグループです。1 つのオーバーレイに 3 つのフォームを登録できます。
  フォームは登録された順に重ね合わせて印刷されます。最後に登録したフォームが一番上に印字されます。

1 印刷するファイルを開きます。

2 ［**ファイル**］メニューから［**印刷**］を選択します。

3 ［**詳細設定**］をクリックします。

4 ［**印刷オプション**］タブを選択します。

5 ［**オーバーレイ**］をクリックします。

6 ［**オーバーレイを使用する**］にチェックをつけます。

7 ［**オーバーレイの定義**］をクリックします。

8 ［**オーバーレイ名**］にオーバーレイの名前を入力します。

9 ［**ID**］にストレージデバイスマネージャに登録したフォームの ID を入力します。

10 ［**印刷するページ**］から、オーバーレイを印刷する原稿のページを選択します。

11 ［**追加**］をクリックします。

12 ［**閉じる**］をクリックします。

13 ［**定義済みオーバーレイ**］から使用するオーバーレイを選択し、［**追加**］をクリックします。

14 ［**OK**］をクリックします。

15 必要に応じてほかの設定を行い、印刷します。

Windows PS プリンタドライバの場合

メモ

- オーバーレイは、フォームのグループです。1 つのオーバーレイに 3 つのフォームを登録できます。

1 ［**スタート**］をクリックし、［**デバイスとプリンター**］を選択します。

2 OKI MC561 アイコンを右クリックし、［**印刷設定**］＞［**OKI MC561(PS)**］を選択します。

3 ［**印刷オプション**］タブを選択します。

4 ［**オーバーレイ**］をクリックします。

5 ドロップダウンリストから［**オーバーレイを使用する**］を選択し、［**新規**］をクリックします。

6 ［**フォーム名**］に、ストレージデバイスマネージャで登録したフォームの名前を正確に入力し、［**追加**］をクリックします。

7 ［**オーバーレイ名**］にオーバーレイの名前を入力します。

8 ［**印刷するページ**］からオーバーレイを印刷する原稿のページを選択します。

9 ［**OK**］をクリックします。

10 ［**定義済みオーバーレイ**］リストから使用するオーバーレイを選択し、［**追加**］をクリックします。

11 ［**OK**］をクリックします。

12 ［**OK**］をクリックして印刷設定ダイアログを閉じます。

13 アプリケーションから印刷するファイルを開きます。

14 印刷します。

印刷データを保存する（MC561dn のみ）

本機に装着されている SD メモリーカードに印刷データを保存しておき、操作パネルからパスワードを入力し、必要に応じてデータを印刷できます。

注

- SD メモリーカードの容量不足で、スプールしたデータを格納できないときは、ファイルシステムがいっぱいであること示すメッセージが表示され、印刷ジョブは開始されません。
- この機能は、Windows PCL XPS プリンタドライバと、Mac OS X PS プリンタドライバでは使用できません。

Windows PCL/PS プリンタドライバの場合

1. 印刷するファイルを開きます。
2. ［**ファイル**］メニューから［**印刷**］を選択します。
3. ［**詳細設定**］をクリックします。
4. ［**印刷オプション**］タブを選択します。
5. ［**プリンタに保存**］を選択します。
6. ［**ジョブ名**］にジョブ名を入力し、［**ジョブパスワード**］にパスワードを入力します。
   ［**印刷時にジョブ名を入力する**］にチェックをつけると、本機にジョブを送信するときにジョブ名をたずねるプロンプトが表示されます。
7. ［OK］をクリックします。
8. 必要に応じてほかの設定を行い、印刷します。
   本機に印刷ジョブが送信されるだけで、まだ印刷されません。
9. 操作パネルの＜**プリント**＞キーを押します。
10. ▼を押して［**ジョブ印刷**］を選択し、OKを押します。
11. ［**保存ジョブ**］が選択されていることを確認し、OKを押します。
12. 手順 6 で設定したパスワードを［**パスワード**］に入力してOKを押し、ジョブの検索を開始します。
    - 入力を間違えたときは、＜**クリア**＞キーを押します。
    - ジョブの検索を停止したいときは、＜**ストップ**＞キーを押します。
13. ［**印刷**］が選択されていることを確認し、OKを押します。
    ［**削除**］を選択すると、印刷ジョブを削除できます。
14. 印刷部数を入力し、OKを押します。

参照

- 保存した印刷データをストレージデバイスマネージャで削除できます。詳しくは、「SD メモリーカードから不要なジョブを削除する」（P. 110）を参照してください。

ドライバの設定を保存する

プリンタドライバの設定を保存できます。

注

- この機能は、Windows PS プリンタドライバ、Mac OS X PS プリンタドライバ、ファクスドライバでは使用できません。

Windows PCL/PCL XPS プリンタドライバの場合

■ 設定を保存する

1. ［**スタート**］をクリックし、［**デバイスとプリンター**］を選択します。
2. OKI MC561 アイコンを右クリックし、［**印刷設定**］＞［**OKI MC561(*)**］を選択します。
   * 使用したいドライバの種類を選択してください。
3. 保存したい印刷設定を行います。
4. ［**設定**］タブで［**ドライバ設定**］の［**追加**］をクリックします。
5. 保存する設定の名前を指定し、［OK］をクリックします。
   ［**用紙の情報を保存する**］にチェックをつけると、［**設定**］タブの用紙の設定も保存されます。
6. ［OK］をクリックして印刷設定ダイアログを閉じます。

メモ

- 最大 14 個まで保存できます。

■ 保存した設定を使用する

1. 印刷するファイルを開きます。
2. ［**ファイル**］メニューから［**印刷**］を選択します。
3. ［**詳細設定**］をクリックします。
4. ［**設定**］タブの［**ドライバ設定**］から使用する設定を選択します。
5. 印刷します。

ドライバの初期設定を変更する

頻繁に使用する印刷設定をプリンタドライバの初期設定として使用できます。

Windows プリンタドライバの場合

1 ［**スタート**］をクリックし、［**デバイスとプリンター**］を選択します。

2 OKI MC561 アイコンを右クリックし、［**印刷設定**］>［**OKI MC561(*)**］を選択します。
* 使用したいドライバの種類を選択してください。

3 ドライバの初期設定として使用する印刷設定を行います。

4 ［**OK**］をクリックします。

Mac OS X PS プリンタドライバの場合

1 ファイルを開きます。

2 ［**ファイル**］メニューから［**プリント**］を選択します。

3 ドライバの初期設定として使用する印刷設定を行います。

4 ［**プリセット**］から［**別名で保存**］を選択します。

5 設定の名前を入力し、［**OK**］をクリックします。

6 ［**キャンセル**］をクリックします。

! 注

- 保存した設定を使用するには、プリントダイアログの［**プリセット**］から設定を選択します。

プリンタのフォントを使用する

コンピュータの TrueType フォントの代わりに、本機にあらかじめインストールされているプリンタフォントを使用して印刷できます。

! 注

- プリンタのフォントは、画面に表示される TrueType フォントのデザインを正確に再現するものではありません。
- この機能は、Windows PCL XPS プリンタドライバと、Mac OS X PS プリンタドライバでは使用できません。
- Windows PS プリンタドライバで、この機能を使用するには、コンピュータに管理者としてログインする必要があります。
- アプリケーションによっては、この機能が使用できないことがあります。

Windows PCL プリンタドライバの場合

1 印刷するファイルを開きます。

2 ［**ファイル**］メニューから［**印刷**］を選択します。

3 ［**詳細設定**］をクリックします。

4 ［**印刷オプション**］タブを選択します。

5 ［**フォント**］をクリックします。

6 ［**プリンタフォントで置き換える**］にチェックをつけます。

7 ［**フォント置き換えテーブル**］で、TrueType フォントの代わりに使用するプリンタのフォントを指定します。

8 ［**OK**］をクリックします。

9 必要に応じてほかの設定を行い、印刷します。

Windows PS プリンタドライバの場合

1 ［**スタート**］をクリックし、［**デバイスとプリンター**］を選択します。

2 OKI MC561 アイコンを右クリックし、［**プリンターのプロパティ**］>［**OKI MC561(PS)**］を選択します。

3 ［**デバイスの設定**］タブを選択します。

4 ［**フォント代替表**］で、TrueType フォントの代わりに使用するプリンタフォントを指定します。
フォントを指定するには、TrueType フォントをクリックし、代用するプリンタフォントをドロップダウンリストから選択します。

5 ［**OK**］をクリックします。

6 印刷するファイルを開きます。

7 ［**ファイル**］メニューから［**印刷**］を選択します。

8 ［**詳細設定**］をクリックします。

9 ［**レイアウト**］タブの［**詳細設定**］をクリックします。

10 ［**TrueType フォント**］の［**デバイス フォントを代替**］を選択し、［**OK**］をクリックします。

11 必要に応じてほかの設定を行い、印刷します。

コンピュータのフォントを使用する

コンピュータの TrueType フォントを使用して、画面表示と同じ文字で印刷できます。

注

- この機能は、Windows PCL XPS プリンタドライバと Mac OS X PS プリンタドライバでは使用できません。

Windows PCL プリンタドライバの場合

1 印刷するファイルを開きます。
2 ［ファイル］メニューから［印刷］を選択します。
3 ［詳細設定］をクリックします。
4 ［印刷オプション］タブを選択します。
5 ［フォント］をクリックします。
6 ［プリンタフォントで置き換える］のチェックを外し、［OK］をクリックします。
   - ［アウトラインフォントとしてダウンロード］
     プリンタでフォントイメージを作成します。
   - ［ビットマップフォントとしてダウンロード］
     プリンタドライバでフォントイメージを作成します。
7 必要に応じてほかの設定を行い、印刷します。

Windows PS プリンタドライバの場合

1 印刷するファイルを開きます。
2 ［ファイル］メニューから［印刷］を選択します。
3 ［詳細設定］をクリックします。
4 ［レイアウト］タブの［詳細設定］をクリックします。
5 ［TrueType フォント］をクリックし、ドロップダウンリストから［ソフト フォントとしてダウンロード］を選択します。
6 ［OK］をクリックします。
7 必要に応じてほかの設定を行い、印刷します。

プリンタバッファを使用する（MC561dn のみ）

本機に装着されている SD メモリーカードに印刷ジョブをスプールできます。コンピュータ側での作業が早く終わるので、本機がバックグラウンドで動作している間、コンピュータはほかのタスクを処理することができます。

注

- SD メモリーカードの容量不足で、スプールしたデータを格納できないときは、ファイルシステムがいっぱいであること示すメッセージが表示され、印刷ジョブは開始されません。
- この機能は、Windows PCL XPS プリンタドライバと、Mac OS X PS プリンタドライバでは使用できません。

Windows PCL/PS プリンタドライバの場合

1 印刷するファイルを開きます。
2 ［ファイル］メニューから［印刷］を選択します。
3 ［詳細設定］をクリックします。
4 ［印刷オプション］タブを選択します。
5 ［その他］をクリックします。
6 ［ホストの開放を優先する］にチェックをつけ、［OK］をクリックします。
7 印刷します。

印刷速度を変更する

本機の印刷速度を調整できます。

メモ

- ［管理者設定］メニューに入るには、管理者パスワードが必要です。工場出荷時のパスワードは「aaaaaa」です。

1 操作パネルの < **設定** > キーを押します。
2 ▼を押して［管理者設定］を選択し、OK を押します。
3 管理者パスワードを入力します。
4 ［決定］を選択し、OK を押します。
5 ▼を押して［プリンタ機能］を選択し、OK を押します。
6 ［印刷メニュー］が選択されていることを確認し、OK を押します。
7 ▼を押して［印刷設定］を選択し、OK を押します。

8 ▼を押して［**モノクロ印刷速度**］を選択し、OKを押します。

9 印刷速度を選択し、OKを押します。

- ［**自動**］：
  工場出荷時の設定。通常の印刷に使用します。
- ［**カラー印刷速度**］：
  カラーページを大量に印刷する場合に適しています。
- ［**普通印刷速度**］：
  モノクロページを大量に印刷する場合に適しています。

10 トップ画面が表示されるまで、◀を押します。

ファイルに出力する

原稿を用紙に印刷せずに、ファイルに出力できます。

! 注

- コンピュータに管理者としてログインする必要があります。

Windows プリンタドライバの場合

1 ［**スタート**］をクリックし、［**デバイスとプリンター**］を選択します。

2 OKI MC561 アイコンを右クリックし、［**プリンターのプロパティ**］>［**OKI MC561(*)**］を選択します。
* 使用したいドライバの種類を選択してください。

3 ［**ポート**］タブを選択します。

4 ポートの一覧から［**FILE:**］を選択し、［**OK**］をクリックします。

5 印刷をします。

6 ファイルの名前を入力し、［**OK**］をクリックします。

Mac OS X PS プリンタドライバの場合

1 印刷するファイルを開きます。

2 ［**ファイル**］メニューから［**プリント**］を選択します。

3 印刷ダイアログの［**PDF**］をクリックし、ファイル形式を選択します。

4 ファイルの名前を入力してファイルの保存先を選択し、［**保存**］をクリックします。

メールの添付ファイルを印刷する

メールの受信時に、添付ファイルを自動的に印刷できます。この機能を使用するには、メールの受信設定をしている必要があります。

! 注

- 次のファイル形式をサポートします。
  - PDF（v1.7）、JPEG、TIFF（V6 ベースライン）
- 印刷する用紙のサイズや印刷時のフィッティング機能の有効/無効は、添付ファイルのページサイズおよびファイル形式により異なります。印刷部数や両面印刷などのその他の印刷設定については、［**管理者設定**］メニューでの設定が適用されます。

メモ

- 1ファイルあたり8 MBまでのファイルを、最大10個まで印刷できます。

参照

- メールの受信設定の方法については、「メールに添付されたファイルを印刷するようにサーバ設定をする」（P. 166）を参照してください。

PS ファイルをダウンロードする

PostScript ファイルを本機にダウンロードして印刷できます。

! 注

- この機能は、TCP/IP ネットワークを使用しているときにだけ使用できます。

OKI LPR ユーティリティの場合

1 OKI LPR ユーティリティを起動します。

2 ［**リモートプリント**］メニューから［**ダウンロード**］を選択します。

3 ダウンロードするファイルを選択し、［**開く**］をクリックします。
ダウンロードが終了すると、PostScript ファイルが印刷されます。

PS エラーを出力する

PostScript エラーの発生時に、エラー内容を出力できます。

注

- この機能は、Windows PCL プリンタドライバと、Windows PCL XPS プリンタドライバでは使用できません。

Windows PS プリンタドライバの場合

1. 印刷するファイルを開きます。
2. ［**ファイル**］メニューから［**印刷**］を選択します。
3. ［**詳細設定**］をクリックします。
4. ［**レイアウト**］タブの［**詳細設定**］をクリックします。
5. ［**PostScript オプション**］の［**PostScript エラー ハンドラーを送信**］をクリックし、ドロップダウンリストから［**はい**］を選択します。
6. 印刷設定ダイアログが閉じるまで［**OK**］をクリックし、印刷します。

Mac OS X PS プリンタドライバの場合

注

- この機能は、Mac OS X 10.5 ～ 10.6 では使用できません。

1. 印刷するファイルを開きます。
2. ［**ファイル**］メニューから［**プリント**］を選択します。
3. パネルメニューから［**エラー処理**］を選択します。
4. ［**PostScript エラー**］で［**詳細レポートをプリント**］を選択します。
5. ［**プリント**］をクリックします。

エミュレーションモードを変更する

エミュレーションモードを選択できます。

メモ

- ［**管理者設定**］メニューに入るには、管理者パスワードが必要です。工場出荷時のパスワードは「aaaaaa」です。

1. 操作パネルの＜**設定**＞キーを押します。
2. ▼を押して［**管理者設定**］を選択し、OKを押します。
3. 管理者パスワードを入力します。
4. ［**決定**］を選択し、OKを押します。
5. ▼を押して［**プリンタ機能**］を選択し、OKを押します。
6. ▼を押して［**システム構成メニュー**］を選択し、OKを押します。
7. ［**動作モード**］が選択されていることを確認し、OKを押します。
8. ▼を押してエミュレーションモードを選択し、OKを押します。
9. トップ画面が表示されるまで、◀を押します。

5. ジョブマクロ（MC561dn のみ）

この章では、ジョブマクロ機能について説明します。

■ ジョブマクロについて

この節では、よく使用する設定のマクロを作成する方法を説明します。

コピー、スキャン、ファクス、インターネットファクス、印刷の機能でよく使用する設定をマクロとして登録し、必要なときに読み出して使用することができます。この「ジョブマクロ」機能を使えば、操作をより簡単に、効率的に行うことができます。

次の機能で使用する設定をマクロとして登録できます。

- コピー（カラー / モノクロ）
- USB メモリからの印刷
- スキャン To メール
- スキャン To ネットワーク PC
- スキャン To USB メモリ
- ファクス送信
- インターネットファクス送信

注

- ユーザ認証を有効にしているときは、本機にログインしてから、以下の操作を行います。

メモ

- 最大 10 個のマクロを登録できます。

マクロを作成する

よく使用する設定のマクロを作成できます。

■ 新規登録する

1. 操作パネルで登録したい機能の設定を行います。
2. <**ジョブマクロ**> キーを押して、ジョブマクロメニューを開きます。
3. ▼を押して未登録の番号を選択し、OKを押します。
4. 設定を確認し、OKを押します。

   ▼を押して画面をスクロールします。
5. 新しいマクロの名前を入力します。
6. ［**決定**］を選択し、OKを押します。
7. 確認画面で◀または▶を押して［**はい**］を選択し、OKを押します。

■ 上書きする

1. 操作パネルで登録したい機能の設定を行います。
2. <**ジョブマクロ**> キーを押して、ジョブマクロメニューを開きます。
3. ▼を押して登録する番号を選択し、OKを押します。
4. ▼を押して［**登録**］を選択し、OKを押します。
5. 設定を確認し、OKを押します。

   ▼を押して画面をスクロールします。
6. 確認画面で◀または▶を押して［**はい**］を選択し、OKを押します。
7. 新しいマクロの名前を入力します。
8. ［**決定**］を選択し、OKを押します。

マクロを使用する

マクロを読み出して使用できます。

1 ＜**ジョブマクロ**＞キーを押して、ジョブマクロメニューを開きます。
2 ▼を押して使用したいマクロを選択し、OKを押します。
3 ［**読み出し**］を選択し、OKを押します。
4 設定を確認し、OKを押します。
   ▼を押して画面をスクロールします。
5 確認画面で◀または▶を押して［**はい**］を選択し、OKを押します。
   使用したい機能に対してアクセス制御が有効になっているときは、その機能を使用する権限がないことを示すメッセージが表示され、ジョブマクロメニューに戻ります。
6 ジョブを開始します。

マクロの名前を編集する

マクロの名前を編集できます。

1 ＜**ジョブマクロ**＞キーを押して、ジョブマクロメニューを開きます。
2 ▼を押して名前を編集したいマクロを選択し、OKを押します。
3 ▼を押して［**タイトル編集**］を選択し、OKを押します。
4 設定を確認し、OKを押します。
   ▼を押して画面をスクロールします。
5 新しい名前を入力します。
6 ［**決定**］を選択し、OKを押します。

マクロを削除する

マクロを削除できます。

1 ＜**ジョブマクロ**＞キーを押して、ジョブマクロメニューを開きます。
2 ▼を押して削除したいマクロを選択し、OKを押します。
3 ▼を押して［**削除**］を選択し、OKを押します。
4 設定を確認し、OKを押します。
   ▼を押して画面をスクロールします。
5 確認画面で◀または▶を押して［**はい**］を選択し、OKを押します。

6. 操作パネルから設定する

この章では、操作パネルの＜**設定**＞キーから機器設定を行う方法について説明します。

■ 機器設定を変更する

この節では、機器設定を変更するための基本的な操作手順を説明します。

参照

- 機器設定メニューの項目一覧については、「機器設定メニュー」（P. 73）を参照してください。

［管理者設定］メニュー／［簡単設定］メニュー

［**管理者設定**］メニューまたは［**簡単設定**］メニューに入るには、管理者パスワードが必要です。

メモ

- 工場出荷時のパスワードは「aaaaaa」です。

1 ＜**設定**＞キーを押します。

2 ▼を押して［**管理者設定**］または［**簡単設定**］を選択し、OKを押します。

3 管理者パスワードを入力します。

4 ［**決定**］を選択し、OKを押します。

5 ▼を押して設定を変更したいメニューを選択し、▶を押します。

6 設定を変更し、OKを押します。

［**簡単設定**］の場合は、設定完了を示すメッセージが表示されるまで、手順6を繰り返します。

7 ［**管理者設定**］の場合は、トップ画面が表示されるまで、◀を押します。
［**簡単設定**］の場合は、OKを押してセットアップを完了します。

メモ

- ［**簡単設定**］のセットアップを中止したい場合は、＜**リセット／ログアウト**＞キーを押します。

その他のメニュー

1 ＜**設定**＞キーを押します。

2 ▼を押して設定を変更したいメニューを選択し、OKを押します。

3 設定を変更し、OKを押します。

4 トップ画面が表示されるまで、◀を押します。

■ 現在の設定を確認する

この節では、レポート印刷を行うための基本的な操作手順について説明します。レポート印刷を行って、本機の現在の設定を確認することができます。

レポートを印刷する

本機の設定内容一覧やジョブログを印刷し、確認することができます。

参照

- 印刷できるレポートと［**レポート印刷**］メニューについては、「レポート印刷」（P. 73）を参照してください。

1 ＜**設定**＞キーを押します。

2 ［**レポート印刷**］が選択されていることを確認し、OKを押します。

［**メニューマップ**］を印刷したいときは、手順 4 に進みます。

3 ▼を押して印刷したいレポートのカテゴリを選択し、OKを押します。

4 ▼を押して印刷するレポートを選択し、OKを押します。

管理者パスワードの入力画面が表示されたときは、管理者パスワードを入力して［**決定**］を選択し、OKを押します。

5 確認画面で◀または▶を押して［**はい**］を選択し、OKを押します。

! 注

- ［**管理者設定**］＞［**機器管理**］＞［**システム設定**］＞［**すべてのレポート印刷許可**］が［**無効**］に設定されている場合、次のレポートを印刷するには管理者パスワードが必要です。
  - スキャン To ログ
  - 短縮ダイヤルリスト
  - 宛先グループリスト
  - 通信管理レポート（ファクス）
  - 通信管理レポート（E メール / インターネットファクス）
  - E メールアドレスリスト

■ 機器設定メニューの項目一覧

この節では、機器設定メニューの設定項目の構成について説明します。

機器設定メニュー

項目	説明	参照
レポート印刷	レポート印刷をします。	73 ページ
用紙	トレイの用紙設定をします。	74 ページ
アドレスブック	アドレスブックを作成 / 編集します。	75 ページ
電話帳	電話帳を作成 / 編集します。	75 ページ
プロファイル	プロファイルを作成 / 編集します。	76 ページ
ネットワーク接続 PC	ネットワークスキャンの送信先を設定します。	78 ページ
原稿蓄積設定	原稿読み取りデータの蓄積設定をします。	78 ページ
装置情報	本機の装置情報を確認します。	78 ページ
シャットダウン	シャットダウンをします。	79 ページ
簡単設定	簡単設定をします。このメニューに入るには、管理者パスワードが必要です。	79 ページ
管理者設定	管理者設定をします。このメニューに入るには、管理者パスワードが必要です。	80 ページ

各設定メニューの項目一覧

レポート印刷

項目			説明
メニューマップ			本機の設定の詳細を印刷します。
装置情報	ファイルリスト		ジョブファイルのリストを印刷します。
	デモページ		デモページを印刷します。
	エラーログ		エラーログを印刷します。
	スキャン To ログ		スキャン To メール、スキャン To ネットワーク PC、スキャン To USB メモリのジョブの実行結果を印刷します。 表示条件：［**管理者設定**］>［**機器管理**］>［**ジョブログ設定**］>［**ジョブログの保存**］が［**有効**］に設定されていること。
	印刷集計結果	コピー枚数	印刷集計結果を印刷します。［**コピー枚数**］画面で印刷するページ数を指定します。
	ネットワーク情報		ネットワーク情報を印刷します。
ファクス	短縮ダイヤルリスト		短縮ダイヤルに登録されているファクス番号の一覧を印刷します。
	宛先グループリスト		グループ内に登録されているファクス番号の一覧を印刷します。
	通信管理レポート		直近の 50 件のファクスジョブの送受信結果の一覧を印刷します。
	F コードボックスリスト		F コードボックスの一覧を印刷します。
E メール / インターネットファクス	通信管理レポート		インターネットファクス、スキャン To メール、E メール添付ファイルの印刷の送受信結果の直近の 50 件の一覧を印刷します。
	E メールアドレスリスト		登録されているアドレスの一覧を印刷します。

項目		説明
プリンタ	PCL フォント リスト	PCL フォントサンプルを印刷します。
	PSE フォント リスト	PostScript フォントサンプルを印刷します。
	カラー調整パターン	階調特性を調整するためのパターンを印刷します。
	カラープロファイルリスト	カラープロファイルリストを印刷します。

用紙

項目			工場出荷時の設定値	説明
トレイ 1	用紙サイズ		A4	用紙サイズを選択します。
	カスタムサイズ	用紙幅	210 ミリ (8.3 インチ)	カスタムサイズの用紙の幅と長さを設定します。 表示条件：用紙サイズに［**カスタムサイズ**］が選択されていること。 指定可能な範囲： 幅：100 ～ 216 mm（3.9 ～ 8.5 インチ） 長さ：148 ～ 356 mm（5.8 ～ 14.0 インチ）
		用紙長さ	297 ミリ (11.7 インチ)	
	用紙種類		普通紙	用紙の種類を選択します。
	用紙厚		普通紙	用紙の厚さを選択します。
トレイ 2	用紙サイズ		A4	用紙サイズを選択します。 表示条件：セカンドトレイユニットが取り付けられていること。
	カスタムサイズ	用紙幅	210 ミリ (8.3 インチ)	カスタムサイズの用紙の幅と長さを設定します。 表示条件：セカンドトレイユニットが取り付けられ、用紙サイズに［**カスタムサイズ**］が選択されていること。 指定可能な範囲： 幅：148 ～ 216 mm（5.8 ～ 8.5 インチ） 長さ：210 ～ 356 mm（8.3 ～ 14.0 インチ）
		用紙長さ	297 ミリ (11.7 インチ)	
	用紙種類		普通紙	用紙の種類を選択します。 表示条件：セカンドトレイユニットが取り付けられていること。
	用紙厚		普通紙	用紙の厚さを選択します。 表示条件：セカンドトレイユニットが取り付けられていること。
MP トレイ	用紙サイズ		A4	用紙サイズを選択します。
	カスタムサイズ	用紙幅	210 ミリ (8.3 インチ)	カスタムサイズの用紙の幅と長さを設定します。 表示条件：［**カスタム**］が用紙サイズに選択されていること。 指定可能な範囲： 幅：64 ～ 216 mm（2.5 ～ 8.5 インチ） 長さ：127 ～ 1321 mm（5.0 ～ 52.0 インチ）
		用紙長さ	297 ミリ (11.7 インチ)	
	用紙種類		普通紙	用紙の種類を選択します。
	用紙厚		普通紙	用紙の厚さを選択します。
印刷トレイ指定	ファクス	トレイ 1	オン	受信原稿印刷時に使用するトレイを指定します。 ［**トレイ 2**］の表示条件：セカンドトレイユニットが取り付けられていること。
		トレイ 2	オン	
		MP トレイ	オフ	
	コピー	トレイ 1	オン (優先)	自動トレイ選択時に使用するトレイを指定します。 ［**トレイ 2**］の表示条件：セカンドトレイユニットが取り付けられていること。
		トレイ 2	オン	
		MP トレイ	オフ	

アドレスブック

項目			説明
E メールアドレス	登録 / 編集	名前	送信先の名前を設定します。最大半角 16 文字です。
		E メールアドレス	E メールアドレスを設定します。最大半角 80 文字です。
		グループ番号	グループを選択します。
	削除		登録された E メールアドレスを削除します。
	ABC 順にソート		E メールアドレスを ABC 順に並べ替えます。
	番号順にソート		E メールアドレスを登録 No. 順に並び替えます。
E メールグループ	登録 / 編集	名称	グループ名を設定します。最大半角 16 文字です。
		アドレス番号	アドレス番号を選択します。1 つのグループに最大 100 件の E メールアドレスを登録できます。
	削除		登録されたグループを削除します。
	ABC 順にソート		グループを ABC 順に並べ替えます。
	番号順にソート		グループを登録 No. 順に並び替えます。

電話帳

項目			説明
短縮ダイヤル	登録 / 編集	相手先名	相手先の名前を設定します。最大半角 24 文字です。
		相手先番号	相手先のファクス番号を設定します。最大 40 桁です。
		グループ番号	グループを選択します。
	削除		登録された短縮ダイヤルを削除します。
	ABC 順にソート		短縮ダイヤルを ABC 順に並べ替えます。
	番号順にソート		短縮ダイヤルを登録 No. 順に並び替えます。
グループ番号	登録 / 編集	名称	グループ名を設定します。最大半角 16 文字です。
		短縮ダイヤル	短縮ダイヤルを設定します。1 つのグループに最大 100 件のアドレスを登録できます。
	削除		登録されたグループを削除します。
	ABC 順にソート		グループを ABC 順に並べ替えます。
	番号順にソート		グループを登録 No. 順に並び替えます。

プロファイル

項目			工場出荷時の設定値	説明
登録 / 編集	プロファイル名		(なし)	プロファイル名を設定します。最大半角 16 文字です。
	プロトコル		CIFS	ファイル格納に使用するプロトコルを選択します。
	対象 URL		(なし)	サーバアドレスと、スキャンしたデータを保存するディレクトリを設定します。最大半角 144 文字です。
	ポート番号		445	ポート番号を設定します。 指定可能な範囲 : 1 ~ 65535
	FTP Passive モード		オフ	FTP Passive モードを使用するかどうかを設定します。 表示条件 : FTP がプロトコルに設定されていること。
	ユーザ名		(なし)	サーバへのログインに使用するユーザ名を設定します。最大半角 32 文字です。
	パスワード		(なし)	サーバへのログインに使用するパスワードを設定します。最大半角 32 文字です。
	ホスト側漢字コード		EUC	ホスト側漢字コードを選択します。 表示条件 : プロトコルで FTP を選択していること。
	CIFS 文字セット		UTF-16	使用する文字コードを選択します。 表示条件 : CIFS がプロトコルに設定されていること。
	通信の暗号化		None	通信の暗号化方式を選択します。CIFS プロトコルの使用時には選択できません。選択したプロトコルに応じて、選択肢が異なります。
	読取サイズ		A4	原稿の読み取りサイズを選択します。
	画質	濃度	0	イメージの濃度を設定します。
		ドキュメントタイプ	文字 / 写真	原稿の画質を設定します。
		背景除去	3	原稿の背景除去の設定をします。
		解像度	200 dpi	読み取りの解像度を選択します。
		コントラスト	0	原稿のコントラストを設定します。初期値は [**管理者設定**] メニューで設定した値になります。
		色相調整	0	色相調整の設定をします。初期値は [**管理者設定**] メニューで設定した値になります。
		彩度調整	0	彩度調整を設定します。初期値は [**管理者設定**] メニューで設定した値になります。
		赤･緑･青色調整	0	RGB コントラストを設定します。初期値は [**管理者設定**] メニューで設定した値になります。
	ファイル名		(なし)	ファイル名を設定します。最大半角 64 文字です。 次のオプションを設定できます。*1 #n : 00000 ~ 99999 の連番の付与 #d : ファイル作成日時の付与 (yymmddhhmmss)
	グレースケール		オフ	モノクロ原稿をグレースケール (オン) と白黒 (オフ) のどちらで読み込むかを設定します。

項目				工場出荷時の設定値	説明
登録 / 編集	ファイル形式	カラー		PDF	スキャン時のファイル形式を設定します。
		モノクロ（グレースケール）		PDF	
		モノクロ（2 値）		PDF	
	暗号化 PDF			暗号化しない	PDF 暗号化を有効にするかを設定します。
		暗号化レベル		中	暗号化レベルを設定します。
		文書を開くパスワード		設定しない	暗号化された PDF を開くためのパスワードを設定します。権限パスワードと同じものは使用できません。PDF を暗号化するには、文書を開くパスワードまたは権限パスワードのどちらかを設定する必要があります。最大半角 32 文字です。
		権限パスワード		設定しない	暗号化された PDF の印刷、抽出、編集を制御するためのパスワードを設定します。文書を開くパスワードと同じものは使用できません。PDF を暗号化するには、文書を開くパスワードまたは権限パスワードのどちらかを設定する必要があります。最大半角 32 文字です。
		文書の権限	文書の印刷	許可しない	暗号化された PDF への権限の設定をします。
			テキストとグラフィックスの抽出	許可しない	表示条件：権限パスワードが設定されていること。
			文書の変更	許可しない	
	圧縮レベル	カラー		低	スキャンの圧縮率を設定します。
		モノクロ（グレースケール）		低	
		モノクロ（2 値）		高	
	枠消去	設定		オフ	見開き原稿の周囲に現れる影を消すかを設定します。
		消し幅		5 ミリ（0.2 インチ）	消し幅を設定します。 指定可能な範囲：5 ～ 50 mm（0.2 ～ 2.0 インチ）
削除					プロファイルを削除します。
ABC 順にソート					プロファイルを ABC 順に並べ替えます。
番号順にソート					プロファイルを登録 No. 順に並び替えます。

*1　プロファイルでは、［ファイル名］に「#n」や「#d」を指定することができます。
「#n」を指定した場合：00000 ～ 99999 の 5 桁の連番
「#d」を指定した場合：ファイル作成日時　yymmddhhmmss の 12 桁の数字

yy：　作成した年（西暦の下 2 桁）　　hh：　作成した時（00 ～ 23）
mm：作成した月（01 ～ 12）　　　mm：作成した分（00 ～ 59）
dd：　作成した日（01 ～ 31）　　　ss：　作成した秒（00 ～ 59）
* ファイル作成日時は MC361dn/MC561dn のタイマーの値となります。

ファイル名の指定例（ファイル形式が PDF の場合）

「Data#n」と指定した場合：「Data00000.pdf」、「Data00001.pdf」などのファイル名で保存されます。
「File#d」と指定した場合：「File090715185045.pdf」などのファイル名で保存されます。
「Scan」と指定した場合：最初は「Scan.pdf」が作成され、その後は「Scan#d.pdf」という形式のファイル名で保存されます。
「#d」は上記を参照してください。
無指定の場合：最初は「Image.pdf」が作成され、その後は「Image#d.pdf」という形式のファイル名で保存されます。
「#d」は上記を参照してください。

! 注

- プロファイルに登録されているファイル名は、スキャン To ネットワーク PC を実行する時に適用されます。
これらのファイル名が指定されたプロファイルを使用して自動配信を行った場合には、上記のファイル名称は適用されません。
自動配信時のファイル名称は「yymmddhhmmss_xxxxxxxx.pdf」という固定の形式になります。「yymmddhhmmss」の部分は上記の「#d」のファイル作成日時で、「_xxxxxxxx」の部分はほかのファイル名と重複しないように 8 桁の英数字（無意味な値）を付加しています。

ネットワーク接続 PC

項目		工場出荷時の設定値	説明
登録 / 編集	送信先名	(なし)	送信先の名前を設定します。最大半角 16 文字です。
	送信先アドレス	(なし)	送信先のアドレスを設定します。最大半角 64 文字です。
	ポート番号	9968	ポート番号を設定します。 指定可能な範囲：1 ～ 65535
削除			送信先を削除します。
ABC 順にソート			送信先を ABC 順に並べ替えます。
番号順にソート			送信先を登録 No. 順に並べ替えます。

原稿蓄積設定

項目			説明
蓄積	F コード掲示板	上書き	F コード掲示板に原稿を蓄積します。
削除	F コード掲示板		蓄積した原稿を削除します。
印刷	F コードボックス		蓄積した原稿を印刷します。

装置情報

項目		説明
システム情報	シリアル番号	本機のシリアルナンバーを示します。
	管理番号	本機のアセット番号を示します。
	ロット番号	本機の製造ロット番号を示します。
	CU バージョン	コントロールユニットのファームウェアのバージョンを示します。
	PU バージョン	プリントユニットのファームウェアのバージョンを示します。
	スキャナ バージョン	スキャナのファームウェアのバージョンを示します。
	メモリ容量	実装されている全 RAM の総容量を示します。
	フラッシュメモリ情報	全フラッシュメモリの総容量を示します。
	SD メモリーカード情報	SD メモリーカードのサイズと、ファイルシステムのバージョンを示します。 MC361dn では［**未実装**］と表示されます。
ネットワーク	IPv4 アドレス	本機の IPv4 アドレスを示します。 表示条件：［**管理者設定**］>［**ネットワーク管理**］>［**ネットワーク設定**］>［**TCP/IP**］が［**有効**］で、［**IP バージョン**］が［**IPv6**］に設定されていないこと。
	サブネットマスク	本機のサブネットマスクを示します。 表示条件：［**管理者設定**］>［**ネットワーク管理**］>［**ネットワーク設定**］>［**TCP/IP**］が［**有効**］で、［**IP バージョン**］が［**IPv6**］に設定されていないこと。
	ゲートウェイアドレス	ゲートウェイアドレスを示します。 表示条件：［**管理者設定**］>［**ネットワーク管理**］>［**ネットワーク設定**］>［**TCP/IP**］が［**有効**］で、［**IP バージョン**］が［**IPv6**］に設定されていないこと。
	MAC アドレス	本機の MAC アドレスを示します。
	NIC プログラムバージョン	ネットワークファームウェアのバージョンを示します。
	IPv6 アドレス (ローカル)	本機の IPv6 アドレスを示します。 表示条件：［**管理者設定**］>［**ネットワーク管理**］>［**ネットワーク設定**］>［**TCP/IP**］が［**有効**］で、［**IP バージョン**］が［**IPv4**］に設定されていないこと。

項目		説明
ネットワーク	IPv6 アドレス (グローバル)	本機の IPv6 アドレスを示します。 表示条件：［**管理者設定**］＞［**ネットワーク管理**］＞［**ネットワーク設定**］＞［**TCP/IP**］が［**有効**］で、［**IP バージョン**］が［**IPv4**］に設定されていないこと。

シャットダウン

項目	説明
シャットダウン	シャットダウンします。

簡単設定

メモ

● ［**簡単設定**］メニューに入るには、管理者パスワードが必要です。工場出荷時のパスワードは「aaaaaa」です。

項目				説明
時刻･日付設定	タイムゾーン			GMT を基準とするタイムゾーンを設定します。
	手動で設定する	日付設定		現在の日付と時間を手動で設定します。
		時刻設定		
	サーバから取得する	SNTP サーバ（プライマリ）		現在の日付と時間の設定に使用する SNTP サーバを設定します。最大半角 64 文字です。
		SNTP サーバ（セカンダリ）		
ファクス基本設定	ファクス番号			本機のファクス番号を設定します。最大 20 桁です。
	送信者情報			送信者情報を設定します。最大半角 22 文字です。
ネットワークの基本設定	手動で設定する	IP アドレス		IP アドレスを設定します。最大半角 15 文字です。 (000.000.000.000 ～ 255.255.255.255 が入力できます。)
		サブネットマスク		サブネットマスクを設定します。最大半角 15 文字です。 (000.000.000.000 ～ 255.255.255.255 が入力できます。)
		デフォルトゲートウェイ		ゲートウェイアドレスを設定します。最大半角 15 文字です。 (000.000.000.000 ～ 255.255.255.255 が入力できます。)
		DNS サーバ (プライマリ)		プライマリ DNS サーバの IP アドレスを設定します。最大半角 15 文字です。(000.000.000.000 ～ 255.255.255.255 が入力できます。)
		DNS サーバ (セカンダリ)		セカンダリ DNS サーバの IP アドレスを設定します。最大半角 15 文字です。(000.000.000.000 ～ 255.255.255.255 が入力できます。)
		WINS サーバ (プライマリ)		WINS サーバの名前または IP アドレスを設定します。最大半角 15 文字です。(000.000.000.000 ～ 255.255.255.255 が入力できます。)
		WINS サーバ (セカンダリ)		WINS サーバの名前または IP アドレスを設定します。最大半角 15 文字です。(000.000.000.000 ～ 255.255.255.255 が入力できます。)
	自動で設定する			IP アドレスを自動で取得します。
E メールの基本設定	メールサーバ			SMTP サーバの IP アドレスまたはホスト名を設定します。最大半角 64 文字です。
	差出人アドレス（from）			本機の E メールアドレスを設定します。
	認証方法			認証方式を設定します。
		SMTP Auth	ユーザ名	SMTP 認証に使用するサーバへのログイン名を設定します。最大半角 64 文字です。
			パスワード	SMTP 認証に使用するサーバへのパスワードを設定します。最大半角 64 文字です。

項目				説明
E メールの基本設定	認証方法	POP before SMTP	POP3 サーバ	POP3 サーバの IP アドレスまたはホスト名を設定します。最大半角 64 文字です。
			ユーザ名	POP 認証に使用するサーバへのログイン名を設定します。最大半角 64 文字です。
		POP before SMTP	パスワード	POP 認証に使用するサーバへのパスワードを設定します。最大半角 16 文字です。

管理者設定

次のメニューにおいて、管理者権限の必要な設定の変更を行うことができます。

- 「コピー機能」
- 「ファクス機能」
- 「インターネットファクス機能」
- 「スキャナ機能」
- 「USB メモリ印刷機能」
- 「プリンタ機能」
- 「ネットワーク管理」
- 「機器管理」
- 「運用初期設定」

メモ

- ［**管理者設定**］メニューに入るには、管理者パスワードが必要です。工場出荷時のパスワードは「aaaaaa」です。
- ［**管理者設定**］メニューから初期値設定の変更を行い、すぐに変更した初期値をスタート画面で反映させたい場合は、いったん＜**リセット / ログアウト**＞キーを押すか、＜**コピー**＞、＜**スキャン**＞、＜**プリント**＞、＜**ファクス**＞のいずれかの機能切り替えキーを押してください。

■ コピー機能

項目			工場出荷時の設定値	説明
コピー初期値	読取サイズ		A4	読み取りサイズの初期値を設定します。
	両面		オフ（両面しない）	両面コピーのオン / オフととじ位置の初期設定をします。
	拡大 / 縮小		100%	拡大 / 縮小倍率の初期値を設定します。
	ソート		オン	コピーする原稿を丁合い印刷するかの初期設定をします。
	画質	濃度	0	濃度の初期値を設定します。
		ドキュメントタイプ	文字 / 写真	画質の初期値を設定します。
		読取解像度（カラー）	普通	解像度の初期値を設定します。
		背景除去	3	背景除去の初期値を設定します。
		コントラスト	0	コントラストの初期値を設定します。
		色相調整	0	色相調整の初期値を設定します。
		彩度調整	0	彩度調整の初期値を設定します。
		赤･緑･青色調整	0	RGB コントラストの初期値を設定します。
	原稿の画像向き		縦	原稿のページ方向の初期値を選択します。
	ID カードコピー		オフ	ID カードコピーモードを使用するかどうかの初期値を設定します。
	継続読取		オフ	継続読取を行うかの設定をします。
	ミックス原稿		オフ	異なるサイズの原稿を各サイズの用紙にコピーするかどうかの初期値を設定します。
	とじしろ	とじしろ	オフ	とじしろの初期値を設定します。

項目				工場出荷時の設定値	説明
コピー初期値	とじしろ	おもて面とじしろ	左幅	0	指定可能な範囲：0 ～ ± 25 mm（0.0 ～ 1.0 インチ）（1 mm 単位）
			上幅		
		うら面とじしろ	左幅		
			上幅		
	枠消去	設定		オン	2 ページ見開き原稿の周囲にできる影を消すかの初期値を設定します。
		消し幅		2 ミリ（0.1 インチ）	消し幅を設定します。 指定可能な範囲：2 ～ 50 mm（0.1 ～ 2.0 インチ）

■ ファクス機能

項目				工場出荷時の設定値	説明
送信初期値	解像度			標準	原稿読み取り画質の初期値を設定します。
	濃度			0	原稿読み取り濃度の初期値を設定します。
	読取サイズ			A4	読み取りサイズの初期値を設定します。
	継続読取			オフ	継続読取をするかを設定します。
	発信元名			オン	送信したファクスのヘッダに発信元の名称を印刷するかの初期値を設定します。
	送信確認証			オフ	送信結果を自動的に印刷するかどうかの初期値を設定します。
	メモリ送信			オン	メモリ送信（オン）とリアルタイム送信（オフ）のどちらを使用するかの初期値を設定します。
F コードボックス	登録 / 編集	親展ボックス	ボックス名	（なし）	親展ボックスの名前を設定します。最大半角 16 文字です。
			サブアドレス	（なし）	親展ボックスのサブアドレスを設定します。最大半角 20 文字です。
			保存期間	0	親展ボックスの保存期間を設定します。 指定可能な範囲：0 ～ 31 日
			暗証番号	（なし）	親展ボックスのパスワードを設定します。数字のみの 4 桁を登録できます。
		掲示板ボックス	ボックス名	（なし）	掲示板ボックス名を設定します。最大半角 16 文字です。
			サブアドレス	（なし）	掲示板ボックスのサブアドレスを設定します。最大半角 20 文字です。
	削除				F コードボックスを削除します。
セキュリティ機能	ID チェック送信			オフ	ID チェック送信を使用するかを設定します。
	同報宛先確認			オン	同報送信をする前に、送信先のファクス番号を表示するかを設定します。
	ダイヤル 2 度押し			オフ	ファクスを送信する前に、送信先ファクス番号を再入力するかを設定します。

項目			工場出荷時の設定値	説明
その他の設定	リダイヤル回数		3 回	リダイヤル回数を設定します。 指定可能な範囲：0 ～ 9 回
	リダイヤル間隔		1 分	リダイヤル間隔を設定します。 指定可能な範囲：0 ～ 5 分
	応答待ち時間		1 回	ファクスを受信するまでの待ち時間を設定します。
	ポーズ時間		3 秒	ダイヤルポーズ時間を設定します。 指定可能な範囲：0 ～ 10 秒
	受信縮小率		自動	受信縮小率を設定します。
	しきい値		24 ミリ	受信縮小のしきい値を設定します。 指定可能な範囲：0 ～ 100 mm（0 ～ 3.9 インチ）
	ECM モード		オン	ECM モードを使用するかを設定します。
	プレフィクス		0000	ダイヤル局番を設定します。最大 40 桁です。
	受信タイムスタンプ		オフ	受信したファクスにタイムスタンプを印刷するかを設定します。
	チェックメッセージ印刷		オン	送信エラーが起こったときに、エラー内容を印刷するかを設定します。
ファクス基本設定	モデム伝送速度 (送信用)		33.6 Kbps	ファクス送信中のモデム送信速度の初期値を設定します。
	モデム伝送速度 (受信用)		33.6 Kbps	ファクス受信中のモデム送信速度の初期値を設定します。
	PBX ライン		オフ	PBX（構内交換機）に接続するときは［**オン**］にしてください。
	ファクス転送設定	ファクス転送設定	オフ	ファクス転送モードを有効にするかを設定します。
		ファクス転送番号	（なし）	ファクス転送モードに使用するファクス番号を設定します。
	留守 / ファクスモード		タイプ 3	留守 / ファクス待機モード時の動作タイプを設定します。 ［**タイプ 3**］：着呼後 15 秒間待ってファクス信号検出動作をします。通常は本設定でお使いください。 ［**タイプ 1**］：着呼後すぐにファクス信号検出を行い受信動作を行います。ファクス受信に問題があるときに設定すると改善できる場合があります。 ［**タイプ 2**］：着呼後すぐにファクス信号検出を行います。電話を受けることが大半の場合に設定してください。
	電話優先モード		オフ	電話 / ファクス待機モード時に、増設電話と本機の呼び出し音が鳴るタイミングを設定します。 ［**オン**］：相手が通話であることを想定します。呼び出し音は早めに鳴ります。 ［**オフ**］：相手がファクスであることを想定します。相手を判定したあと、ファクスではなかった場合に呼び出し音が鳴ります。
	ファクス検出モード		オフ	電話 / ファクス待機モード時に、オフフック中に相手がファクスであるかの判定をするかを設定します。

項目		工場出荷時の設定値	説明
ファクス基本設定	T/F タイマ	35 秒	電話 / ファクス待機モードや留守 / ファクス待機モード時、着信後も通話が開始されない場合にファクスの自動受信を開始するまでの時間を設定します。
	呼び出し音ボリューム	大	電話 / ファクス待機モード時の本機の呼び出し音の音量を設定します。
	リモート切替え番号	オフ	リモート切替え番号を設定します。

■ インターネットファクス機能

項目		工場出荷時の設定値	説明
スキャン初期値	読取サイズ	A4	読み取りサイズの初期値を設定します。
	濃度	0	濃度の初期値を設定します。
	解像度	標準	解像度の初期値を設定します。
	背景除去	3	背景除去の初期値を設定します。
	継続読取	オフ	継続読取をするかの初期設定をします。
	圧縮レベル	低	圧縮レベルの初期値を選択します。

■ スキャナ機能

項目			工場出荷時の設定値	説明
スキャン初期値	読取サイズ		A4	読み取りサイズの初期値を設定します。
	画質	濃度	0	濃度の初期値を設定します。
		ドキュメントタイプ	文字 / 写真	原稿の画質を設定します。
		背景除去	3	背景除去の初期値を設定します。
		解像度	200 dpi	解像度の初期値を設定します。
		コントラスト	0	コントラストの初期値を設定します。
		色相調整	0	色相調整の初期値を設定します。
		彩度調整	0	彩度の初期値を設定します。
		赤･緑･青色調整	0	RGB コントラストの初期値を設定します。
	継続読取		オフ	継続読取をするかの初期設定をします。
	グレースケール		オフ	モノクロ原稿をグレースケールと白黒のどちらでスキャンするかの初期設定をします。
	ファイル形式	カラー	PDF	ファイル形式の初期値を選択します。 ［**カラー**］/［**モノクロ（グレースケール）**］は、PDF、TIFF、JPEG、XPS から選択できます。 ［**モノクロ（2 値）**］は、PDF、TIFF、XPS から選択できます。
		モノクロ (グレースケール)	PDF	
		モノクロ (2 値)	PDF	
	暗号化 PDF 設定	文書を開くパスワード	(なし)	暗号化された PDF を開くための初期設定パスワードを設定します。権限パスワードと同じものは使用できません。最大半角 32 文字です。
		権限パスワード	(なし)	暗号化された PDF の印刷 / 編集を制御するための初期設定パスワードを設定します。文書を開くパスワードと同じものは使用できません。最大半角 32 文字です。
		パスワード表示	表示しない	文書を開くパスワード、または権限パスワードのパスワード選択画面で［**初期パスワードを使用する**］を選択した場合に、登録されている初期パスワードの表示方法を設定します。 ［**表示しない**］: 登録されている初期パスワードを、各文字の代わりに * を使って表示します。 ［**表示する**］: 登録されている初期パスワードを、各文字そのままの状態で表示します。
	圧縮レベル	カラー	低	圧縮レベルの初期値を選択します。
		モノクロ (グレースケール)	低	
		モノクロ (2 値)	高	

項目			工場出荷時の設定値	説明
スキャン初期値	枠消去	設定	オフ	見開き原稿の周囲にできる影を消すかを設定します。
		消し幅	5 ミリ（0.2 インチ）	消し幅を設定します。 指定可能な範囲：5 ～ 50 mm（0.2 ～ 2.0 インチ）
メール設定	ファイル名		（なし）	ファイル名を設定します。最大半角 64 文字です。 次のオプションを設定できます。*1 #n：00000 ～ 99999 の連番の付与 #d：ファイル作成日時の付与（yymmddhhmmss）
	メール編集定型文	件名編集	（なし）	件名を登録 / 編集します。最大半角 80 文字です。
		本文編集	（なし）	本文を登録 / 編集します。最大半角 256 文字です。
	送信者 / 返信先	送信者	（なし）	送信者欄に表示される E メールアドレスを設定します。最大半角 80 文字です。
		返信先	（なし）	返信先欄に表示される E メールアドレスを設定します。最大半角 80 文字です。
	同報宛先確認		オン	同報送信をする前に、宛先確認画面を表示するかどうかを設定します。
	MDN 応答送信の有無		オフ	MDN（開封通知）応答を要求するかを設定します。
	通信管理レポートの自動印刷設定		オフ	通信管理レポートを自動的に印刷するかどうかを設定します。
	MCF レポート印刷設定		オフ	インターネットファクスとスキャン To メールの送信確認を印刷するかを設定します。
	MCF レポート印刷タイムアウト		15 分	インターネットファクスとスキャン To メールの送信確認の印刷を開始するまでの時間を設定します。設定期限を超えると、MDN 応答なしで自動的にレポートが印刷されます。
	チェックメッセージ印刷		オフ	送信エラーが起こったときに、エラー内容を報告するかどうかを設定します。
USB メモリ設定	ファイル名		（なし）	ファイル名の初期値を設定します。最大半角 255 文字です。 ファイル名の初期値として、次のオプションを設定できます。*1 #n：00000 ～ 99999 の連番の付与 #d：ファイル作成日時の付与（yymmddhhmmss）
TWAIN 機能設定	Network TWAIN 機能		オン	Network TWAIN を使用するかを設定します。
	ポート番号 *2		9967	ポート番号を設定します。 指定可能な範囲：1 ～ 65535
	PC スキャン動作モード		シンプルスキャンモード	PC スキャンの動作モードを選択します。
	タイムアウト時間設定		5 分	タイムアウト期間を設定します。 指定可能な範囲：1 ～ 30 分
スキャナキャリブレーション	実行			スキャナキャリブレーションを開始します。

*1 ［ファイル名］に「#n」や「#d」を指定することができます。
「#n」を指定した場合：00000 ～ 99999 の 5 桁の連番
「#d」を指定した場合：ファイル作成日時　yymmddhhmmss の 12 桁の数字

yy： 作成した年（西暦の下 2 桁）　hh： 作成した時（00 ～ 23）
mm： 作成した月（01 ～ 12）　mm： 作成した分（00 ～ 59）
dd： 作成した日（01 ～ 31）　ss： 作成した秒（00 ～ 59）
* ファイル作成日時は MC361dn/MC561dn のタイマーの値となります。

ファイル名の指定例（ファイル形式が PDF の場合）

「Data#n」と指定した場合：「Data00000.pdf」、「Data00001.pdf」などのファイル名で保存されます。
「File#d」と指定した場合：「File090715185045.pdf」などのファイル名で保存されます。
「Scan」と指定した場合：最初は「Scan.pdf」が作成され、その後は「Scan#d.pdf」という形式のファイル名で保存されます。
「#d」は上記を参照してください。
無指定の場合：最初は「Image.pdf」が作成され、その後は「Image#d.pdf」という形式のファイル名で保存されます。
「#d」は上記を参照してください。

*2 変更した設定を有効にするには、ネットワークカードを再起動する必要があります。設定を変更するときに表示される確認画面に従い、ネットワークカードを再起動します。

■ USB メモリ印刷機能

項目		工場出荷時の設定値	説明
初期値設定	給紙トレイ	トレイ 1（A4）	使用する用紙トレイを指定します。
	コピー枚数	1	印刷部数を設定します。
	両面印刷	オフ	両面印刷をするかを設定します。
	とじ方	長辺とじ	両面印刷時のとじ位置を指定します。
	フィッティング	オン	用紙サイズに合わせて原稿のページサイズを拡大 / 縮小して印刷するかを設定します。

■ プリンタ機能

項目			工場出荷時の設定値	説明
印刷メニュー	トレイ構成	給紙トレイ	トレイ 1	用紙トレイを指定します。
		自動トレイ切替	オン	自動トレイ切り替え機能を有効にするかを設定します。
		トレイ選択順序	下方向	自動トレイ選択 / 自動トレイ切り替え時のトレイの選択順序を設定します。
		MP トレイ使い方	使用しない	［**用紙違いのとき**］：トレイの用紙サイズまたは種類が印刷データと一致しない場合、指定されたトレイではなく MP トレイの用紙を使用します。 ［**使用しない**］：自動トレイ選択 / 自動トレイ切り替え時の MP トレイの使用を無効にします。
		用紙チェック	有効	用紙サイズと原稿の用紙サイズの不一致を確認するかどうかを設定します。
	印刷設定	コピー枚数	1	印刷部数を設定します。ローカル印刷の場合、デモデータを除き、この設定は無効です。 指定可能な範囲：1 ～ 999
		両面印刷	オフ	両面印刷をするかを設定します。

項目			工場出荷時の設定値	説明
印刷メニュー	印刷設定	とじ方	長辺とじ	両面印刷時のとじ位置を設定します。
		解像度	600dpi	解像度を設定します。
		トナーセーブモード	オフ	トナーセーブモードを有効にするかを設定します。
		モノクロ印刷速度	自動	原稿の種類に合った印刷速度を選択します。
		印刷方向	縦	印刷方向を設定します。
		1 ページ行数	64 行	1 ページの印刷行数を設定します（PCL のみ）。A4 縦の場合の行数の初期値は 64 です。行数は給紙トレイの用紙サイズによって異なります。
		編集サイズ	カセットサイズ	コンピュータから用紙編集サイズ指定コマンドによるサイズ指定がなかった場合に描画する領域のサイズを設定します。PS では無効です。
		用紙幅	210 ミリ（8.3 インチ）	カスタムサイズ用紙の用紙幅を設定します。 指定可能な範囲：64 ～ 216 mm（2.5 ～ 8.5 インチ）
		用紙長さ	297 ミリ（11.7 インチ）	カスタムサイズ用紙の用紙の長さを設定します。 指定可能な範囲：127 ～ 1321 mm（5.0 ～ 52.0 インチ）
	印刷補正	マニュアルタイムアウト	60 秒	手差し印刷時、本機が給紙待ちの状態からジョブをキャンセルするまでの秒数を設定します。
		タイムアウト印刷	40 秒	受信したデータの処理が停止してから、ページが排出されるまでの本機の待ち時間（秒）を設定します。PS ジョブでは、タイムアウトが起こるとジョブをキャンセルします。
		カラートナー無し時の印刷モード	アラーム	カラートナー切れのエラーが起こったときに、原稿を白黒で印刷するか、アラーム状態で休止するかを設定します。
		ジャムリカバー	有効	紙づまりが解消されたあと、紙づまりで印刷されなかったページの再印刷を試みるかを設定します。
		普通紙ブラック設定	0	温度差による印字のばらつきを補正します。 かすれる場合に値を変更します。
		普通紙カラー設定	0	温度差による印字のばらつきを補正します。 かすれる場合に値を変更します。
		SMR 設定	0	湿温度環境および印刷濃度 / 印刷頻度の差による印刷結果のばらつきを補正します。画質にむらがある場合に設定を変更します。
		BG 設定	0	湿温度環境および印刷濃度 / 印刷頻度の差による印刷結果のばらつきを補正します。下地が濃い場合に値を変更します。
	印刷位置補正	X 補正	0.00 ミリ	印刷イメージ全体の位置を用紙の走行方向に垂直な方向に補正します。 指定可能な範囲：± 2.00 mm（0.25 mm 単位）
		Y 補正	0.00 ミリ	印刷イメージ全体の位置を用紙の走行方向に補正します。 指定可能な範囲：± 2.00 mm（0.25 mm 単位）
		両面印刷 X 補正	0.00 ミリ	両面印刷の裏面印刷時に印刷イメージの位置を用紙の走行方向に直角に補正します。 指定可能な範囲：± 2.00 mm（0.25 mm 単位）
		両面印刷 Y 補正	0.00 ミリ	両面印刷の裏面印刷時に印刷イメージの位置を用紙の走行方向に補正します。 指定可能な範囲：± 2.00 mm（0.25 mm 単位）

項目			工場出荷時の設定値	説明
印刷メニュー	ドラムクリーニング		オフ	印刷前にドラムのクリーニングを行うかを設定します。画質改善の効果がある場合があります。
	ヘキサダンプ		オフ	ホストコンピュータから受信したデータを 16 進ダンプで印刷します。印刷を終了するには、電源を切ります。
カラーメニュー	濃度補正モード		自動	イメージ濃度の調整を自動的に行うか手動で行うかを選択します。
	濃度補正	実行		自動濃度補正を開始します。
	調整パターン印刷	実行		調整パターンを印刷します。カラーバランスの調整に使用します
	シアン淡い部分		0	各カラー部分のカラートーンを調整します。 通常の設定値は 0 です。
	シアン中間部分		0	
	シアン濃い部分		0	
	マゼンタ淡い部分		0	
	マゼンタ中間部分		0	
	マゼンタ濃い部分		0	
	イエロー淡い部分		0	
	イエロー中間部分		0	各カラー部分のカラートーンを調整します。 通常の設定値は 0 です。
	イエロー濃い部分		0	
	ブラック淡い部分		0	
	ブラック中間部分		0	
	ブラック濃い部分		0	
	シアン濃度		0	各カラー（シアン、マゼンタ、イエロー、ブラック）の濃さを調整します。 通常の設定値は 0 です。
	マゼンタ濃度		0	
	イエロー濃度		0	
	ブラック濃度		0	
	色ずれ補正	実行		自動色ずれ補正を行います。本機がアイドル状態のときに実行します。
	シアン位置ずれ微調整		0	各カラーの画像位置ずれを微調整します。
	マゼンタ位置ずれ微調整		0	
	イエロー位置ずれ微調整		0	
	インクシミュレーション		オフ	インクシミュレーションを設定します。PS にのみ有効です。
	UCR		少ない	カラー印刷するときの黒の量を選択します。
	CMY100% 濃度		無効	黒領域を CMY100% で生成するか、ブラックで生成するかを選択します。CMY100% の場合は、光沢のある仕上りになります。
	CMYK 変換		オン	［**オフ**］にすると、CMYK データの変換プロセスが簡略化され処理時間が短縮されます。ただし、印刷結果の色合いが変わります。インクシミュレーション機能を利用する場合にはこのメニュー設定は無効になります。

項目			工場出荷時の設定値	説明
システム構成メニュー	動作モード		自動	エミュレーションモードを選択します。自動に設定すると、印刷ジョブを受信するたびに、適当なエミュレーションが自動的に選択されます。
	アラーム解除		手動	［**手動**］にすると、異なる用紙サイズの要求など、重要性の低い警告は＜**リセット / ログアウト**＞キーを押して解除できます。［**自動**］にすると、印刷ジョブを再開したときに警告が解除されます。
	エラー自動解除		オフ	メモリオーバーフロー発生時、自動的に本機を復旧するかを設定します。
	エラーレポート		オフ	ポストスクリプトエラーが発生したとき、エラーの詳細を印刷するかを設定します。
PCL 設定	使用フォント		内蔵フォント 2	使用するフォントの場所を選択します。
	フォント No.		［**内蔵フォント**］：I0 ［**内蔵フォント 2**］：C1	使用するフォントの番号を選択します。 指定可能な範囲：［**内蔵フォント**］設定時、I0 ～ I90/［**内蔵フォント 2**］設定時、C1 ～ C4
	フォントピッチ		10.00 CPI	PCL のフォントの幅を設定します。 指定可能な範囲：0.44 ～ 99.99 CPI（0.01 CPI 単位）
	フォントサイズ		12.00 ポイント	PCL のフォントの高さを設定します。 指定可能な範囲：4.00 ～ 999.75 ポイント（0.25 ポイント単位）
	シンボルセット		WIN3.1J	PCL のシンボルセットを選択します。
	A4 印字幅		78 桁	A4 用紙の自動改行の桁数を設定します。
	白紙ページ除外		オフ	空白ページを印刷するかを選択します。
	CR 動作		CR のみ	CR コード受信時の本機の動作を設定します。
	LF 動作		LF のみ	LF コード受信時の本機の動作を設定します。
	印刷領域		ノーマル	用紙の印刷不可能領域を設定します。
	イメージ黒選択		混合黒	イメージデータの黒をブラックトナーのみで印刷するか、CMYK 混色で印刷するかを選択します。
	ペン幅補正		オン	細い線を強調して太く見せるかを設定します。
	トレイ ID#	トレイ 2	5	PCL の給紙先指定コマンドで、トレイ 2 または MP トレイを指定する値を設定します。 指定可能な範囲：1 ～ 59 ［**トレイ 2**］の表示条件：セカンドトレイユニットが取り付けられていること。
		MP トレイ	4	
PS 設定	L1 トレイ		タイプ 1	PS コマンドで各トレイを指定する番号を付与する方式を選択します。 ［**タイプ 1**］を選択している場合、各トレイを指定する番号の付与は 0 から始まります。 ［**タイプ 2**］を選択している場合、各トレイを指定する番号の付与は 1 から始まります。

■ ネットワーク管理

メモ

- ［ネットワーク管理］メニューで変更した設定を有効にするには、ネットワークカードを再起動する必要があります。設定を変更するときに表示される確認画面に従い、ネットワークカードを再起動します。

項目		工場出荷時の設定値	説明
ネットワーク設定	TCP/IP	有効	TCP/IP を有効にするかを設定します。
	IP バージョン	IPv4	IP のバージョンを選択します。 IPv6 は Telnet でのみ選択できます。 Telnet により IPv6 が選択された場合、項目選択前の画面では［**IPv6**］と表示され、項目選択後の画面では何も選択されていない状態となります。 表示条件：TCP/IP プロトコルが有効であること。
	NetBEUI	無効	NetBEUI を有効にするかを設定します。
	NetBIOS over TCP	有効	NetBIOS over TCP/IP を有効にするかを設定します。 表示条件：TCP/IP プロトコルが有効で、IP バージョンが IPv6 に設定されていないこと。
	NetWare	無効	NetWare を有効にするかを設定します。
	EtherTalk	無効	EtherTalk を有効にするかを設定します。
	フレームタイプ	自動	フレームタイプを設定します。 表示条件：NetWare が有効であること。
	IP アドレス設定	自動	IP アドレスの設定方法を設定します。 表示条件：TCP/IP プロトコルが有効で、IP バージョンが IPv6 に設定されていないこと。
	IPv4 アドレス	192. 168. 100. 100	IP アドレスを設定します。 表示条件：TCP/IP プロトコルが有効で、IP バージョンが IPv6 に設定されていないこと。
	サブネットマスク	255. 255. 255. 0	サブネットマスクを設定します。 表示条件：TCP/IP プロトコルが有効で、IP バージョンが IPv6 に設定されていないこと。
	ゲートウェイアドレス	0. 0. 0. 0	ゲートウェイアドレスを設定します。 表示条件：TCP/IP プロトコルが有効で、IP バージョンが IPv6 に設定されていないこと。
	DNS サーバ (プライマリ)	0. 0. 0. 0	プライマリ DNS サーバの IP アドレスを設定します。 表示条件：TCP/IP プロトコルが有効で、IP バージョンが IPv6 に設定されていないこと。
	DNS サーバ (セカンダリ)	0. 0. 0. 0	セカンダリ DNS サーバの IP アドレスを設定します。 表示条件：TCP/IP プロトコルが有効で、IP バージョンが IPv6 に設定されていないこと。
	WINS サーバ (プライマリ)	0. 0. 0. 0	WINS サーバの名前または IP アドレスを設定します。 表示条件：TCP/IP プロトコルが有効で、IP バージョンが IPv6 に設定されていないこと。
	WINS サーバ (セカンダリ)	0. 0. 0. 0	WINS サーバの名前または IP アドレスを設定します。 表示条件：TCP/IP プロトコルが有効で、IP バージョンが IPv6 に設定されていないこと。
	Web	有効	Web ブラウザからのアクセスを有効にするかを設定します。 表示条件：TCP/IP プロトコルが有効であること。

項目			工場出荷時の設定値	説明
ネットワーク設定	Telnet		無効	Telnet を使用したアクセスを有効にするかを設定します。 表示条件：TCP/IP プロトコルが有効であること。
	FTP		無効	FTP でのアクセスを有効にするかを設定します。 表示条件：TCP/IP プロトコルが有効であること。
	IPSec		無効	IPSec を有効に設定にしたときにのみ表示します。無効への変更のみ可能です。
	SNMP		有効	SNMP からのアクセスを有効にするかを設定します。 表示条件：NetWare または TCP/IP が有効であること。
	ネットワークの規模		普通	［**普通**］：スパニングツリー機能を持つハブに接続しているときでも、本機は効果的に動作します。ただし、コンピュータが 2、3 台の小規模な LAN に接続されていると、本機の起動時間は長くなります。 ［**小規模**］：コンピュータが 2、3 台の小規模な LAN から大規模 LAN までカバーできますが、スパニングツリー機能を持つハブに接続しているときは効率的に動作しないことがあります。
	ハブとの接続		自動	ハブとの接続モードを設定します。通常は［**自動**］を選択します。
	ネットワーク PS- プロトコル		RAW	PS- プロトコルを設定します。
	出荷時設定に戻す	実行		ネットワーク、メールサーバ、LDAP サーバ、セキュアプロトコルサーバの設定が初期値に戻ります。
メールサーバ設定	SMTP サーバ		（なし）	SMTP サーバの IP アドレスまたはサーバ名を設定します。
	SMTP ポート		25	SMTP サーバのポート番号を設定します。通常は初期設定を使用します。 指定可能な範囲：1 ～ 65535
	SMTP 送信暗号化方式		None	SMTP 通信時の暗号化方式を選択します。
	POP3 サーバ		（なし）	POP3 サーバの IP アドレスまたはサーバ名を設定します。
	POP3 ポート		110	POP3 サーバ側の POP3 で用意しているポート番号を設定します。 指定可能な範囲：1 ～ 65535
	POP 暗号化方式		None	POP 通信時の暗号化方式を選択します。
	認証方法		無し	E メール送信時の認証方法を設定します。
	SMTP ユーザ ID		（なし）	SMTP 認証に使用するサーバへのログイン名を設定します。
	SMTP パスワード		（なし）	SMTP 認証に使用するサーバへのログインパスワードを設定します。
	POP ユーザ ID		（なし）	POP 認証または受信したメールの添付ファイルを印刷するときに使用するサーバへのログイン名を設定します。
	POP パスワード		（なし）	POP 認証または受信したメールの添付ファイルの印刷するときに使用するサーバへのログインパスワードを設定します。

項目			工場出荷時の設定値	説明
LDAP サーバ設定	サーバ設定	LDAP サーバ	(なし)	LDAP サーバの IP アドレスまたはサーバ名を設定します。
		ポート番号	389	LDAP サーバのポート番号を設定します。 指定可能な範囲：1 ～ 65535
		タイムアウト	30 秒	LDAP サーバからの検索応答のタイムアウト値を設定します。 指定可能な範囲：10 ～ 120 秒
		最大エントリ数	100 エントリ	LDAP サーバからの最大検索結果数を設定します。
		DN 名	(なし)	LDAP ディレクトリの検索を開始する位置を指定します。
	属性	名前 1	cn	検索に使用する属性を指定します。
		名前 2	sn	
		名前 3	givenName	
		E メールアドレス	mail	
		追加フィルタ	(なし)	
	認証	方法	Anonymous	認証方法を設定します。 Digest-MD5 の場合は DNS サーバ設定が必要です。Secure Protocol の場合はセキュアプロトコルサーバ設定が必要です。
		ユーザ ID	(なし)	LDAP サーバの認証用ユーザ ID を設定します。 最大半角 80 文字です。 表示条件：LDAP の認証方式が［**Anonymous**］に設定されていないこと。
		パスワード	(なし)	LDAP サーバの認証用パスワードを設定します。最大半角 32 文字です。 表示条件：LDAP の認証方式が［**Anonymous**］に設定されていないこと。
	暗号化		None	LDAP サーバとの通信の暗号化を設定します。
セキュアプロトコルサーバ設定	ドメイン名		(なし)	ケルベロス認証時のレルム名を設定します。最大半角 64 文字です。

■ 機器管理

項目			工場出荷時の設定値	説明
デフォルトモード			コピー	本機のデフォルトモードを設定します。
画面自動リセット	リセット時間		3	画面の自動リセットが始まるまでの時間を設定します。 指定可能な範囲：1 ～ 10 分
	動作完了後にリセット		オフ	ジョブ終了後にリセットするかを設定します。
音設定	キー音量		中	キータッチ音量を設定します。
	ファクス通信完了音		中	ファクス通信完了音の音量を設定します。
ローカルインターフェース *1	USB メニュー	ソフトリセット	無効	ソフトリセットコマンドを有効にするかを設定します。
		Speed	480 Mbps	USB インタフェースの最大転送速度を設定します。
		USB PS- プロトコル	RAW	USB PS- プロトコルを選択します。
		オフライン受信	無効	オフライン状態や復旧可能なエラーが発生しているときでも、データ受信を行うかどうかを設定します。
		シリアルナンバー	有効	USB シリアルナンバーを有効にするかを設定します。
システム設定	アクセス制御		無効	アクセス制御を設定します。
	ユーザ認証方法		ローカル	表示条件：[**アクセス制御**] が [**ユーザ名 / パスワード**] に設定されていること。
	表示単位		ミリ	表示単位（ミリ / インチ）を選択します。
	すべてのレポート印刷許可		無効	個人情報にかかわるレポートの印刷を許可するかを設定します。
	ニアライフ時の LED		有効	ニアライフワーニング発生時に LED を点灯させるかを設定します。
	ニアライフ時のステータス		有効	ニアライフワーニング発生時にメッセージを表示するかを設定します。
	アドレス情報ロックタイムアウト		3 分	アドレスブック、電話帳、プロファイルがユーティリティでロックされたままになっている場合に、本機側でロックを解除するまでの時間を設定します。 指定可能な範囲：1 ～ 10 分
	USB メモリインターフェース		有効	[**無効**] にすると、スキャン To USB メモリおよび USB メモリからの印刷機能が使用できなくなります。
	パネルコントラスト		0	LCD パネルのコントラストを設定します。 指定可能な範囲：± 10（1 単位）
節電モード	パワーセーブ移行時間		30 分	パワーセーブモードへの移行時間を設定します。
	スリープ移行時間		10 分	スリープモードへの移行時間を設定します。
	静音モード		オン	静音モードを有効にするかを設定します。
	エコモード *1		オン	[**オン**] に設定した場合：少量の印刷の場合、定着器の温度が規定温度に達していなくても印刷を開始します。 [**オフ**] に設定した場合：定着器の温度が規定温度に達してから、印刷を開始します。

項目			工場出荷時の設定値	説明
メモリ設定	受信バッファサイズ		自動	ローカルインタフェースで確保する受信バッファサイズを設定します。
	リソースセーブエリア		オフ	リソースセーブエリアサイズを設定します。
フラッシュメモリ設定 *1	初期化	実行		フラッシュメモリを初期化します。 表示条件：［**初期化の制限**］が［**無効**］に設定されていること。
SD カード設定 *1	初期化	実行		SD メモリーカードを初期化します。この項目は MC561dn でのみ表示されます。 表示条件：［**初期化の制限**］が［**無効**］に設定されていること。
	フォーマット	PCL		SD メモリーカードのパーティションをフォーマットします。この項目は MC561dn でのみ表示されます。 表示条件：［**初期化の制限**］が［**無効**］に設定されていること。
		共通		
		PS		
ストレージ保守設定	ファイルシステムチェック	実行		ファイルシステムの実（空き）容量と表示空き容量の不一致の解決と管理データの修復を実行します。
	SD メモリーカードデータ消去	実行		SD メモリーカードのデータを削除します。 この項目は MC561dn でのみ表示されます。
	初期化の制限		有効	フラッシュメモリまたは SD メモリーカードの初期化に伴う設定変更を許可するかを設定します。
暗号化設定	ジョブ制限		無効	［**暗号化ジョブのみ**］を選択した場合、暗号化認証印刷を除くすべての印刷要求が受け捨てとなります。 この項目は MC561dn でのみ表示されます。
言語保守設定	初期化 *1	実行		ダウンロードされているメッセージファイルを削除します。
管理者パスワード			aaaaaa	管理者パスワードを変更します。6 ～ 12 文字で指定できます。
設定値初期化 *2		実行		ジョブマクロ、ファクス送受信データ、履歴情報を削除し、各種設定を工場出荷時の設定に戻します。
ジョブログ設定	ジョブログの保存 *1		無効	ジョブログを保存するかどうかを設定します。
	ジョブログ消去 *3	実行		保存したジョブログをクリアします。 表示条件：［**ジョブログの保存**］が［**有効**］に設定されていること。
印刷集計	消耗品カウンタ		無効	消耗品カウンタのレポートを印刷するかを設定します。
	メインカウンタのリセット	実行		メインカウンタをリセットします。
	消耗品カウンタのリセット	実行		消耗品カウンタをリセットします。 表示条件：［**消耗品カウンタ**］が［**有効**］に設定されていること。

*1 変更すると装置が自動的に再起動することを確認するメッセージが表示されます。［**はい**］を選択すると続行します。［**いいえ**］を選択すると中止します。

*2 実行すると装置が自動的に再起動することを確認するメッセージが表示されます。［**はい**］を選択すると続行します。［**いいえ**］を選択すると中止します。

*3 実行するとジョブログがすべて削除されることを確認するメッセージが表示されます。［**はい**］を選択すると続行します。［**いいえ**］を選択すると中止します。

■ 運用初期設定

項目			工場出荷時の設定値	説明
時刻設定	自動設定	SNTP サーバ（プライマリ）	手動設定	現在の日付と時間を設定するのに使用する SNTP サーバを設定します。最大半角 64 文字です。
		SNTP サーバ（セカンダリ）		
	手動設定			現在の日付と時間を手動で設定します。
タイムゾーン			+9:00	GMT を基準とするタイムゾーンを設定します。指定可能な範囲：-12:00 ～ +13:00（15 分単位）
省電力設定	パワーセーブ		オン	パワーセーブモードを有効にするかを設定します。
	スリープ		オン	スリープモードを有効にするかを設定します。
高湿モード			オフ	高湿モードを有効にするかを設定します。
ダイヤル種別			プッシュ	ダイヤル種別を選択します。
ファクス受信モード			ファクス待機	受信モードを設定します。
ダイヤルトーン検出			オン	ダイヤルトーンを検出するかを設定します。
ビジートーン検出			オン	ビジートーンを検出するかを設定します。
発信元名登録 / 変更	発信元名 1		（なし）	発信元の名前を登録 / 変更します。半角文字のみ使用可能です。最大半角 22 文字です。
	発信元名 2			
	発信元名 3			
標準発信元名			発信元名 1	登録リストから標準で使用する発信元名を選択します。
自機電話番号			（なし）	本機のファクス番号を登録します。
TTI カレンダータイプ			yyyy/mm/dd	発信元情報のカレンダータイプを設定します。
スーパー G3			オン	スーパー G3（超高速通信モード）で通信するかを設定します。
個人情報消去 *1		実行		登録されたプライバシーデータを削除します。表示条件：ジョブアカウンティングが無効であること。

*1　実行すると装置が自動的に再起動することを確認するメッセージが表示されます。［**はい**］を選択すると続行します。［**いいえ**］を選択すると中止します。

注

- ［**パワーセーブ**］を［**オフ**］に設定した状態で、長時間ご使用になると、電子部品（ファンなど）の寿命に影響を与える可能性があります。

7. 便利なソフトウェア

この章では、本機を使用するときに役立つソフトウェア機能を説明します。

■ ユーティリティの一覧

この節では、本機で使用できるユーティリティについて説明します。ユーティリティの使用方法については、各セクションを参照してください。

Windows/Mac OS X 共通ユーティリティ

項目	機能対象	説明	システム要件	参照先
カラー調整ユーティリティ	プリント	カラーマッチングを調整します。パレットカラーの出力色を調整できます。また、色相を調整して、出力色の全体的な色合いを変更することもできます。	● Windows 7/Windows Vista/Windows Server 2008 R2/Windows Server 2008/Windows XP/Windows Server 2003/Windows 2000 ● Mac OS X 10.3.9 〜 10.6	131 ページ
プロファイルアシスタント *1	プリント	ICC プロファイルを本機のハードディスクに登録、管理します。登録した ICC プロファイルは、プリンタドライバの［**グラフィックプロ**］モードでのカラーマッチングに使用されます。		129 ページ
PS ハーフトーン調整ユーティリティ	プリント	各色の CMYK 色とハーフトーン濃度を調整することで、画像の濃度を調整できます。		137 ページ
プリントジョブアカウンティングクライアント / プリントジョブアカウンティング	本体管理	ユーザ名とユーザ ID をプリンタドライバに設定します。		110 ページ、119 ページ
NIC 設定ツール	本体設定	ネットワークの設定ができます。		113 ページ、120 ページ
プリンタ表示言語セットアップ / パネル言語セットアップ	本体設定	操作パネルやメニューの表示言語を変更できます。		112 ページ、119 ページ

Windows ユーティリティ

項目	機能対象	説明	システム要件	参照先
Configuration Tool	本体設定	本機のアクセス制御設定とメニューの変更、E メールアドレス、短縮ダイヤル番号、プロファイル、PIN 番号、自動配信設定、ネットワークスキャン設定の登録ができます。	Windows 7/Windows Vista/Windows Server 2008 R2/Windows Server 2008/Windows XP/Windows Server 2003/Windows 2000 Windows 2000 では以下がインストールされている必要があります。 ● Service Pack 4 ● Internet Explorer 5.5 SP1 またはそれ以上のバージョン ● KB891861 （http://support.microsoft.com/?kbid=891861）	101 ページ

項目	機能対象	説明	システム要件	参照先
色見本印刷ユーティリティ	プリント	色見本を印刷します。このユーティリティでは、印刷する色を確認できます。このユーティリティは、プリンタドライバをインストールすると自動的にインストールされます。	Windows 7/Windows Vista/Windows Server 2008 R2/Windows Server 2008/Windows XP/ Windows Server 2003/ Windows 2000	136 ページ
PDF Print Direct	プリント	アプリケーションを何も起動しないで、PDF ファイルを印刷します。		110 ページ
ActKey	スキャン	読み取りをすぐに開始します。また、読み取り設定をすることができます。	Windows 7/Windows Vista/Windows Server 2008 R2/Windows Server 2008/Windows XP/ Windows Server 2003/ Windows 2000	44 ページ
OKI LPR ユーティリティ	プリント	ネットワーク接続での印刷、印刷の管理、本機の状態の確認ができます。	Windows 7/Windows Vista/Windows Server 2008 R2/Windows Server 2008/Windows XP/ Windows Server 2003/ Windows 2000	114 ページ
TELNET*2	本体設定	本機のネットワーク設定ができます。		117 ページ
ストレージデバイスマネージャ*1	プリント	フォームデータの登録と削除、保存ジョブの管理ができます。	Windows 7/Windows Vista/Windows Server 2008 R2/Windows Server 2008/Windows XP/ Windows Server 2003/ Windows 2000	108 ページ
Web Driver Installer *1	本体管理	ネットワークに接続されている、沖データのプリンタや複合機を管理します。	Windows XP/Windows Server 2003/Windows 2000/Windows NT4.0 詳しくは沖データホームページを参照してください。	-
PrintSuperVision MultiPlatform Edition *1	本体管理	ネットワークに接続されるプリンタを管理する Web ベースのアプリケーションです。複数の装置の設定情報や消耗品情報を確認できます。	Windows 7/Windows Vista/Windows Server 2008 R2/Windows Server 2008/Windows XP/ Windows Server 2003/ Windows 2000 SP4 詳しくは沖データホームページを参照してください。	-
Network Extension	本体管理	プリンタドライバから本機の設定を確認したり、オプションを設定することができます。このユーティリティは、ネットワーク接続でプリンタドライバをインストールすると、自動的にインストールされます。	Windows 7/Windows Vista/Windows Server 2008 R2/Windows Server 2008/Windows XP/ Windows Server 2003/ Windows 2000 TCP/IP で動作しているコンピュータ	116 ページ

Mac OS X ユーティリティ

項目	機能対象	説明	システム要件	参照先
ネットワークスキャナ設定ツール	スキャン	初めてアプリケーションからスキャナドライバを選択したときに起動され、接続先装置を選択できます。 2 回目以降は接続先の設定は不要になります。	Mac OS X 10.3.9 ～ 10.6	121 ページ

*1 *1 がついているユーティリティは、「ソフトウェア CD-ROM」に収録されていません。沖データホームページからダウンロードしてください。
*2 TELNET は OS でサポートされる機能です。

■ ユーティリティをインストールする

「ソフトウェア CD-ROM」からインストールする

使用したいユーティリティがあるときは、Windows の場合は、以下の手順でインストールします。Mac OS X の場合はドラッグ＆ドロップで任意の場所にコピーします。「ソフトウェア CD-ROM」から直接起動することもできます。

メモ

- Windows で PaperPort をインストールする場合は「アプリケーション CD-ROM」からインストールしてください。

Windows の場合

1 「ソフトウェア CD-ROM」をコンピュータに挿入します。
2 ［**setup.exe の実行**］をクリックします。
［**ユーザー アカウント制御**］ダイアログが表示されたら、［**はい**］をクリックします。
3 モデルを選択し、［**次へ**］をクリックします。
4 使用許諾契約を読み、［**同意する**］をクリックします。
5 ［**装置の設定**］または［**便利な機能**］をクリックします。
6 インストールしたいユーティリティを選択します。
7 画面の指示に従って、インストールを完了します。
8 ［**完了**］をクリックします。

Mac OS X の場合

1 「ソフトウェア CD-ROM」をコンピュータに挿入します。
2 ［**OKI**］＞［**Utility**］フォルダをダブルクリックします。
3 インストールしたいユーティリティのフォルダをドラッグ＆ドロップで任意の場所にコピーします。

メモ

- 起動するにはフォルダ内のユーティリティアイコンをダブルクリックします。

沖データホームページからダウンロードしてインストールする

使用したいユーティリティがあるときは、以下の手順でインストールします。

Windows/Mac OS X 共通

1 沖データホームページにアクセスします。
2 使用したいユーティリティを選択し、画面の指示に従ってダウンロードします。
3 コンピュータにダウンロードされたアイコンをダブルクリックします。
4 画面の指示に従ってインストールします。

Windows/Mac OS X 共通ユーティリティ

この節では、Windows/Mac OS X 共通で使用できる Web ページを説明します。

Web ページを使用するには、次の条件を満たしている必要があります。

- TCP/IP が有効になっていること。
- Microsoft Internet Explorer 6.0 以降、Safari 3.0 以降、または Firefox 3.0 以降のいずれかがインストールされていること。

メモ

- Web ページのセキュリティ設定を中レベルに設定するか、Cookie を有効にしてください。
- ［**管理者設定**］メニューに入るには、管理者パスワードが必要です。工場出荷時のパスワードは「aaaaaa」です。

Web ページ

Web ページから、次の操作を実行できます。

- 本機の状態を表示する。
- プロファイルを作成する。
- トレイ、ネットワーク、機能の初期設定、本機の設定をする。
- ジョブの一覧を表示する。
- プリンタドライバを使用しないで、PDF ファイルを印刷する。
- 自動配信と通信データ保存を設定する。
- 頻繁に使用する Web ページにリンクする。

メモ

- Web ページで本機の設定変更を行うには、装置の管理者としてログインする必要があります。

参照

- ネットワークの設定方法については、「Web ページからネットワーク設定を変更する」（P. 157）を参照してください。

本機の Web ページにアクセスする

1 Web ブラウザを起動します。

2 アドレスバーに、「http://（本機の IP アドレス）」を入力し、<**Enter**> キーを押します。

参照

- 本機の IP アドレスについては、「ユーザーズマニュアル　基本編」を参照してください。

管理者としてログインする

注

- 管理者の権限が必要です。

メモ

- 工場出荷時の管理者パスワードは「aaaaaa」です。

1 トップページの［**管理者のログイン**］をクリックします。

2 ［**ユーザー名**］に「root」を、［**パスワード**］に本機の管理者パスワードを入力し、［**OK**］をクリックします。

Mac OS X の場合は［**名前**］に「root」を、［**パスワード**］に本機の管理者パスワードを入力し、［**ログイン**］をクリックします。

3 ［スキップ］をクリックします。

この画面で設定を変更したときは、［OK］をクリックします。

管理者用の設定メニューが表示されます。

管理者パスワードを変更する

Web ページから、本機の管理者パスワードを変更できます。Web ページで指定する管理者パスワードは、操作パネルまたは Web ページから本機にログインするときに使用されます。

メモ

- パスワードは半角英数字6文字以上12文字以内まで入力できます。
- パスワードは大文字 / 小文字が区別されます。

1 Web ブラウザを起動し、本機の IP アドレスを入力します。

2 ［**管理者設定**］を選択します。

3 ［**機器管理**］>［**管理者パスワード**］を選択します。

4 ［**新しいパスワード**］に、新しいパスワードを入力します。

5 ［**新しいパスワードの再入力**］に、パスワードを再度入力します。

入力したパスワードは表示されません。パスワードを書き留めて、安全な場所で管理してください。

6 ［**送信**］をクリックします。

新しい設定は、ネットワーク機能が再起動してから有効になります。

メモ

- 本機を再起動する必要はありません。次回、管理者としてログインするときは、新しいパスワードを使用します。

本機の状態を確認する

Web ページから、本機の状態を確認できます。

1 Web ブラウザを起動し、本機の IP アドレスを入力します。

本機の状態が表示されます。

メモ

- 管理者としてログインしているときは、［**ステータスウィンドウ**］をクリックすると、本機の状態を簡易的に表示できます。

本機の設定を変更する

Web ページから、本機の設定を変更できます。

1 Web ブラウザを起動し、管理者としてログインします。

2 設定を変更し、［**送信**］をクリックします。

日付を自動的に取得する

日付情報をインターネットタイムサーバから自動的に取得して、本機に反映できます。

1 Web ブラウザを起動し、管理者としてログインします。

2 ［**管理者設定**］を選択します。

3 ［**運用初期設定**］>［**時刻設定**］を選択します。

4 タイムゾーンを指定します。

5 ［**時刻設定**］に［**自動**］を選択します。

6 ［**SNTP サーバ（プライマリ）**］に SNTP サーバを入力します。

7 必要に応じて、［**SNTP サーバ（セカンダリ）**］に別の SNTP サーバを入力します。

8 ［**送信**］をクリックします。

新しい設定は、ネットワーク機能が再起動してから有効になります。

メモ

- SNTP を利用すると、操作パネルから時刻設定ができません。

Windows ユーティリティ

この節では、Windows で使用できるユーティリティを説明します。

メモ

- User Setting プラグインを使用するときは、管理者パスワードが必要です。工場出荷時のパスワードは「aaaaaa」です。

Configuration Tool

Configuration Tool では、複数台の装置の管理と、設定の変更ができます。

Configuration Tool の機能は以下のとおりです。

- 装置に関する情報の表示
- 装置のメニューの設定
- 装置の設定のコピー
- 装置のパスワードの変更
- E メールアドレス、短縮ダイヤル番号、PIN、ネットワークスキャンアドレスの登録と編集
- 装置のプロファイルの登録と編集
- アクセス制御の設定
- 自動配信の登録と編集
- メール、短縮ダイヤル番号、プロファイル、ネットワークスキャンアドレスの一覧の並べ替え

Windows 2000 で Configuration Tool を使用するには、以下がインストールされている必要があります。

- Service Pack 4
- Internet Explorer5.5 SP1 またはそれ以上のバージョン
- KB891861 （http://support.microsoft.com/?kbid=891861）

セットアップ

必要に応じて、プラグインをインストールできます。

プラグインには次の 4 種類があります。

- User Setting プラグイン
- Device Setting プラグイン
- Alert Info プラグイン
- Network Setting プラグイン

1 「ソフトウェア CD-ROM」をコンピュータに挿入します。
ウィンドウが表示されます。

2 ［**便利な機能**］から［**Configuration Tool**］をクリックします。

3 インストールするプラグインを選択します。

4 ソフトウェアをインストールするフォルダを指定します。
初期設定は「C:¥Program Files¥Okidata¥Configuration Tool」です。

5 ［**インストール**］をクリックします。

6 インストールの完了を示すメッセージが表示されたら、［**閉じる**］をクリックします。

メモ

- プラグインは、あとで追加インストールすることもできます。

本機を登録する

Configuration Tool を使用したり、本機を新しく導入するときは、本機を Configuration Tool に登録します。

1 ［**スタート**］をクリックし、［**すべてのプログラム**］>［**沖データ**］>［**Configuration Tool**］>［**Configuration Tool**］を選択します。

2 ［**ツール**］メニューから［**デバイスの登録**］を選択します。
検索結果が表示されます。

3 本機を選択し、［**登録**］をクリックします。

4 確認画面で［**はい**］をクリックします。

本機を削除する

登録している本機を削除できます。

1 ［**登録デバイス一覧**］から、本機を右クリックします。

2 ［**デバイスの削除**］を選択します。

3 確認画面で［**はい**］をクリックします。

本機の状態を確認する

本機の状態や情報を確認できます。

1 ［**登録デバイス一覧**］から、本機を選択します。

2 ［Device Info］タブを選択します。

メモ

- 本機がネットワークに接続されているときは、［**デバイスステータス**］が表示されます。
- 情報を更新したいときは、［**デバイス情報の更新**］をクリックします。

E メールアドレスを設定する

User Setting プラグインでは、本機の E メールアドレスを登録および編集できます。

以下では、一部の機能を説明します。

注

- 以下の機能を使用するときは、User Setting プラグインをインストールしてください。

参照

- プラグインのインストール方法については、「セットアップ」（P. 101）を参照してください。

■ アイコン

各アイコンの意味は、下記のとおりです。

アイコン	説明
	新しい E メールアドレスを登録します。
	新しい E メールアドレスグループを登録します。
	本機に設定を保存します。
	指定した項目を削除します。
	指定した項目を削除し、ほかの項目を上へ移動します。
	すべての項目を削除します。
	現在の設定をファイルにエクスポートします。
	設定をファイルからインポートします。
	トップページに戻ります。

■ アドレスをファイルにエクスポートする

1 ［**登録デバイス一覧**］から、エクスポート元の装置を選択します。

2 ［User Setting］タブを選択します。

3 ［**E メールアドレスマネージャー**］をクリックします。

4 管理者パスワードを入力し、［OK］をクリックします。

5 をクリックします。

6 保存するファイルの名前と保存先フォルダを入力し、［**保存**］をクリックします。

注

- エクスポート後に編集した CSV ファイルは適切に復元されないことがあります。

■ アドレスをファイルからインポートする

1 ［**登録デバイス一覧**］から、インポート元の装置を選択します。

2 ［User Setting］タブを選択します。

3 ［**E メールアドレスマネージャー**］をクリックします。

4 管理者パスワードを入力し、［OK］をクリックします。

5 をクリックします。

6 ［**CSV ファイルの選択**］から［**開く**］をクリックします。

7 インポートしたいファイルを選択し、［**開く**］をクリックします。

8 ［**次へ**］をクリックします。

9 インポートする設定を選択し、［**インポート**］をクリックします。

10 をクリックします。

メモ

- Outlook Express（Windows メール、Windows Live メール）がエクスポートした CSV ファイルについても、復元可能です。

短縮ダイヤルを設定する

本機の短縮ダイヤルの登録と編集ができます。

以下では、一部の機能を説明します。

注

- 短縮ダイヤルマネージャーを使用するときは、User Setting プラグインをインストールしてください。

参照

- プラグインのインストール方法については、「セットアップ」（P. 101）を参照してください。

■ アイコン

各アイコンの意味は、下記のとおりです。

アイコン	説明
	新しい短縮ダイヤル番号を登録します。
	新しい短縮ダイヤル番号グループを登録します。

メモ

- ほかのアイコンの機能は、「E メールアドレスを設定する」（P. 102）の説明内容と同じです。

参照

- アイコンについては、「アイコン」（P. 102）を参照してください。

■ 短縮ダイヤルをファイルにエクスポートする

1. ［**登録デバイス一覧**］から、エクスポート元の装置を選択します。
2. ［**User Setting**］タブを選択します。
3. ［**短縮ダイヤルマネージャー**］をクリックします。
4. 管理者パスワードを入力し、［**OK**］をクリックします。
5. をクリックします。
6. ファイル名を入力し、ファイルの保存先フォルダを選択し、［**保存**］をクリックします。

注

- エクスポート後に編集した CSV ファイルは適切に復元されないことがあります。

■ 短縮ダイヤルをファイルからインポートする

1. ［**登録デバイス一覧**］から、インポート元の装置を選択します。
2. ［**User Setting**］タブを選択します。
3. ［**短縮ダイヤルマネージャー**］をクリックします。
4. 管理者パスワードを入力し、［**OK**］をクリックします。
5. をクリックします。
6. ［**CSV ファイルの選択**］から［**開く**］をクリックします。
7. インポートしたいファイルを選択し、［**開く**］をクリックします。
8. ［**次へ**］をクリックします。
9. インポートする設定を選択し、［**インポート**］をクリックします。
10. をクリックします。

メモ

- Outlook Express（Windows メール、Windows Live メール）がエクスポートした CSV ファイルについても、復元可能です。

プロファイルを設定する

本機のプロファイルの登録と編集ができます。

以下では、一部の機能を説明します。

注

- プロファイルマネージャーを使用するときは、User Setting プラグインをインストールしてください。

参照

- プラグインのインストール方法については、「セットアップ」（P. 101）を参照してください。

■ アイコン

各アイコンの意味は、下記のとおりです。

アイコン	説明
	新しいプロファイルを登録します。
	チェックボックスにチェックが入っている項目の内容をコピーして、プロファイルの新規作成を行います。

メモ

- ほかのアイコンの機能は、「E メールアドレスを設定する」（P. 102）の説明内容と同じです。

参照

- アイコンについては、「アイコン」（P. 102）を参照してください。

■プロファイルをファイルにエクスポートする

1. ［**登録デバイス一覧**］から、エクスポート元の装置を選択します。
2. ［**User Setting**］タブを選択します。
3. ［**プロファイルマネージャー**］をクリックします。
4. 管理者パスワードを入力し、［**OK**］をクリックします。
5. をクリックします。
6. 表示されたメッセージの内容を確認し［**OK**］をクリックします。
7. ファイル名を入力し、ファイルの保存先フォルダを選択し、［**保存**］をクリックします。

注

- エクスポート後に編集した CSV ファイルは適切に復元されないことがあります。

■プロファイルをファイルからインポートする

1. ［**登録デバイス一覧**］から、インポート元の装置を選択します。
2. ［**User Setting**］タブを選択します。
3. ［**プロファイルマネージャー**］をクリックします。
4. 管理者パスワードを入力し、［**OK**］をクリックします。
5. をクリックします。
6. 表示されたメッセージ文の内容を確認し［**OK**］をクリックします。
7. インポートしたいファイルを選択し、［**開く**］をクリックします。
8. インポートする設定を選択し、［**インポート**］をクリックします。
9. をクリックします。

PIN を設定する

本機へのアクセスを制限できます。

■アイコン

各アイコンの意味は、下記のとおりです。

アイコン	説明
PIN	新しい PIN 番号を登録します。
	新しいユーザを登録します。

■新しい PIN を作成する

1. ［**登録デバイス一覧**］から、本機を選択します。
2. ［**User Setting**］タブを選択します。
3. ［**PIN マネージャー**］をクリックします。
4. 管理者パスワードを入力し、［**OK**］をクリックします。
5. PIN をクリックします。
6. PIN 番号として使用したい PIN を入力します。
7. 必要に応じて各項目を設定し、［**OK**］をクリックします。
8. をクリックします。

■PIN の設定を変更する

1. ［**登録デバイス一覧**］から、本機を選択します。
2. ［**User Setting**］タブを選択します。
3. ［**PIN マネージャー**］をクリックします。
4. 管理者パスワードを入力し、［**OK**］をクリックします。
5. 設定を変更したい PIN 番号を選択します。
6. 必要に応じて設定を変更し、［**OK**］をクリックします。
7. をクリックします。

■PIN を削除する

1. ［**登録デバイス一覧**］から、本機を選択します。
2. ［**User Setting**］タブを選択します。
3. ［**PIN マネージャー**］をクリックします。

4 管理者パスワードを入力し、[**OK**] をクリックします。

5 削除したいPINのチェックボックスを選択します。

6 をクリックします。

7 確認画面で [**はい**] をクリックします。

8 をクリックします。

■ PIN をファイルにエクスポートする

1 [**登録デバイス一覧**] から、エクスポート元の装置を選択します。

2 [**User Setting**] タブを選択します。

3 [**PIN マネージャー**] をクリックします。

4 管理者パスワードを入力し、[**OK**] をクリックします。

5 をクリックします。

6 ファイル名を入力し、ファイルの保存先フォルダを選択し、[**保存**] をクリックします。

注

- エクスポート後に編集した CSV ファイルは適切に復元されないことがあります。

■ PIN をファイルからインポートする

1 [**登録デバイス一覧**] から、インポート元の装置を選択します。

2 [**User Setting**] タブを選択します。

3 [**PIN マネージャー**] をクリックします。

4 管理者パスワードを入力し、[**OK**] をクリックします。

5 をクリックします。

6 インポートしたいファイルを選択し、[**開く**] をクリックします。

7 インポートする設定を選択し、[**インポート**] をクリックします。

8 をクリックします。

■ 新しいユーザを作成する

1 [**登録デバイス一覧**] から、本機を選択します。

2 [**User Setting**] タブを選択します。

3 [**PIN マネージャー**] をクリックします。

4 管理者パスワードを入力し、[**OK**] をクリックします。

5 をクリックします。

6 ユーザ名とパスワードを入力します。

7 [**PIN 番号**] から、すでに作成済みの PIN に関連付けるか、[**新規作成**] を選択します。

8 [**新規作成**] を選択した場合は、[**新しい PIN 番号**] に PIN 番号を入力し、必要に応じて各値を設定し、[**OK**] をクリックします。

9 [**閉じる**] をクリックします。

10 をクリックします。

メモ

- 「Admin」は、新しいユーザ名として登録できません。

■ ユーザ設定を変更する

1 [**登録デバイス一覧**] から、本機を選択します。

2 [**User Setting**] タブを選択します。

3 [**PIN マネージャー**] をクリックします。

4 管理者パスワードを入力し、[**OK**] をクリックします。

5 変更するユーザ名を選択します。

6 必要に応じて設定を変更し、[**OK**] をクリックします。

7 をクリックします。

■ ユーザを削除する

1 [**登録デバイス一覧**] から、本機を選択します。

2 [**User Setting**] タブを選択します。

3 [**PIN マネージャー**] をクリックします。

4 管理者パスワードを入力し、[**OK**] をクリックします。

5 削除したいユーザのチェックボックスを選択します。

6 をクリックします。

7 確認画面で [**はい**] をクリックします。

8 をクリックします。

ネットワークスキャンを設定する

ネットワークスキャンで使用するアドレスの登録と編集ができます。

■ アイコン

各アイコンの意味は、下記のとおりです。

アイコン	説明
	ネットワークスキャンの新しい送信先を登録します。

メモ

- ほかのアイコンの機能は、「E メールアドレスを設定する」(P. 102)の説明内容と同じです。

参照

- アイコンについては、「アイコン」(P. 102)を参照してください。

■ ネットワークスキャンの設定をファイルにエクスポートする

1 [登録デバイス一覧]から、エクスポート元の装置を選択します。

2 [User Setting]タブを選択します。

3 [ネットワークスキャンマネージャー]をクリックします。

4 管理者パスワードを入力し、[OK]をクリックします。

5 をクリックします。

6 ファイル名を入力し、ファイルの保存先フォルダを選択し、[保存]をクリックします。

注

- エクスポート後に編集した CSV ファイルは適切に復元されないことがあります。

■ ネットワークスキャンの設定をファイルからインポートする

1 [登録デバイス一覧]から、インポート元の装置を選択します。

2 [User Setting]タブを選択します。

3 [ネットワークスキャンマネージャー]をクリックします。

4 管理者パスワードを入力し、[OK]をクリックします。

5 をクリックします。

6 インポートしたいファイルを選択し、[開く]をクリックします。

7 インポートしたい設定を選択し、[インポート]をクリックします。

8 をクリックします。

■ ネットワークスキャンの設定を削除する

1 [登録デバイス一覧]から、本機を選択します。

2 [User Setting]タブを選択します。

3 [ネットワークスキャンマネージャー]をクリックします。

4 管理者パスワードを入力し、[OK]をクリックします。

5 削除したい送信先を選択します。

6 をクリックします。

Device Setting プラグイン

Device Setting プラグインでは、本機のメニューを変更したり、ほかの装置に設定をコピーすることができます。

■ アイコン

各アイコンの意味は、下記のとおりです。

アイコン	説明
	画面に表示されている装置の設定をファイルに保存します。
	外部ファイルに保存されている装置の設定を復元します。

■ 設定をファイルに保存する

1 [登録デバイス一覧]から、本機を選択します。

2 [Device Setting]タブを選択します。

3 [メニュー設定]をクリックします。

4 をクリックします。

5 ファイル名を入力し、ファイルの保存先フォルダを選択し、[保存]をクリックします。

■ 設定をファイルから復元する

1 [登録デバイス一覧]から、本機を選択します。

2 [Device Setting]タブを選択します。

3 [メニュー設定]をクリックします。

4 をクリックします。

5 表示されたメッセージの内容を確認し［**はい**］をクリックします。

6 復元したいファイルを選択し、［**開く**］をクリックします。

7 をクリックします。

■ パスワードの設定

1 ［**登録デバイス一覧**］から、本機を選択します。

2 ［**Device Setting**］タブを選択します。

3 ［**パスワード変更**］をクリックします。

4 現在のパスワードと新しいパスワードを入力し、［**OK**］をクリックします。

Alert Info プラグイン

Alert Info プラグインを使用すると、ジョブの終了時に、コンピュータにメッセージを表示できます。このソフトウェアでは、ジョブが完了することを「イベント」と呼びます。

! 注

- Alert Info プラグインは、ネットワークに接続されている装置で使用できます。
- 本機の時刻とタイムゾーンをコンピュータと一致させる必要があります。

■ 基本設定

Alert Info プラグインの基本設定をすることができます。

1 ［**Plug-in**］メニューから［**Alert Info**］を選択します。

2 ［**基本設定**］を選択します。

3 必要に応じて、設定を変更します。

4 ［**更新**］をクリックします。

■ デバイスの設定

Alert Info プラグインの設定は、装置ごとに変更できます。

1 ［**Plug-in**］メニューから［**Alert Info**］を選択します。

2 ［**デバイス設定**］を選択します。

3 ［**デバイスの更新**］をクリックします。

4 設定したい装置を選択します。

5 必要に応じて、設定を変更し［**OK**］をクリックします。

■ フィルタの設定

ファクスの送受信時、原稿の印刷時、E メールとインターネットファクスの受信時に表示するアラートの条件を設定できます。

1 ［**Plug-in**］メニューから［**Alert Info**］を選択します。

2 ［**フィルタ設定**］を選択します。

3 設定したいイベントボタンをクリックします。

4 必要に応じて、設定を変更します。

5 ［**OK**］をクリックします。

メモ

- E メールの送信元、インターネットファクスの送信元、ファクスの送信元として、最大 100 件の送信元を登録できます。

■ ログを確認する

イベントのログから、登録されている本機についての記録があるかどうかを確認できます。

1 ［**Plug-in**］メニューから［**Alert Info**］を選択します。

2 ［**ログの表示**］を選択します。

メモ

- 記録されたイベントの総数を［**ログ数の一覧**］で確認できます。
- 記録されたログの詳細を［**ログの詳細**］で確認できます。

Network Setting プラグイン

Configuration Tool で、ネットワーク設定をすることができます。設定する前に、Network Setting プラグインをインストールしてください。

参照

- ネットワークの設定方法については、「Web ページからネットワーク設定を変更する」（P. 157）を参照してください。

■ アイコン

各アイコンの意味は、下記のとおりです。

アイコン	説明
	本機を再度検索します。
	本機の検索条件を変更します。
	本機の IP アドレスを変更します。
	本機を再起動します。
	ネットワークパスワードを変更します。
	指定した本機の Web ページを表示します。

7 便利なソフトウェア

■ ネットワーク上の本機を検索する

本機を検索できます。

1 ［Plug-in］メニューから［Network Setting］を選択します。

2 ［**検索開始**］を選択します。

検索結果が表示されます。

■ 検索条件を指定する

1 ［Plug-in］メニューから［Network Setting］を選択します。

2 ［**環境設定**］を選択します。

3 必要に応じて、検索条件を指定し、［OK］をクリックします。

■ IP アドレスを変更する

本機の IP アドレスを変更できます。

1 装置の一覧から、本機を選択します。

2 をクリックします。

3 必要に応じて、設定を変更します。

4 ［**設定**］をクリックします。

5 ネットワークパスワードを入力し、［OK］をクリックします。

工場出荷時のパスワードは、MAC アドレスの英数字下 6 桁です。

6 ［OK］をクリックし、本機を再起動します。

設定を複製（クローニング）する

■ 本機の設定を複製（クローニング）する

本機の設定を別の装置にコピーできます。

1 ［**登録デバイス一覧**］から、クローニング元の装置を選択します。

2 ［Device Setting］タブを選択します。

3 ［**クローニング**］をクリックします。

4 クローニング先を選択し、［**実行**］をクリックします。

5 クローニング元とクローニング先のパスワードを入力し、［OK］をクリックします。

■ ユーザの設定を複製（クローニング）する

ユーザの設定を別の装置にコピーできます。

1 ［**登録デバイス一覧**］から、クローニング元の装置を選択します。

2 ［User Setting］タブを選択します。

3 ［**クローニング**］をクリックします。

4 管理者パスワードを入力し、［OK］をクリックします。

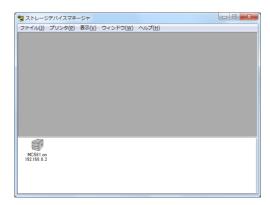
5 クローニング先とクローニングする設定を選択します。

6 ［**実行**］をクリックします。

7 クローニング先のパスワードを入力し、［OK］をクリックします。

結果が表示されます。

ストレージデバイスマネージャ

ストレージデバイスマネージャでは、本機のフォームデータの登録や削除、保存ジョブを管理することができます。

注

- PS パーティションへのアクセス、フォームの登録、フォームの印刷テスト、SD メモリーカードに保存されているジョブの印刷を実行したいときは、［**ジョブ制限**］を［**無効**］に設定します。

インストールする

注

- ストレージデバイスマネージャは、「ソフトウェア CD-ROM」に収録されていません。沖データホームページからインストールファイルをダウンロードします。

1 沖データホームページからダウンロードした EXE ファイルをダブルクリックします。

インストーラが起動します。

2 指示に従って、ストレージデバイスマネージャをインストールします。

起動する

1 ［**スタート**］をクリックし、［**すべてのプログラム**］>［**沖データ**］>［**OKI ストレージデバイスマネージャ**］>［**OKI ストレージデバイスマネージャ**］を選択します。

フォームを登録する（フォームオーバーレイ）

本機にロゴなどをフォームとして登録し、重ね合わせて印刷することができます。ここでは、フォームの登録方法を説明します。

参照

- オーバーレイの印刷方法については、「オーバーレイ印刷をする（MC561dn のみ）」（P. 63）を参照してください。

メモ

- Windows PS プリンタドライバを使用するときは、管理者の権限が必要です。
- Windows PCL XPS プリンタドライバでは利用できません。

■ フォームを作成する

1 ［**スタート**］をクリックし、［**デバイスとプリンター**］を選択します。

2 MC561 アイコンを右クリックし、［**プリンターのプロパティ**］＞［**OKI MC561(*)**］を選択します。
* 必要なドライバのタイプを選択してください。

3 ［**ポート**］タブを選択し、［**印刷するポート**］から［**FILE:**］にチェックをつけ、［**OK**］をクリックします。

4 本機に登録したいフォームを作成します。
Windows PCL プリンタドライバを使用する場合は、手順 9 に進みます。

5 ［**ファイル**］メニューから［**印刷**］を選択します。

6 ［**詳細設定**］をクリックします。

7 ［**印刷オプション**］タブを選択し、［**オーバーレイ**］をクリックします。

8 ［**フォームの作成**］を選択します。

9 印刷します。

10 保存するファイル名を入力します。

11 ［**ポート**］タブの［**印刷するポート**］を元に戻します。

■ ストレージデバイスマネージャでフォームを本機に登録する

1 ストレージデバイスマネージャを起動します。

2 ［**プリンタの検索**］画面で、本機に接続するポートを選択し、［**開始**］をクリックします。

3 ［**閉じる**］をクリックします。

4 ［**ファイル**］メニューから［**プロジェクトの新規作成**］を選択します。

5 ［**ファイル**］メニューから［**プロジェクトへファイルの追加**］を選択し、作成したフォームファイルを選択します。
フォームがプロジェクトに追加されます。

6 フォームファイルをダブルクリックします。

7 ［**ID**］を入力し、［**OK**］をクリックします。

注

- ［**ボリューム**］と［**パス名**］は変更しないでください。

メモ

- Windows PS プリンタドライバを使用するときは、［**名前**］を入力します。

8 下部のウィンドウで本機を選択します。

9 ［**ファイル**］メニューから［**プロジェクトの送信**］を選択します。

10 ［**OK**］をクリックします。

11 ストレージデバイスマネージャを終了します。

SD メモリーカードやフラッシュメモリの空き容量を確認する

SD メモリーカードやフラッシュメモリの空き容量を確認できます。

1 ストレージデバイスマネージャを起動します。

2 ［**プリンタの検索**］画面で、本機に接続するポートを選択し、［**開始**］をクリックします。

3 ［**閉じる**］をクリックします。

4 下部のウィンドウで本機を選択します。

5 ［**プリンタ**］メニューから［**リソースを表示する**］を選択します。

6 SD メモリーカードを確認したいときは、［**SD0**］を選択します。フラッシュカードを確認したいときは、［**FLASH0**］を選択します。

7 ［**表示**］メニューから［**詳細**］を選択します。
パーティションの一覧が表示され、空き容量がバイト単位で示されます。

SD メモリーカードから不要なジョブを削除する

SD メモリーカードの［COMMON］パーティションにある印刷ジョブを削除できます。

メモ
- 印刷データを認証印刷または保存したあとも、ジョブは［COMMON］パーティションに残るため、削除しないと SD メモリーカードの容量が少なくなります。

注
- ストレージデバイスマネージャでは、暗号化された認証印刷は削除できません。

1 ストレージデバイスマネージャを起動します。

2 ［**プリンタの検索**］画面で、本機に接続するポートを選択し、［**開始**］をクリックします。

3 ［**閉じる**］をクリックします。

4 下部のウィンドウで本機を選択します。

5 ［**プリンタ**］メニューから［**保存ジョブの管理**］を選択します。

6 ［**認証印刷ジョブ**］が選択されていることを確認し、［**ユーザジョブの参照**］を選択します。

7 パスワードを入力し、［**パスワードの適用**］をクリックします。
［**全てのジョブの参照**］を選択し、管理者パスワードを入力し、［**管理者パスワードの適用**］をクリックすると、本機に格納されているすべての認証印刷ジョブが表示されます。
管理者パスワードの初期値は「PASSWORD」です。

8 削除したいジョブを選択し、［**削除**］をクリックします。

9 ［OK］をクリックします。

PDF Print Direct

PDF ファイルを本機に送信して、直接印刷できます。PDF Print Direct では、Adobe Reader などのアプリケーションで PDF ファイルを開く手順が省略されます。

PDF ファイルを印刷する

1 ［**デバイスとプリンター**］フォルダに［**OKI MC561(*)**］アイコンがあることを確認します。

2 印刷したい PDF ファイルを右クリックし、［**PDF Print Direct**］を選択します。
ウィンドウが表示されます。

3 ［**プリンタの選択**］で、プリンタドライバを選択します。
選択したプリンタドライバで、ユーザ認証機能を設定するときは、［**プリンタの設定**］メニューで［**ユーザ認証**］を選択します。

4 暗号化されたファイルを印刷したいときは、［**パスワードの設定**］にチェックをつけ、パスワードを入力します。
今後、同じパスワードを使用するときは、［**パスワードの保存**］をクリックします。

5 必要に応じて設定を変更し、［**印刷**］をクリックします。

プリントジョブアカウンティングクライアント

プリントジョブアカウンティングのクライアントソフトウェアです。ユーザ名とユーザ ID をプリンタドライバに設定できます。

注
- プリンタドライバのアップデート、再インストールを行うと未対応モードになりますので、ジョブアカウントモードを設定しなおしてください。ただし、すべてのプリンタドライバを同じモードに設定する機能を使用している場合は、モードを設定しなおす必要はありません。

ユーザ名とユーザ ID を設定する

プリンタドライバのプロパティに、ユーザ名とユーザ ID を設定できます。

1 ［**スタート**］をクリックし、［**すべてのプログラム**］>［**沖データ**］>［**プリントジョブアカウンティングクライアント**］>［**ジョブアカウントモードの変更**］を選択します。

2 ドライバの一覧から、設定したいドライバを選択します。
すべてのプリンタドライバを同じモードに設定したい場合は、［**全てのドライバを同じモードに設定する**］にチェックをつけます。

3 ［**タブ**］を選択し、［**変更**］をクリックします。
ウィンドウが表示されます。

4 ［OK］をクリックします。

5 ［**ファイル**］メニューから［**閉じる**］を選択します。

6 ［**スタート**］をクリックし、［**デバイスとプリンター**］を選択します。

7 プリンタアイコンを右クリックし、［**プリンターのプロパティ**］を選択します。

8 ［**ジョブアカウント**］タブを選択し、ユーザ名とユーザ ID を入力し、［**OK**］をクリックします。

ポップアップモードを設定する

この機能を使用すると、印刷を始めるたびに、ユーザ名とユーザ ID を入力する必要があります。

注

- Windows 7/Windows Vista/Windows Server 2008 R2/Windows Server 2008 は、この機能は使用できません。

1 ［**スタート**］をクリックし、［**すべてのプログラム**］＞［**沖データ**］＞［**プリントジョブアカウンティングクライアント**］＞［**ジョブアカウントモードの変更**］を選択します。

2 ドライバの一覧から、設定したいドライバを選択します。

すべてのプリンタドライバを同じモードに設定したい場合は、［**全てのドライバを同じモードに設定する**］にチェックをつけます。

3 ［**ポップアップ**］を選択し、［**変更**］をクリックします。

ウィンドウが表示されます。

4 ［**OK**］をクリックします。

5 ［**ファイル**］メニューから［**閉じる**］を選択します。

非表示モードでユーザごとにユーザ ID を設定する

システム管理者があらかじめ Windows へのログインユーザ名に対応するユーザ ID とユーザ名を記述した ID ファイルを作成し、登録できます。ユーザは、このソフトウェアによって識別されるので、印刷時にユーザ名と ID を入力する必要はありません。

共有プリンタでは、非表示モードを使用してください。

1 メモ帳やスプレッドシートソフトウェアで、ID ファイルを作成します。

メモ

- ID ファイルは以下の順序で記載します。
  ログインユーザ名（Windows にログインするときに入力するユーザ名）、ユーザ ID（ログインユーザ名に対応するユーザ ID）、ユーザ名（プリントジョブアカウンティングで使用するユーザ名）
- ユーザ名は省略できます。省略する場合、ログインユーザ名がユーザ名として使用されます。
- 各項目はカンマで区切ります。
- スプレッドシートソフトウェアの場合は、各行に 1 ユーザずつ、ログインユーザ名、ユーザ ID、ユーザ名を記載します。

2 ファイルを「CSV」拡張子形式で保存します。

3 ［**スタート**］をクリックし、［**すべてのプログラム**］＞［**沖データ**］＞［**プリントジョブアカウンティングクライアント**］＞［**ジョブアカウントモードの変更**］を選択します。

4 ドライバの一覧から、設定したいドライバを選択します。

すべてのプリンタドライバを同じモードに設定したい場合は、［**全てのドライバを同じモードに設定する**］にチェックをつけます。

注

- 共有プリンタを使用している場合は、すべてのプリンタドライバを同じモードに設定する機能を使用しないでください。共有プリンタのクライアント側で印刷を行う場合に、アカウント情報が出力されません。

5 ［**非表示**］を選択し、［**変更**］をクリックします。

6 ［**OK**］をクリックします。

7 ［**非表示モード**］メニューから［**ID ファイルのインポート**］を選択します。

8 手順 1 で作成した ID ファイルを指定し、［**開く**］をクリックします。

9 ［**非表示モード**］メニューから、［**全てのユーザを固定のユーザ ID にする**］のチェックを外します。

10 ［**ファイル**］メニューから［**閉じる**］を選択します。

非表示モードですべてのユーザに同じ ID を割り当てる

1. ［**スタート**］をクリックし、［**すべてのプログラム**］>［**沖データ**］>［**プリントジョブアカウンティングクライアント**］>［**ジョブアカウントモードの変更**］を選択します。
2. ドライバの一覧から、設定したいドライバを選択します。

   すべてのプリンタドライバを同じモードに設定したい場合は、［**全てのドライバを同じモードに設定する**］にチェックをつけます。
3. ［**非表示**］を選択し、［**変更**］をクリックします。

   ウィンドウが表示されます。
4. ［OK］をクリックします。
5. ［**非表示モード**］メニューから［**全てのユーザを固定のユーザ ID にする**］を選択します。
6. ［**非表示モード**］メニューから［**固定ユーザ ID の設定**］を選択します。
7. ユーザ名とユーザ ID を入力し、［**OK**］をクリックします。
8. ［**ファイル**］メニューから［**閉じる**］を選択します。

ユーザを識別しない

すべてのジョブは未登録 ID として認識されます。ユーザ名は Windows へのログオンユーザ名、ユーザ ID は 0 でログが残ります。ユーザを識別する必要がないときは、「未対応モード」を使用します。

1. ［**スタート**］をクリックし、［**すべてのプログラム**］>［**沖データ**］>［**プリントジョブアカウンティングクライアント**］>［**ジョブアカウントモードの変更**］を選択します。
2. ドライバの一覧から、設定したいドライバを選択します。

   すべてのプリンタドライバを同じモードに設定したい場合は、［**全てのドライバを同じモードに設定する**］にチェックをつけます。
3. ［**未対応**］を選択し、［**変更**］をクリックします。
4. ［OK］をクリックします。
5. ［**ファイル**］メニューから［**閉じる**］を選択します。

プリンタ表示言語セットアップ

操作パネルの表示言語を変更できます。

注

- このプログラムは、プリンタドライバを使用します。あらかじめプリンタドライバをコンピュータへインストールしてください。

起動する

1. 本機の電源を入れます。
2. コンピュータの電源を入れ、「ソフトウェア CD-ROM」を挿入します。
3. ［**setup.exe の実行**］をクリックします。

   ［**ユーザー アカウント制御**］ダイアログが表示されたら、［**はい**］をクリックします。
4. モデルを選択し、［**次へ**］をクリックします。
5. 使用許諾契約を読み、［**同意する**］をクリックします。
6. ［**装置の設定**］を選択します。
7. ［**プリンタ表示言語セットアップ**］をクリックします。
8. ［**次へ**］をクリックします。
9. 本機を選択し、［**次へ**］をクリックします。
10. 本機のモデル名を選択し、［**次へ**］をクリックします。
11. 言語を選択し、［**次へ**］をクリックします。
12. ［**メニュー印刷を行う**］をクリックし、［**次へ**］をクリックします。
13. 手順 12 で印刷したメニューの言語形式の値が、画面に表示されている値の範囲内であるかどうかを確認します。
14. ［**次へ**］をクリックします。
15. 設定するコンテンツを確認し、［**セットアップ**］をクリックします。

16 ［**完了**］をクリックします。

17 本機の表示画面が希望の言語で表示されることを確認します。

18 本機を再起動します。

注

- 言語選択画面が表示されないときは、次の手順を行ってください。

  a)［**スタート**］をクリックし、［**プログラムとファイルの検索**］を選択します。

  b)「D:￥Utilities￥PanelDwn￥oppnlngs.exe」を入力し、<**Enter**> キーを押します。（ここでは、DVD-ROM ドライブが（D:）の場合を例にしています。）

  c)手順 8 に進みます。

NIC 設定ツール

NIC 設定ツールを使って、ネットワーク設定をすることができます。

NIC 設定ツールを使用するには、TCP/IP が有効になっている必要があります。

注

- 管理者の権限が必要です。

メモ

- 本機の MAC アドレスを確認するには、< **設定** > キーを押し、本機の操作パネルの［**装置情報**］>［**ネットワーク**］を選択します。

起動する

1 本機の電源を入れます。

2 コンピュータの電源を入れ、「ソフトウェア CD-ROM」を挿入します。

3 ［**setup.exe の実行**］をクリックします。

［**ユーザー アカウント制御**］ダイアログが表示されたら、［**はい**］をクリックします。

4 モデルを選択し、［**次へ**］をクリックします。

5 使用許諾契約を読み、［**同意する**］をクリックします。

6 ［**装置の設定**］>［**NIC 設定ツール**］を選択します。

ネットワーク設定をする

1 NIC 設定ツールを起動します。

2 一覧から、本機を選択します。

3 ［**設定**］メニューから［**プリンタ設定**］を選択します。

4 必要に応じて項目を変更し［**設定**］をクリックします。

5 ［**パスワード入力**］にパスワードを入力し、［**OK**］をクリックします。

- 工場出荷時のパスワードは、イーサネットアドレスの英数字下 6 桁です。
- パスワードは大文字 / 小文字が区別されます。

6 確認ウィンドウで、［**OK**］をクリックします。

新しい設定は、本機が再起動してから有効になります。再起動中、本機の状態アイコンは赤に変わります。本機が再起動して、新しい設定が有効になると、状態アイコンは緑に変わります。

Web 設定をする

Web ページを起動して、本機のネットワーク設定をすることができます。

■ Web 設定を有効にする

1 NIC 設定ツールを起動します。

2 一覧から、本機を選択します。

3 ［**設定**］メニューから［**プリンタ設定**］を選択します。

4 ［**プリンタ設定（Web）**］タブを選択します。

5 ［**プリンタ設定（Web）- 有効**］を選択し、［**設定**］をクリックします。

6 ［**パスワード入力**］にパスワードを入力し、［**OK**］をクリックします。

- 工場出荷時のパスワードは、イーサネットアドレスの英数字下 6 桁です。
- パスワードは大文字 / 小文字が区別されます。

7 確認ウィンドウで、［**OK**］をクリックします。

新しい設定は、本機のネットワークカードが再起動してから有効になります。再起動中、本機の状態アイコンは赤に変わります。本機のネットワークカードが再起動して、新しい設定が有効になると、状態アイコンは緑に変わります。

■ Web ページを開く

1. NIC 設定ツールを起動します。
2. 一覧から、本機を選択します。
3. ［**設定**］メニューから［**Web ページ表示**］を選択します。
   Web ページが起動し、本機の状態ページが表示されます。

パスワードを変更する

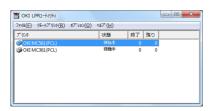
1. NIC 設定ツールを起動します。
2. 一覧から、本機を選択します。
3. ［**設定**］メニューから［**パスワード変更**］を選択します。
4. 現在のパスワードを入力します。
   - 工場出荷時のパスワードは、イーサネットアドレスの英数字下 6 桁です。
   - パスワードは大文字 / 小文字が区別されます。
5. 新しいパスワードを入力し、確認のためにパスワードを再度入力します。
   パスワードは大文字 / 小文字が区別されます。
6. 確認ウィンドウで、［**OK**］をクリックします。

環境を変更する

本機の検索条件、各設定のタイムアウト値、一覧の表示項目を設定できます。

1. NIC 設定ツールを起動します。
2. 一覧から、本機を選択します。
3. ［**オプション**］メニューから［**環境設定**］を選択します。
4. 必要に応じて設定を行い、［**OK**］をクリックします。

OKI LPR ユーティリティ

OKI LPR ユーティリティを使って、ネットワーク経由の印刷、印刷の管理、本機の状態の確認ができます。

OKI LPR ユーティリティを使用するには、TCP/IP が有効になっている必要があります。

注

- 共有プリンタでは OKI LPR ユーティリティを使用できません。Standard TCP/IP ポートをお使いください。

起動する

1. ［**スタート**］をクリックし、［**すべてのプログラム**］＞［**沖データ**］＞［**OKI LPR ユーティリティ**］＞［**OKI LPR ユーティリティ**］を選択します。

プリンタを追加する

OKI LPR ユーティリティにプリンタを追加します。

注

- 管理者の権限が必要です。
- Windows 7/Windows Vista/Windows Server 2008でプリンタを追加できない場合、一度 OKI LPR ユーティリティを終了し、［**スタート**］＞［**すべてのプログラム**］＞［**沖データ**］＞［**OKI LPR ユーティリティ**］＞［**OKI LPR ユーティリティ**］を右クリックし、［**管理者として実行**］を選択して起動してください。

メモ

- すでに OKI LPR ユーティリティに登録されているプリンタは設定できません。ポートを変更したい場合は、［**リモートプリント**］から［**プリンタの再設定**］を選択します。

1. OKI LPR ユーティリティを起動します。
2. ［**リモートプリント**］メニューから［**プリンタの追加**］を選択します。
3. ［**プリンタ名**］を選択し、IP アドレスを入力します。
   ネットワークプリンタと、LPR ポートに接続されているプリンタは、表示されません。
4. ネットワークプリンタを選択するときは、［**検索**］を選択します。
5. ［**OK**］をクリックします。

ファイルをダウンロードする

OKI LPR ユーティリティに追加したプリンタに、ファイルをダウンロードします。

1 OKI LPR ユーティリティを起動します。
2 ダウンロード先のプリンタを選択します。
3 ［**リモートプリント**］メニューから［**ダウンロード**］を選択します。
4 ファイルを選択し、［**開く**］をクリックします。

本機の状態を表示する

1 OKI LPR ユーティリティを起動します。
2 プリンタを選択します。
3 ［**リモートプリント**］メニューから［**プリンタのステータス**］を選択します。

ジョブを確認 / 削除 / 転送する

印刷ジョブの確認と削除ができます。また、ビジー、オフライン、用紙切れなどが原因で、印刷できないときは、別の OKI モデルのプリンタに印刷ジョブを転送することもできます。

注

- 印刷ジョブの転送は、お使いの OKI モデルプリンタと同じ機種名のプリンタにだけ可能です。
- ジョブを転送する前に、プリンタを追加する必要があります。

1 OKI LPR ユーティリティを起動します。
2 ［**リモートプリント**］メニューから［**ジョブの表示**］を選択します。
3 ジョブを削除したいときは、ジョブを選択し、［**ジョブ**］メニューから［**削除**］を選択します。
4 ジョブを転送したいときは、ジョブを選択し、［**ジョブ**］メニューから［**転送**］を選択して転送先プリンタを選択します。

ジョブを自動的に転送する

ビジー、オフライン、用紙切れなどが原因で、印刷できないときは、別の OKI モデルのプリンタに印刷ジョブを自動的に転送するように設定できます。

注

- 印刷ジョブの転送は、お使いの OKI モデルプリンタと同じ機種名のプリンタにだけ可能です。
- ジョブを転送する前に、プリンタを追加する必要があります。
- 管理者の権限が必要です。

1 OKI LPR ユーティリティを起動します。
2 設定したいプリンタを選択します。
3 ［**リモートプリント**］メニューから［**プリンタの再設定**］を選択します。
4 ［**詳細設定**］をクリックします。
5 ［**ジョブの自動転送を行う**］にチェックをつけます。
6 エラーが発生したときだけ、ジョブを転送するには、［**エラー時のみ転送する**］にチェックをつけます。
7 ［**追加**］をクリックします。
8 転送先プリンタの IP アドレスを入力し、［**OK**］をクリックします。
9 ［**OK**］をクリックします。

複数台のプリンタで印刷する

1 回の指示で、複数台のプリンタから印刷ができます。

注

- 1 つの印刷コマンドを複数台のリモートプリンタに送信して、同時印刷を実行する機能です。
- 管理者の権限が必要です。

1 OKI LPR ユーティリティを起動します。
2 設定したいプリンタを選択します。
3 ［**リモートプリント**］メニューから［**プリンタの再設定**］を選択します。
4 ［**詳細設定**］をクリックします。
5 ［**他のプリンタにも同時に印刷する**］にチェックをつけます。
6 ［**設定**］をクリックします。
7 ［**追加**］をクリックします。

8 同時に印刷するプリンタの IP アドレスを入力し、［**OK**］をクリックします。

9 ［**OK**］をクリックします。

Web ページを開く

OKI LPR ユーティリティから、本機の Web ページを開くことができます。

1 OKI LPR ユーティリティを起動します。

2 プリンタを選択します。

3 ［**リモートプリント**］メニューから［**Web 設定**］を選択します。

メモ

- Web のポート番号を変更したときは Web ページが開きません。次の手順を実行して、OKI LPR ユーティリティのポート番号を再設定します。

  a)プリンタを選択します。

  b)［**リモートプリント**］メニューから［**プリンタの再設定**］を選択します。

  c)［**詳細設定**］をクリックします。

  d)［**ポート番号**］に、ポート番号を入力します。

  e)［**OK**］をクリックします。

プリンタにコメントを追加する

OKI LPR ユーティリティに追加したプリンタを識別するためのコメントを追加できます。

1 OKI LPR ユーティリティを起動します。

2 プリンタを選択します。

3 ［**リモートプリント**］メニューから［**プリンタの再設定**］を選択します。

4 コメントを入力し、［**OK**］をクリックします。

5 ［**オプション**］メニューから［**コメント欄を表示**］を選択します。

IP アドレスを自動的に設定する

プリンタの IP アドレスが変更されても、元のプリンタとの接続を維持するように設定できます。

メモ

- DHCP によって IP アドレスを動的に割り当てているときや、ネットワーク管理者がプリンタの IP アドレスを手動で変更するときは、IP アドレスが変更される可能性があります。

! 注

- 管理者の権限が必要です。

1 OKI LPR ユーティリティを起動します。

2 ［**オプション**］メニューから［**設定**］を選択します。

3 ［**自動的に IP アドレスを再設定する**］にチェックをつけ、［**OK**］をクリックします。

OKI LPR ユーティリティをアンインストールする

! 注

- 管理者の権限が必要です。

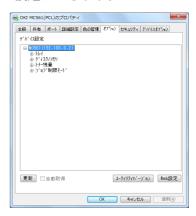
1 OKI LPR ユーティリティを閉じていることを確認します。

2 ［**スタート**］をクリックし、［**すべてのプログラム**］＞［**沖データ**］＞［**OKI LPR ユーティリティ**］＞［**OKI LPR ユーティリティの削除**］を選択します。

［**ユーザー アカウント制御**］ダイアログが表示されたら、［**はい**］をクリックします。

3 確認画面で［**はい**］をクリックします。

Network Extension

Network Extension では、本機の設定の確認と、オプション構成の設定ができます。

Network Extension を使用するには、TCP/IP が有効になっている必要があります。

! 注

- 管理者の権限が必要です。

メモ

- Network Extension は、TCP/IP ネットワークでプリンタドライバをインストールすると、自動的にインストールされます。
- Network Extension は、プリンタドライバと連携して動作します。Network Extension だけをインストールしないでください。
- Network Extension は、プリンタドライバが OKI LPR ポートまたは標準 TCP/IP ポートに接続されているときにだけ機能します。

起動する

Network Extension を使用するには、プリンタのプロパティ画面を起動します。

1 ［**スタート**］をクリックし、［**デバイスとプリンター**］を選択します。

2 プリンタアイコンを右クリックし、［**プリンターのプロパティ**］を選択します。

本機の設定を確認する

本機の設定を確認できます。

メモ

- サポートされていない環境で Network Extension を使用すると、［**オプション**］タブが表示されないことがあります。

1 プリンタのプロパティ画面を起動します。

参照

- 「起動する」

2 ［**オプション**］タブを選択します。

3 ［**更新**］をクリックします。

4 ［OK］をクリックします。

参照

- ［**Web 設定**］をクリックすると、Web ページが自動的に起動します。その Web ページの画面で、本機の設定を変更できます。詳しくは、「Web ページ」（P. 99）を参照してください。

オプションの自動設定をする

接続している本機のオプション構成を取得し、プリンタドライバの自動設定を行うことができます。

メモ

- サポートされていない環境で、Network Extension を使用しているときは設定できません。

■ Windows PCL/PCL XPS ドライバの場合

1 プリンタのプロパティ画面を起動します。

参照

- 「起動する」

2 ［**デバイスオプション**］タブを選択します。

3 ［**プリンタの情報を取得する**］をクリックします。

4 ［OK］をクリックします。

■ Windows PS ドライバの場合

1 プリンタのプロパティ画面を起動します。

参照

- 「起動する」

2 ［**デバイスの設定**］タブを選択します。

3 ［**プリンタの情報を取得する**］をクリックし、［**セットアップ**］をクリックします。

4 ［OK］をクリックします。

アンインストールする

1 ［**スタート**］をクリックし、［**コントロールパネル**］>［**プログラムのアンインストール**］を選択します。

2 ［**OKI Network Extension**］を選択し、［**アンインストール**］をクリックします。

3 画面の指示に従って、アンインストールを完了します。

TELNET

Telnet コマンドで、各種設定をすることができます。

注

- 初期設定では、本機の Telnet アクセスは無効に設定されています。Telnet コマンドを使うためには、Web ページ、または本機の操作パネルで［**Telnet**］を［**有効**］に設定してください。
- Windows 7/Windows Vista/Windows Server 2008 R2/Windows Server 2008 では Telnet コマンドが初期設定では無効になっています。
  Telnet コマンドを使うためには、［**スタート**］>［**コントロールパネル**］>［**プログラム**］>［**プログラムと機能**］>［**Windows の機能の有効化または無効化**］を選択します。表示されたダイアログで［**Telnet クライアント**］を有効化する設定をします。

メモ

- 次の手順では、以下の環境を例にしています。お使いの OS によって、記載と異なることがあります。
  - OS：Windows 7
  - IP アドレス：192.168.0.2
  - MAC アドレス：00:80:87:84:9C:9B

1 ［**スタート**］をクリックし、［**すべてのプログラム**］>［**アクセサリ**］>［**コマンド プロンプト**］を選択します。

2 「(ドライブパス) :¥Users¥ユーザ名 >」に続けて「ping (スペース) 本機の IP アドレス」を入力します。<**Enter**> キーを押してアクセスが有効であることを確認します。

例 :「C:¥Users¥WINDOWS>ping 192.168.0.2」

3 「telnet (スペース)」のあとに続けて、本機の IP アドレスを入力し、<**Enter**> キーを押して Telnet 経由で本機にアクセスします。

例 :「C:¥Users¥WINDOWS>telnet 192.168.0.2」

4 「login:」のあとに「root」と入力し、<**Enter**> キーを押します。

5 プロンプトが表示されたら、「password:」のあとにパスワードを入力し、<**Enter**> キーを押します。

例 :「password: 849C9B」と入力します。

メモ

- 「root」の工場出荷時のパスワードは、本機の MAC アドレスの英数字下 6 桁です。

6 メニューコマンドが表示されたら、変更したいメニュー番号を入力し、<**Enter**> キーを押します。

7 必要に応じて、設定を変更します。

8 設定を保存して、本機からログアウトします。

Mac OS X ユーティリティ

この節では、Mac OS X で使用できるユーティリティを説明します。

パネル言語セットアップ

操作パネルの表示言語を変更できます。

1. 本機のメニューマップを出力します。

   設定を出力するには、< **設定** > キーを押し、［**レポート印刷**］>［**メニューマップ**］を選択します。

2. パネル言語セットアップユーティリティを起動します。

   参照

   ● 「ユーティリティをインストールする」(P. 98)

3. 接続方法を選択します。

   ［**TCP/IP**］を選択したときは、IP アドレスを入力します。IP アドレスは、手順 1 で出力したメニューマップで確認できます。

4. ［**OK**］をクリックします。

5. メニューマップの「Language Format」の値と、画面に表示されている値が以下の条件に一致することを確認します。

   条件 1： バージョンの先頭数字が一致していること

   条件 2： 画面に表示されている値が「Language Format」の値と同じか、より新しい（大きい）こと

   メモ

   ● 条件 1 を満たさない場合は、言語設定をダウンロードできません。条件 1 を満たさないでダウンロードを行うと操作パネル上にエラーが表示されます。復旧するには、本機を再起動してください。条件 1 を満たしていても条件 2 を満たさない場合は、設定名の一部に英語が表示されることがあります。

6. 言語を選択します。

7. ［**ダウンロード**］をクリックします。

   言語を設定するファイルが本機に送信され、送信が完了したことを示すメッセージが表示されます。

8. 本機を再起動します。

プリントジョブアカウンティング

プリントジョブアカウンティングのクライアントソフトウェアです。

ユーザ名とユーザ ID をプリンタドライバに設定できます。

ユーザ ID を登録する

1. プリントジョブアカウンティングユーティリティを起動します。

   参照

   ● 「ユーティリティをインストールする」(P. 98)

2. ［**新規**］をクリックします。

3. Mac OS X のログイン名、新しいユーザ名、新しいユーザ ID を入力し、［**保存**］をクリックします。

4. ［**保存**］をクリックします。

5. パスワードを入力し、［**OK**］をクリックします。

6. プリントジョブアカウンティングを終了します。

複数のユーザを同時に登録する

CSV ファイルを使用して、複数のユーザ ID とユーザ名を同時に登録できます。

メモ

● 次の手順では、テキストエディットを例にしています。

1. テキストエディットを起動します。

2. ログイン名、ユーザ ID、ユーザ名の順番で、カンマで区切って入力します。

3. ファイルを CSV 形式で保存します。

4. プリントジョブアカウンティングユーティリティを起動します。

5 ［**ファイル**］メニューから［**インポート**］を選択します。

6 手順 3 で作成した CSV ファイルを選択し、［**開く**］をクリックします。

7 ［**保存**］をクリックします。

8 パスワードを入力し、［**OK**］をクリックします。

9 プリントジョブアカウンティングを終了します。

ユーザ ID とユーザ名を変更する

ユーザ名とユーザ ID を変更できます。

1 プリントジョブアカウンティングユーティリティを起動します。

2 変更したいユーザを選択し、［**編集**］をクリックします。

3 新しいユーザ ID とユーザ名を入力し、［**保存**］をクリックします。

4 ［**保存**］をクリックします。

5 パスワードを入力し、［**OK**］をクリックします。

6 プリントジョブアカウンティングを終了します。

ユーザ ID とユーザ名を削除する

ユーザ名とユーザ ID を削除できます。

1 プリントジョブアカウンティングユーティリティを起動します。

2 削除したいユーザを選択し、［**削除**］をクリックします。

3 ［**保存**］をクリックします。

4 パスワードを入力し、［**OK**］をクリックします。

5 プリントジョブアカウンティングを終了します。

NIC 設定ツール

NIC 設定ツールを使って、ネットワーク設定をすることができます。

NIC 設定ツールを使用するには、TCP/IP が有効になっている必要があります。

注

- TCP/IP を設定してください。
- Mac OS X 10.6 で使用するときは、Rosseta が必要です。

IP アドレスを設定する

1 NIC 設定ツールを起動します。

参照

- 「ユーティリティをインストールする」（P. 98）

2 本機を選択します。

3 ［**設定**］メニューから［**IP アドレス設定**］を選択します。

4 必要に応じて設定を行い、［**設定**］をクリックします。

5 パスワードを入力し、［**OK**］をクリックします。
- 工場出荷時のパスワードは、Mac アドレスの英数字下 6 桁です。
- パスワードは大文字 / 小文字が区別されます。

6 ［**OK**］をクリックし、新しい設定を有効にします。
本機のネットワークカードが再起動します。

Web 設定をする

Web ページを起動して、本機のネットワーク設定をすることができます。

■ Web 設定を有効にする

1 ［**設定**］メニューから［**Web 設定**］を選択します。

2 ［**有効**］を選択し、［**設定**］をクリックします。

3 ［**パスワード入力**］にパスワードを入力し、［**OK**］をクリックします。

- 工場出荷時のパスワードは、MAC アドレスの英数字下 6 桁です。
- パスワードは大文字 / 小文字が区別されます。

4 確認ウィンドウで、［**OK**］をクリックします。

■ Web ページを開く

1 NIC 設定ツールを起動します。

2 本機を選択します。

3 ［**設定**］メニューから［**Web ページ表示**］を選択します。

Web ページが起動し、本機の状態ページが表示されます。

NIC 設定ツールを終了する

1 ［**ファイル**］メニューから［**終了**］を選択します。

ネットワークスキャナ設定ツール

Mac OS X では、初めてネットワーク経由でスキャンを行うときは、接続先を設定するためネットワークスキャナ設定ツールが起動します。

2 回目以降は接続先の設定は不要です。

メモ

- 次の手順では、Adobe Photoshop CS3 を例にしています。お使いのアプリケーションによって、記載と異なることがあります。
- ネットワークスキャナ設定ツールはスキャナドライバのインストール時に同時にインストールされます。
- ネットワークスキャナ設定ツールは、［**アプリケーション**］>［**OKIDATA**］>［**Scanner**］にある［**ネットワークスキャナ設定ツール**］から起動することもできます。

初めてネットワークスキャンを行う

1 操作パネルの＜**スキャン**＞キーを押します。

2 原稿を自動原稿送り装置または、原稿ガラスにセットします。

3 ▼を押して［**リモート PC**］を選択し、OK を押します。

4 コンピュータ上で Adobe Photoshop CS3 を起動します。

5 ［**ファイル**］から［**読み込み**］を選択し、［**OKI MC361_561 Twain Network**］を選択します。

6 初めてネットワークスキャンを行うときは、接続先選択用のツールが起動することを知らせるダイアログが表示されるので［**OK**］をクリックします。

7 ［**スキャン設定**］ダイアログで、接続先を選択し、必要に応じてホスト情報を登録し［**OK**］をクリックします。

8 Adobe Photoshop CS3 の［**ファイル**］から［**読み込み**］を選択して［**OKI MC361_561 Twain Network**］を選択します。

ウィンドウが表示されます。

9 スキャンボタンをクリックします。

読み取りが始まります。

10 ［**Photoshop**］から［**Photoshop を終了**］を選択します。

8. カラーを調整する

この章では、さまざまなカラー調整方法について説明します。

メモ

- この章では、Windows ではメモ帳、Mac OS X ではテキストエディットを例に説明します。お使いのアプリケーションやプリンタドライバのバージョンによって、記載と異なることがあります。

■操作パネルでカラーを調整する

この節では、操作パネルを使って本体のカラーを調整する方法について説明します。

メモ

- 以下の説明は、［**継続読取**］が無効の場合の手順です。［**継続読取**］が有効になっている場合の基本手順については、「ユーザーズマニュアル 基本編」を参照してください。
- ［**管理者設定**］メニューに入るには、管理者パスワードが必要です。工場出荷時のパスワードは「aaaaaa」です。

色ずれ補正調整をする

本機は電源を入れたときやトップカバーを開閉したとき、また連続して 400 枚印刷するごとに自動的に色ずれ補正調整を行います。

印刷のカラー品質が気になる場合は、手動で色ずれ補正を調整することもできます。

1. ＜**設定**＞キーを押します。
2. ▼を押して［**管理者設定**］を選択し、OKを押します。
3. 管理者パスワードを入力します。
4. ［**決定**］を選択し、OKを押します。
5. ▼を押して［**プリンタ機能**］を選択し、OKを押します。
6. ▼を押して［**カラーメニュー**］を選択し、OKを押します。
7. ▼を押して［**色ずれ補正**］を選択し、OKを押します。
8. ［**実行**］が選択されていることを確認し、OKを押します。
9. 確認画面で◀または▶を押して［**はい**］を選択し、OKを押します。
10. トップ画面が表示されるまで、◀を押します。

濃度を調整する

本機はイメージドラムカートリッジを交換したとき、また連続して 500 枚印刷するごとに、自動的に濃度を調整します。

印刷濃度が気になる場合は、手動で濃度を調整することもできます。

1. ＜**設定**＞キーを押します。
2. ▼を押して［**管理者設定**］を選択し、OKを押します。
3. 管理者パスワードを入力します。
4. ［**決定**］を選択し、OKを押します。
5. ▼を押して［**プリンタ機能**］を選択し、OKを押します。
6. ▼を押して［**カラーメニュー**］を選択し、OKを押します。
7. ▼を押して［**濃度補正**］を選択し、OKを押します。
8. ［**実行**］が選択されていることを確認し、OKを押します。
9. 確認画面で◀または▶を押して［**はい**］を選択し、OKを押します。
10. トップ画面が表示されるまで、◀を押します。

色ずれ補正の微調整

自動色ずれ補正の結果が気になる場合は、各カラーの色ずれ補正を微細に調整できます。

1. ＜**設定**＞キーを押します。
2. ▼を押して［**管理者設定**］を選択し、OKを押します。
3. 管理者パスワードを入力します。
4. ［**決定**］を選択し、OKを押します。
5. ▼を押して［**プリンタ機能**］を選択し、OKを押します。
6. ▼を押して［**カラーメニュー**］を選択し、OKを押します。
7. ▼を押して［**シアン位置ずれ微調整**］、［**マゼンタ位置ずれ微調整**］、または［**イエロー位置ずれ微調整**］を選択し、OKを押します。
8. ▲または▼を押して値を選択し、OKを押します。
9. トップ画面が表示されるまで、◀を押します。

メモ

- 用紙送り方向の色ずれを調整するには、［+1］～［+3］の値を選択します。用紙送り方向と逆方向の色ずれを調整するには、［-1］～［-3］の値を選択します。

カラーバランス（濃度）を調整する

カラーごとに濃度を調整できます。各色について、淡い、中間、濃い濃度を選択できます。

色見本を印刷する

1. ＜**設定**＞キーを押します。
2. ▼を押して［**管理者設定**］を選択し、OKを押します。
3. 管理者パスワードを入力します。
4. ［**決定**］を選択し、OKを押します。
5. ▼を押して［**プリンタ機能**］を選択し、OKを押します。
6. ▼を押して［**カラーメニュー**］を選択し、OKを押します。
7. ▼を押して［**調整パターン印刷**］を選択し、OKを押します。
8. 確認画面で◀または▶を押して［**はい**］を選択し、OKを押します。
   色見本が印刷されます。

メモ

- カラー調整パターンでは、44 個の四角形が印刷されます。淡い、中間、濃いカラーの現在の設定は、破線で示されます。調整する色を確認できます。

カラーを調整する

1. ＜**設定**＞キーを押します。
2. ▼を押して［**管理者設定**］を選択し、OKを押します。
3. 管理者パスワードを入力します。
4. ［**決定**］を選択し、OKを押します。
5. ▼を押して［**プリンタ機能**］を選択し、OKを押します。
6. ▼を押して［**カラーメニュー**］を選択し、OKを押します。
7. ▼を押して調整したいカラーを選択し、OKを押します。
8. ▲または▼を押して値を選択し、OKを押します。
9. トップ画面が表示されるまで、◀を押します。

■ コピー・スキャンするときのカラー調整

この節では、コピー・スキャンするときのカラー調整方法について説明します。原稿をコピーおよびスキャンするときに、コントラストと色相を調整できます。以下の手順では、コピーメニューの設定を例にしています。スキャンメニューの場合も、調整する設定の内容は同じです。

コントラストを調整する

1. ＜**コピー**＞キーを押します。
2. ▶を押して［**設定変更**］メニューに入ります。
3. ▼を押して［**画質**］を選択し、OKを押します。
4. ▼を押して［**コントラスト**］を選択し、OKを押します。
5. ▲または▼を押して値を選択し、OKを押します。

色相を調整する

1. ＜**コピー**＞キーを押します。
2. ▶を押して［**設定変更**］メニューに入ります。
3. ▼を押して［**画質**］を選択し、OKを押します。
4. ▼を押して［**色相調整**］を選択し、OKを押します。
5. ▲または▼を押して値を選択し、OKを押します。

彩度を調整する

1. ＜**コピー**＞キーを押します。
2. ▶を押して［**設定変更**］メニューに入ります。
3. ▼を押して［**画質**］を選択し、OKを押します。
4. ▼を押して［**彩度調整**］を選択し、OKを押します。
5. ▲または▼を押して値を選択し、OKを押します。

赤･緑･青色を調整する

1. ＜**コピー**＞キーを押します。
2. ▶を押して［**設定変更**］メニューに入ります。
3. ▼を押して［**画質**］を選択し、OKを押します。
4. ▼を押して［**赤･緑･青色調整**］を選択し、OKを押します。
5. ▲または▼を押して値を選択し、▶を押して別のカラーを設定します。
6. すべてのカラーの設定が終了するまで、手順 5 を繰り返し、OKを押します。

■印刷するときのカラー調整

この節では、印刷するときのカラー調整方法について説明します。希望どおりの色で印刷するために、プリンタドライバを使ってカラーを調整できます。

カラーマッチングについて

カラーマッチングは、原稿のカラーを管理・調整して、入力装置と出力装置の間で一貫性を維持することです。

本機では、［**オフィスカラー**］と［**グラフィックプロ**］（PCL XPS ドライバの場合は［**カラー（ユーザ設定）**］）のカラーマッチング機能を利用できます。Mac OS X をお使いの場合は、カラーマッチングに［**ColorSync**］機能も使用できます。

カラーマッチング（オフィスカラー）

主にビジネス文書を使用する場合は、オフィスカラーが適当です。RGB カラースペースの印刷データを本機の CMYK カラースペースに変換するときに、カラーマッチング処理が適用されます。

注

- この機能は RGB カラーデータにのみ対応しています。
- CMYK カラーデータを管理する場合は、グラフィックプロ機能を使用してください。

Windows PCL/PS プリンタドライバの場合

1 印刷するファイルを開きます。
2 ［**ファイル**］メニューから［**印刷**］を選択します。
3 ［**詳細設定**］をクリックします。
4 ［**カラー**］タブを選択し、［**オフィスカラー**］を選択して、［**OK**］をクリックします。

Windows PCL XPS プリンタドライバの場合

1 印刷するファイルを開きます。
2 ［**ファイル**］メニューから［**印刷**］を選択します。
3 ［**詳細設定**］をクリックします。
4 ［**カラー**］タブの［**カラー（ユーザ設定）**］を選択して、［**OK**］をクリックします。

Mac OS X PS プリンタドライバの場合

1 印刷するファイルを開きます。
2 ［**ファイル**］メニューから［**プリント**］を選択します。
3 パネルメニューから［**カラー**］を選択します。
4 ［**オフィスカラー**］または［**推奨**］を選択して、［**プリント**］をクリックします。

メモ

- Mac OS X 10.5 以降で、印刷ダイアログにメニューが 2 つだけ表示され、印刷オプションが表示されないときには、［**プリンタ**］メニューの横にある開閉用三角ボタンをクリックします。

黒の部分の仕上り

カラーで印刷するときの黒の部分の仕上りを変えることができます。黒の部分の仕上り設定は、プリンタドライバで［**オフィスカラー**］または［**グラフィックプロ**］を選択した場合に使用できます。

黒の仕上りには、コンポジットブラック（CMYK トナーで生成）とトゥルーブラック（黒トナーのみで生成）の 2 種類があります。

コンポジットブラックの場合、シアン、マゼンタ、イエロー、黒のトナーが混合されます。写真の印刷に適しています。こげ茶色に見えることがあります。

トゥルーブラックの場合、黒トナーのみで黒を印刷します。黒い文字や図形の印刷に適しています。

［**オフィスカラー**］機能を使用する場合は自動も選択できます。自動の場合、適切な方式が自動的に選択されて原稿が印刷されます。

Windows PCL/PS プリンタドライバの場合

1 印刷するファイルを開きます。
2 ［**ファイル**］メニューから［**印刷**］を選択します。
3 ［**詳細設定**］をクリックします。
4 ［**カラー**］タブを選択し、［**オフィスカラー**］または［**グラフィックプロ**］を選択してから［**詳細**］をクリックします。
5 ［**黒の生成**］から黒の生成方式を選択します。

6 ［OK］をクリックして、詳細ウィンドウを閉じます。

7 ［OK］をクリックします。

Windows PCL XPS プリンタドライバの場合

1 印刷するファイルを開きます。

2 ［**ファイル**］メニューから［**印刷**］を選択します。

3 ［**詳細設定**］をクリックします。

4 ［**カラー**］タブを選択します。

5 ［**カラー（ユーザ設定）**］を選択し、［**黒の生成**］から黒の生成方式を選択します。

6 ［OK］をクリックします。

Mac OS X PS プリンタドライバの場合

1 印刷するファイルを開きます。

2 ［**ファイル**］メニューから［**プリント**］を選択します。

3 パネルメニューから［**カラー**］を選択します。

4 ［**オフィスカラー**］または［**グラフィックプロ**］を選択し、［**詳細**］をクリックします。

5 ［**黒の生成**］から黒の生成方式を選択します。

6 ［OK］をクリックします。

メモ

- Mac OS X 10.5 以降で、印刷ダイアログにメニューが 2 つだけ表示され、印刷オプションが表示されないときには、［**プリンタ**］メニューの横にある開閉用三角ボタンをクリックします。

モノクロで印刷する

カラー原稿をモノクロ（階調のある白黒）で印刷できます。

Windows の場合

1 印刷するファイルを開きます。

2 ［**ファイル**］メニューから［**印刷**］を選択します。

3 ［**詳細設定**］をクリックします。

4 ［**カラー**］タブを選択し、［**モノクロ**］を選択します。

5 ［OK］をクリックします。

メモ

- PCL/PCL XPS プリンタドライバを使用している場合は、［**設定**］タブでモノクロ印刷を設定することもできます。PS プリンタドライバを使用している場合は、［**印刷オプション**］タブで設定します。

Mac OS X の場合

1 印刷するファイルを開きます。

2 ［**ファイル**］メニューから［**プリント**］を選択します。

3 パネルメニューから［**カラー**］を選択します。

4 ［**モノクロ**］を選択します。

5 ［**プリント**］をクリックします。

文字と背景の間の白すじをなくす（ブラックオーバープリントをする）

黒い文字とカラーの背景の境界に白いすじなどの隙間ができた場合は、重ね合わせて印刷し、白いすじをなくすことができます。

! 注

- この機能は、アプリケーションによっては利用できない場合があります。
- この機能は、背景カラーの上に文字だけを印刷する場合に使用できます。
- トナー層が厚い場合は、トナーが確実に定着しない場合があります。

Windows PCL/PCL XPS プリンタドライバの場合

1 印刷するファイルを開きます。

2 ［**ファイル**］メニューから［**印刷**］を選択します。

3 ［**詳細設定**］をクリックします。

4 ［**印刷オプション**］タブを選択し、［**その他**］を選択します。

5 ［**黒い文字は背景の上に重ね合わせて印刷する**］にチェックをつけます。

Windows PS プリンタドライバの場合

1 印刷するファイルを開きます。

2 ［**ファイル**］メニューから［**印刷**］を選択します。

3 ［**詳細設定**］をクリックします。

4 ［**カラー**］タブを選択し、［**その他**］を選択します。

5 ［**ブラックオーバープリント**］にチェックをつけます。

Mac OS X PS プリンタドライバの場合

1 印刷するファイルを開きます。

2 ［**ファイル**］メニューから［**プリント**］を選択します。

3 パネルメニューから［**カラー**］を選択します。

4 ［**その他**］を選択し、［**ブラックオーバープリント**］にチェックをつけます。

印刷結果をシミュレートする

CMYK カラーデータを調整して、オフセット印刷などで使用されるインクの特性を本機でシミュレートします。

注

- この機能は、Windows PCL XPS プリンタドライバでは使用できません。
- アプリケーションによっては、Mac OS X PS プリンタドライバが使用できない場合があります。
- この機能が使用できるのは、［**印刷モード**］に［**オフィスカラー**］または［**グラフィックプロ**］が選択されている場合です。

Windows PCL/PS プリンタドライバの場合

1 印刷するファイルを開きます。

2 ［**ファイル**］メニューから［**印刷**］を選択します。

3 ［**詳細設定**］をクリックします。

4 ［**カラー**］タブを選択し、［**グラフィックプロ**］を選択して、［**詳細**］をクリックします。

PS ドライバの場合、ビジネス文書またはそのほかの原稿で、［**オフィスカラー**］を選択して［**詳細**］をクリックし、［**CMYK シミュレーション**］でシミュレートしたいインク特性を選択することもできます。

5 ［**印刷シミュレーション**］にチェックをつけます。

6 ［**入力情報**］（PS プリンタドライバの場合は［**入力**］）の［**シミュレーション対象プロファイル**］からシミュレーションするインク特性を選択し、［**OK**］をクリックします。

Mac OS X PS プリンタドライバの場合

1 印刷するファイルを開きます。

2 ［**ファイル**］メニューから［**プリント**］を選択します。

3 パネルメニューから［**カラー**］を選択します。

4 ［**グラフィックプロ**］を選択します。

5 ［**詳細**］をクリックし、［**印刷シミュレーション**］を選択します。

6 ［**シミュレーション対象プロファイル**］から、シミュレーションするインク特性を選択します。

色分解印刷

アプリケーションを使用しないで、色分解印刷機能を使用できます。

注

- この機能は、Windows PCL/PCL XPS プリンタドライバでは使用できません。
- Adobe Illustrator を使用している場合は、アプリケーションの色分解機能を使用してください。このときはプリンタドライバのカラーマッチング機能をオフにしてください。

Windows PS プリンタドライバの場合

1 印刷するファイルを開きます。

2 ［**ファイル**］メニューから［**印刷**］を選択します。

3 ［**詳細設定**］をクリックします。

4 ［**カラー**］タブを選択し、［**その他**］を選択します。

5 ［**色分解**］から分版印刷したい色を選択し、［**OK**］をクリックします。

Mac OS X PS プリンタドライバの場合

1 印刷するファイルを開きます。

2 ［**ファイル**］メニューから［**プリント**］を選択します。

3 パネルメニューから［**カラー**］を選択します。

4 ［**その他**］を選択します。

5 ［**色分解**］から分版印刷したい色を選択し、［**OK**］をクリックします。

ColorSync を使用する（Mac OS X のみ）

ColorSync 機能を使用できます。この機能は、Mac OS X でのみ使用されるカラーマッチングプログラムです。

注

- ColorSyncに対応しているアプリケーションを使用してください。
- モニタのキャリブレーションと ICC プロファイルの設定が完了していることを確認してください。

1. 印刷するファイルを開きます。
2. ［**ファイル**］メニューから［**プリント**］を選択します。
3. パネルメニューから［**カラー・マッチング**］を選択します。
4. ［**ColorSync**］を選択します。
5. ［**プロファイル**］から［**OKI MC561 1200dpi (PS)**］,［**OKI MC561 600 Multi (PS)**］または［**OKI MC561 600dpi (PS)**］を選択します。
6. ［**プリント**］をクリックします。

メモ

- Mac OS X 10.5 ～ 10.6 以外のバージョンを使用している場合、［**ColorSync**］パネルの［**カラー変換**］に［**標準**］を選択します。
- Mac OS X 10.5 以降で、印刷ダイアログにメニューが 2 つだけ表示され、印刷オプションが表示されないときには、［**プリンタ**］メニューの横にある開閉用三角ボタンをクリックします。

■ プロファイルアシスタント

この節では、プロファイルアシスタントユーティリティについて説明します。本機の ICC プロファイルを使用して、カラーを調整できます。ICC プロファイルは、カラーの管理全般に使用されます。この機能を使用するためには、入力装置（モニタ、スキャナ、デジタルカメラなど）の ICC プロファイルをあらかじめ本機に登録しておく必要があります。ICC プロファイルを登録するには、プロファイルアシスタントユーティリティを使用します。

注

- 入力装置または出力装置にプロファイルがない場合は、その装置の製造元や販売店にお問い合わせください。

参照

- プロファイルアシスタントのインストール方法については、「ユーティリティをインストールする」（P. 98）を参照してください。

ICC プロファイルを登録する

Windows の場合

1. ［**スタート**］をクリックし、［**すべてのプログラム**］>［**沖データ**］>［**プロファイルアシスタント**］>［**プロファイルアシスタント**］を選択します。
2. ［**USB ポート**］または［**TCP/IP ネットワーク**］を選択し、［**開始**］をクリックします。
   本機を USB で接続している場合は、［**USB ポート**］を選択します。本機をネットワークで接続している場合は、［**TCP/IP ネットワーク**］を選択します。
3. リストから本機を選択し、［**OK**］をクリックします。
4. ［**追加**］をクリックします。
5. 登録したいプロファイルを選択し、［**開く**］をクリックします。
6. ［**プロファイル種類**］から、登録したいプロファイルの種類を選択します。
7. プロファイルを登録したい番号を選択します。
   登録されている番号は、青色ボタンで表示されます。登録済み番号を選択した場合、プロファイルは上書きされます。
8. 必要な場合は、［**コメント**］欄にコメントを入力してください。
   このコメントはプロファイルの一覧表示やカラープロファイルリストのレポートに表示されます。
9. ［**OK**］をクリックします。
10. 登録したプロファイルがメインウィンドウのリストに表示されたことを確認し、［**終了**］をクリックします。

Mac OS X の場合

1. プロファイルアシスタントを起動します。
2. ［**ネットワーク**］または［**USB**］タブを選択します。
   本機を USB で接続している場合は、［**USB**］を選択します。本機をネットワークで接続している場合は、［**ネットワーク**］を選択します。
3. 登録したい装置を選択し、［**選択**］をクリックします。

   注

   - USB2.0 には対応していません。このユーティリティを USB で使用する場合は、USB1.1 で接続するために本機の USB 速度を 12Mbps に設定してください。
4. メインウィンドウで［**追加**］をクリックします。
5. 登録したいプロファイルを選択し、［**選択**］をクリックします。

   メモ

   - ICC プロファイルをクリックすると、リストに情報（説明、サイズ、日付、カラースペースなど）が表示されます。
   - ICC プロファイルは通常［**ライブラリ**］>［**ColorSync**］>［**Profiles**］フォルダに格納されています。
     ICC プロファイルが見つからない場合は、その装置のメーカーにお問い合わせください。
6. プロファイルの種類を選択します。
7. プロファイルを登録したい番号を選択します。
   登録した番号は、下線つきの太字で表示されます。登録済み番号を選択した場合、プロファイルは上書きされます。
8. 必要な場合は、［**コメント**］欄にコメントを入力してください。
   このコメントはプロファイルの一覧表示やカラープロファイルリストのレポートに表示されます。
9. ［**追加**］をクリックします。

10 登録したプロファイルがメインウィンドウのリストに表示されたことを確認し、［**ファイル**］から［**閉じる**］を選択します。

メモ

- 登録したプロファイルは、［**グラフィックプロ**］機能のカラーマッチングに使用できます。
- プロファイルアシスタントユーティリティの次回以降の起動では手順 2 と 3 は省略され、最後に使用した装置にユーティリティが接続されます。接続するプリンタを変更する場合は、手順 4 で［**プリンタの選択**］を選択します。

参照

- ICC プロファイルを使用してカラーマッチングする方法については、「ICC プロファイルを使用したカラーマッチング（グラフィックプロ）」を参照してください。
- カラープロファイルリストの印刷方法については、「レポートを印刷する」（P. 72）を参照してください。

ICC プロファイルを使用したカラーマッチング（グラフィックプロ）

ICC プロファイルを使用して、カラーを調整したり管理することができます。カラーマッチングの実行、シミュレーション印刷の指定も可能です。この機能を使用する前に、入出力装置の ICC プロファイルを登録してください。

注

- Windows PCL プリンタドライバを使用する場合は、［**CMYK リンクプロファイル**］を指定できません。
- Windows PCL XPS プリンタドライバは使用できません。
- Windows PS プリンタドライバにICC プロファイルをインストールしている場合は、［**レイアウト**］タブの［**詳細設定**］をクリックし、［**ICM 無効**］を選択します。

Windows の場合

1 印刷するファイルを開きます。

2 ［**ファイル**］メニューから［**印刷**］を選択します。

3 ［**詳細設定**］をクリックします。

4 ［**カラー**］タブを選択し、［**グラフィックプロ**］を選択して、［**詳細**］をクリックします。

5 必要に応じて設定を変更し、［**OK**］をクリックします。

Mac OS X の場合

1 印刷するファイルを開きます。

2 ［**ファイル**］メニューから［**プリント**］を選択します。

3 パネルメニューから［**カラー**］を選択します。

4 ［**グラフィックプロ**］を選択して［**詳細**］をクリックします。

5 必要に応じて設定を変更し、［**OK**］をクリックします。

■ カラー調整ユーティリティ

この節では、カラー調整ユーティリティについて説明します。カラー調整ユーティリティを使用して、Microsoft Excel などで選択したパレットの色を指定できます。

! 注

- プリンタドライバごとに設定を行ってください。
- カラー調整ユーティリティを使ってカラーマッチングを行う場合は、管理者としてログインしている必要があります。
- ＜**設定**＞キー＞［**管理者設定**］＞［**機器管理**］＞［**暗号化設定**］＞［**ジョブ制限**］が設定されている場合は、テスト印刷とサンプル印刷は使用できません。

参照

- カラー調整ユーティリティのインストール方法については、「ユーティリティをインストールする」（P. 98）を参照してください。

パレットカラーを変更する

Windows の場合

1 ［**スタート**］をクリックし、［**すべてのプログラム**］＞［**沖データ**］＞［**カラー調整ユーティリティ**］＞［**カラー調整ユーティリティ**］を選択します。

2 ［**パレットカラーを調整します。**］を選択し、［**次へ**］をクリックします。

3 本機を選択し、［**次へ**］をクリックします。

4 設定の名前を選択し、［**サンプル印刷**］をクリックします。
色見本が印刷されます。

5 ［**次へ**］をクリックします。

6 ［**テスト印刷**］をクリックします。
調整対象色サンプルが印刷されます。

7 画面のカラーパレットと、印刷された調整対象色サンプルの色を比較してください。
×印がついている色は調整できません。

8 調整したい色をクリックします。

9 ドロップダウンリストで、X と Y の調整可能な範囲を確認します。
調整可能な値は色によって異なります。

10 印刷された色見本を確認し、調整可能な範囲内で最も適切な色を選択して、X と Y の値を確認します。

11 手順 10 で確認した値を選択して、［**OK**］をクリックします。

12 ［**テスト印刷**］をクリックし、調整後の色が希望する色に近いかどうかを確認して、［**次へ**］をクリックします。
さらに色を変更したり、ほかの色を変更する場合は、手順 8 ～ 11 を繰り返してください。

13 保存名を入力し、［**保存**］をクリックします。
ダイアログが表示されます。

14 ［**OK**］をクリックします。

15 ［**完了**］をクリックします。

Mac OS X の場合

1 カラー調整ユーティリティを起動します。

2 本機を選択し、［**PPD ファイルの選択**］をクリックします。

3 本機の PPD ファイルを選択し、［**開く**］をクリックします。

4 ［**次へ**］をクリックします。

5 ［**パレットカラーの調整**］をクリックします。

6 設定の名前を選択し、［**サンプル印刷**］をクリックします。
色見本が印刷されます。

7 ［**次へ**］をクリックします。

8 ［**テスト印刷**］をクリックします。
調整対象色サンプルが印刷されます。

9 画面のカラーパレットと、印刷された調整対象色サンプルの色を比較してください。
×印がついている色は調整できません。

10 調整したい色をクリックします。

11 プルダウンメニューから、X と Y の調整可能な範囲を確認します。
調整可能な値は色によって異なります。

12 印刷された色見本を確認し、調整可能な範囲内で最も適切な色を選択して、X と Y の値を確認します。

13 手順 12 で確認した値を選択して、［**OK**］をクリックします。

14 ［**テスト印刷**］をクリックし、調整後の色が希望する色に近いかどうかを確認します。
さらに色を変更したり、ほかの色を変更する場合は、手順 10 ～ 14 を繰り返してください。

15 名前を入力し、［**保存**］をクリックします。

16 手順 2 で選択した PPD ファイルに設定を保存するには、［**保存**］をクリックします。
管理者の名前とパスワードを入力します。

17 ［**終了**］をクリックします。

18 確認画面で［**OK**］をクリックします。

19 ［**システム環境設定**］の［**プリントとファックス**］を選択し、登録されている調整を行ったプリンタをいったん削除し、プリンタを再登録します。

ガンマ値や色相を変更する

ガンマ値の調整でトーンを、色相の調整で出力カラーを調整できます。

Windows の場合

1 ［**スタート**］をクリックし、［**すべてのプログラム**］＞［**沖データ**］＞［**カラー調整ユーティリティ**］＞［**カラー調整ユーティリティ**］を選択します。

2 ［**ガンマ・色相を補正します。**］を選択し、［**次へ**］をクリックします。

3 本機を選択し、［**次へ**］をクリックします。

4 基準となるモードを選択し、［**次へ**］をクリックします。

5 必要に応じて、スライドバーを調整して設定を行います。
［**インクの原色を使用する**］にチェックをつけた場合は、各色の 100 パーセントが印刷に使用され、色相のスライドバーは固定されます。

6 ［**テスト印刷**］をクリックします。

7 印刷結果を確認します。
希望する結果が得られない場合は、手順 5 と 6 を繰り返します。

8 ［**次へ**］をクリックします。

9 名前を入力し、［**保存**］をクリックします。
ダイアログが表示されます。

10 ［OK］をクリックします。

11 ［**完了**］をクリックします。

Mac OS X の場合

1 カラー調整ユーティリティを起動します。

2 本機を選択し、［**PPD ファイルの選択**］をクリックして、ファイルを選択します。

3 本機の PPD ファイルを選択し、［**開く**］をクリックします。

4 ［**次へ**］をクリックします。

5 ［**ガンマ / 色相 / 明度・彩度の調整**］をクリックします。

6 基準となるモードを選択し、［**次へ**］をクリックします。

7 必要に応じて、スライドバーを調整して設定を行います。
［**インクの原色を使用する**］にチェックをつけた場合は、各色の 100 パーセントが印刷に使用され、色相のスライドバーは固定されます。

8 ［**テスト印刷**］をクリックします。

9 印刷結果を確認します。
希望する結果が得られない場合は、手順 7 ～ 9 を繰り返します。

10 名前を入力し、［**保存**］をクリックします。

11 手順 2 で選択した PPD ファイルに設定を保存するには、［**保存**］をクリックします。
管理者の名前とパスワードを入力します。

12 ［**終了**］をクリックします。

13 確認画面で［**OK**］をクリックします。

14 ［**システム環境設定**］の［**プリントとファックス**］を選択し、登録されている調整を行ったプリンタをいったん削除し、プリンタを再登録します。

調整後のカラー設定で印刷する

Windows PCL/PS プリンタドライバの場合

1 印刷するファイルを開きます。

2 ［**ファイル**］メニューから［**印刷**］を選択します。

3 ［**詳細設定**］をクリックします。

4 ［**カラー**］タブを選択し、［**オフィスカラー**］を選択して、［**詳細**］をクリックします。

5 ［**ユーザ設定**］（PS の場合は［**ユーザー設定**］）を選択し、カラー調整ユーティリティで作成した設定を選択して、［**OK**］をクリックします。

Windows PCL XPS プリンタドライバの場合

1 印刷するファイルを開きます。

2 ［**ファイル**］メニューから［**印刷**］を選択します。

3 ［**詳細設定**］をクリックします。

4 ［**カラー**］タブを選択し、［**カラー（ユーザ設定）**］を選択します。

5 ［**カラー調整**］の［**ユーザ設定**］を選択し、カラー調整ユーティリティで作成した設定を選択して、［**OK**］をクリックします。

Mac OS X PS プリンタドライバの場合

1 印刷するファイルを開きます。

2 ［**ファイル**］メニューから［**プリント**］を選択します。

3 ［**カラー**］パネルで［**オフィスカラー**］を選択します。

4 ［**詳細**］をクリックして、カラー調整ユーティリティで作成した設定を［**ユーザーカラー調整**］から選択し、［**OK**］をクリックします。

カラー調整の設定を保存する

調整したカラー設定をファイルに保存できます。

注
- この機能を使用するには、管理者の権限が必要です。

Windows の場合

1 ［**スタート**］をクリックし、［**すべてのプログラム**］>［**沖データ**］>［**カラー調整ユーティリティ**］>［**カラー調整ユーティリティ**］を選択します。

2 ［**設定をインポート・エクスポート・削除します。**］を選択し、［**次へ**］をクリックします。

3 本機を選択し、［**次へ**］をクリックします。

4 ［**エクスポート**］をクリックします。

5 エクスポートするファイルを選択し、［**エクスポート**］をクリックします。

6 ファイル名と保存先のフォルダを指定し、［**保存**］をクリックします。

7 ［**OK**］をクリックします。

8 ［**完了**］をクリックします。

Mac OS X の場合

1 カラー調整ユーティリティを起動します。
2 本機を選択し、［**PPD ファイルの選択**］をクリックして、ファイルを選択します。
3 本機の PPD ファイルを選択し、［**開く**］をクリックします。
4 ［**次へ**］をクリックします。
5 ［**設定のインポート / エクスポート / 削除**］をクリックします。
6 ［**エクスポート**］をクリックします。
7 エクスポートするファイルを選択し、［**エクスポート**］をクリックします。
8 ファイル名と設定の保存先のフォルダを指定し、［**保存**］をクリックします。
9 ［**キャンセル**］をクリックします。
10 ［**終了**］をクリックします。
11 確認画面で［**OK**］をクリックします。

カラー調整の設定をインポートする

カラー調整の設定は、ファイルからインポートすることができます。

Windows の場合

1 ［**スタート**］をクリックし、［**すべてのプログラム**］>［**沖データ**］>［**カラー調整ユーティリティ**］>［**カラー調整ユーティリティ**］を選択します。
2 ［**設定をインポート・エクスポート・削除します。**］を選択し、［**次へ**］をクリックします。
3 本機を選択し、［**次へ**］をクリックします。
4 ［**インポート**］をクリックします。
5 ファイルを選択し、［**開く**］をクリックします。
6 インポートしたい設定を選択し、［**インポート**］をクリックします。
7 設定が正しくインポートされていることを確認し、［**完了**］をクリックします。

Mac OS X の場合

1 カラー調整ユーティリティを起動します。
2 本機を選択し、［**PPD ファイルの選択**］をクリックして、ファイルを選択します。
3 本機の PPD ファイルを選択し、［**開く**］をクリックします。
4 ［**次へ**］をクリックします。
5 ［**設定のインポート / エクスポート / 削除**］をクリックします。
6 ［**インポート**］をクリックします。
7 ファイルを選択し、［**開く**］をクリックします。
8 インポートしたい設定を選択し、［**インポート**］をクリックします。
9 手順 2 で指定した PPD ファイルに設定を保存するには、［**保存**］をクリックします。
10 管理者権限を持つユーザ名とパスワードを入力し［**OK**］をクリックします。
11 ［**キャンセル**］をクリックします。
12 設定が正しくインポートされたのを確認して、カラー調整ユーティリティを終了します。

カラー調整設定の削除

不要な設定ファイルは削除できます。

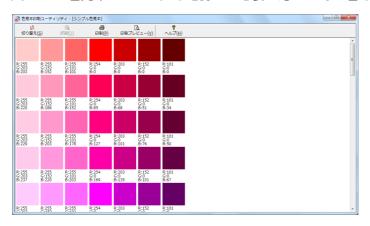
Windows の場合

1 ［**スタート**］をクリックし、［**すべてのプログラム**］>［**沖データ**］>［**カラー調整ユーティリティ**］>［**カラー調整ユーティリティ**］を選択します。
2 ［**設定をインポート・エクスポート・削除します。**］を選択し、［**次へ**］をクリックします。
3 本機を選択し、［**次へ**］をクリックします。
4 削除するファイルを選択し、［**削除**］をクリックします。
ダイアログが表示されます。
5 確認画面で［**はい**］をクリックします。
6 設定が正しく削除されていることを確認し、［**完了**］をクリックします。

Mac OS X の場合

1 カラー調整ユーティリティを起動します。
2 本機を選択し、[**PPD ファイルの選択**] をクリックして、ファイルを選択します。
3 本機の PPD ファイルを選択し、[**開く**] をクリックします。
4 [**次へ**] をクリックします。
5 [**設定のインポート / エクスポート / 削除**]をクリックします。
6 削除する設定を選択し、[**削除**] をクリックします。
ダイアログが表示されます。
7 確認画面で [**はい**] をクリックします。
8 手順 2 で指定した PPD ファイルに設定を保存するには、[**保存**] をクリックします。
9 管理者パスワードを入力し [**OK**] をクリックします。
10 設定が正しく削除されていることを確認し、[**終了**] をクリックします。
11 確認画面で [**OK**] をクリックします。

色見本印刷ユーティリティ

この節では、色見本印刷ユーティリティについて説明します。色見本印刷ユーティリティを使用して、本機が内蔵する RGB 色見本を印刷できます。RGB 色見本で RGB 値を確認し、必要に応じてその色を印刷できます。

注

- Mac OS X では使用できません。

参照

- ユーティリティのインストール方法については、「ユーティリティをインストールする」（P. 98）を参照してください。

色見本を印刷する

1 ［**スタート**］をクリックし、［**すべてのプログラム**］＞［**沖データ**］＞［**色見本印刷ユーティリティ**］＞［**色見本印刷ユーティリティ**］を選択します。

2 ［**印刷**］をクリックします。

3 ［**プリンター名**］から本機を選択します。

4 ［**OK**］をクリックします。

色見本が印刷されます。

5 色見本から印刷したい色を選択し、RGB 値をメモしておいてください。

色見本をカスタマイズする

「色見本を印刷する」の手順 5 で、印刷したい色がない場合は、以下の手順で色をカスタマイズします。

1 ［**切り替え**］をクリックします。

2 ［**詳細**］をクリックします。

3 希望の色が表示されるまで、3 つのスライドバーを調整します。

4 ［**閉じる**］をクリックします。

5 ［**印刷**］をクリックします。

6 ［**プリンター名**］から本機を選択します。

7 ［**OK**］をクリックします。

8 色が希望どおり調整されているか確認してください。

メモ

- 結果が希望どおりにならない場合は、手順 1 ～ 8 を繰り返します。

希望する色でファイルを印刷する

1 印刷するファイルを開きます。

2 文字または図形を選択して、アプリケーションで RGB 値を調整します。

3 ファイルを印刷します。

メモ

- アプリケーションで色を指定する方法については、アプリケーションのマニュアルをお読みください。
- 色見本と希望のファイルを印刷する場合は、同じプリンタドライバの設定値を使用してください。

■ PS ハーフトーン調整ユーティリティ

この節では、PS ハーフトーン調整ユーティリティについて説明します。本機で印刷される CMYK カラーのハーフトーン濃度を調整できます。この機能は写真またはグラフィックの色が濃すぎる場合に使用します。

! 注

- Windows PCL/PCL XPS プリンタドライバは使用できません。
- この機能を使用すると、印刷速度が遅くなる場合があります。速度を優先したい場合は、［**ハーフトーン調整**］から［**指定なし**］を選択してください。
- アプリケーションによってはハーフトーン設定を指定できるものもあります。この機能を使用する場合は、［**ハーフトーン調整**］から［**指定なし**］を選択してください。
- Windows を使用している場合は、［**ハーフトーン調整**］メニューまたはその内容がプリンタドライバの［**カラー**］タブに表示されないことがあります。この場合は、コンピュータを再起動してください。
- ハーフトーン調整名を登録する前からアプリケーションを使用している場合は、印刷する前にアプリケーションを再起動してください。
- ［**プリンターと FAX**］フォルダに複数のプリンタが保存されている場合は、登録したハーフトーン調整名は同一機種のすべてのプリンタに有効です。

参照

- PS ハーフトーン調整ユーティリティのインストール方法については、「ユーティリティをインストールする」（P. 98）を参照してください。

ハーフトーンを登録する

Windows PS プリンタドライバの場合

1 ［**スタート**］をクリックし、［**すべてのプログラム**］＞［**沖データ**］＞［**PS ハーフトーン調整ユーティリティ**］＞［**PS ハーフトーン調整ユーティリティ**］を選択します。
2 ［**プリンタの選択**］から本機を選択します。
3 ［**新規**］をクリックします。
4 ハーフトーンを調整します。
   グラフ線の操作、ガンマ値の入力、テキストボックスへの濃度値の入力から、ハーフトーンの調整方法を選択できます。
5 ［**ハーフトーン調整名**］に設定名を入力し、［**OK**］をクリックします。
6 ［**追加**］をクリックします。
7 ［**適用**］をクリックします。
   ダイアログが表示されます。
8 ［**OK**］をクリックします。
9 ［**終了**］をクリックすると、PS ハーフトーン調整ユーティリティが終了します。

Mac OS X PS プリンタドライバの場合

1 PS ハーフトーン調整ユーティリティを起動します。
2 ［**新規ハーフトーン調整の定義**］をクリックします。
3 ハーフトーンを調整します。
   グラフ線の操作、ガンマ値の入力、テキストボックスへの濃度値の入力から、ハーフトーンの調整方法を選択できます。
4 ［**ハーフトーン調整名**］に設定名を入力し、［**保存**］をクリックします。
5 ［**PPD ファイルの選択**］をクリックします。
6 ハーフトーン調整を登録する PPD ファイルを選択し、［**開く**］をクリックします。
7 作成したハーフトーン調整を選択し、［**追加**］をクリックします。
8 ［**保存**］をクリックします。
9 管理者の名前とパスワードを入力し［**OK**］をクリックします。

10 PS ハーフトーン調整ユーティリティを終了します。

11 ［**システム環境設定**］の［**プリントとファックス**］を選択し、登録されている調整を行ったプリンタをいったん削除し、プリンタを再登録します。

調整後のガンマ曲線でファイルを印刷する

Windows PS プリンタドライバの場合

1 印刷するファイルを開きます。

2 ［**ファイル**］メニューから［**印刷**］を選択します。

3 ［**詳細設定**］をクリックします。

4 ［**カラー**］タブを選択し、［**ハーフトーン調整**］からハーフトーン調整の設定を選択して、［**OK**］をクリックします。

Mac OS X PS プリンタドライバの場合

1 印刷するファイルを開きます。

2 ［**ファイル**］メニューから［**プリント**］を選択します。

3 パネルメニューから［**プリンタの機能**］を選択します。

4 ［**ジョブオプション**］セットの［**ハーフトーン調整**］から、ハーフトーン調整の設定を選択します。

9. ネットワークに関する設定

この章では、本機のネットワーク設定について説明します。

■ ネットワーク設定項目

この節では、ネットワーク機能で設定できる項目について説明します。

操作パネルの<**設定**>キーを押し、［**レポート印刷**］>［**装置情報**］>［**ネットワーク情報**］を選択すると、設定リストを印刷して現在のネットワーク設定値を確認できます。

参照

- ネットワーク設定リストを印刷する方法については、「レポートを印刷する」（P. 72）を参照してください。

ネットワーク設定は、本機の Web ページ、Configuration Tool、TELNET、および NIC 設定ツールから変更できます。各ユーティリティで使用できるメニューについては、以下の表を参照してください。

■ 装置情報

項目					工場出荷時の設定値	説明
Web ページ	TELNET	Configuration Tool/ Network Setting プラグイン	NIC 設定ツール (Windows)	NIC 設定ツール (Mac OS X)		
管理者の連絡先	Contact to Admin	-	-	-	（なし）	システム管理者の連絡先を半角 225 文字以内で指定します。
デバイス名	Device Name	-	-	-	OKI-（製品名）-（MAC アドレス下 6 桁）	本機の名前を半角 31 文字以内で設定します。
ショートデバイス名	Short Device Name	-	-	-	（製品名）-（MAC アドレス下 6 桁）	本機のショートデバイス名を半角 15 文字以内で設定します。
設置場所	Location	-	-	-	（なし）	本機の場所を半角 255 文字以内で設定します。
管理番号	Asset Number	-	-	-	（なし）	本機を管理するための任意の番号を半角 32 文字以内で設定します。

■ TCP/IP

項目					工場出荷時の設定値	説明
Web ページ	TELNET	Configuration Tool/ Network Setting プラグイン	NIC 設定ツール (Windows)	NIC 設定ツール (Mac OS X)		
IP アドレス設定	IP Address Set	IP アドレス取得方法	IP アドレス取得方法	IP アドレス取得方法	自動	IP アドレスの設定方法を指定します。
IP アドレス	IP Address	IP アドレス	IP アドレス	IP アドレス	xxx.xxx.xxx.xxx	IP アドレスを設定します。
サブネットマスク	Subnet Mask	サブネットマスク	サブネットマスク	サブネットマスク	xxx.xxx.xxx.xxx	サブネットマスクを設定します。
ゲートウェイアドレス	Gateway Address	デフォルトゲートウェイアドレス	デフォルトゲートウェイアドレス	デフォルトゲートウェイアドレス	0.0.0.0	ゲートウェイアドレスを設定します。

項目					工場出荷時の設定値	説明
Web ページ	TELNET	Configuration Tool/ Network Setting プラグイン	NIC 設定ツール			
			(Windows)	(Mac OS X)		
DNS サーバ（プライマリ）	DNS Server (Pri.)	-	-	-	0.0.0.0	プライマリ DNS サーバの IP アドレスを指定します。 ドメイン名を使用して SMTP/POP/LDAP サーバを指定する場合は、必ずこの項目を設定してください。
DNS サーバ（セカンダリ）	DNS Server (Sec.)	-	-	-	0.0.0.0	セカンダリ DNS サーバの IP アドレスを指定します。 ドメイン名を使用して SMTP/POP/LDAP サーバを指定する場合は、必ずこの項目を設定してください。
ダイナミック DNS	Dynamic DNS	-	-	-	無効	設定が変更されたときにその情報を DNS サーバに登録するかどうかを指定します。
ドメイン名	Domain Name	-	-	-	（なし）	本機が属するドメイン名を設定します。
WINS サーバ（プライマリ）	WINS Server (Pri.)	-	-	-	0.0.0.0	WINS サーバの名前または IP アドレスを指定します（Windows のみ）。
WINS サーバ（セカンダリ）	WINS Server (Sec.)	-	-	-	0.0.0.0	WINS サーバの名前または IP アドレスを指定します（Windows のみ）。
スコープ ID	Scope ID	-	-	-	（なし）	WINS の Scope ID を指定します。半角 1 ～ 223 文字で指定します。
Windows	Windows	-	-	-	無効	Windows の自動検出機能を使用するかどうかを指定します。
Macintosh	Macintosh	-	-	-	有効	Macintosh の自動検出機能を使用するかどうかを指定します。
デバイス名	Printer Name	-	-	-	OKI-（製品名）-（MAC アドレス下 6 桁）	自動検出機能が有効になっている場合に、本機の名前を表示するルールを指定します。
IPv6	IP Version	-	-	-	無効	IPv6 を使用するかどうかを指定します。

■ NetWare

項目					工場出荷時の設定値	説明
Web ページ	TELNET	Configuration Tool/ Network Setting プラグイン	NIC 設定ツール			
			(Windows)	(Mac OS X)		
印刷モード	-	-	-	-	プリントサーバ	本機をプリントサーバとして使用するかリモートプリンタとして使用するかを指定します。
接続方式	NetWare Mode	-	-	-	NDS+ バインダリ	NetWare の優先モードを指定します。
通信プロトコル	TCP or IPX	-	-	-	IPX	NetWare で IPX または TCP/IP のどちらを使用するか選択します。
プリントサーバ名	Print Server Name	-	-	-	OKI-(製品名)-(MAC アドレス下 6 桁）-PS	プリントサーバの名前を半角 31 文字以内で指定します。この値はファイルサーバで指定されたものと同じでなければなりません。
プリンタ名	Printer Name	-	-	-	OKI-(製品名)-(MAC アドレス下 6 桁）-PR	リモートプリンタを使用する場合に、プリンタの名前を指定します。この値はファイルサーバで指定されたものと同じでなければなりません。
フレームタイプ	Frame Type	-	-	-	Auto	本機が NetWare で使用するフレームタイプを指定します。

項目					工場出荷時の設定値	説明
Web ページ	TELNET	Configuration Tool/ Network Setting プラグイン	NIC 設定ツール			
			(Windows)	(Mac OS X)		
バインダリモード	-	-	-	-	有効	バインダリモードを使用するかどうかを指定します。 NetWare 3.12、または NetWare 6.0、5.0、4.1 のバインダリネットワークにアクセスするときは、バインダリモードを有効にします。 NetWare 6.0、5.0、4.1 の NDS にアクセスするときは、バインダリモードを無効にします。
ファイルサーバ名	File Server Name #1-8	-	-	-	(なし)	ファイルサーバの名前を半角 47 文字以内で指定します。最大 8 台のサーバを指定できます。
ファイルサーバのログインパスワード	Password	-	-	-	(なし)	ファイルサーバにログインするためのパスワードを半角 31 文字以内で設定します。 本機用のファイルサーバにパスワードを設定する場合は、この項目を指定する必要があります。
ジョブポーリング間隔	Job Polling Time(sec.)	-	-	-	4 (秒)	印刷ジョブのキューにアクセスする間隔を設定します。
ツリー	NDS Tree	-	-	-	(なし)	NDS のツリー名を半角 31 文字以内で指定します。ファイルサーバが属するツリー名を指定してください。
コンテキスト	NDS Context	-	-	-	(なし)	NDS のコンテキスト名を半角 77 文字以内で指定します。プリントサーバが属するコンテキスト名を指定します。
ジョブタイムアウト	Job Timeout (sec.)	-	-	-	10 (秒)	最後の印刷ジョブを受け取ってからポートを解放するまでの時間を指定します。
プリントサーバ名	Print Sever Name #1-8	-	-	-	(なし)	アクセスするプリントサーバの名前を半角 47 文字以内で指定します。最大 8 台のサーバを指定できます。

■ EtherTalk

項目					工場出荷時の設定値	説明
Web ページ	TELNET	Configuration Tool/ Network Setting プラグイン	NIC 設定ツール			
			(Windows)	(Mac OS X)		
ゾーン名	Zone Name	-	-	-	*	EtherTalk ゾーン名を半角 32 文字以内で指定します。
プリンタ名	Printer Name	-	-	-	(製品名)	EtherTalk プリンタ名を半角 31 文字以内で指定します。

■ NBT/NetBEUI

項目					工場出荷時の設定値	説明
Web ページ	TELNET	Configuration Tool/ Network Setting プラグイン	NIC 設定ツール (Windows)	NIC 設定ツール (Mac OS X)		
ショートデバイス名	Short Device Name	-	-	-	（製品名）-（MAC アドレス下 6 桁）	NetBIOS over TCP/NetBEUI で識別される名前を半角 15 文字以内で設定します。Windows では、ネットワークコンピュータの PrintServer グループに表示されます。
ワークグループ名	Workgroup Name	-	-	-	PrintServer	Windows ネットワークコンピュータに表示されるワークグループ名を半角 15 文字以内で設定します。
マスタブラウザ設定	Master Browser Setting	-	-	-	有効	マスタブラウザを使用するかどうかを指定します。
コメント	Comment	-	-	-	EthernetBoard OkiLAN 8500e	コメントを半角 48 文字以内で設定します。Windows エクスプローラが詳細表示になっているときに表示されます。

■ E メール送信設定

項目					工場出荷時の設定値	説明
Web ページ	TELNET	Configuration Tool/ Network Setting プラグイン	NIC 設定ツール (Windows)	NIC 設定ツール (Mac OS X)		
SMTP 送信	SMTP Send	-	-	-	有効	SMTP（E メール）を使用するかどうかを指定します。
SMTP サーバ	SMTP Server Name	-	-	-	（なし）	SMTP サーバ名を指定します。ドメイン名または IP アドレスを入力します。 ドメイン名を入力する場合は、必ず DNS 設定をしてください。
デバイス E メールアドレス	Device Email Address	-	-	-	（なし）	本機の E メールアドレスを指定します。
認証方法	SMTP-Auth Method	-	-	-	None	SMTP 認証方式を指定します。
SMTP ポート番号	SMTP Port Number	-	-	-	25	SMTP ポート番号を指定します。
SMTP ユーザ ID	SMTP Server User ID	-	-	-	（なし）	SMTP 認証用のユーザ ID を設定します。
SMTP パスワード	SMTP Server Password	-	-	-	（なし）	SMTP 認証用のパスワードを設定します。
SMTP 送信暗号化方式	SMTP Encryption Algorithm	-	-	-	None	SMTP（E メール）送信プロトコルの暗号化方法を指定します。
-	POP Server Name	-	-	-	（なし）	POP サーバ名を指定します。ドメイン名または IP アドレスを入力します。ドメイン名を入力する場合は、必ず DNS 設定をしてください。
-	POP Port Number	-	-	-	110	POP サーバにアクセスするためのポート番号を指定します。
POP ユーザ ID	POP Server UserID	-	-	-	（なし）	POP サーバにアクセスするためのユーザ ID を設定します。

項目					工場出荷時の設定値	説明
Webページ	TELNET	Configuration Tool/ Network Setting プラグイン	NIC 設定ツール (Windows)	NIC 設定ツール (Mac OS X)		
POP パスワード	POP Server Password	-	-	-	(なし)	POP サーバにアクセスするためのパスワードを設定します。
POP 暗号化方式	POP Encryption Algorithm	-	-	-	None	POP 通信を暗号化する方法を指定します。
APOP サポート	Use APOP	-	-	-	無効	APOP を使用するかどうかを指定します。
付加情報 デバイス モデル	Attached Info Device Model	-	-	-	有効	本機の機種名をアラートメールにリストするかどうかを指定します。
付加情報 ネットワークインターフェース	Attached Info Network Interface	-	-	-	有効	ネットワークインタフェース名をアラートメールにリストするかどうかを指定します。
付加情報 シリアルナンバー	Attached Info Serial Number	-	-	-	有効	本機のシリアルナンバーをアラートメールにリストするかどうかを指定します。
付加情報 管理番号	Attached Info Asset Number	-	-	-	無効	本機の管理番号をアラートメールにリストするかどうかを指定します。
付加情報 デバイス名	Attached Info Device Name	-	-	-	無効	本機のデバイス名をアラートメールにリストするかどうかを指定します。
付加情報 設置場所	Attached Info Location	-	-	-	無効	本機の設置場所をアラートメールにリストするかどうかを指定します。
付加情報 IP アドレス	Attached Info IP Address	-	-	-	有効	本機の IP アドレスをアラートメールにリストするかどうかを指定します。
付加情報 MAC アドレス	Attached Info MAC Address	-	-	-	無効	本機の MAC アドレスをアラートメールにリストするかどうかを指定します。
付加情報 ショートデバイス名	Attached Info Short Device Name	-	-	-	無効	本機のショートデバイス名をアラートメールにリストするかどうかを指定します。
付加情報 デバイス URL	Attached Info Device URL	-	-	-	無効	本機の Web ページの URL をアラートメールにリストするかどうかを指定します。
コメント	Comment Line 1-4	-	-	-	(なし)	コメントを設定してアラートメールに追加します。1 行に半角 63 文字以内を入力できます。最大 4 行を指定できます。
返信先 E メールアドレス	Reply-To Address	-	-	-	(なし)	メールへの返信に使用する E メールアドレスを指定します。ネットワーク管理者の E メールアドレスを指定します。

■ E メール受信設定

項目					工場出荷時の設定値	説明
Web ページ	TELNET	Configuration Tool/ Network Setting プラグイン	NIC 設定ツール (Windows)	NIC 設定ツール (Mac OS X)		
使用するプロトコル	POP or SMTP	-	-	-	無効	メール受信機能を使用するかどうかを指定します。使用するプロトコルを選択します。
POP サーバ名	POP Server	-	-	-	(なし)	POP サーバ名を指定します。ドメイン名または IP アドレスを入力します。ドメイン名を入力する場合は、必ず DNS 設定をしてください。
POP ユーザ ID	POP Server UserID	-	-	-	(なし)	POP サーバにアクセスするためのユーザ ID を設定します。
POP パスワード	POP Server Password	-	-	-	(なし)	POP サーバにアクセスするためのパスワードを設定します。
APOP サポート	Use APOP	-	-	-	無効	APOP を使用するかどうかを指定します。
POP ポート番号	POP Port Number	-	-	-	110	POP サーバにアクセスするためのポート番号を指定します。
POP 暗号化方式	POP Encryption Algorithm	-	-	-	None	POP 通信を暗号化する方法を指定します。
POP 受信間隔	Mail Polling Time(min)	-	-	-	5 分	POP サーバにアクセスしてメールを受信する間隔を指定します。
ドメインフィルタ	Domain filter	-	-	-	無効	ドメインフィルタ機能を使用するかどうかを指定します。
以下に設定したドメインからの E メールを	Filter Policy	-	-	-	許可	指定したドメインからのメールを受信するか拒否するかを指定します。
ドメイン 1 ～ 5	Domain1-5	-	-	-	(なし)	ドメインフィルタ機能を適用するドメインを指定します。
SMTP 受信ポート番号	Port Number	-	-	-	25	SMTP 経由で本機にアクセスするためのポート番号を指定します。

■ E メールアラート設定

項目					工場出荷時の設定値	説明
Web ページ	TELNET	Configuration Tool/ Network Setting プラグイン	NIC 設定ツール (Windows)	NIC 設定ツール (Mac OS X)		
アドレス 1 ～ 5	Email Address 1-5	-	-	-	(なし)	送信先の E メールアドレスを指定します。5 つまでの送信先を指定できます。
障害通知方法	Notify Mode 1-5	-	-	-	障害発生時の通知	いつエラーを通知するかを指定します。
メール通知間隔	Email Alert Interval (Hours) 1-5	-	-	-	24 (時間)	E メールアラートの間隔を指定します。定期的な通知を指定している場合にのみ有効です。
消耗品 警告	Consumable Warning EVENT 1-5	-	-	-	即時	消耗品に関する警告を通知するかどうかを指定します。発生時の通知を選択している場合のみ有効です。
消耗品 警告	Consumable Warning PERIOD 1-5	-	-	-	有効	消耗品に関する警告を通知するかどうかを指定します。定期的な通知を選択している場合のみ有効です。

項目					工場出荷時の設定値	説明
Web ページ	TELNET	Configuration Tool/ Network Setting プラグイン	NIC 設定ツール (Windows)	NIC 設定ツール (Mac OS X)		
消耗品 エラー	Consumable Error EVENT 1-5	-	-	-	即時	消耗品に関するエラーを通知するかどうかを指定します。発生時の通知を選択している場合のみ有効です。
消耗品 エラー	Consumable Error PERIOD 1-5	-	-	-	有効	消耗品に関するエラーを通知するかどうかを指定します。定期的な通知を選択している場合のみ有効です。
メンテナンスユニット 警告	Maintenance Unit Warning EVENT 1-5	-	-	-	2 時間後	メンテナンスユニットに関する警告を通知するかどうかを指定します。発生時の通知を選択している場合のみ有効です。
メンテナンスユニット 警告	Maintenance Unit Warning PERIOD 1-5	-	-	-	有効	メンテナンスユニットに関する警告を通知するかどうかを指定します。定期的な通知を選択している場合のみ有効です。
メンテナンスユニット エラー	Maintenance Unit Error EVENT 1-5	-	-	-	即時	メンテナンスユニットに関するエラーを通知するかどうかを指定します。発生時の通知を選択している場合のみ有効です。
メンテナンスユニット エラー	Maintenance Unit Error PERIOD 1-5	-	-	-	有効	メンテナンスユニットに関するエラーを通知するかどうかを指定します。定期的な通知を選択している場合のみ有効です。
用紙の補充 警告	Paper Supply Warning EVENT 1-5	-	-	-	15 分後	用紙に関する警告を通知するかどうかを指定します。発生時の通知を選択している場合のみ有効です。
用紙の補充 警告	Paper Supply Warning PERIOD 1-5	-	-	-	有効	用紙に関する警告を通知するかどうかを指定します。定期的な通知を選択している場合のみ有効です。
用紙の補充 エラー	Paper Supply Error EVENT 1-5	-	-	-	即時	用紙に関するエラーを通知するかどうかを指定します。発生時の通知を選択している場合のみ有効です。
用紙の補充 エラー	Paper Supply Error PERIOD 1-5	-	-	-	有効	用紙に関するエラーを通知するかどうかを指定します。定期的な通知を選択している場合のみ有効です。
印刷中の用紙警告	Printing Paper Warning EVENT 1-5	-	-	-	無効	給紙に関する警告を通知するかどうかを指定します。発生時の通知を選択している場合のみ有効です。
印刷中の用紙警告	Printing Paper Warning PERIOD 1-5	-	-	-	無効	給紙に関する警告を通知するかどうかを指定します。定期的な通知を選択している場合のみ有効です。
印刷中の用紙エラー	Printing Paper Error EVENT 1-5	-	-	-	2 時間後	給紙に関するエラーを通知するかどうかを指定します。発生時の通知を選択している場合のみ有効です。
印刷中の用紙エラー	Printing Paper Error PERIOD 1-5	-	-	-	有効	給紙に関するエラーを通知するかどうかを指定します。定期的な通知を選択している場合のみ有効です。
ストレージデバイス 警告	Storage Device EVENT 1-5	-	-	-	無効	ストレージデバイスに関する警告を通知するかどうかを指定します。発生時の通知を選択している場合のみ有効です。
ストレージデバイス 警告	Storage Device PERIOD 1-5	-	-	-	有効	ストレージデバイスに関する警告を通知するかどうかを指定します。定期的な通知を選択している場合のみ有効です。

項目					工場出荷時の設定値	説明
Web ページ	TELNET	Configuration Tool/ Network Setting プラグイン	NIC 設定ツール (Windows)	NIC 設定ツール (Mac OS X)		
印刷の結果 警告	Print Result Warning EVENT 1-5	-	-	-	無効	印刷結果に影響するエラーに関する警告を通知するかどうかを指定します。発生時の通知を選択している場合のみ有効です。
印刷の結果 警告	Print Result Warning PERIOD 1-5	-	-	-	有効	印刷結果に影響するエラーに関する警告を通知するかどうかを指定します。定期的な通知を選択している場合のみ有効です。
印刷の結果 エラー	Print Result Error EVENT 1-5	-	-	-	2 時間後	印刷結果に影響するエラーを通知するかどうかを指定します。発生時の通知を選択している場合のみ有効です。
印刷の結果 エラー	Print Result Error PERIOD 1-5	-	-	-	有効	印刷結果に影響するエラーを通知するかどうかを指定します。定期的な通知を選択している場合のみ有効です。
インタフェースの異常 警告	Interface Warning EVENT 1-5	-	-	-	無効	インタフェースに関する警告を通知するかどうかを指定します。発生時の通知を選択している場合のみ有効です。
インタフェースの異常 警告	Interface Warning PERIOD 1-5	-	-	-	無効	インタフェースに関する警告を通知するかどうかを指定します。定期的な通知を選択している場合のみ有効です。
インタフェースの異常 エラー	Interface Error EVENT 1-5	-	-	-	2 時間後	インタフェースに関するエラーを通知するかどうかを指定します。発生時の通知を選択している場合のみ有効です。
インタフェースの異常 エラー	Interface Error PERIOD 1-5	-	-	-	有効	インタフェースに関するエラーを通知するかどうかを指定します。定期的な通知を選択している場合のみ有効です。
セキュリティ警告	Security Warning EVENT 1-5	-	-	-	無効	セキュリティ機能に関する警告を通知するかどうかを指定します。発生時の通知を選択している場合のみ有効です。
セキュリティ警告	Security Warning PERIOD 1-5	-	-	-	無効	セキュリティ機能に関する警告を通知するかどうかを指定します。定期的な通知を選択している場合のみ有効です。
スキャナ 警告	Scanner Warning/ Error EVENT 1-5	-	-	-	無効	スキャナに関する警告を通知するかどうかを指定します。発生時の通知を選択している場合のみ有効です。
スキャナ 警告	Scanner Warning/ Error PERIOD 1-5	-	-	-	無効	スキャナに関する警告を通知するかどうかを指定します。定期的な通知を選択している場合のみ有効です。
スキャナ エラー	Scanner Warning/ Error EVENT 1-5	-	-	-	無効	スキャナに関するエラーを通知するかどうかを指定します。発生時の通知を選択している場合のみ有効です。
スキャナ エラー	Scanner Warning/ Error PERIOD 1-5	-	-	-	無効	スキャナに関するエラーを通知するかどうかを指定します。定期的な通知を選択している場合のみ有効です。
ファクス 警告	FAX Warning/ Error EVENT 1-5	-	-	-	無効	ファクス機能に関する警告を通知するかどうかを指定します。発生時の通知を選択している場合のみ有効です。
ファクス 警告	FAX Warning/ Error PERIOD 1-5	-	-	-	無効	ファクス機能に関する警告を通知するかどうかを指定します。定期的な通知を選択している場合のみ有効です。

項目					工場出荷時の設定値	説明
Web ページ	TELNET	Configuration Tool/ Network Setting プラグイン	NIC 設定ツール			
			(Windows)	(Mac OS X)		
ファクス エラー	FAX Warning/ Error EVENT 1-5	-	-	-	無効	ファクス機能に関するエラーを通知するかどうかを指定します。発生時の通知を選択している場合のみ有効です。
ファクス エラー	FAX Warning/ Error PERIOD 1-5	-	-	-	無効	ファクス機能に関するエラーを通知するかどうかを指定します。定期的な通知を選択している場合のみ有効です。
その他 エラー	Other Error EVENT 1-5	-	-	-	2 時間後	その他のエラーを通知するかどうかを指定します。発生時の通知を選択している場合のみ有効です。
その他 エラー	Other Error PERIOD 1-5	-	-	-	有効	その他のエラーを通知するかどうかを指定します。定期的な通知を選択している場合のみ有効です。

■ SNMP

項目					工場出荷時の設定値	説明
Web ページ	TELNET	Configuration Tool/ Network Setting プラグイン	NIC 設定ツール			
			(Windows)	(Mac OS X)		
使用する SNMP 設定	SNMP Version	-	-	-	SNMPv3+v1	SNMP のバージョンを指定します。
ユーザ名	User Name	-	-	-	root	SNMPv3 でのユーザ名を半角 32 文字以内で設定します。
認証設定 パスフレーズ	Auth Passphrase	-	-	-	(なし)	SNMPv3 パケット認証用の認証キーを生成するためのパスワードを設定します。半角 8 〜 32 文字で設定します。
-	Auth Key	-	-	-	(なし)	SNMPv3 パケット認証用の認証キーを HEX コードで設定します。最大文字数は、選択するアルゴリズムによって異なります。
認証設定 アルゴリズム	Auth Algorithm	-	-	-	MD5	SNMPv3 パケット認証用のアルゴリズムを指定します。
暗号化設定 パスフレーズ	Privacy Passphrase	-	-	-	(なし)	SNMPv3 パケット暗号化用のプライバシーキーを生成するためのパスワードを設定します。半角 8 〜 32 文字で設定します。
-	Privacy Key	-	-	-	(なし)	SNMPv3 パケット暗号化用の認証キーを HEX コードで設定します。16 オクテット（HEX コード 32 文字）を使用できます。
暗号化設定 アルゴリズム	Privacy Algorithm	-	-	-	DES	SNMPv3 パケット暗号化用のアルゴリズムを指定します。この値を変更することはできません。
新しいSNMP Read コミュニティ	Read Community	-	-	-	public	SNMPv1 用の Read コミュニティを半角 15 文字以内で設定します。
新しいSNMP Write コミュニティ	Write Community	-	-	-	public	SNMPv1 用の Write コミュニティを半角 15 文字以内で設定します。

■ SNMP Trap

項目					工場出荷時の設定値	説明
Web ページ	TELNET	Configuration Tool/ Network Setting プラグイン	NIC 設定ツール (Windows)	NIC 設定ツール (Mac OS X)		
プリンタ Trap コミュニティ名設定	Prn-Trap Community	-	-	-	public	プリンタ Trap のコミュニティ名を半角 31 文字以内で設定します。
アドレス 1 ～ 5	TCP #1-5 Trap Address	-	-	-	0.0.0.0	TCP/IP での Trap 先を指定します。最大 5 つの宛先を指定できます。
Trap 送信許可 1 ～ 5	TCP #1-5 Trap Enable	-	-	-	無効	TCP#1 ～ #5 でプリンタ Trap を使用するかどうかを指定します。
プリンタ再起動 1 ～ 5	TCP #1-5 Printer Reboot Trap	-	-	-	無効	本機が再起動したときに SNMP メッセージを送信するかどうかを指定します。
不正 Trap 受信 1 ～ 5	TCP #1-5 Receive Illegal Trap	-	-	-	無効	［**プリンタ Trap コミュニティ名設定**］で設定した以外のコミュニティ名で本機にアクセスしたときに、Trap を使用するかどうかを指定します。
オンライン 1 ～ 5	TCP #1-5 Online Trap	-	-	-	無効	本機がオンラインになるたびに SNMP メッセージを送信するかどうかを指定します。
オフライン 1 ～ 5	TCP #1-5 Offline Trap	-	-	-	無効	本機がオフラインになるたびに SNMP メッセージを送信するかどうかを指定します。
用紙なし 1 ～ 5	TCP #1-5 Paper Out Trap	-	-	-	無効	本機が用紙切れ状態になったときに SNMP メッセージを送信するかどうかを指定します。
用紙ジャム 1 ～ 5	TCP #1-5 Paper Jam Trap	-	-	-	無効	用紙がつまったときに SNMP メッセージを送信するかどうかを指定します。
カバーオープン 1 ～ 5	TCP #1-5 Cover Open Trap	-	-	-	無効	本機のカバーが開かれるたびに SNMP メッセージを送信するかどうかを指定します。
プリンタエラー 1 ～ 5	TCP #1-5 Printer Error Trap	-	-	-	無効	エラーが発生したときに SNMP メッセージを送信するかどうかを指定します。
IPX	IPX Trap Net/Address	-	-	-	00000000:000000000000	IPX での Trap 送信先を指定します。設定値は、「(ネットワークアドレス)：(ノードアドレス)」を指定します。アドレスは 1 つだけ指定できます。
IPX Trap 送信許可	IPX Trap Enable	-	-	-	無効	IPX でプリンタ Trap を使用するかどうかを指定します。
IPX オンライン	IPX Online Trap	-	-	-	無効	本機がオンラインになるたびに SNMP メッセージを送信するかどうかを指定します。
IPX オフライン	IPX Offline Trap	-	-	-	無効	本機がオフラインになるたびに SNMP メッセージを送信するかどうかを指定します。
IPX 用紙なし	IPX Paper Out Trap	-	-	-	無効	本機が用紙切れ状態になったときに SNMP メッセージを送信するかどうかを指定します。
IPX 用紙ジャム	IPX Paper Jam Trap	-	-	-	無効	用紙がつまったときに SNMP メッセージを送信するかどうかを指定します。
IPX カバーオープン	IPX Cover Open Trap	-	-	-	無効	本機のカバーが開かれるたびに SNMP メッセージを送信するかどうかを指定します。
IPX プリンタエラー	IPX Printer Error Trap	-	-	-	無効	エラーが発生したときに SNMP メッセージを送信するかどうかを指定します。

■ IPP

項目					工場出荷時の設定値	説明
Web ページ	TELNET	Configuration Tool/ Network Setting プラグイン	NIC 設定ツール (Windows)	NIC 設定ツール (Mac OS X)		
IPP	-	-	-	-	無効	IPP を使用するかどうかを指定します。
管理者からの連絡事項	-	-	-	-	(なし)	[文字コード] および [言語] で選択された言語に応じて、メッセージを入力します。
文字コード	-	-	-	-	UTF-8	設定を本機に送信するときに使用する文字セットを指定します。
言語	-	-	-	-	EN-US	テキスト文字列を含む設定で使用する言語を指定します。
認証	-	-	-	-	NONE	IPP 印刷を実行するときに認証を使用するかどうかを指定します。
ユーザー名 1 ～ 50	-	-	-	-	(なし)	[認証] で [BASIC] を選択した場合は、ユーザ名を半角 63 文字以内で指定します。
パスワード 1 ～ 50	-	-	-	-	(なし)	[認証] で [BASIC] を選択した場合は、パスワードを半角 16 文字以内で指定します。

■ Windows Rally

項目					工場出荷時の設定値	説明
Web ページ	TELNET	Configuration Tool/ Network Setting プラグイン	NIC 設定ツール (Windows)	NIC 設定ツール (Mac OS X)		
WSD Print	WSD Print	-	-	-	有効	WSD Print を使用するかどうかを指定します。
LLTD	LLTD	-	-	-	有効	LLTD を使用するかどうかを指定します。

■ IEEE802.1X

項目					工場出荷時の設定値	説明
Web ページ	TELNET	Configuration Tool/ Network Setting プラグイン	NIC 設定ツール (Windows)	NIC 設定ツール (Mac OS X)		
IEEE802.1X	802.1X	-	-	-	無効	IEEE802.1X を使用するかどうかを指定します。
EAP タイプ	EAP Type	-	-	-	EAP-TLS	EAP の方法を指定します。
EAP ユーザ	EAP User	-	-	-	(なし)	EAP に使用されるユーザ名を半角 64 文字以内で指定します。
EAP パスワード	EAP Password	-	-	-	(なし)	EAP に使用されるパスワードを半角 64 文字以内で指定します。[EAP タイプ] で [PEAP] を選択している場合のみ有効です。
クライアント証明書設定	Use SSL Certificate	-	-	-	SSL/TLS の証明書を EAP 認証に使用しない	SSL/TLS 用の証明書を IEEE802.1X 認証に使用するかどうかを指定します。SSL/TLS 用証明書がインストールされていない場合は使用できません。EAP-TLS を選択している場合のみ有効です。

項目					工場出荷時の設定値	説明
Web ページ	TELNET	Configuration Tool/ Network Setting プラグイン	NIC 設定ツール (Windows)	NIC 設定ツール (Mac OS X)		
CA 証明書設定	Authenticate Server	-	-	-	サーバを認証する	RADIUS サーバから送られてきた証明書を、CA 証明書を使って認証するかどうかを指定します。
-	EAP retry	-	-	-	3	IEEE802.1X 認証のリトライ回数を指定します。
-	EAP timeout	-	-	-	40	IEEE802.1X 認証中にサーバ応答を待つためのタイムアウト値を指定します。

■ セキュアプロトコルサーバ設定（ケルベロス）

項目					工場出荷時の設定値	説明
Web ページ	TELNET	Configuration Tool/ Network Setting プラグイン	NIC 設定ツール (Windows)	NIC 設定ツール (Mac OS X)		
ドメイン名	Domain Name	-	-	-	（なし）	ケルベロス認証用のレルム名を指定します。

■ LDAP サーバ設定

項目					工場出荷時の設定値	説明
Web ページ	TELNET	Configuration Tool/ Network Setting プラグイン	NIC 設定ツール (Windows)	NIC 設定ツール (Mac OS X)		
LDAP サーバ	LDAP Server	-	-	-	（なし）	LDAP サーバ名を指定します。ドメイン名または IP アドレスを入力します。ドメイン名を入力する場合は、必ず DNS 設定をしてください。
ポート番号	LDAP Port Number	-	-	-	389	LDAP サーバのポート番号を指定します。
タイムアウト	LDAP Timeout	-	-	-	30	LDAP サーバからの応答を待つタイムアウト値を指定します。
最大エントリ数	Max Entry	-	-	-	100	検索結果の最大数を指定します。
DN 名	Search Root	-	-	-	（なし）	LDAP 検索で検索する場所（BaseDN）を指定します。
ユーザ名 1	User Name 1	-	-	-	cn	ユーザ名として検索する属性名を指定します。
ユーザ名 2	User Name 2	-	-	-	sn	
ユーザ名 3	User Name 3	-	-	-	givenName	
メールアドレス	Mail Address	-	-	-	mail	E メールアドレスとして検索する属性名を指定します。
追加フィルタ	Additional Filter	-	-	-	（なし）	LDAP 検索用の追加フィルタを指定します。
方法	Authentication Method	-	-	-	Anonymous	LDAP サーバの認証方法を指定します。
ユーザ ID	Authentication User ID	-	-	-	（なし）	LDAP サーバにアクセスするためのユーザ ID を設定します。

項目					工場出荷時の設定値	説明
Web ページ	TELNET	Configuration Tool/ Network Setting プラグイン	NIC 設定ツール			
			(Windows)	(Mac OS X)		
パスワード	Authentication User Password	-	-	-	(なし)	LDAP サーバにアクセスするためのパスワードを設定します。
暗号化	Encryption Algorithm	-	-	-	None	LDAP 通信を暗号化する方法を指定します。

■ メールサーバ設定

項目					工場出荷時の設定値	説明
Web ページ	TELNET	Configuration Tool/ Network Setting プラグイン	NIC 設定ツール			
			(Windows)	(Mac OS X)		
SMTP サーバ	SMTP Server Name	-	-	-	(なし)	SMTP サーバ名を指定します。ドメイン名または IP アドレスを入力します。 ドメイン名を入力する場合は、必ず DNS 設定をしてください。
SMTP ポート番号	SMTP Port Number	-	-	-	25	SMTP ポート番号を指定します。
SMTP 送信暗号化方式	SMTP Encryption Algorithm	-	-	-	None	SMTP（E メール）送信プロトコルの暗号化方法を指定します。
POP3 サーバ	POP Server	-	-	-	(なし)	POP サーバ名を指定します。ドメイン名または IP アドレスを入力します。 ドメイン名を入力する場合は、必ず DNS 設定をしてください。
POP3 ポート番号	POP Port Number	-	-	-	110	POP サーバにアクセスするためのポート番号を指定します。
POP 暗号化方式	POP Encryption Algorithm	-	-	-	None	POP 通信を暗号化する方法を指定します。
認証方法	SMTP-Auth Method	-	-	-	None	SMTP 認証方式を指定します。
SMTP ユーザ ID	SMTP Server User ID	-	-	-	(なし)	SMTP 認証用のユーザ ID を設定します。
SMTP パスワード	SMTP Server Password	-	-	-	(なし)	SMTP 認証用のパスワードを設定します。
POP ユーザ ID	POP Server UserID	-	-	-	(なし)	POP サーバにアクセスするためのユーザ ID を設定します。
POP パスワード	POP Server Password	-	-	-	(なし)	POP サーバにアクセスするためのパスワードを設定します。
APOP サポート	Use APOP	-	-	-	無効	APOP を使用するかどうかを指定します。

■ セキュリティ

項目					工場出荷時の設定値	説明
Web ページ	TELNET	Configuration Tool/ Network Setting プラグイン	NIC 設定ツール (Windows)	NIC 設定ツール (Mac OS X)		
-	TCP/IP	-	-	-	有効	TCP/IP を使用するかどうかを指定します。
NetBEUI	NetBEUI	-	-	-	無効	NetBEUI を使用するかどうかを指定します。
NetBIOS over TCP	NetBIOS over TCP	-	-	-	有効	NetBIOS over TCP を使用するかどうかを指定します。
NetWare	NetWare	-	-	-	無効	NetWare を使用するかどうかを指定します。
EtherTalk	EtherTalk	-	-	-	無効	EtherTalk を使用するかどうかを指定します。
Web（ポート番号：80）	WEB(DefaultPort80)	デバイス設定（Web）- 有効	プリンタ設定（Web）	Web 設定	有効	Web ページを使用して本機にアクセスするかどうかを指定します。
Web	WEB(IPP)	-	-	-	80	本機の Web ページにアクセスするためのポート番号を指定します。
IPP（ポート番号：631）	IPP（DefaultPort 631）	-	-	-	無効	IPP を使用するかどうかを指定します。
Telnet	Telnet	-	-	-	無効	Telnet を使用して本機にアクセスするかどうかを指定します。
FTP	FTP	-	-	-	無効	FTP を使用して本機にアクセスするかどうかを指定します。
SNMP	SNMP	-	-	-	有効	SNMP を使用して本機にアクセスするかどうかを指定します。
POP	POP3（E-Mail）	-	-	-	無効	POP3 を使用するかどうかを指定します。
POP	POP	-	-	-	110	POP3 のポート番号を指定します。
SNTP	SNTP	-	-	-	無効	SNTP を使用するかどうかを指定します。
Local Ports	Local Ports	-	-	-	有効	固有のプロトコルを使用するかどうかを指定します。
-	SMTP(E-Mail)	-	-	-	有効	SMTP 送信を使用するかどうかを指定します。
SMTP 送信	SMTP Send	-	-	-	25	SMTP 送信のポート番号を指定します。
SMTP 受信	SMTP Receive	-	-	-	25	SMTP 受信のポート番号を指定します。
ネットワークパスワード変更	Password	パスワード変更	パスワード変更	パスワード変更	（MAC アドレス下 6 桁）	新しい管理者パスワードを半角 15 文字以内で設定します。パスワードは大文字 / 小文字が区別されます。このパスワードはユーティリティから設定を変更するときにのみ使用します。本機で設定された管理者パスワードは、この項目からは変更できません。

■ IP フィルタリング

項目					工場出荷時の設定値	説明
Web ページ	TELNET	Configuration Tool/ Network Setting プラグイン	NIC 設定ツール			
			(Windows)	(Mac OS X)		
IP フィルタリング	IP Filtering	-	-	-	無効	IP フィルタリングを使用するかどうかを指定します。IP フィルタリングを有効にする場合は、必ずこのカテゴリの以下の設定を行ってください。設定を行わないと、TCP/IP 経由で本機にアクセスすることはできません。
開始アドレス 1 ～ 10	Start Address #1-10	-	-	-	0.0.0.0	本機へのアクセスが許可される IP アドレスを指定します。個々のアドレスまたはアドレス範囲を指定することができます。
終了アドレス 1 ～ 10	End Address #1-10	-	-	-	0.0.0.0	
印刷 1 ～ 10	IP Address Range #1-10 Print	-	-	-	無効	指定された IP アドレスから印刷ジョブを許可するかどうかを指定します。
設定 1 ～ 10	IP Address Range #1-10 Configuration	-	-	-	無効	指定された IP アドレスからの設定変更を許可するかどうかを指定します。
登録する管理者の IP アドレス	Admin IP Address	-	-	-	0.0.0.0	管理者 IP アドレスを自動的に指定します。このアドレスだけが常に本機にアクセスできます。 管理者がプロキシサーバ経由で本機にアクセスする場合、プロキシサーバ経由のすべてのアクセスが許可されます。

■ MAC アドレスフィルタリング

項目					工場出荷時の設定値	説明
Web ページ	TELNET	Configuration Tool/ Network Setting プラグイン	NIC 設定ツール			
			(Windows)	(Mac OS X)		
MAC アドレスフィルタリング	MAC Address Filtering	-	-	-	無効	MAC アドレスフィルタリングを使用するかどうかを指定します。この機能は MAC アドレスからのアクセスを制御するのに使用します。MAC アドレスフィルタリングを有効にする場合は、必ずこのカテゴリの以下の設定を行ってください。設定を行わないと、ネットワーク経由で本機にアクセスすることはできません。
以下の MAC アドレスからの通信を	MAC Address Access	-	-	-	許可	指定した MAC アドレスからのアクセスを許可するか拒否するかを指定します。
MAC アドレス 1 ～ 50	MAC Address #1-50	-	-	-	00:00:00:00:00:00	フィルタリングの適用対象となる MAC アドレスを指定します。
登録する管理者の MAC アドレス	Admin MAC Address	-	-	-	00:00:00:00:00:00	管理者 MAC アドレスを自動的に指定します。このアドレスだけが常に本機にアクセスできます。 管理者がプロキシサーバ経由で本機にアクセスする場合、プロキシサーバ経由のすべてのアクセスが許可されます。

■ 暗号化（SSL/TLS）

項目					工場出荷時の設定値	説明
Web ページ	TELNET	Configuration Tool/ Network Setting プラグイン	NIC 設定ツール (Windows)	NIC 設定ツール (Mac OS X)		
HTTP/IPP	HTTP/IPP	-	-	-	無効	HTTP/IPP 通信を暗号化するかどうかを指定します。
HTTP/IPP 暗号化強度	HTTP/IPP Cipher Strength	-	-	-	標準	HTTP/IPP 通信の暗号化強度を指定します。
FTP 受信	FTP Receive	-	-	-	無効	FTP 経由の受信を暗号化するかどうかを指定します。
FTP 受信暗号化強度	FTP Receive Cipher Strength	-	-	-	標準	FTP 経由の受信の暗号化強度を指定します。
SMTP 受信	SMTP Receive	-	-	-	無効	SMTP 経由の受信を暗号化するかどうかを指定します。
SMTP 受信暗号化強度	SMTP Receive Cipher Strength	-	-	-	標準	SMTP 経由の受信の暗号化強度を指定します。
作成する証明書の種類を選択します	-	-	-	-	自身で署名した証明書を使用する	自己署名証明書を作成します。また、認証局へ送付する CSR を作成し、認証局が発行する証明書をインストールします。
Common Name	-	-	-	-	(本機の IP アドレス)	自己署名証明書の作成時には、本機の IP アドレスが指定されます。
Organization	-	-	-	-	(なし)	ユーザが所属する組織の正式名称を半角 64 文字以内で指定します。
Organizational Unit	-	-	-	-	(なし)	ユーザが所属するサブグループ（支店など）の名称を半角 64 文字以内で指定します。
Locality	-	-	-	-	(なし)	ユーザが所在する地域名を半角 128 文字以内で指定します。
State/ Province	-	-	-	-	(なし)	ユーザが所在する州や都道府県名を半角 128 文字以内で指定します。
Country/ Region	-	-	-	-	(なし)	国コードまたは地域コードを半角 2 文字で指定します。
鍵交換方式	-	-	-	-	RSA	暗号化通信用の鍵の方式を指定します。
鍵サイズ	-	-	-	-	1024bit	暗号化通信用の鍵のサイズを指定します。

■ IPSec

項目					工場出荷時の設定値	説明
Web ページ	TELNET	Configuration Tool/ Network Setting プラグイン	NIC 設定ツール (Windows)	NIC 設定ツール (Mac OS X)		
IPSec	IPSec	-	-	-	無効	IPSec を使用するかどうかを指定します。
IP アドレス 1 ～ 50	-	-	-	-	0.0.0.0	IPSec で通信を許可するホストを指定します。
IKE 暗号化アルゴリズム	-	-	-	-	3DES-CBC	IKE の暗号化方式を指定します。
IKE ハッシュアルゴリズム	-	-	-	-	SHA-1	IKE のハッシュ方式を指定します。

項目					工場出荷時の設定値	説明
Web ページ	TELNET	Configuration Tool/ Network Setting プラグイン	NIC 設定ツール (Windows)	NIC 設定ツール (Mac OS X)		
Diffie-Hellman グループ	-	-	-	-	Group2	「Phase 1 Proposal」で使用される Diffie - Hellman グループを指定します。
ライフタイム	-	-	-	-	28800（秒）	「ISAKMP SA」のライフタイムを指定します。
事前共有キー	-	-	-	-	（なし）	事前共有キーを指定します。
Key PFS	-	-	-	-	NOPFS	Key PFS（Perfect Forward Secrecy）を使用するかどうかを指定します。
Key PFS 有効時の Diffie - Hellman グループ	-	-	-	-	None	Key PFS に使用される Diffie -Hellman グループを指定します。
ESP	-	-	-	-	有効	ESP（Encapsulating Security Payload）を使用するかどうかを指定します。
ESP 暗号化アルゴリズム	-	-	-	-	3DES-CBC	ESP 用の暗号化アルゴリズムを指定します。
ESP 認証アルゴリズム	-	-	-	-	SHA-1	ESP 用の認証アルゴリズムを指定します。
AH	-	-	-	-	有効	AH（Authentication Header）を使用するかどうかを指定します。
AH 認証アルゴリズム	-	-	-	-	SHA-1	AH 用の認証アルゴリズムを指定します。
ライフタイム	-	-	-	-	3600（秒）	「IPSec SA」のライフタイムを指定します。

■ メンテナンス

項目					工場出荷時の設定値	説明
Web ページ	TELNET	Configuration Tool/ Network Setting プラグイン	NIC 設定ツール (Windows)	NIC 設定ツール (Mac OS X)		
ネットワークの再起動	Reset Network Card	-	-	-	無効	ネットワークカードを再起動する場合に使用します。
ネットワークの初期化	Restore Network Card to Factory Default	-	-	-	無効	ネットワーク設定を工場出荷時の設定に戻す場合に使用します。
ネットワークの規模	LAN Scale Setting	-	-	-	普通	工場出荷時の設定値を使用してください。数台のコンピュータが接続されている小規模な LAN を使用する場合に限り、［**小規模**］を推奨します。
ネットワーク PS- プロトコル	-	-	-	-	RAW	ネットワーク経由の PostScript データの通信プロトコルを指定します。
ヘキサダンプ	HEX Dump Mode	-	-	-	NO	受信した印刷データを 16 進数で表示するかどうかを指定します。 本機を再起動すると、このモードは無効になります。
ハブとの接続	HUB Link Setting	-	-	-	自動	ハブと本機との間の通信速度および通信方法を指定します。

■ 時刻設定（SNTP 設定）

項目					工場出荷時の設定値	説明
Web ページ	TELNET	Configuration Tool/ Network Setting プラグイン	NIC 設定ツール (Windows)	NIC 設定ツール (Mac OS X)		
時刻設定	-	-	-	-	手動	日付と時刻を設定する方法（手動または自動）を設定します。
SNTP サーバ（プライマリ）	NTP Server (Pri.)	-	-	-	（なし）	現在時刻を取得するためのプライマリ SNTP サーバの IP アドレスを指定します。
SNTP サーバ（セカンダリ）	NTP Server (Sec.)	-	-	-	（なし）	現在時刻を取得するためのセカンダリ SNTP サーバの IP アドレスを指定します。
タイムゾーン	Local Time Zone	-	-	-	-12:00	GMT と現地時間の時間差を指定します。

■ Web 印刷

項目					工場出荷時の設定値	説明
Web ページ	TELNET	Configuration Tool/ Network Setting プラグイン	NIC 設定ツール (Windows)	NIC 設定ツール (Mac OS X)		
給紙トレイ	-	-	-	-	トレイ 1	印刷ジョブに使用するトレイを指定します。
印刷部数	-	-	-	-	1	印刷部数を指定します。
部単位印刷	-	-	-	-	有効	出力を順にそろえるかどうかを指定します。
用紙サイズに合わせる	-	-	-	-	有効	原稿サイズを用紙サイズに合わせるかどうかを指定します。
両面印刷	-	-	-	-	なし	両面印刷を行うときにとじるかどうか、およびとじ方を指定します。
印刷ページ指定	-	-	-	-	無効	印刷するページを指定します。
PDF パスワード	-	-	-	-	無効	暗号化された PDF ファイルを印刷する場合に、この項目を選択して、必要なパスワードを入力します。

■ Web ページからネットワーク設定を変更する

この節では、本機の Web ページからネットワーク設定を変更する方法について説明します。

本機の Web ページにアクセスするには、ご使用のコンピュータが次の条件を満たしている必要があります。

- TCP/IP が有効になっている。
- Microsoft Internet Explorer 6.0 以降、Safari 3.0 以降、または Firefox 3.0 以降のいずれかがインストールされている。

メモ

- Web ブラウザのセキュリティ設定が中レベルに設定されているか、あるいはクッキーが許可されていることを確認してください。
- ［**管理者設定**］メニューに入るには、管理者としてログインする必要があります。工場出荷時の管理者パスワードは「aaaaaa」です。

参照

- 次の設定のいくつかは、ほかのユーティリティでも実行できます。詳しくは、「ネットワーク設定項目」（P. 139）を参照してください。

SSL/TLS で通信を暗号化する

コンピュータと本機との間の通信を暗号化することができます。以下の場合に、通信が SSL/TLS で暗号化されます。

- 本機の設定を Web ページから変更
- IPP 印刷
- ダイレクト印刷
- LDAP 検索
- データを SMTP 経由 /FTP 経由で送信
- 受信したデータを SMTP 経由 /FTP 経由で印刷

証明書を作成する

Web ページで証明書を作成することができます。以下の 2 つの証明書を使用できます。

- 自己署名証明書
- 認証局発行証明書

注

- 証明書の作成後に本機の IP アドレスを変更すると、証明書は無効になります。証明書の作成後に本機の IP アドレスを変更しないでください。

1. 本機の Web ページにアクセスし、管理者としてログインします。
2. ［**管理者設定**］を選択します。
3. ［**ネットワーク管理**］>［**セキュリティ**］>［**暗号化（SSL/TLS）**］を選択します。
4. 画面の指示に従って、詳細な設定を行います。

   メモ

   - 本機の IP アドレスは、［**Common Name**］に設定されます。
5. ［**送信**］をクリックします。
6. 設定を確認し、［**OK**］をクリックします。
7. 自己署名証明書の場合は、画面の指示に従って Web ページを閉じます。「暗号化を有効にする」に進みます。
   認証局により発行される証明書を取得する場合は、手順 8 に進みます。
8. 画面の指示に従って、CSR を認証局に送信します。
9. ［**OK**］をクリックします。
10. 画面の指示に従って、認証局からの証明書をインストールします。
11. ［**送信**］をクリックします。
12. 「暗号化を有効にする」に進みます。

暗号化を有効にする

証明書を作成したら、次の手順を実行して暗号化を有効にします。

暗号化を有効にすると、Web ページから設定を変更した直後の通信から暗号化されます。

1. 「証明書を作成する」の手順 1 ～ 3 を実行して、暗号化画面に入ります。
2. 暗号化を適用したいプロトコルに対して［**有効**］を選択します。
3. ［**暗号化強度の設定**］をクリックします。
4. 暗号化強度を選択し、［**OK**］をクリックします。
5. ［**送信**］をクリックします。

Web ページを開く

メモ

- 必ず、「暗号化を有効にする」（P. 157）で、暗号化を適用するプロトコルを有効化してください。

1 Web ブラウザを起動します。

2 アドレスバーに「https:// 本機の IP アドレス」を入力し、<**Enter**> キーを押します。

IPP 印刷

IPP 印刷により、印刷ジョブのデータをインターネット経由で本機に送信することができます。

■ IPP 印刷を有効にする

IPP 印刷は、工場出荷時の設定では無効になっています。IPP 印刷を実行する場合は、先に IPP を有効にしてください。

1 本機の Web ページにアクセスし、管理者としてログインします。

2 ［**管理者設定**］を選択します。

3 ［**ネットワーク管理**］>［**IPP**］を選択します。

4 ［**有効**］を選択します。

5 ［**送信**］をクリックします。

■ 本機をIPPプリンタとしてセットアップする（Windows の場合）

本機を IPP プリンタとしてコンピュータに追加します。

1 ［**スタート**］をクリックし、［**デバイスとプリンター**］>［**プリンターの追加**］を選択します。

2 ［**プリンターの追加**］ウィザードで、［**ネットワーク、ワイヤレスまたは Bluetooth プリンターを追加します**］を選択します。

3 使用可能なプリンタの一覧で、［**探しているプリンターはこの一覧にはありません**］を選択します。

4 ［**共有プリンターを名前で選択する**］を選択します。

5 「http:// 本機の IP アドレス /ipp」または「http:// 本機の IP アドレス /ipp/lp」を入力し、［**次へ**］をクリックします。

6 ［**ディスク使用**］をクリックします。

7 「ソフトウェア CD-ROM」をコンピュータに挿入します。

8 次の値を［**製造元のファイルのコピー元**］に入力し、［**参照**］をクリックします。

- PCL ドライバの場合：「D:¥Drivers¥JPN¥PCL」
- PS ドライバの場合：「D:¥Drivers¥JPN¥PS」
- PCL XPS ドライバの場合：「D:¥Drivers¥JPN¥XPS」

メモ

- 上記の値は、CD-ROM ドライブが D ドライブに設定されている場合の例です。

9 INF ファイルを選択し、［**開く**］をクリックします。

10 ［**OK**］をクリックします。

11 モデルを選択し、［**OK**］をクリックします。

12 ［**次へ**］をクリックします。

13 ［**完了**］をクリックします。

14 インストールが終了したら、テストページを印刷します。

■ 本機をIPPプリンタとしてセットアップする（Mac OS X の場合）

本機を IPP プリンタとしてコンピュータに追加します。

1 「ソフトウェア CD-ROM」をコンピュータに挿入し、ドライバをインストールします。

参照

- 「ユーザーズマニュアル　基本編」

2 アップルメニューから［**システム環境設定**］を選択します。

3 ［**プリントとファクス**］をクリックします。

4 ［**+**］をクリックします。

5 ［**IP**］タブをクリックします。

6 ［**プロトコル**］で［**IPP (Internet Printing Protocol)**］を選択します。

7 ［**アドレス**］に本機の IP アドレスを入力します。

8 ［**キュー**］に「ipp/lp」を入力します。

9 ［**追加**］をクリックします。

10 ［**続ける**］をクリックします。

11 ［プリントとファクス］に本機が登録されたことを確認します。

■ IPP 印刷を実行する

メモ

- 次の手順では、メモ帳を例にしています。お使いのアプリケーションによって、記載と異なることがあります。

1 印刷したいファイルを開きます。

2 ［ファイル］メニューから［**印刷**］を選択します。

3 作成された IPP プリンタを［**プリンターの選択**］から選択し、［**印刷**］をクリックします。

IPSec で通信を暗号化する

コンピュータと本機との間の通信を暗号化することができます。

IPSec で通信が暗号化されます。IPSec が有効になっていると、IP プロトコルを使用したすべてのアプリケーションに暗号化が適用されます。

最大 50 のホストを、IP アドレスで指定することができます。登録されていないホストが本機へのアクセスを試みると拒否されます。また、登録されていないホストへのアクセスを試みた場合は無効になります。

コンピュータの設定をする前に、本機を設定してください。

メモ

- 事前共有キーをあらかじめ用意してください。

本機の設定をする

IPSec を有効にするには、先に Web ページを使って本機を設定する必要があります。

! 注

- IPSec を有効にすると、この手順で指定されていないホストとの通信は拒否されます。

メモ

- この手順で指定した値はメモを取って忘れないようにしてください。コンピュータで IPSec 設定を行うときに必要です。

1 本機の Web ページにアクセスし、管理者としてログインします。

2 ［**管理者設定**］を選択します。

3 ［**ネットワーク管理**］>［**セキュリティ**］>［**IPSec**］を選択します。

4 画面の指示に従って、詳細な設定を行います。

メモ

- 「Phase2 Proposal」の設定では、［**ESP**］または［**AH**］のいずれかを有効にする必要があります。

5 ［**送信**］をクリックします。

ネットワークカードが再起動して、新しい設定が有効になります。

! 注

- 指定したパラメータの不整合により IPSec をセットアップできなかった場合は、Web ページにアクセスできません。この場合は、本機の操作パネルから IPSec を無効にするか、ネットワーク設定を初期化してください。

コンピュータの設定をする

メモ

- コンピュータの設定をする前に、本機を設定してください。

1 ［**スタート**］をクリックし、［**コントロール パネル**］>［**システムとセキュリティ**］>［**管理ツール**］を選択します。

2 ［**ローカル セキュリティ ポリシー**］をダブルクリックします。

3 ［**ローカル セキュリティ ポリシー**］ウィンドウで、［**IP セキュリティ ポリシー （ローカル コンピューター）**］をクリックします。

4 ［**操作**］メニューから［**IP セキュリティ ポリシーの作成**］を選択します。

5 ［**IP セキュリティ ポリシー ウィザード**］で、［**次へ**］をクリックします。

6 ［**名前**］と［**説明**］を入力し、［**次へ**］をクリックします。

7 ［**既定の応答規則をアクティブにする （以前のバージョンの Windows のみ）**］のチェックを外し、［**次へ**］をクリックします。

8 ［**プロパティを編集する**］にチェックをつけ、［**完了**］をクリックします。

9 IP セキュリティポリシープロパティウィンドウで、［**全般**］タブを選択します。

10 ［**設定**］をクリックします。

11 ［**キー交換の設定**］ウィンドウで、［**新しいキーを認証して生成する間隔**］に値（分）を入力します。

! 注

- 「本機の設定をする」において「Phase1 Proposal」の設定で指定した［**ライフタイム**］と同じ値を指定します。［**ライフタイム**］は秒単位で指定しますが、この手順では分単位で値を入力してください。

12 ［**メソッド**］をクリックします。

13 ［**キー交換のセキュリティ メソッド**］ウィンドウで、［**追加**］をクリックします。

14 ［**整合性アルゴリズム**］、［**暗号化アルゴリズム**］、および［**Diffie-Hellman グループ**］を指定します。

注

● 「本機の設定をする」（P. 159）において「Phase1 Proposal」の設定時に［**IKE 暗号化アルゴリズム**］、［**IKE ハッシュアルゴリズム**］、および［**Diffie-Hellman グループ**］で指定した値と同じ値を選択してください。

15 ［**OK**］をクリックします。

16 ［**キー交換のセキュリティ メソッド**］ウィンドウで、［**OK**］をクリックします。

17 ［**キー交換の設定**］ウィンドウで、［**OK**］をクリックします。

18 IP セキュリティポリシープロパティウィンドウで、［**規則**］タブを選択します。

19 ［**追加**］をクリックします。

20 ［**セキュリティの規則ウィザード**］で、［**次へ**］をクリックします。

21 ［**トンネル エンドポイント**］画面で、［**この規則ではトンネルを指定しない**］を選択し、［**次へ**］をクリックします。

22 ［**ネットワークの種類**］画面で、［**すべてのネットワーク接続**］を選択し、［**次へ**］をクリックします。

23 ［**IP フィルター一覧**］画面で、［**追加**］をクリックします。

24 ［**IP フィルター一覧**］ウィンドウで、［**追加**］をクリックします。

25 ［**IP フィルター ウィザード**］で、［**次へ**］をクリックします。

26 ［**IP フィルターの説明とミラー化のプロパティ**］画面で、［**次へ**］をクリックします。

27 ［**IP トラフィックの発信元**］画面で、［**次へ**］をクリックします。

28 ［**IP トラフィックの宛先**］画面で、［**次へ**］をクリックします。

29 ［**IP プロトコルの種類**］画面で、［**次へ**］をクリックします。

30 ［**完了**］をクリックします。

31 ［**IP フィルター一覧**］ウィンドウで、［**OK**］をクリックします。

32 ［**セキュリティの規則ウィザード**］で、新しい IP フィルタをリストから選択し、［**次へ**］をクリックします。

33 ［**フィルター操作**］画面で、［**追加**］をクリックします。

34 ［**フィルター操作ウィザード**］で、［**次へ**］をクリックします。

35 ［**フィルター操作名**］画面で、［**名前**］と［**説明**］を入力し、［**次へ**］をクリックします。

36 ［**フィルター操作の全般オプション**］画面で、［**セキュリティのネゴシエート**］を選択し、［**次へ**］をクリックします。

37 ［**IPsec をサポートしないコンピューターと通信中**］画面で、［**セキュリティで保護されていない通信を許可しない**］を選択し、［**次へ**］をクリックします。

38 ［**IP トラフィック セキュリティ**］画面で、［**カスタム**］を選択し、［**設定**］をクリックします。

39 ［**カスタム セキュリティ メソッドの設定**］ウィンドウで設定をして、［**OK**］をクリックします。

注

● 「本機の設定をする」（P. 159）の「Phase2 Proposal」で行った設定と同じ内容になるように、AH または ESP の設定を行ってください。

40 ［**IP トラフィック セキュリティ**］画面で、［**次へ**］をクリックします。

41 ［**プロパティを編集する**］にチェックをつけ、［**完了**］をクリックします。

42 キー PFS を有効にしたい場合は、フィルタ操作プロパティウィンドウで、［**セッションキーの PFS (Perfect Forward Secrecy) を使う**］にチェックをつけます。

43 IPSec 通信を IPv6 グローバルアドレスで行う場合は、［**セキュリティで保護されていない通信を受け付けるが、常に IPsec を使って応答**］にチェックをつけます。

44 ［**OK**］をクリックします。

45 新しいフィルタ操作を選択し、［**次へ**］をクリックします。

46 ［**認証方法**］画面で、認証方法を選択し、［**次へ**］をクリックします。

47 ［**完了**］をクリックします。

48 IP セキュリティポリシープロパティウィンドウで、［**OK**］をクリックします。

49 ［**ローカル セキュリティ ポリシー**］ウィンドウで、新しい IP セキュリティポリシーを選択します。

50 ［**操作**］メニューから［**割り当て**］を選択します。

51 新しい IP セキュリティポリシーの［**ポリシーの割り当て**］が［**はい**］と表示されていることを確認します。

52 ［**ローカル セキュリティ ポリシー**］ウィンドウで、［**X**］をクリックします。

IP アドレスを使用してアクセスを制御する（IP フィルタリング）

IP アドレスを使用して、本機へのアクセスを制御することができます。指定された IP アドレスからからの設定または印刷を許可するかどうかを設定できます。工場出荷時の設定では、IP フィルタリングは無効になっています。

注

- 必ず正しい IP アドレスを指定してください。誤った IP アドレスを指定すると、IP プロトコルを使って本機にアクセスできなくなります。
- IP フィルタリングを有効にすると、この設定で指定されていないホストへのアクセスは拒否されます。

メモ

- IP フィルタリングには、IPv4 のみ使用できます。

1 本機の Web ページにアクセスし、管理者としてログインします。

2 ［**管理者設定**］を選択します。

3 ［**ネットワーク管理**］>［**セキュリティ**］>［**IP フィルタリング**］を選択します。

4 画面の指示に従って、詳細な設定を行います。

注

- ［**登録する管理者の IP アドレス**］に何も登録されていない場合、指定されている IP アドレス範囲によっては本機にアクセスできなくなることがあります。
- プロキシサーバを使用している場合は、［**あなたのホストの IP アドレス**］と使用中のホストの IP アドレスが一致しないことがあります。

5 ［**送信**］をクリックします。

ネットワークカードが再起動して、新しい設定が有効になります。

MAC アドレスを使用してアクセスを制御する（MAC アドレスフィルタリング）

MAC アドレスを使用して、本機へのアクセスを制限することができます。指定された MAC アドレスからのアクセスを許可したり、拒否したりすることができます。

注

- 必ず正しい MAC アドレスを指定してください。誤った MAC アドレスを指定すると、ネットワークから本機にアクセスできなくなります。

メモ

- 各アドレスに対して個別に、許可または拒否を指定することはできません。

1 本機の Web ページにアクセスし、管理者としてログインします。

2 ［**管理者設定**］を選択します。

3 ［**ネットワーク管理**］>［**セキュリティ**］>［**MAC アドレスフィルタリング**］を選択します。

4 画面の指示に従って、詳細な設定を行います。

注

- ［**登録する管理者の MAC アドレス**］に何も登録されていない場合、指定されている MAC アドレスによっては本機にアクセスできなくなることがあります。
- プロキシサーバを使用している場合は、［**あなたのホストの MAC アドレス**］と使用中のホストの MAC アドレスが一致しないことがあります。

5 ［**送信**］をクリックします。

ネットワークカードが再起動して、新しい設定が有効になります。

メールによるエラー通知（E メールアラート）

エラーが発生したときにエラー通知メールを送信するように本機を設定できます。通知のタイミングを次のように設定できます。

- 定期的
- エラー発生時のみ

本機の設定をする

Web ページを使用して、E メールアラートの設定を行うことができます。

メモ

- 「ユーザーズマニュアル　基本編」に記載された、スキャン To メール・インターネットファクスのための本機の設定を行った場合は、サーバ設定が完了しています。
- ［**SMTP サーバ**］でドメイン名を指定する場合は、［**TCP/IP**］設定において DNS サーバを設定してください。
- 本機がメールを送信できるように、メールサーバを設定する必要があります。メールサーバの設定については、ネットワーク管理者にお問い合わせください。
- Internet Explorer 7 をお使いの場合は、テストメールを送信する前に下記の設定を行ってください。ブラウザの［**ツール**］>［**インターネット オプション**］を選択し、［**セキュリティ**］タブで［**レベルのカスタマイズ**］をクリックします。［**スクリプト化されたウィンドウを使って情報の入力を求めることを Web サイトに許可する**］で［**有効にする**］を選択してください。

1. 本機の Web ページにアクセスし、管理者としてログインします。
2. ［**管理者設定**］を選択します。
3. ［**ネットワーク管理**］>［**E メール**］>［**送信設定**］を選択します。
4. 画面の指示に従って、詳細な設定を行います。
5. ［**SMTP プロトコルのさらに詳細な設定を行うことができます。**］を選択します。
6. 必要に応じて、［**セキュリティ設定**］、［**付加情報設定**］、および［**その他**］を設定できます。
7. ［**送信**］をクリックします。
   ネットワークカードが再起動して、新しい設定が有効になります。

定期的なアラート

1. 本機の Web ページにアクセスし、管理者としてログインします。
2. ［**管理者設定**］を選択します。
3. ［**ネットワーク管理**］>［**E メール**］>［**アラート設定**］を選択します。
4. 通知を受信する E メールアドレスを入力します。
5. 指定したアドレスの［**設定**］をクリックします。
   通知条件を別のアドレスに適用したい場合は、［**コピー**］をクリックします。
6. 画面の指示に従って、詳細な設定を行います。
7. ［OK］をクリックします。
8. ［**現在の設定一覧参照**］をクリックして現在の設定を確認し［X］をクリックしてウィンドウを閉じます。
   メインウィンドウで、最大 2 つのアドレスの現在の設定を確認することもできます。確認したいアドレスをリストボックスから選択します。
9. ［**送信**］をクリックします。
   ネットワークカードが再起動して、新しい設定が有効になります。

メモ

- 通知対象のエラーが発生しなかった場合、通知メールは送信されません。

エラー発生時の通知

1. 「定期的なアラート」の手順 1 ～ 6 を実行します。
   通知を必要とするエラーや警告にチェックをつけると、エラーの発生と通知の送信の時間差を指定するウィンドウが表示されます。
2. エラー通知送信の時間を指定し、［OK］をクリックします。
   長い時間を指定すると、エラーが発生し続けているもののみ通知されます。
3. ［OK］をクリックします。
4. ［**現在の設定一覧参照**］をクリックして現在の設定を確認し［X］をクリックしてウィンドウを閉じます。
   メインウィンドウで、最大 2 つのアドレスの現在の設定を確認することもできます。確認したいアドレスをリストボックスから選択します。
5. ［**送信**］をクリックします。
   ネットワークカードが再起動して、新しい設定を有効にします。

SNMPv3 を使用する

SNMPv3 に対応した SNMP マネージャを使うと、本機の管理を SNMP で暗号化できます。

1 本機の Web ページにアクセスし、管理者としてログインします。

2 ［**管理者設定**］を選択します。

3 ［**ネットワーク管理**］>［**SNMP**］>［**設定**］を選択します。

4 画面の指示に従って、詳細な設定を行います。

5 ［**送信**］をクリックします。

ネットワークカードが再起動して、新しい設定が有効になります。

メモ

- 本機は、SNMP エージェントを実装しています。市販されている SNMP エージェントで、本機の設定値を確認、変更することができます。本機の MIB については、「ソフトウェア CD-ROM」を参照し、［**Misc**］>［**MIB**］フォルダの「README」ファイルを確認してください。

IPv6 を使用する

本機は IPv6 に対応しています。本機は IPv6 アドレスを自動的に取得します。IPv6 アドレスを手動で設定することはできません。

本機は次のプロトコルに対応しています。

- 印刷：
  - LPR
  - IPP
  - RAW（Port9100）
  - FTP
- 設定：
  - HTTP
  - SNMPv1/v3
  - Telnet

特定の条件下で動作を確認済みのアプリケーションは、以下のとおりです。

プロトコル	OS	アプリケーション	条件
LPD	● Windows 7 ● Windows Vista ● Windows XP	LPR（コマンドプロンプト）	*1, 2, 3
Port9100	● Windows 7 ● Windows Vista	LPRng	*1, 2, 3
FTP	● Windows 7 ● Windows Vista ● Windows XP	FTP（コマンドプロンプト）	*1, 2, 3
	● Mac OS X	FTP（ターミナル）	*1, 2, 3
HTTP	● Windows XP	Internet Explorer 6.0	*1, 2, 3
	● Mac OS X	Safari（2.0-v412.2）	*1, 2, 3, 4
Telnet	● Windows 7 ● Windows Vista ● Windows XP	Telnet （コマンドプロンプト）	*1, 2, 3
	● Mac OS X	Telnet（ターミナル）	*1, 2, 3

*1）ホスト名を指定するには、host ファイルを編集するか、DNS サーバ経由でアクセスします。
*2）Telnet で IPv6 のみを有効にした場合は、DNS サーバでホスト名を指定することはできません。
*3）リンクローカルアドレスを使用してアクセスする場合は、ホスト名を指定できません。
*4）IPv6 アドレスを角括弧で囲んで入力します。

注

- Windows XP で IPv6 を使用する場合は、IPv6 をインストールしてください。

IPv6 を有効にする

1 本機の Web ページにアクセスし、管理者としてログインします。

2 ［**管理者設定**］を選択します。

3 ［**ネットワーク管理**］>［**TCP/IP**］を選択します。

4 ［**IPv6**］の［**有効**］を選択します。

5 ［**送信**］をクリックします。

ネットワークカードが再起動して、新しい設定が有効になります。

IPv6 アドレスを確認する

IPv6 アドレスは、自動的に割り当てられます。

1 ［**装置情報**］を選択します。

2 ［**ネットワーク**］＞［**TCP/IP**］を選択します。

メモ

- グローバルアドレスがすべて「0」で表示されている場合は、お使いのルータに起因するエラーの可能性があります。

参照

- ＜**設定**＞キーを押し、［**レポート印刷**］＞［**装置情報**］＞［**ネットワーク情報**］を選択すると、本機からのネットワークレポートでIPv6 アドレスを確認することができます。レポートと、レポートを印刷する方法については、「レポートを印刷する」（P. 72）を参照してください。

IEEE802.1X を使用する

本機は、IEEE802.1X 認証に対応しています。

次の手順を実行する前に、本機とコンピュータをセットアップしてください。

参照

- 初期セットアップおよび IP アドレスについては、「ユーザーズマニュアル　基本編」を参照してください。

本機で IEEE802.1X の設定をする

■ PEAP を使用する

1 本機の Web ページにアクセスし、管理者としてログインします。

2 ［**管理者設定**］を選択します。

3 ［**ネットワーク管理**］＞［**IEEE802.1X**］を選択します。

4 ［**IEEE802.1X**］で［**有効**］を選択します。

5 ［**EAP タイプ**］で［**PEAP**］を選択します。

6 ［**EAP ユーザ**］にユーザ名を入力します。

7 ［**EAP パスワード**］にパスワードを入力します。

8 ［**サーバを認証する**］を選択し、［**インポート**］をクリックします。

9 CA 証明書のファイル名を入力し、［**OK**］をクリックします。
RADIUS サーバが取得する認証局発行の証明書を指定します。PEM、DER、および PKCS#7 ファイルをインポートできます。

10 ［**送信**］をクリックします。
ネットワークカードが再起動して、新しい設定が有効になります。

11 本機がオンライン状態になったら、本機の電源を切ります。

12 「本機を認証スイッチに接続する」（P. 165）に進みます。

■ EAP-TLS を使用する

1 本機の Web ページにアクセスし、管理者としてログインします。

2 ［**管理者設定**］を選択します。

3 ［**ネットワーク管理**］＞［**IEEE802.1X**］を選択します。

4 ［**IEEE802.1X**］で［**有効**］を選択します。

5 ［**EAP タイプ**］の［**EAP-TLS**］を選択します。

6 ［**EAP ユーザ**］にユーザ名を入力します。

7 ［**SSL/TLS の証明書を EAP 認証に使用しない**］を選択し、［**インポート**］をクリックします。

8 証明書のファイル名を入力します。
PKCS#12 ファイルのみインポートできます。

9 証明書のパスワードを入力し、［**OK**］をクリックします。

10 ［**サーバを認証する**］を選択し、［**インポート**］をクリックします。

11 CA 証明書のファイル名を入力し、［**OK**］をクリックします。
RADIUS サーバが取得する認証局発行の証明書を指定します。PEM、DER、および PKCS#7 ファイルをインポートできます。

12 ［**送信**］をクリックします。
ネットワークカードが再起動して、新しい設定が有効になります。

13 本機がオンライン状態になったら、本機の電源を切ります。

14 「本機を認証スイッチに接続する」（P. 165）に進みます。

本機を認証スイッチに接続する

1 本機の電源が切れていることを確認してください。

2 イーサネットケーブルをネットワークインタフェースコネクタに接続します。

3 イーサネットケーブルを認証スイッチの認証ポートに接続します。

4 電源を入れます。

5 本機をセットアップします。

参照

- 初期セットアップについては、「ユーザーズマニュアル　基本編」を参照してください。

LDAP サーバ設定をする

参照

- LDAP サーバ、暗号化設定については、ネットワーク管理者にお問い合わせください。

1 本機の Web ページにアクセスし、管理者としてログインします。

2 ［**管理者設定**］を選択します。

3 ［**ネットワーク管理**］>［**LDAP サーバ設定**］を選択します。

4 ［**LDAP サーバ**］に LDAP サーバのドメイン名または IP アドレスを入力します。

5 ［**ポート番号**］に LDAP サーバのポート番号を入力します。

6 ［**タイムアウト**］に、検索結果を待つためのタイムアウト値を指定します。

7 ［**最大エントリ数**］に、検索結果の最大登録件数を指定します。

8 ［**DN 名**］に、LDAP サーバにアクセスするための BaseDN を指定します。

9 ［**ユーザ名**］にユーザ名として検索する属性名を入力します。

［**名前 1**］には必ず入力してください。

10 ［**メールアドレス**］に検索する E メールアドレスを入力します。

11 必要に応じて、［**追加フィルタ**］で検索条件を指定します。

12 ［**方法**］に、必要な認証方法を選択します。

注

- ［**Anonymous**］または［**Simple**］を選択すると、LDAP によるユーザ認証が失敗します。LDAP サーバをユーザ認証用に設定する場合は、［**Digest-MD5**］または［**Secure Protocol**］を選択する必要があります。

メモ

- ［**Digest-MD5**］を選択した場合は、DNS サーバの設定をする必要があります。
- ［**Secure Protocol**］を選択した場合は、DNS サーバおよびセキュアプロトコルサーバの設定をする必要があります。

13 手順 12 で［**Anonymous**］以外を選択した場合は、LDAP サーバにログインするためのユーザ ID とパスワードを指定します。

14 ［**暗号化**］で暗号化方式を選択します。

15 ［**送信**］をクリックします。

ネットワークカードが再起動して、新しい設定が有効になります。

セキュアプロトコル設定をする

LDAP サーバにアクセスするときに、ケルベロスサーバによる認証を使用することができます。セキュアプロトコルを使用するには、SNTP サーバおよび DNS サーバの設定を完了する必要があります。

1 本機の Web ページにアクセスし、管理者としてログインします。

2 ［**管理者設定**］を選択します。

3 ［**ネットワーク管理**］>［**セキュアプロトコルサーバ設定**］を選択します。

4 ［**ドメイン名**］にレルム名を入力します。

5 ［**送信**］をクリックします。

ネットワークカードが再起動して、新しい設定が有効になります。

プリンタドライバなしで印刷する（ダイレクト印刷）

PDF ファイルを印刷する

プリンタドライバをインストールしなくても PDF ファイルを印刷できます。Web ページで印刷したいファイルを指定して本機に送信します。

メモ
- PDF ファイルによっては、増設メモリが必要な場合があります。
- PDF ファイルによっては、正しく印刷されない場合があります。正しく印刷されない場合は、Adobe Reader でファイルを開いて印刷してください。

1 本機の Web ページにアクセスします。
2 ［**ダイレクト印刷**］をクリックします。
3 ［**Web 印刷**］を選択します。
4 画面の指示に従って、詳細な設定を行います。
5 設定を確認し、［**OK**］をクリックします。
データが本機に送られ、印刷を開始します。

メールに添付されたファイルを印刷するようにサーバ設定をする

本機が受信したメールの添付ファイルを印刷できます。

メモ
- 最大 10 個のファイルを印刷できます。ただし、各ファイルの上限サイズは 8 MB です。
- PDF、JPEG、および TIFF ファイルを印刷できます。
- PDF ファイルによっては、増設メモリが必要な場合があります。
- PDF ファイルによっては、正しく印刷されない場合があります。正しく印刷されない場合は、Adobe Reader でファイルを開いて印刷してください。

■ POP の設定をする

1 本機の Web ページにアクセスし、管理者としてログインします。
2 ［**管理者設定**］を選択します。
3 ［**ネットワーク管理**］>［**E メール**］>［**受信設定**］を選択します。
4 ［**POP3**］を選択し、［**ステップ 2 へ**］をクリックします。
5 画面の指示に従って、詳細な設定を行います。

メモ
- お使いのメールサーバ用に正しい設定をしてください。お使いのメールサーバが APOP プロトコルに対応していない場合に APOP を有効にすると、メールが正しく受信されないことがあります。
- メールサーバのドメイン名を指定する場合は、［**TCP/IP**］設定で DNS サーバを設定してください。

6 ［**送信**］をクリックします。

メモ
- POP サーバが SSL 暗号化に対応していない場合は、メールが正しく受信されないことがあります。

■ SMTP の設定をする

1 本機の Web ページにアクセスし、管理者としてログインします。
2 ［**管理者設定**］を選択します。
3 ［**ネットワーク管理**］>［**E メール**］>［**受信設定**］を選択します。
4 ［**SMTP**］を選択し、［**ステップ 2 へ**］をクリックします。
5 画面の指示に従って、詳細な設定を行います。
6 ［**送信**］をクリックします。

EtherTalk の設定を変更する（Mac OS X のみ）

注
- EtherTalk は Mac OS X 10.6 では使用できません。

EtherTalk マシン名を変更する

1 本機の Web ページにアクセスし、管理者としてログインします。
2 ［**管理者設定**］を選択します。
3 ［**ネットワーク管理**］>［**EtherTalk**］を選択します。
4 ［**プリンタ名**］に新しい名前を入力します。
5 ［**送信**］をクリックします。

EtherTalkゾーンを変更する

1. 本機のWebページにアクセスし、管理者としてログインします。
2. ［**管理者設定**］を選択します。
3. ［**ネットワーク管理**］>［**EtherTalk**］を選択します。
4. ［**ゾーン名**］に新しいゾーン名を入力します。
5. ［**送信**］をクリックします。

! 注

- 必ず同じセグメント内のゾーンを指定してください。

その他の操作

この節では、ネットワーク設定を初期化する方法と、DHCP を使用するように本機およびコンピュータをセットアップする方法について説明します。

ネットワーク設定を初期化する

注
- この操作を行うと、すべてのネットワーク設定が初期化されます。

1 ＜**設定**＞キーを押します。
2 ▼を押して［**管理者設定**］を選択し、OKを押します。
3 管理者パスワードを入力します。
4 ［**決定**］を選択し、OKを押します。
5 ▼を押して［**ネットワーク管理**］を選択し、OKを押します。
6 ［**ネットワーク設定**］が選択されていることを確認し、OKを押します。
7 ▼を押して［**出荷時設定に戻す**］を選択し、OKを押します。
8 ［**実行**］が選択されていることを確認し、OKを押します。
9 確認画面で◀または▶を押して［**はい**］を選択し、OKを押します。
ネットワークカードが再起動して、設定が初期化されます。

DHCP を使用する

DHCP サーバから IP アドレスを取得できます。

注
- 管理者の権限が必要です。
- 誤った IP アドレスを入力すると、ネットワークシステムがダウンすることがあります。

メモ
- BOOTP サーバから IP アドレスを取得することもできます。

DHCP サーバの設定をする

DHCP は、TCP/IP ネットワーク上の各ホストに IP アドレスを割り当てます。

注
- ネットワーク経由で印刷したい場合は、本機が固定 IP アドレスを持っている必要があります。固定 IP アドレスを割り当てる方法については、お使いの DHCP サーバのマニュアルを参照してください。

メモ
- 以下の OS に対応しています。
  - Windows Server 2008 R2/Windows Server 2008/Windows Server 2003
- 次の手順では、Windows Server 2008 R2 を例にしています。お使いの OS によって、記載と異なることがあります。

1 ［**スタート**］をクリックし、［**管理ツール**］＞［**サーバー マネージャー**］を選択します。
［**管理ツール**］に［**DHCP**］がすでに表示されている場合は、手順 8 に進みます。
2 ［**役割の概要**］で［**役割の追加**］を選択します。
3 ［**役割の追加ウィザード**］で、［**次へ**］をクリックします。
4 ［**DHCP サーバー**］にチェックをつけ、［**次へ**］をクリックします。
5 必要に応じて、画面の指示に従って設定をします。
6 ［**インストール オプションの確認**］画面で、設定を確認し、［**インストール**］をクリックします。
7 インストールが終了したら、［**閉じる**］をクリックします。
8 ［**スタート**］をクリックし、［**管理ツール**］＞［**DHCP**］を選択して［**DHCP**］ウィザードを起動します。
9 DHCP リストで、使用するサーバを選択します。
10 ［**操作**］メニューから［**新しいスコープ**］を選択します。

11 ［**新しいスコープ ウィザード**］で、必要に応じて画面の指示に従って設定をします。

メモ

- 必ずデフォルトゲートウェイの設定をしてください。
- ［**スコープのアクティブ化**］画面で、［**今すぐアクティブにする**］を選択します。

12 ［**完了**］をクリックします。

13 DHCP リストから新しいスコープを選択し、［**予約**］を選択します。

14 ［**操作**］メニューから［**新しい予約**］を選択します。

15 設定をします。

16 ［**追加**］をクリックします。

17 ［**閉じる**］をクリックします。

18 ［**ファイル**］メニューから［**終了**］を選択します。

本機の設定

本機を DHCP/BOOTP 使用の設定にする方法について説明します。

なお、工場出荷時の設定では、DHCP/BOOTP プロトコルが有効になっていますので、この手順を実行する必要はありません。

メモ

- 次の手順では、NIC 設定ツールを例にしています。お使いのソフトウェアによって、記載と異なることがあります。

1 本機の電源を入れます。

2 コンピュータの電源を入れ、「ソフトウェア CD-ROM」を挿入します。

3 ［**setup.exe の実行**］をクリックします。

［**ユーザー アカウント制御**］ダイアログが表示されたら、［**はい**］をクリックします。

4 モデルを選択し、［**次へ**］をクリックします。

5 使用許諾契約を読んで、［**同意する**］をクリックします。

6 ［**装置の設定**］>［**NIC 設定ツール**］を選択します。

7 リストから本機を選択します。

8 ［**設定**］メニューから［**プリンタ設定**］を選択します。

9 IP アドレスを設定し、［**設定**］をクリックします。

10 ［**パスワード入力**］にパスワードを入力し、［**OK**］をクリックします。

- 工場出荷時のパスワードは、MAC アドレスの下 6 桁です。
- パスワードは大文字 / 小文字が区別されます。

11 確認ウィンドウで［**OK**］をクリックします。

本機のネットワークカードが再起動して、新しい設定が有効になります。再起動中には、装置状態アイコンは赤色に変わります。本機のネットワークカードが再起動し、新しい設定が有効になると、状態アイコンは緑色になります。

12 ［**ファイル**］メニューから［**終了**］を選択して NIC 設定ツールを閉じます。

10. 自動配信機能と通信データ保存機能の設定（MC561dn のみ）

この章では、自動配信機能と通信データ保存機能の設定方法について説明します。

本機には自動配信機能と通信データ保存機能があります。これらの機能は、ファクス、インターネットファクス、E メールに使用できます。本機の Web ページから設定します。

メモ

- 工場出荷時の管理者パスワードは「aaaaaa」です。
- ここでは、Internet Explorer 8 を例にしています。お使いのブラウザによって、記載と異なることがあります。

参照

- Web ページについては、「Web ページ」（P. 99）を参照してください。

■ 受信したデータを電子データとして転送する（自動配信）

この節では、自動配信機能と、その設定方法について説明します。

自動配信機能は、受信したデータを指定の宛先に自動的に転送します。最大 5 件の E メールアドレスと 1 件のネットワークフォルダを宛先として指定できます。

この機能は、受信したファクス、インターネットファクス、および E メールの添付ファイルに使用できます。受信したデータのファイル形式に応じて、データは PDF ファイルか TIFF ファイルとして転送されます。

自動配信機能の転送設定は 100 件まで登録できます。

メモ

- ［**ファクス転送設定**］を有効にしているときは、受信したファクスに対する自動配信は実行されません。
- 受信したファクスは PDF ファイルとして配信されます。
- 受信した E メールの添付ファイルが PDF、JPEG、または TIFF ファイルでない場合、その添付ファイルは転送されません。
- 受信した E メールの本文は転送できません。
- この操作で処理できるデータのサイズには制限があります。
- 受信したファクス、インターネットファクスや E メールの添付ファイルを保存するのに SD メモリーカードの容量が不十分な場合、自動配信は実行されません。

自動配信機能の設定

参照

- あらかじめ、サーバ設定を行う必要があります。サーバの設定方法については、「ユーザーズマニュアル　基本編」を参照してください。
- ネットワークフォルダを指定する場合は、あらかじめプロファイルを登録してください。プロファイルの登録方法については、「ユーザーズマニュアル　基本編」を参照してください。

1 Web ブラウザを起動します。

2 アドレスバーに、「http:// 本機の IP アドレス」を入力し、<**Enter**> キーを押します。

参照

- 本機の IP アドレスについては、「ユーザーズマニュアル　基本編」を参照してください。

3 ［**管理者のログイン**］をクリックします。

4 ［**ユーザー名**］に「root」を、［**パスワード**］に本機の管理者パスワードを入力し、［**OK**］をクリックします。

5 ［**スキップ**］をクリックします。

6 ［**通信管理メニュー**］を選択します。

7 ［**自動配信設定**］ページで、［**新規**］をクリックします。

8 ［**配信設定名**］に任意の名前を入力します。

9 ［**配信設定**］で、［**有効**］を選択します。

10 ［**検索条件**］で、必要な項目にチェックをつけます。

11［プリント］で、［OFF］を選択します。

［ON］を選択すると、受信したデータが印刷されます。

12 E メールの宛先を設定します。

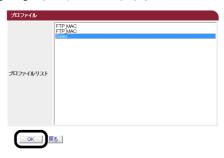
a)［E メール配信先］フィールドの［E メール配信先設定］をクリックします。

b) 宛先の E メールアドレスを入力し、［一覧に追加］をクリックします。

c) 入力したアドレスが［宛先一覧］フィールドに表示されることを確認し、［OK］をクリックします。

13 宛先のネットワークフォルダを設定します。

a)［フォルダ配信先］フィールドの［編集］をクリックします。

b)［プロファイルリスト］から宛先を選択し、［OK］をクリックします。

14［送信］をクリックします。

■ 送受信データを保存する（通信データ保存）

この節では、通信データ保存機能と、その設定方法について説明します。

通信データ保存機能は、送受信したデータを指定のネットワークフォルダに自動的に保存します。指定できるネットワークフォルダは 1 件のみです。

この機能は、送受信したファクス、インターネットファクス、および E メールの添付ファイルに使用できます。元のデータのファイル形式に応じて、データは PDF ファイルか TIFF ファイルとして保存されます。

! 注

- 以下の機能では、通信データ保存は実行されません。
  - リアルタイム送信
  - F コード掲示板通信を使用したポーリング送信
  - F コード通信を使用した受信

メモ

- 送受信したファクスは PDF ファイルとして保存されます。
- 送受信した E メールの添付ファイルが PDF、JPEG、または TIFF ファイルでない場合、その添付ファイルは保存されません。
- E メールの本文は保存できません。
- この操作で処理できるデータのサイズには制限があります。
- 送受信したファクス、インターネットファクスや E メールの添付ファイルを保存するのに SD メモリーカードの容量が不十分な場合、通信データ保存は実行されません。

通信データ保存機能の設定

参照

- あらかじめ、サーバ設定を行う必要があります。サーバの設定方法については、「ユーザーズマニュアル　基本編」を参照してください。
- あらかじめ、プロファイルを登録してください。プロファイルの登録方法については、「ユーザーズマニュアル　基本編」を参照してください。

1 Web ブラウザを起動します。

2 アドレスバーに、「http:// 本機の IP アドレス」を入力し、<**Enter**> キーを押します。

参照

- 本機の IP アドレスについては、「ユーザーズマニュアル　基本編」を参照してください。

3 ［**管理者のログイン**］をクリックします。

4 ［**ユーザー名**］に「root」を、［**パスワード**］に本機の管理者パスワードを入力し、［**OK**］をクリックします。

5 ［**スキップ**］をクリックします。

6 ［**通信管理メニュー**］を選択します。

7 ［**通信データ保存**］を選択します。

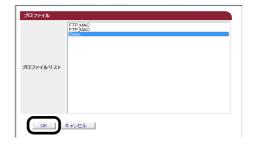
8 設定したい項目の［**設定**］をクリックします。

通信データ保存設定

保存対象	状態	
送信済みEメール（インターネットFAX含む）	無効	設定
受信済みEメール（インターネットFAX含む）	無効	設定
送信済みFAX	無効	設定
受信済みFAX	無効	設定

9 ［**有効**］を選択します。

10 ［**プロファイル一覧から選択**］をクリックします。

11 ［**プロファイルリスト**］から宛先を選択し、［**OK**］をクリックします。

12 ［**送信**］をクリックします。

11. こんなときには

この章では、初期化とドライバの削除・更新、およびスリープモード時の制限事項について説明します。

■ 初期化する

この節では、SD メモリーカードとフラッシュメモリを初期化する方法、および本機の機器設定を工場出荷時の設定にリセットする方法について説明します。

本機に保存したデータや設定を削除して、本機を購入時の状態に戻したいときに行います。

注

- 工場出荷時の設定では、［**初期化の制限**］が［**有効**］に設定されているため、［**初期化**］を選択できません。［**ストレージ保守設定**］で、［**初期化の制限**］を［**無効**］に設定します。初期化の制限については、「機器管理」（P. 93）を参照してください。

メモ

- ［**管理者設定**］メニューに入るには、管理者パスワードが必要です。工場出荷時のパスワードは「aaaaaa」です。

SD メモリーカードを初期化する（MC561dn のみ）

SD メモリーカードの初期化は、ほかの装置で使っていた SD メモリーカードを装着したときや、うまく SD メモリーカードを認識しなくなったときなどに行ってください。

SD メモリーカードは、部数コピー時のスプール、認証印刷・暗号化印刷データの保存、フォームデータ、マクロの保存先などに使用されます。初期化によって、保存されたデータが削除されます。

SD メモリーカードには、3 つのパーティションがあります。PS、共通、および PCL です。初期化すると、それぞれのパーティションに再び分かれます。特定のパーティションを個別に初期化することもできます。

全領域を初期化する

SD メモリーカードの全領域を初期化できます。

注

- SD メモリーカードの全領域を初期化すると、次のデータが削除されます。
  - ［**認証印刷**］、［**暗号化認証印刷**］、［**プリンタに保存**］のいずれかで保存されたジョブデータ
  - カスタムデモデータ
  - フォームデータ

1 ＜**設定**＞キーを押します。

2 ▼を押して［**管理者設定**］を選択し、OKを押します。

3 管理者パスワードを入力します。

4 ［**決定**］を選択し、OKを押します。

5 ▼を押して［**機器管理**］を選択し、OKを押します。

6 ▼を押して［**SD カード設定**］を選択し、OKを押します。

7 ［**初期化**］が選択されていることを確認し、OKを押します。

8 ［**実行**］が選択されていることを確認し、OKを押します。

「変更すると装置が自動的に再起動します」と表示されます。［**はい**］を選択して続行します。

特定のパーティションを初期化する

SD メモリーカードにある 3 つのパーティション（PS、共通、PCL）のうち、特定のパーティションを初期化できます。

注

- パーティションを初期化すると、次のデータが削除されます。
  - PS：PS 領域のフォームデータ
  - 共通：［**認証印刷**］、［**暗号化認証印刷**］、［**プリンタに保存**］のいずれかで保存されたジョブデータ、デモデータ
  - PCL：PCL 領域のフォームデータ

1 ＜**設定**＞キーを押します。

2 ▼を押して［**管理者設定**］を選択し、OKを押します。

3 管理者パスワードを入力します。

4 ［**決定**］を選択し、OKを押します。

5 ▼を押して［**機器管理**］を選択し、OKを押します。

6 ▼を押して［**SD カード設定**］を選択し、OKを押します。

7 ▼を押して［**フォーマット**］を選択し、OKを押します。

8 ▼を押して初期化したいパーティションを選択し、OKを押します。

「変更すると装置が自動的に再起動します」と表示されます。［**はい**］を選択して続行します。

フラッシュメモリを初期化する

フラッシュメモリには、保存したメール定型文などが記憶されています。

以下の手順で初期化します。

注

- フラッシュメモリを初期化すると、次のデータが削除されます。
  - カスタムデモデータ
  - フォームデータ

1 ＜**設定**＞キーを押します。

2 ▼を押して［**管理者設定**］を選択し、OKを押します。

3 管理者パスワードを入力します。

4 ［**決定**］を選択し、OKを押します。

5 ▼を押して［**機器管理**］を選択し、OKを押します。

6 ▼を押して［**フラッシュメモリ設定**］を選択し、OKを押します。

7 ［**初期化**］が選択されていることを確認し、OKを押します。

8 ［**実行**］が選択されていることを確認し、OKを押します。

「変更すると装置が自動的に再起動します」と表示されます。［**はい**］を選択して続行します。

機器設定を初期化する

機器設定を工場出荷時の設定に戻すことができます。

注

- 機器設定を初期化すると、次のデータが削除されます。
  - Fコード掲示板ボックスに保存された原稿
  - 未送信のファクスジョブ
  - Fコード親展ボックスに受信されたファクスジョブ
  - 登録されたジョブマクロ
  - ダイヤルログ
  - メールログ

1 ＜**設定**＞キーを押します。

2 ▼を押して［**管理者設定**］を選択し、OKを押します。

3 管理者パスワードを入力します。

4 ［**決定**］を選択し、OKを押します。

5 ▼を押して［**機器管理**］を選択し、OKを押します。

6 ▼を押して［**設定値初期化**］を選択し、OKを押します。

7 ［**実行**］が選択されていることを確認し、OKを押します。

「実行すると装置が自動的に再起動します」と表示されます。［**はい**］を選択して続行します。

11

こんなときには

■ ドライバを削除またはアップデートする

この節では、使用中のドライバを削除またはアップデートする方法について説明します。

! 注
- プリンタドライバ、Windows、Mac OS X のバージョンによって、記載と異なることがあります。

プリンタ・ファクスドライバを削除する

プリンタ・ファクスドライバをアンインストールできます。

Windows の場合

! 注
- この手順を完了するには、管理者としてログインする必要があります。
- コンピュータを再起動してから、ドライバの削除を行ってください。

1 ［**スタート**］をクリックし、［**デバイスとプリンター**］を選択します。

2 OKI MC561 のアイコンを右クリックし、［**デバイスの削除**］を選択します。

複数のプリンタドライバから特定のプリンタドライバを削除する場合は、［**印刷キューの削除**］>［**OKI MC561(*)**］を選択します。
* 削除するドライバのタイプを選択してください。

3 確認メッセージが表示されたら、［**はい**］をクリックします。

! 注
- デバイス使用中のメッセージが表示されたら、コンピュータを再起動して、再度手順 1 ～ 2 を実行してください。

4 ［**プリンターと FAX**］のいずれかのアイコンを選択し、トップバーの［**プリント サーバー プロパティ**］をクリックします。

5 ［**ドライバー**］タブを選択します。

6 ［**ドライバー設定の変更**］が表示されている場合は、クリックします。

7 削除するドライバを選択し、［**削除**］をクリックします。

8 ドライバのみ、またはドライバとパッケージをシステムから削除するかどうかをたずねるメッセージが表示されたら、ドライバとパッケージの削除を選択し、［**OK**］をクリックします。

9 確認メッセージが表示されたら、［**はい**］をクリックします。

10 ［**ドライバー パッケージの削除**］ダイアログが表示されたら、［**削除**］>［**OK**］をクリックします。

! 注
- 削除を拒否されたら、コンピュータを再起動して、再度手順 4 ～ 10 を実行してください。

11 ［**プリント サーバーのプロパティ**］ダイアログの［**閉じる**］をクリックします。

12 コンピュータを再起動します。

Mac OS X の場合

■ Mac OS X 10.5 ～ 10.6 の場合

1 アップルメニューから［**システム環境設定**］を選択します。

2 ［**プリントとファクス**］を選択します。

3 削除するデバイスを選択し、［**-**］をクリックします。

確認メッセージが表示されたら、［**プリンタを削除**］（Mac OS X 10.5 の場合は［**OK**］）をクリックします。

4 ［**プリントとファクス**］ダイアログを閉じます。

5 「ソフトウェア CD-ROM」をコンピュータに挿入します。

6 ［**OKI**］>［**Driver**］>［**Printer**］>［**Installer for MacOSX**］をダブルクリックします。

7 管理者パスワードを入力し、［**OK**］をクリックします。

［**Installer for MacOSX**］画面が表示されるまで、画面に表示される指示に従います。

8 ［**簡単インストール**］と表示されているメニューの三角形ボタンを押し、［**アンインストール**］を選択します。

9 ［**アンインストール**］をクリックします。

10 ［**終了**］をクリックします。

11 「ソフトウェア CD-ROM」をコンピュータから取り出します。

■ Mac OS X 10.3.9 ～ 10.4.11 の場合

1. ［**移動**］メニューから［**ユーティリティ**］を選択します。
2. ［**プリンタ設定ユーティリティ**］をダブルクリックします。
3. 削除するデバイスを選択し、［**削除**］をクリックします。
4. ［**プリンタリスト**］ダイアログを閉じます。
5. インストーラを使用して、ドライバをアンインストールします。

   参照
   ● 「Mac OS X 10.5 ～ 10.6 の場合」（P. 177）の手順 5 ～ 11

プリンタ・ファクスドライバをアップデートする

プリンタ・ファクスドライバをアップデートできます。

Windows の場合

注
- この手順を完了するには、管理者としてログインする必要があります。
- コンピュータを再起動してから、ドライバの削除を行ってください。

1. ［**スタート**］をクリックし、［**デバイスとプリンター**］を選択します。
2. OKI MC561 のアイコンを右クリックし、［**印刷設定**］を選択します。
   複数のプリンタドライバをインストールしている場合は、［**印刷設定**］＞［**OKI MC561(*)**］を選択します。
   * 確認するドライバのタイプを選択してください。
3. ［**設定**］タブで［**バージョン情報**］をクリックします。
   PS ドライバの場合、［**印刷オプション**］タブを選択し、［**バージョン情報**］をクリックします。
4. バージョン情報を確認し、［**OK**］をクリックします。
5. アップデートするドライバを削除します。

   注
   ● 本機用のドライバ（PCL、PS、PCL XPS、FAX ドライバ）を複数インストールしている場合は、すべてのタイプを削除してからアップデートを行ってください。

   参照
   ● 「プリンタ・ファクスドライバを削除する」（P. 177）
6. 新しいドライバをインストールします。

   参照
   ● 「ユーザーズマニュアル　基本編」

Mac OS X の場合

1. ドライバを削除します。

   参照
   ● 「プリンタ・ファクスドライバを削除する」（P. 177）
2. 新しいドライバをインストールします。

   参照
   ● 「ユーザーズマニュアル　基本編」

スキャナドライバを削除する

スキャナドライバを削除できます。

注
● この手順を完了するには、管理者としてログインする必要があります。

Windows の場合

1. ［**スタート**］をクリックし、［**コントロール パネル**］＞［**プログラムのアンインストール**］を選択します。
2. ［**OKI MC361/561 Scanner**］を選択し、［**アンインストール**］をクリックします。
   ［**ユーザー アカウント制御**］ダイアログが表示されたら、［**はい**］をクリックします。
3. 確認メッセージが表示されたら、［**はい**］をクリックします。
4. ［**アンインストール完了**］画面で［**完了**］をクリックします。

Mac OS X の場合

1. ハードディスクから［**ライブラリ**］＞［**Image Capture**］＞［**TWAIN Data Sources**］を選択します。
2. 本機の接続方法によって、以下のファイルを削除します。
   - ネットワーク接続：
     「OKI MC361_561 Twain Network Driver.ds」
   - USB 接続：
     「OKI MC361_561 Twain Driver.ds」
3. ［**TWAIN Data Sources**］ダイアログを閉じます。

4　ハードディスクから［**アプリケーション**］＞［OKIDATA］＞［Scanner］を選択します。

5　「ネットワークスキャナ設定ツール」を削除します。

6　コンピュータを再起動します。

スキャナドライバをアップデートする

スキャナドライバをアップデートできます。

注

- この手順を完了するには、管理者としてログインする必要があります。

Windows の場合

1　［**スタート**］をクリックし、［**コンピューター**］を右クリックして［**プロパティ**］を選択します。

2　［**デバイス マネージャー**］をクリックします。

［**ユーザー アカウント制御**］が表示されたら、［**はい**］をクリックします。

3　［**イメージング デバイス**］で［MC361/561 MFP］を右クリックし、［**プロパティ**］を選択します。

4　［**ドライバー**］タブで、スキャナドライバのバージョンを確認します。

5　スキャナドライバを削除します。

参照

- 「スキャナドライバを削除する」（P. 178）

6　新しいスキャナドライバをインストールします。

参照

- 「ユーザーズマニュアル　基本編」

Mac OS X の場合

1　スキャナドライバを削除します。

参照

- 「スキャナドライバを削除する」（P. 178）

2　新しいスキャナドライバをインストールします。

参照

- 「ユーザーズマニュアル　基本編」

■ スリープモード時の制限事項

この節では、本機がスリープモードのときの制限事項について説明します。

本機がエラーを表示している状態では、スリープモードに移行しない場合があります。

プリンタドライバ・ユーティリティの制限事項

本機がスリープモードに移行すると、プリンタドライバ、ユーティリティの機能が以下のように制限されます。

本機がスリープモードに移行している場合は、操作パネルの<**節電**>キーを押し、表示画面にデフォルトモードのトップ画面が表示されることを確認してください。

トップ画面を表示していれば、以下の制限事項は発生しません。

注

- USB 接続時にコンピュータの電源が入っている間はスリープモードに入りません。

OS	ソフトウェア名	スリープモード時の制限事項	<節電>キーを押す以外の対処法
Windows	プリンタドライバ	USB 接続の場合は、印刷できません。	ネットワークで本機に接続します。
	Network Extension	本機に接続できません。	-
	NIC 設定ツール	本機の検索や設定ができません。	-
	プリントジョブアカウンティングクライアント	USB 接続の場合は、本機の追加や設定、ログの取得ができません。	ネットワークで本機に接続します。
	Print Super Vision MultiPlatform Edition	消耗品の監視、印刷枚数の監視などができません。	-
	ストレージデバイスマネージャ	USB 接続の場合は、本機の検索や設定ができません。	ネットワークで本機に接続します。
	カラー調整ユーティリティ	USB 接続の場合は、テスト印刷ができません。	ネットワークで本機に接続します。
	Web Driver Installer	● ドライバインストール時、本機のオプション情報を自動で取得できません。 ● 本機を WDI サーバに手動で登録できません。	-
	プリンタ表示言語セットアップ	USB 接続の場合は、設定できません。	ネットワークで本機に接続します。
	プロファイルアシスタント	USB 接続の場合は、本機の検索や設定ができません。	ネットワークで本機に接続します。
	PDF Print Direct	USB 接続の場合は、印刷できません。	ネットワークで本機に接続します。
	ドライバインストーラ	● ネットワーク接続の場合は、ドライバインストール時、プリンタのオプション情報を自動で取得できません。 ● USB 接続の場合は、本機がスリープモードから復帰するまで、ドライバのインストールが完了しません。	-
Mac OS X	プリンタドライバ	USB または EtherTalk で接続している場合は、印刷できません。	TCP/IP で本機に接続します。
	パネル言語セットアップ	USB 接続の場合は、本機に接続できません。	ネットワークで本機に接続します。
	NIC 設定ツール	本機の検索や設定ができません。	-
	プロファイルアシスタント	USB 接続の場合は、プリンタの設定ができません。	ネットワークで本機に接続します。
	カラー調整ユーティリティ	USB 接続の場合は、テスト印刷ができません。	ネットワークで本機に接続します。

ネットワーク機能の制限事項

スリープモードでは、ネットワークの機能に以下のような制限があります。

スリープモードに移行しない

次の場合には、本機はスリープモードに移行しません。

- IPSec が有効になっている
- NetBEUI が有効になっている
- NetWare が有効になっている
- EtherTalk が有効になっている
- TCP のコネクションが確立している
  例：Telnet、FTP でコネクションを確立している場合など。
  パワーセーブ状態でスリープ移行時間経過後、コネクションが切断されるとスリープモードに入ります。
- E メール受信が有効になっている

メモ

- スリープモードを有効にしたい場合には、IPSec/NetBEUI/NetWare/EtherTalk/E メール受信を無効にしてください。

印刷できない

スリープモード中は、以下のプロトコルを使用した印刷はできません。

- NetBEUI
- NBT
- NetWare
- EtherTalk*
- Bonjour（Rendezvous）*

* Mac OS X の場合、「IP プリント」で接続すると、スリープモード中の印刷が可能になります。

検索・設定できない

スリープモード中は、以下の機能 / プロトコルを使用した検索や設定はできません。

- PnP-X
- UPnP
- Bonjour（Rendezvous）
- LLTD
- FLDP
- ODNSP
- JCP
- MIB*

* スリープモード中にサポートする一部の MIB による参照（Get コマンド）は可能です。

クライアント機能を持つプロトコルが動作しない

スリープモード中は、クライアント機能を持つ以下のプロトコルが動作しません。

- E メールアラート *1
- SNMP Trap
- WINS*2
- SNTP*3

*1 スリープモード中の経過時間は、E メールアラートの定期的な通知時間の間隔には含まれません。

*2 スリープモード中の経過時間は、WINS の更新時間の間隔には含まれません。
スリープモード中は WINS の定期更新を行わないため、WINS サーバに登録された名前が削除されることがあります。

*3 スリープモード中の経過時間は、NTP サーバに対する更新時間の間隔に含まれません。

スリープモードを無効にして使用するプロトコル

以下のプロトコルを使用する場合は、スリープモードを無効にしてください。

- IPv6
- NetBEUI
- NetWare
- EtherTalk

12. 付録

この章では、プリントジョブアカウンティングについて説明します。

■ プリントジョブアカウンティングの使用について

プリントジョブアカウンティングを使用すると、本機使用のログを取得することができます。

メモ

- 以下の説明は、プリントジョブアカウンティングのバージョンによって異なることがあります。

注

- 本機がプリントジョブアカウンティングに追加されている場合は、メニューマップで「JobAccounting : ON」と印刷されます。

使用可能なユーザ ID 数・ログ数

工場出荷時の状態で登録可能なユーザ ID の数と保存可能なログの数は、以下の表のとおりです。

- MC361dn

ユーザ ID	ログ
100	約 200

- MC561dn

ユーザ ID	ログ
100	約 5000

メモ

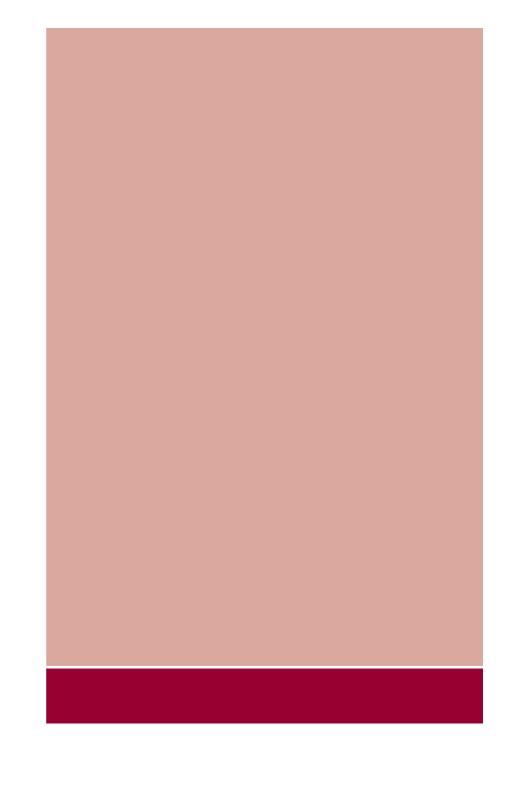
- ログの内容によって、この値が異なる場合があります。

索引

カラー複合機
MC361dn/MC561dn

ユーザーズマニュアル（応用編）

発行日　2010年 9月　第２版
発行者　株式会社 沖データ

44669601EE

株式会社 沖データ

お客様相談センター
0120-654-632
（携帯電話からは03-5846-5921）

受付時間　9:00～20:00 月曜日～金曜日
9:00～17:00 土曜日
（但し、祝日、年末年始等を除く）